ECOSYS LS-2100DN
ECOSYS LS-4200DN
ECOSYS LS-4300DN

使用説明書

はじめに

ECOSYS LS-2100DN/ECOSYS LS-4200DN/ECOSYS LS-4300DNをご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この使用説明書は、本製品を良好な状態でご使用いただくために、正しい操作方法、日常の手入れ、および簡単なトラブルの処置などができるようにまとめたものです。

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品の近くに保管してください。

印刷品質維持のため、トナーコンテナは弊社純正品の使用をお勧めします。

弊社製品には、数々の品質検査に合格した弊社純正品のトナーコンテナをご使用ください。

純正品以外のトナーコンテナをお使いになると、故障の原因になることがあります。

純正品以外のトナーコンテナの使用が原因で、機械に不具合が生じた場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますので、ご了承ください。

弊社純正消耗品には、以下のようなホログラムシールが貼られています。

目次

正しくお使いいただくために

本機をご使用になる前に、最初に必ずお読みください。ここでは次の内容を説明しています。

本書中の注意表示について

この使用説明書および本製品への表示では、本製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

警告：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

 ...「注意一般」

 ...「高温注意」

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。

 ...「禁止一般」

 ...「分解禁止」

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

 ...「強制一般」

 ...「電源プラグをコンセントから抜け」

 ...「必ずアース線を接続せよ」

本製品使用時の汚れなどによって本書の注意・警告事項が判読できない場合や、本書を紛失した場合には、弊社製品取り扱い店等へご連絡の上、新しい使用説明書を入手してください。（有償）

< お願い >

使用説明書の内容は、機械性能改善のために、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

設置環境について

ご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。

- 温度10 〜 32.5 ℃
- 湿度15 〜 80%

ただし、外気など周囲の環境条件によっては画像品質が維持できない場合がありますので、室温16 〜 27 ℃、湿度36 〜 65％の範囲で使用することをお勧めいたします。

本製品の最適環境でご使用いただくために、機械設置場所の空調温度を調整していただくようお願いします。また、下記のような場所は避けてください。

- 窓際など、直射日光の当たる場所や明るい場所
- 振動の多い場所
- 急激に温度や湿度が変化する場所
- 冷暖房の冷風や温風が直接当たる場所
- 通気性、換気性の悪い場所

本製品を設置後移動する際に、傷つきやすい床の場合、床材を傷つけるおそれがあります。

本製品の使用中はオゾンの発生や化学物質の放散がありますが、その量は人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や、大量に印刷する場合には、臭気が気になることもあります。快適な作業環境を保つためには、部屋の換気をお勧めします。

消耗品の取り扱いについて

⚠ 注意

トナーの入った容器およびユニットは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。

トナーの入った容器およびユニットは、子供の手に触れることのないように保管してください。

トナーの入った容器およびユニットよりトナーが漏れた場合は、トナーを吸い込んだり、口に入れたり、眼、皮膚に触れないようにしてください。

- トナーを吸い込んだ場合は、新鮮な空気の場所に移動し、多量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状が出るようであれば、医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、口の中をすすぎ、コップ１、２杯の水を飲んで胃の中を薄め、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 眼に入った場合は、直ちに流水で良く洗い、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。
- 皮膚に触れた場合は、石鹸を使って水でよく洗い流してください。

トナーの入った容器およびユニットは、無理に開けたり、壊したりしないでください。

その他の注意事項

使用後、不要となったトナーコンテナは、お買い上げの販売店または弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナは、再使用または再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

直射日光を避けて保管してください。

急激な温度・湿度変化を避け、40 ℃以下で保管してください。

本製品を長時間使わない場合は、カセットまたは手差しトレイから用紙を取り出し、もとの包装紙に戻して密封してください。

法律上のご注意

商標について

- プリスクライブ、PRESCRIBE、エコシスおよびECOSYSは、京セラ株式会社の登録商標です。
- KPDLは、京セラ株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows 7およびInternet Explorer は、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- PCLは、米国ヒューレット・パッカード社の商標です。
- Adobe Acrobat、Adobe Reader、PostScriptは、Adobe Systems, Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Ethernetは、ゼロックス社の登録商標です。
- NetWareは、Novell社の登録商標です。
- IBMは、米国International Business Machines Corporationの商標です。
- AppleTalk、Bonjour、MacintoshおよびMac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- TypeBankG-B、TypeBankM-MおよびTypeBank-OCRはタイプバンク®の商標です。
- 本製品に搭載されている欧文フォントは、すべてMonotype Imaging Inc.からのライセンスを受けています。
- Helvetica、Palatino、Timesは、Linotype GmbH.の登録商標です。
- ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC ZapfChancery、ITC Zapf Dingbatsは、International Typeface Corporationの登録商標です。
- 本製品は、Monotype Imaging Inc.からのUFST™ MicroType®のフォントを搭載しています。
- DFHSGOTHIC-W5とDFHSMINCHO-W3は平成書体です。これらの書体は（財）日本規格協会と京セラドキュメントソリューションズ株式会社がフォント使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。
- 平成書体は財団法人日本規格協会を中心に製作グループが共同開発したものです。許可なく複製する事はできません。
- ThinPrintはCortado AGのドイツ及びその他の国における商標または登録商標です。

その他、本使用説明書中に記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中には™および®は明記していません。

GPL/LGPL

本製品のファームウェアは、一部にGPL（http://www.gnu.org/licenses/gpl.html）もしくはLGPL（http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html）が適用されたソフトウェアを使用しています。お客様には、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLの条件に従い、複製、再配布及び改変する権利があります。これらのソースコードの入手方法については、http://www.kyoceradocumentsolutions.com/gpl/ にアクセスしてください。

OpenSSL ライセンス

以下は英語の原文です。

オリジナル SSLeay ライセンス

以下は英語の原文です。

Monotype Imaging ライセンス契約

1. 「本件ソフトウェア」とは、特殊なフォーマットで符号化された、デジタル符号の機械読取可能なスケーラブル・アウトライン・データならびにUFSTソフトウェアを意味するものとします。
2. お客様は、お客様自身の通常の業務目的または個人的な目的で、アルファベット、数字、文字および記号（「タイプフェース」）のウェート、スタイルおよびバージョンを複製および表示するために本件ソフトウェアを使用する非独占的ライセンスを受諾することに同意します。Monotype Imagingは、本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するすべての権利、権原および利権を留保します。本契約において明示的に規定した条件に基づき本件ソフトウェアを使用するライセンス以外には、いかなる権利もお客様に許諾されません。
3. Monotype Imagingの財産権を保護するため、お客様は本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するその他の財産的情報を極秘に保持すること、また、本件ソフトウェアおよびタイプフェースへのアクセスとその使用に関する合理的な手続きを定めることに同意します。
4. お客様は本件ソフトウェアまたはタイプフェースを複製またはコピーしないことに同意します。
5. このライセンスは、早期終了しない限り、本件ソフトウェアおよびタイプフェースを使用し終わるまで存続するものとします。お客様が本契約ライセンスの条件の遵守を怠り、当該不履行がMonotype Imagingからの通知後30日以内に是正されなかったときは、Monotype Imagingは本ライセンス契約を解除することができます。本ライセンス契約が満了するか、または解除された時点で、お客様は要求に応じて本件ソフトウェアとタイプフェースの複製物ならびに文書をすべてMonotype Imagingに返却するか、または破棄するものとします。
6. お客様は、本件ソフトウェアの変更、改変、逆アセンブル、解読、リバースエンジニアリングまたは逆コンパイルを行わないことに同意します。
7. Monotype Imagingは、引渡し後90日間について、本件ソフトウェアがMonotype Imagingの発表した仕様に従って作動すること、欠陥がないことを保証します。Monotype Imagingは、本件ソフトウェアにバグ、エラーおよび脱落が一切ない旨の保証を行いません。
   当事者は、特定目的適合性および商品性の保証を含む明示または黙示の他のすべての保証が排除されることに合意します。
8. 本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するお客様の排他的救済手段およびMonotype Imagingの唯一の責任は、欠陥のある部品をMonotype Imagingに返却した時点で修理または交換することです。いかなる場合もMonotype Imagingは、本件ソフトウェアおよびタイプフェースの誤用または不正使用により引き起こされた喪失利益、喪失データ、またはその他の付随的損害、派生的損害その他の損害について責任を負いません。
9. 本契約はアメリカ合衆国マサチューセッツ州の法律に準拠します。
10. お客様は、Monotype Imagingの事前の書面による同意がない限り、本件ソフトウェアおよび/またはタイプフェースの再使用許諾、販売、リースまたはその他の方法による譲渡を行ってはなりません。
11. 政府による使用、複製または開示は、FAR252-227-7013「技術データおよびコンピューターソフトウェアに関する権利」の(b)(3)(ii)項または(c)(1)(ii)項に定められた制限を受けます。
    さらに、使用、複製または開示は、FAR52.227-19(c)(2)項に定められたソフトウェアの限定的権利に適用される制限を受けます。
12. お客様は、本契約を自ら読了し、了解したことを認め、また本契約の諸条件により拘束されることに同意します。いずれの当事者も、本契約に記載されていない言明または表明により拘束されないものとします。本契約の変更は、各当事者の正当な権限を有する代表者が署名した書面による場合を除き、効力は一切ありません。

本製品の省エネ制御機能について

本製品は、待機中の消費電力を削減するために、最後に機器を使用してから一定時間経過すると自動的に消費電力を最小にする「スリープ」に移行する省エネ制御機能を備えています。詳しくは、2-23ページの**省エネ機能について**を参照してください。

「スリープ」

最後に使用してから1分が経過すると自動的に「スリープ」に移行します。なお「スリープ」への移行時間は、延長が可能です。詳しくは4-104ページの**「タイマー設定」（タイマーの設定）**をご覧ください。

スリープモードには、「復帰優先モード」と「節電優先モード」の2つのスリープモードがあります。初期設定は「節電優先モード」です。

復帰優先モード

スリープモードからの復帰が節電優先モードよりも早いです。ジョブを検知すると自動的に復帰し印刷を行います。

節電優先モード

復帰優先モードよりも消費電力を抑えることができます。

「電源オフ時間」

スリープモード中に一定時間が経過すると自動的に電源をオフにします。電源オフ時間は電源をオフにするまでの時間を設定します。工場出荷時は1時間に設定されています。

自動両面機能について

本製品は用紙の両面に印刷できる機能を標準で装備しています。例えば、片面原稿2ページを1枚の用紙の両面に印刷することで、紙の使用量を軽減することができます。詳しくは4-45ページの**「両面」（両面印刷の設定）**を参照してください。

両面印刷することにより用紙の使用量を削減でき、森林資源の節約に貢献できます。さらに、用紙の購入量が減少することで、経費の節約にも繋がります。したがって、両面印刷が可能な製品においては、印刷モードの初期値を両面印刷に設定して使用されることをお勧めします。

印刷用紙

森林資源の保護と持続可能な活用のために、EN 12281:2002*[1]や同等の品質基準を満たしている、環境管理イニシアティブ認定紙やエコラベルの認定を受けたバージン紙および再生紙の使用を推奨します。

また、本製品は64g/m^{2}用紙への印刷が可能であり、このような薄い用紙を使用することで、より一層の森林資源の節約に繋がります。

*1：印刷及びビジネス用紙　－　乾式トナー画像形成プロセス用コピー用紙の要件、推奨紙などは販売担当者またはサービス担当者にご相談ください。

電力管理

本製品は、待機中の消費電力を削減するために、最後に使用してから一定時間経過すると自動的に省電力モードに移行する電力管理を行っています。省電力モードに移行した状態では、すぐに使用可能な状態になるまでに若干の時間が必要ですが、余分な電力を大きく削減することができます。省電力モードへの移行時間は、出荷時の設定値のままで使用されることをお勧めします。

国際エネルギースター（ENERGY STAR®）プログラム

弊社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

エネルギースター･プログラムは、地球温暖化防止対策の一環としてエネルギー効率の高い製品の開発と普及を目的とした自主的な省エネルギーラベル制度です。エネルギースター認証製品を購入することで、製品使用時における地球温暖化ガスの排出削減に繋がるとともに、お客様の電力関連コストの削減にも貢献します。

補修用性能部品について

補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品のことをいいます。

弊社の保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製造中止後、7年間です。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」

に適合しています。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

本プリンターは仕様の範囲内でご使用ください。保守契約を結ばれることをおすすめします。

使用説明書について

この使用説明書では、オプション品について、簡略化した名称を使って説明しています。

オプション品の正式な商品名は以下のとおりです。

商品名	使用説明書記載の名称
ペーパーフィーダー PF-320	ペーパーフィーダー
バルクフィーダー PF-315+	バルクフィーダー
フェイスアップトレイ PT-320†	フェイスアップトレイ
拡張メモリー（DIMM 256 MB/512 MB/1 GB)	拡張メモリー
Data Security Kit (E)	セキュリティーキット
IC カード認証キット(B)	IC カード認証キット
ネットワークインターフェイスキット IB-50	ネットワークインターフェイスキット
ワイヤレスインターフェイスキット IB-51	ワイヤレスインターフェイスキット
SSD ユニット HD-6	SSD
パラレルインターフェイスキット IB-32	パラレルインターフェイスキット
ThinPrint Option UG-33	ThinPrint Option

† ECOSYS LS-4200DN/ECOSYS LS-4300DN のみ

本書は次の章で構成されています。

1　各部の名称

本体各部の名称と操作パネルのキー名称・インジケーター名称を説明しています。

2　使用前の準備

使用前に必要な準備・設定、用紙のセット方法について説明しています。

3　パソコンからの印刷

パソコンからの印刷方法について説明しています。

4　操作パネル

本機の操作パネルを使った操作・設定について説明しています。

5　文書ボックス

文書ボックス機能について説明しています。

6　状況確認

ジョブの状況や履歴の確認や、印刷ジョブを一時停止/再開する手順について方法について説明しています。

7　日常のメンテナンス

トナーコンテナの交換、本体の清掃について説明しています。

8　困ったときは

エラーメッセージが表示された場合の対処方法、紙づまり及びその他のエラー発生時の解消方法について説明しています。

付録

文字の入力方法、オプション製品の紹介やプリンターの仕様について説明しています。

付属マニュアルの紹介

本製品には、次のマニュアルがあります。必要に応じてご参照ください。

クイックインストールガイド	本機の設置手順を説明しています。
日常のお手入れ	本機のかんたんな操作のしかたや、便利な使いかた、お手入れのしかた、トラブルでこまったときの対処方法などについて説明しています。
セーフティーガイド	本機の設置や使用上の注意事項について説明しています。本機を使用する前に必ずお読みください。
セーフティーガイド （ECOSYS LS-2100DN/ ECOSYS LS-4200DN/ ECOSYS LS-4300DN）	本機の設置スペース、注意ラベルなどについて説明しています。本機を使用する前に必ずお読みください。

Product Libraryディスク

使用説明書（本書）	用紙の補給や基本的な操作、各種初期設定などについて説明しています。
Command Center RX **操作手順書**	パソコンからWebブラウザーで本機にアクセスし、設定の変更や確認を行う方法について説明しています。
プリンタードライバー **操作手順書**	プリンタードライバーをインストールする方法や、プリンター機能について説明しています。
KYOCERA Net Direct Print **操作手順書**	Adobe Acrobat/Readerを起動せずにPDFファイルを印刷できる機能について説明しています。
KYOCERA Net Viewer **操作手順書**	KYOCERA Net Viewerで、ネットワーク上のプリントシステムをモニターする方法について説明しています。
IC**カード認証キット**(B) **使用説明書**	ICカードを使って本機に認証を行うための操作手順について説明しています。
Data Security Kit (E)**使用説明書**	Data Security Kitの導入や設定方法について説明しています。
プリスクライブコマンドリファレンスマニュアル	ネイティブプリンター言語（プリスクライブコマンド）について説明しています。
プリスクライブコマンドテクニカルリファレンス	プリスクライブコマンドの各種機能や制御を、エミュレーションごとに説明しています。

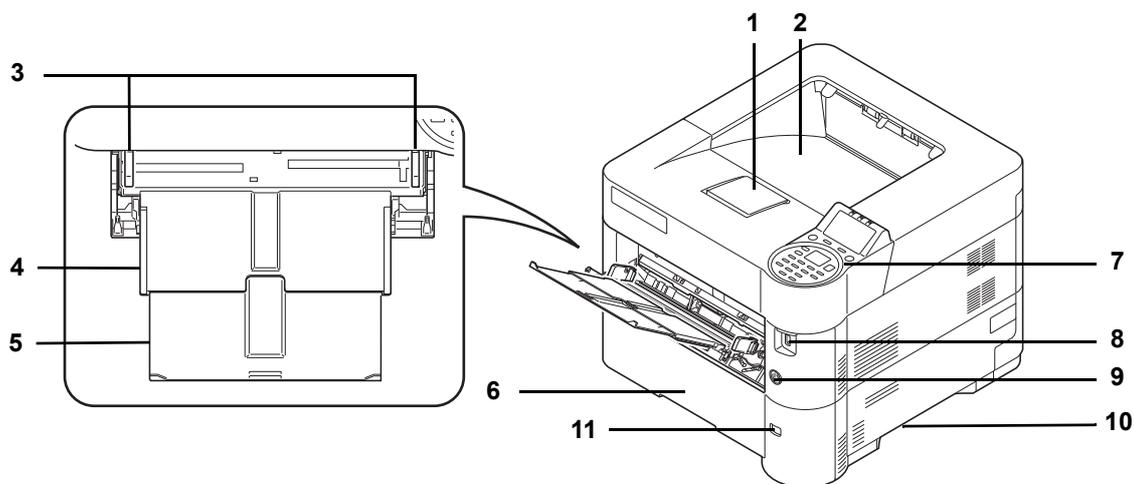
本書の読みかた

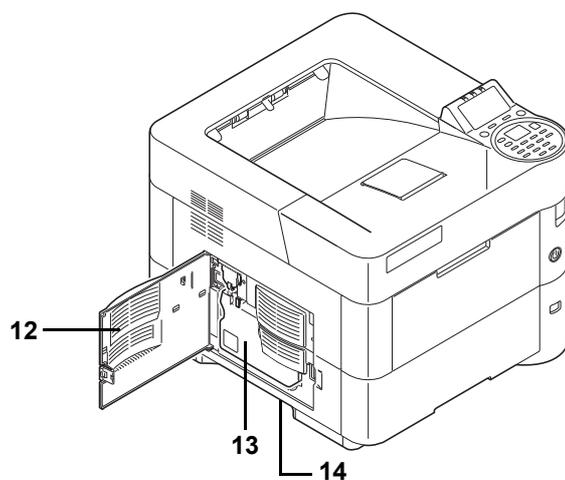
本書中では説明の内容によって、次のように表記しています。

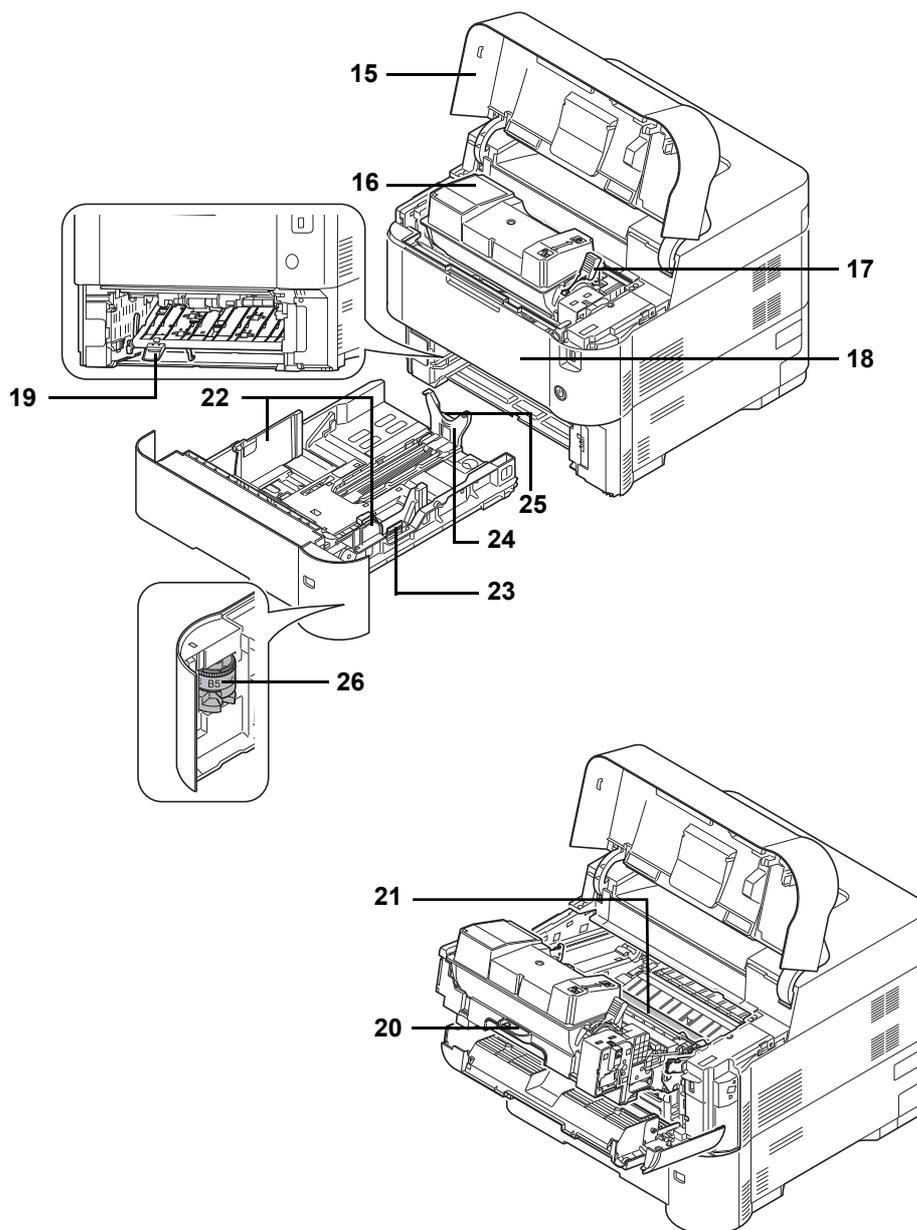
表記	説明	表記例
［太字］	操作パネル上のキーとインジケーターを示します。	**［メニュー］**キーを押してください。
「太字」	メッセージディスプレイに表示されるメッセージを示します。	**「印刷できます。」**が表示されます。
太字	製品の名称、ソフトウェアの操作画面上に表示するボタンなどの名称を示します。	**プリンタードライバー操作手順書**を参照してください。 OKをクリックしてください。
参考	補足説明や操作の参考となる情報です。	**参考**：トナーコンテナは、プリンターの電源を入れたまま交換できます。
重要	トラブルを防止するために、必ず守っていただきたい事項や禁止事項です。	**重要**：つまった用紙を取り除く際は、プリンター内に紙片を残さないようご注意ください。
注意	けがや機械の故障を防ぐために、守っていただきたい事項、およびその対処方法です。	**注意**：定着カバーの内部は高温になっています。やけどのおそれがありますのでご注意ください。

1　各部の名称

この章では次の内容について説明します。

プリンター前面 / 右側

1 排紙ストッパー
2 上トレイ
3 用紙ガイド（手差しトレイ）
4 手差しトレイ
5 手差し補助トレイ
6 カセット 1
7 操作パネル
8 USB メモリースロット
9 電源スイッチ
10 搬送用取っ手
11 用紙サイズウィンドウ

プリンター前面 / 左側

12 左カバー
13 廃棄トナーボックス
14 搬送用取っ手

プリンター内部

15　上カバー

16　トナーコンテナ

17　ロックレバー

18　前カバー

19　両面前カバー

20　現像ユニット

21　レジストローラー

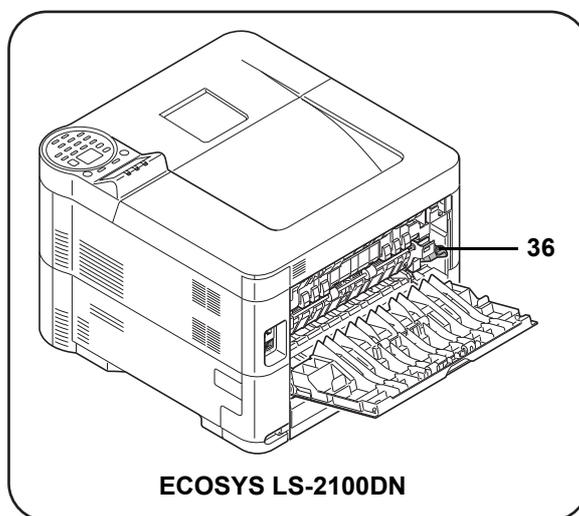
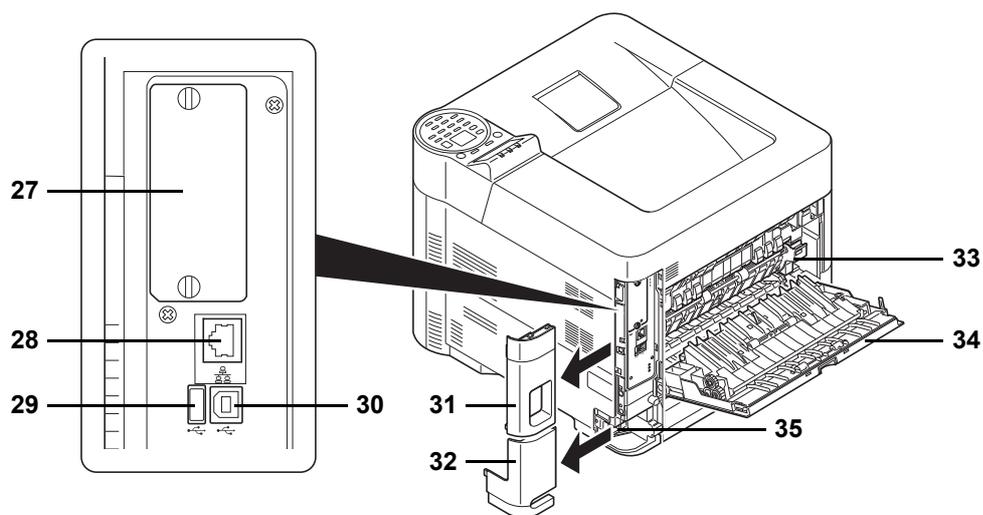
22　用紙幅ガイド

23　用紙幅変更つまみ

24　用紙長さガイド

25　用紙長さ変更つまみ

26　サイズダイヤル

プリンター背面

27 オプションインターフェイススロット

28 ネットワークインターフェイスコネクター

29 USB ポート（IC カード認証キット用）

30 USB インターフェイスコネクター

31 インターフェイスカバー

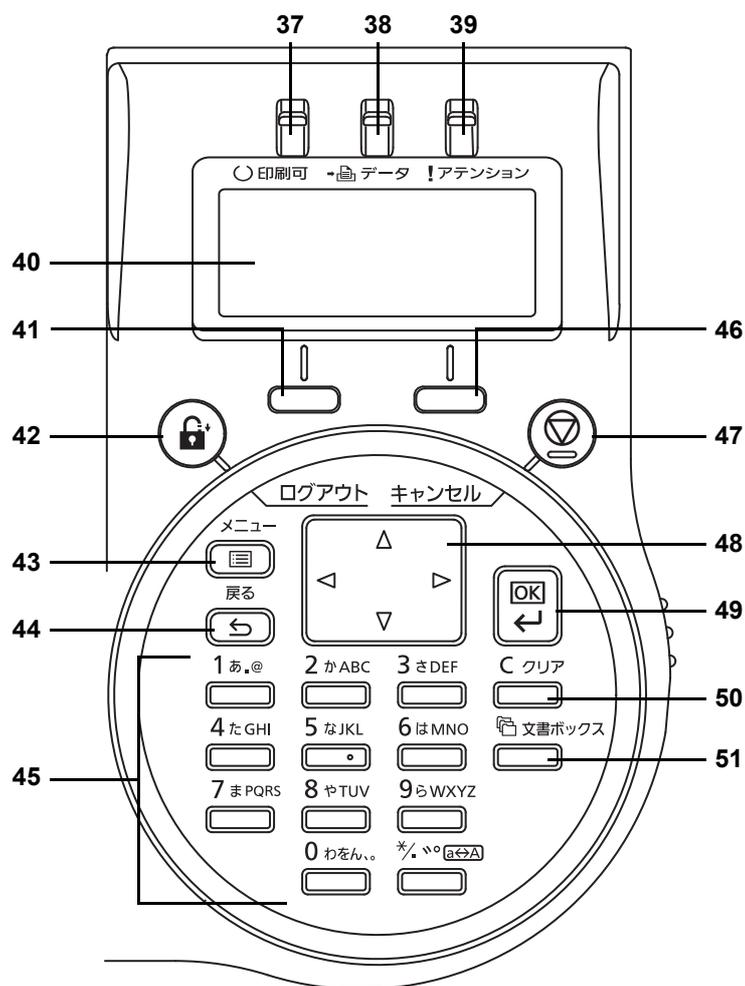
32 電源コードコネクターカバー

33 定着カバー

34 後ろカバー

35 電源コードコネクター

36 封筒スイッチ（ECOSYS LS-2100DN）

操作パネル

37 ［印刷可］インジケーター

38 ［データ］インジケーター

39 ［アテンション］インジケーター

40 メッセージディスプレイ

41 ［左セレクト］キー

42 ［ログアウト］キー

43 ［メニュー］キー

44 ［戻る］キー

45 テンキー

46 ［右セレクト］キー

47 ［キャンセル］キー

48 矢印キー

49 ［OK］キー

50 ［クリア］キー

51 ［文書ボックス］キー

2　使用前の準備

この章では次の内容について説明します。

ネットワークの設定

本機はTCP/IP（IPv4）、TCP/IP（IPv6）、IPP、SSLサーバー、IPSecプロトコルとセキュリティーレベルに対応しております。

設定が必要な項目は下表の通りです。

ご使用のパソコン、ネットワーク環境に合わせて、本機のネットワーク条件を設定してください。

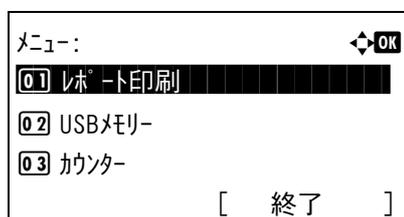
メニュー	サブメニュー			設定
ネットワーク	TCP/IP設定	TCP/IP		設定する/設定しない
		IPv4設定	DHCP	設定する/設定しない
			Auto-IP	設定する/設定しない
			IPアドレス	IPアドレス
			サブネットマスク	IPアドレス
			デフォルトゲートウェイ	IPアドレス
			Bonjour	設定する/設定しない
		IPv6設定	TCP/IP(IPv6)	設定する/設定しない
			RA(Sateless)	設定する/設定しない
			DHCPv6	設定する/設定しない
		プロトコル詳細	NetBEUI	設定する/設定しない
			SNMPv3	設定する/設定しない
			FTP(Server)	設定する/設定しない
			SNMP	設定する/設定しない
			SMTP	設定する/設定しない
			POP3	設定する/設定しない
			RAW Port	設定する/設定しない
			LPD	設定する/設定しない
			HTTP	設定する/設定しない
			LDAP	設定する/設定しない
	ネットワークの再起動			はい/いいえ

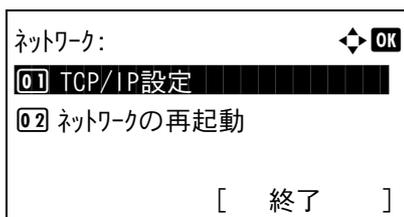
メニュー	サブメニュー				設定
セキュリティー	ネットワークセキュリティー	WSD-PRINT			設定する/設定しない
		Enhanced WSD			設定する/設定しない
		EnhancedWSD(SSL)			設定する/設定しない
		IPP			設定する/設定しない
		SSL設定	SSL	Off/On	設定する/設定しない
				暗号化	AES/DES/3DES
			IPP over SSL		設定する/設定しない
			HTTPS		設定する/設定しない
		IPSec			設定する/設定しない
		ThinPrint	Off/On		設定する/設定しない
			Thin Print over SSL		設定する/設定しない
		LANインターフェイス			自動/10BASE-Half/ 10BASE-Full/ 100BASE-Half/ 100BASE-Full/ 1000BASE-T

参考：ネットワークの設定を変更したときは、設定を有効にするためにネットワークを必ず再起動してください。詳しくは、4-75ページの**「ネットワークの再起動」（ネットワークカードの再起動）**を参照してください。

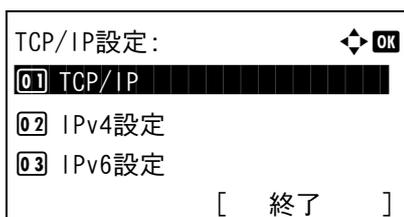
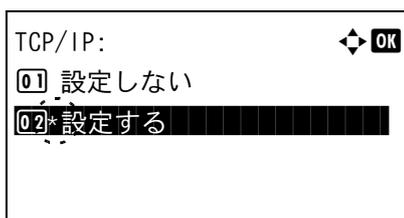
ネットワーク設定

ここでは、TCP-IP（IPv4）を選択してDHCPを使用する場合、IPアドレスを入力する場合の設定方法について説明します。詳細な設定は、4-67ページの**「ネットワーク」（ネットワークの設定）**を参照してください。また、モード選択メニューの使い方は、4-9ページの**モード選択メニューの設定方法**を参照してください。

参考：IPアドレスを手動で入力する場合は、システム管理者にIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを確認してください。

1 メッセージディスプレイに**「印刷できます。」「お待ちください。」**または**「処理中」**が表示されているときに、**［メニュー］**キーを押してください。モード選択メニューが表示されます。

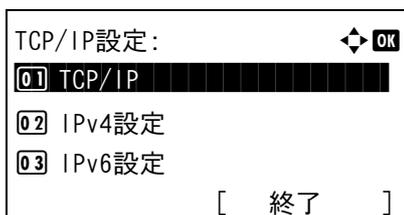
2 ［△］または［▽］キーを押して、**「ネットワーク」**を選択してください。

3 [OK] キーを押してください。**「ネットワーク」**メニューが表示されます。

TCP/IP を有効にする

ここでは、IPv4での設定方法を説明していますが、IPv6を設定する場合もTCP/IPを**「設定する」**にします。

4 **「TCP/IP 設定」**を選択し、[OK] キーを押してください。**「TCP/IP 設定」**メニューが表示されます。

5 [△] または [▽] キーを押して、**「TCP/IP」**を選択してください。

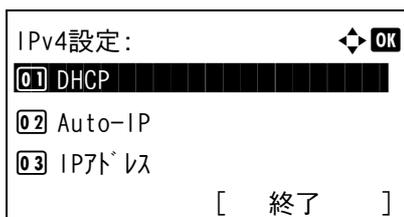
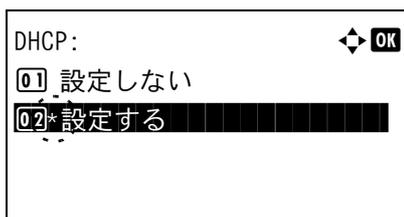
6 [OK] キーを押してください。**「TCP/IP」**が表示されます。

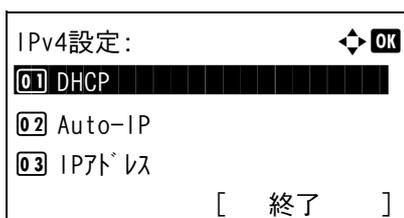
7 [△] または [▽] キーを押して、**「設定する」**を選択してください。

参考：選択している設定値には、「*」が表示されます。

8 [OK] キーを押してください。TCP/IP の使用が設定され、**「TCP/IP 設定」**メニューに戻ります。

DHCP を無効または有効にする

DHCPサーバーを使って自動でIPアドレスを取得する場合は**「設定する」**、IPアドレスを入力する場合は**「設定しない」**を選択します。

9 [△] または [▽] キーを押して、**「IPv4 設定」**を選択してください。

10 [OK] キーを押してください。「IPv4 設定」メニューが表示されます。

11 [△] または [▽] キーを押して、「DHCP」を選択してください。

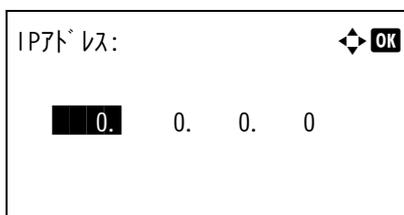
12 [OK] キーを押してください。「DHCP」が表示されます。

13 [△] または [▽] キーを押して、**「設定する」**または**「設定しない」**を選択してください。

14 [OK] キーを押してください。DHCP の使用の有無が設定され、「IPv4 設定」メニューに戻ります。

参考：「設定する」を設定した場合は、DHCPが有効になります。**[メニュー]**キーを押して、モード選択メニューを終了します。

「設定しない」を設定した場合は、続けてIPアドレスの入力を行ってください。

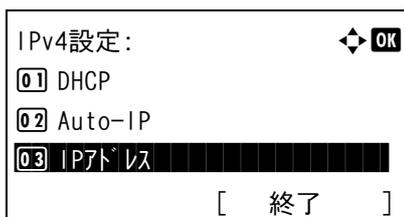
IP アドレスを入力する

DHCPを**「設定しない」**にした場合は、手動でIPアドレスを入力します。

15 [△] または [▽] キーを押して、「IP アドレス」を選択してください。

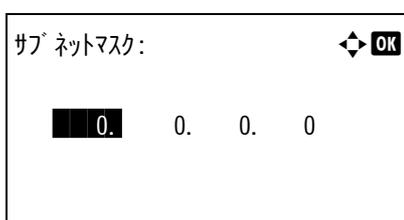
16 [OK] キーを押してください。「IP アドレス」が表示されます。

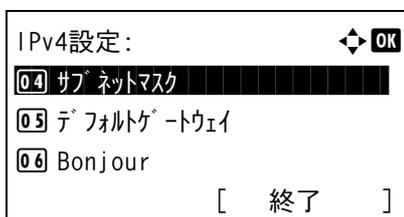
17 テンキー、[△] または [▽] キーを使って IP アドレスを入力します。000 ～ 255 の間で設定できます。

[△] または [▽] キーを押すと、数値が増減します。

[◁] または [▷] キーを押すと、反転表示されている入力位置を移動します。

18 ［OK］キーを押してください。IP アドレスが設定され、「**IPv4 設定**」メニューに戻ります。

サブネットマスクを入力する

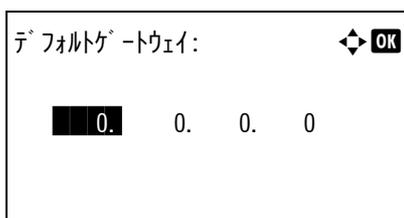
DHCP を「**設定しない**」にした場合は、手動でサブネットマスクを入力します。

19 ［△］または［▽］キーを押して、「**サブネットマスク**」を選択してください。

20 ［OK］キーを押してください。「**サブネットマスク**」が表示されます。

21 テンキー、［△］または［▽］キーを使ってサブネットマスクを入力します。000 〜 255 の間で設定できます。

入力方法は IP アドレスと同じです。

22 ［OK］キーを押してください。サブネットマスクが設定され、「**IPv4 設定**」メニューに戻ります。

デフォルトゲートウェイを入力する

DHCP を「**設定しない**」にした場合は、手動でデフォルトゲートウェイを入力します。

23 ［△］または［▽］キーを押して、「**デフォルトゲートウェイ**」を選択してください。

24 ［OK］キーを押してください。「**デフォルトゲートウェイ**」が表示されます。

25 テンキー、［△］または［▽］キーを使ってゲートウェイのアドレスを入力します。000 〜 255 の間で設定できます。

入力方法は IP アドレスと同じです。

26 ［OK］キーを押してください。ゲートウェイのアドレスが設定され、「**IPv4 設定**」メニューに戻ります。

これでネットワークの設定は終了です。［**メニュー**］キーを押して、モード選択メニューを終了します。

参考：ネットワークの設定を変更したときは、ネットワークを再起動してください。設定を有効にするために必ず行ってください。詳しくは、4-75 ページの「**ネットワークの再起動**」（**ネットワークカードの再起動**）を参照してください。

ステータスページの印刷

ネットワークの設定後、ステータスページを印刷してください。ステータスページでは、ネットワークアドレス、ネットワークプロトコル等の情報を確認できます。

ステータスページは、「**レポート印刷**」（レポート印刷）メニューから「**ステータスページ**」を選択します。

詳しい方法は、4-12 ページの「**ステータスページ**」（**ステータスページの印刷**）を参照してください。

ソフトウェアのインストール

Product Libraryディスクからプリンタードライバーやユーティリティーをインストールする前に、本機とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。

ソフトウェア

付属のProduct Libraryディスクから次のソフトウェアがインストールできます。

高速モードの場合は、KXドライバーとフォントが自動的にインストールされます。

●：標準でインストールします。○：選択でインストールします。

ソフトウェア	機能	説明	インストール方法	
			高速モード	カスタムモード
KX DRIVER	印刷	パソコン上のデータを本機で印刷するためのドライバーです。本機の持つ機能を最大限に活かしてご利用いただけるプリンタードライバーです。	●	○
KX XPS DRIVER		マイクロソフト社が開発したXPS（XML Paper Specification）フォーマットに対応したプリンタードライバーです。XPSをサポートしているアプリケーションソフトから印刷します。（Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2008/R2のみ）	−	○
PCL mini-driver		Microsoft Mini Driver形式のドライバーで、PCL、KPDLそれぞれをエミュレーションして出力します。KPDLは、Postscript互換の京セラのページ記述言語です。本機の持つ機能やオプション類の機能のうち、本ドライバーでは使用できる機能に制限があります。	−	○
KPDL mini-driver			−	○
KYOCERA Net Viewer	ユーティリティー	ネットワーク上の本機をモニターすることのできるユーティリティーです。	−	○
KYOCERA Net Direct Print		Adobe Acrobat/Readerを起動せずに、PDFファイルを印刷することができます。	−	○
フォント		本機の内蔵フォントをアプリケーションソフトで使用するための表示フォントです。	●	○

Windows にインストールする

本機をWindowsに接続して使用する場合は、次の手順でプリンタードライバーをインストールします。ここでは、主にWindows 7に高速モードでインストールする場合を例に説明します。

参考：Windowsにインストールする場合、管理者権限でログオンする必要があります。

インストール方法は、**高速モード**と**カスタムモード**の2種類があります。**高速モード**は、接続されたプリンターを自動的に検出し、必要なソフトウェアをインストールします。**カスタムモード**は、プリンターポートの指定やインストールするソフトウェアを選択する場合に使用します。

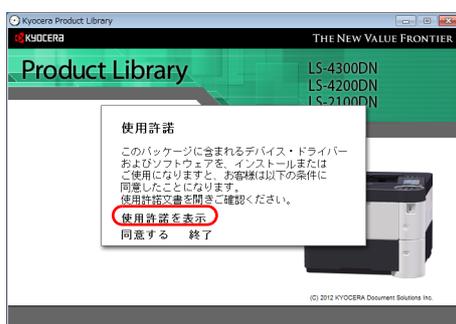
1 パソコンの電源を入れ、Windows を起動します。

新しいハードウェアの検索ウィザードが表示された場合、**キャンセル**をクリックします。

2 付属の Product Library ディスクを、パソコンの光学ドライブにセットします。Windows 7、 Windows Server 2008/R2、または Windows Vista の場合、**ユーザーアカウント制御**画面が表示されますので、**許可**をクリックします。

インストールプログラムが起動すると、**メインメニュー**が表示されます。

参考：Product Libraryが自動で起動しない場合、Windows のエクスプローラーでProduct Libraryディスクの内容を表示させ、Setup.exe をダブルクリックしてください。

---

3 **使用許諾を表示**をクリックして、使用許諾契約をお読みください。**同意する**をクリックします。

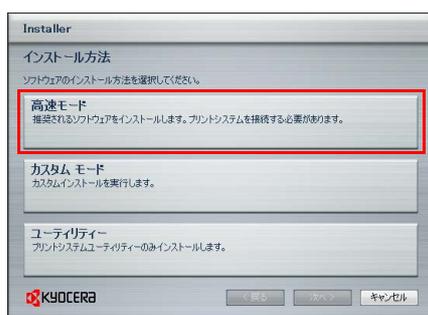
4 **ソフトウェアのインストール**をクリックします。

ソフトウェアインストールウィザードが起動します。

この後の手順は、Windows の種類と接続方法によって異なります。該当する手順に進んでください。

- **高速モード**
- **カスタムモード**

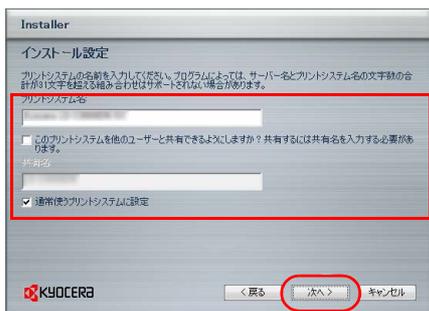
高速モード

高速モードは、電源を入れるとインストーラーが自動的にプリンターを検出します。標準的な接続方法の場合、**高速モード**を使用します。

1 **インストール方法の選択**画面で、**高速モード**を選択します。**プリントシステムを検索**画面が表示され、インストーラーがプリンターの検出を行います。プリントシステムが検出されない場合、プリントシステムが USB またはネットワークで接続され、電源が入っていることを確認し、**プリントシステムを検索**画面に戻ってください。

参考：Windows 7、 Windows VistaおよびWindows XPでは、インストールダイアログボックスに表示される内容は多少異なりますが、インストール手順は同じです。

---

2 インストールするプリントシステムを選択し、**次へ**をクリックします。

参考：**新しいハードウェアの検索ウィザード**が表示された場合、**キャンセル**をクリックしてください。**ハードウェアのインストール**警告ダイアログが表示された場合、**続行**をクリックしてください。

3 **インストール設定**画面では、プリントシステムの名前をカスタマイズできます。これは、**プリンター**ウィンドウおよび各アプリケーションソフトのプリンター一覧に表示される名前です。

プリントシステムを共有するか、または既定のプリンターとして設定するかを指定し、**次へ**をクリックします。

重要：手順3は、ネットワーク接続の場合のみ表示されます。USB接続では表示されません。

4 設定内容を確認する画面が表示されます。設定を確認し、**インストール**をクリックします。

参考：Windows **セキュリティー**画面が表示された場合、**このドライバーソフトウェアをインストールします**をクリックしてください。

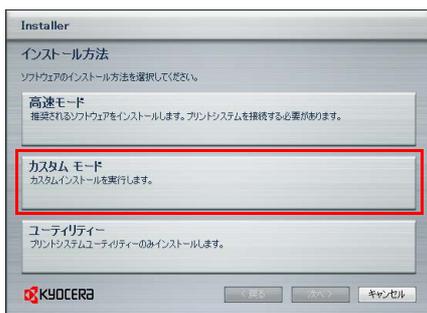
5 **インストールが完了しました**画面が表示されます。**終了**をクリックしてプリンターインストールウィザードを終了し、Product Library ディスクのメインメニューに戻ります。

終了をクリックした後、デバイス設定のダイアログが表示された場合、プリントシステムに装着されているオプションなどの設定を行うことができます。デバイス設定は、インストール終了後でも設定できます。詳しくは Product Library ディスク収録の**プリンタードライバー操作手順書**を参照してください。

これで、プリンタードライバーのインストール作業は終了です。画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動します。

カスタムモード

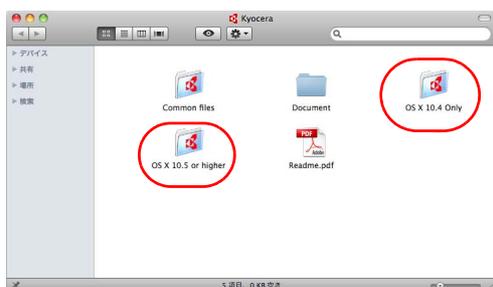
カスタムモードは、プリンターポートの指定やインストールするソフトウェアを選択する場合に使用します。

たとえば、パソコンにインストールされているフォントを上書きしない時、**カスタムモード**を選択し、**カスタムインストール**画面の**ユーティリティー**タブを選択して、Fontsのチェックを外します。

1. **カスタムモード**を選択します。
2. **インストールウィザード**画面の指示に従い、インストールするソフトウェアパッケージの選択やポートの指定などを行ってください。

   詳しくは Product Library ディスク収録の**プリンタードライバー操作手順書**を参照してください。

Macintosh にインストールする

1. 本機と Macintosh の電源を入れます。
2. 付属の Product Library ディスクを光学ドライブへセットします。
3. Product Library ディスクアイコンをダブルクリックします。

4. 使用している OS のバージョンにあわせて、OS X 10.4 Only または OS X 10.5 or higher をダブルクリックします。

5. Kyocera OS X 10.x+ Japanese をダブルクリックします。

6. プリンタードライバーのインストールプログラムが起動します。
7. インストールプログラムの表示に従って、**インストール先**、**インストールの種類**を選び、プリンタードライバーをインストールします。

参考：**インストールの種類**では、**簡易インストール**の他にインストール内容を指定する**カスタムインストール**を選択することができます。

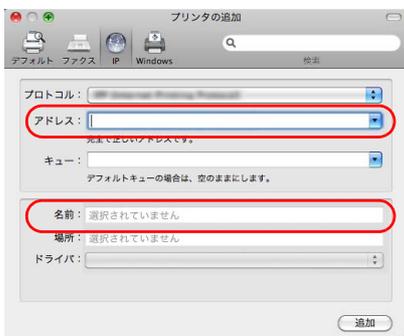
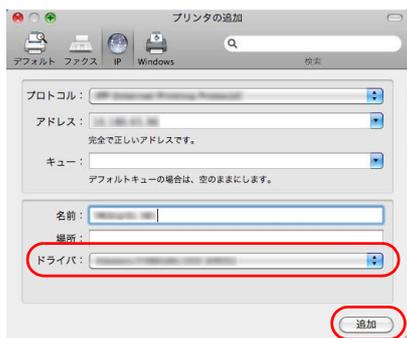
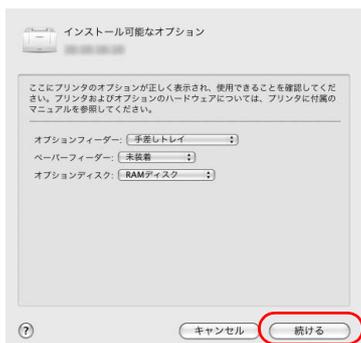
重要：管理者の名前とパスワード画面では、OS にログインするときに入力した名前とパスワードを入力してください。

これで、プリンタードライバーがインストールされました。続いて、印刷設定を行います。

IPまたはAppleTalkで接続する場合、以下の設定が必要になります。USB接続の場合、自動的にプリンターの認識と接続が行われます。

8 **システム環境設定**画面を開き、**プリントとファクス**をクリックします。

9 インストールしたプリンタードライバーを追加するため、＋をクリックします。

10 IP接続する場合はIPアイコンをクリックし、IPアドレスとプリンター名を入力します。

Bonjour接続で使用する場合は、**デフォルト**を選択し、**プリンタ名**に表示された項目をクリックしてください。**ドライバ**に本機と同じ名称のドライバーが自動的に表示されます。

11 インストールしたプリンタードライバーを選択し、**追加**をクリックします。

12 プリンターに設置されているオプションを選択し、**続ける**をクリックします。

13 設定したプリンターが追加され、印刷設定作業は終了です。

ステータスモニター

ステータスモニターは、印刷中画面の右下にプリントシステムのステータスメッセージを表示します。また、プリンターの設定を確認したり変更したりできるCommand Center RXを起動させることができます。プリンタードライバーをインストールすると、**ステータスモニター**も自動的にインストールされます。

ステータスモニターの起動

ステータスモニターは、次のいずれかの方法で起動します。

- 印刷開始時に起動：

  ステータスモニターは、プリンターを指定して印刷を開始すると、1つのプリンター名につき、1つ起動します。複数台にプリンターを指定した場合、指定したプリンターの数だけ**ステータスモニター**が起動します。

- プリンタードライバープロパティから起動：

  プリンタードライバーの拡張機能タブから**ステータスモニター**ボタンをクリックします。表示された**ステータスモニター**ダイアログボックスにある**ステータスモニターを起動**ボタンをクリックすると、**ステータスモニター**が起動します。

ステータスモニターの終了

ステータスモニターは、次のいずれかの方法で終了します。

- 手動による終了：

  タスクバーのステータスモニターアイコンからメニューを表示させ、**アプリケーションの終了**を選択すると**ステータスモニター**が終了します。

- 自動的に終了：

  操作を行わない状態で5分経過すると、**ステータスモニター**が自動的に終了します。

ステータスモニターの構成

ステータスモニターの構成は次のとおりです。

ポップアップウィンドウ

情報を通知するイベントが発生した場合、ポップアップウィンドウが表示されます。このウィンドウは、**3Dイメージ**がデスクトップに表示されているときだけ表示されます。

3Dイメージ

監視対象のプリンターの状態を3Dイメージで表示します。ステータスモニターアイコンを右クリックして表示されるメニューから、ウィンドウの表示および非表示を切り替えられます。

情報を通知するイベントが発生した場合、ポップアップウィンドウと音声で通知します。音声による通知の設定方法については、2-16ページの**ステータスモニターの設定**を参照してください。

ステータスモニターアイコン

ステータスモニターが起動中は、タスクバーの通知領域に表示されます。アイコンにカーソルを置くと、プリンターの名称が表示されます。**ステータスモニターアイコン**を右クリックすると、以下のオプション設定ができます。

- **ステータスモニターを表示/非表示**

  ステータスモニターアイコンの表示と非表示を切り替えます。

- Command Center RX

  TCP/IPネットワーク環境で接続し、IPアドレスを所有している場合、Webブラウザを使ってCommand Center RXにアクセスし、ネットワーク設定の変更または確認を行います。詳細は、**Command Center RX操作手順書**を参照してください。

- **常に手前に表示**

  ステータスモニターの画面を常に前面で表示するように設定します。

- **不透明度**

  3Dイメージの透明度を設定します。20%～100%で選択できます。

- **ウィンドウ拡大**

  ステータスモニターの画面表示を2倍にします。

- **通知**

  ステータスモニターの**通知**設定を行います。詳しくは、2-16ページの**ステータスモニターの設定**を参照してください。

- www.kyoceradocumentsolutions.co.jp

  京セラドキュメントソリューションズホームページを開きます。

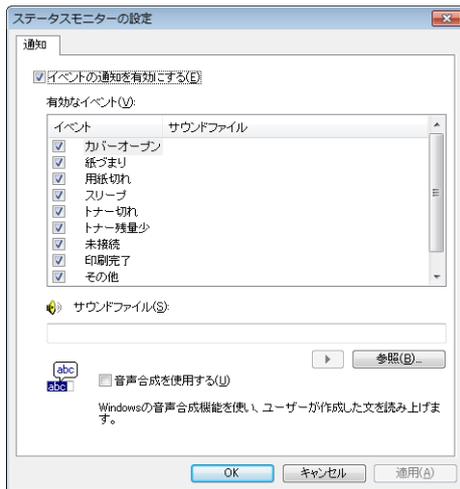
- **アプリケーションの終了**

  ステータスモニターが終了します。

ステータスモニターの設定

ステータスモニターアイコンを右クリックして表示されるメニューから**通知**を選択すると、ステータスモニターの通知に関する設定ができます。

通知タブでは、次のような設定ができます。

重要：**通知**タブで設定した内容を確認するには、サウンドカードやスピーカーなど音声を再生する環境が必要です。

イベントの通知を有効にする

イベントリストに該当するエラーが発生した場合、通知を行うかどうかを設定します。

サウンドファイル

音声による通知が必要な場合、サウンドファイルが選択できます。**参照**をクリックして、サウンドファイルを検索します。

音声合成を使用する

このチェックボックスを選択すると、テキストボックスに入力したテキストを読み上げます。Windows XP以降で使用できる機能で、サウンドファイルは不要です。

通知タブの機能を使用するには、次の手順に従ってください。

1. **イベントの通知を有効にする**を選択します。
2. **有効なイベント**リストから、使用する音声合成またはサウンドファイルを選択します。
3. サウンドファイルを使ってイベントを通知する場合、**参照**をクリックしてファイルを指定します。

   参考：使用できるファイルの形式はWAVファイルです。

   音声合成を使用するを選択すると、**読み上げるテキスト**ボックスに入力したテキストをイベント発生時に読み上げます。
4. **再生** ▶ をクリックして、サウンドファイルまたはテキストが正しく再生されることを確認します。

ソフトウェアのアンインストール（Windows の場合）

本機に同梱のProduct Libraryディスクを使って、ソフトウェアをアンインストール（削除）できます。

重要：Macintoshの場合、PPD（PostScript Printer Description）ファイルを使用して印刷設定を行うため、Product Libraryディスクを使用してアンインストールすることはできません。

1 すべてのアプリケーションソフトを終了します。

2 付属の Product Library ディスクを光学ドライブへセットします。

3 プリンタードライバーのインストールと同じ手順で進み、**ソフトウェアの削除**をクリックします。**ソフトウェアアンインストール**ウィザードが表示されます。

4 削除したいソフトウェアを選択します。

5 **アンインストール**をクリックします。

参考：Windows Vistaの場合、**ドライバーとパッケージを削除する**画面が表示されます。**ドライバーとパッケージを削除する**を選び、OKをクリックします。KYOCERA Net Viewerや、KYOCERA Net Direct Printをインストールしているときは、個別のアンインストーラーが別途起動しますので、画面の指示に従い、それぞれのアンストール作業を行ってください。

ソフトウェアの削除が開始されます。

6 アンインストールの完了を知らせるウィンドウが表示されたら、**次へ**をクリックします。

7 システムを再起動するかどうかを選択した後、**終了**をクリックします。

Command Center RX の設定

Command Center RX とは、 Web上で本機の操作状況を確認したり、セキュリティーやネットワーク印刷、メール送信、ネットワークの設定を変更したりするためのツールです。

また、 メール設定をすることでジョブの終了をメールで通知することができます。

参考：Command Center RXで設定内容を変更する際は、 本機の管理者でログインする必要があります。工場出荷時のデフォルトは下記が設定されています。
ログインユーザー名：Admin
ログインパスワード：Admin
大文字・小文字は区別されます。

Command Center RXへアクセスする操作手順は次のとおりです。

1 Web ブラウザーを起動してください。

2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスを入力してください。

例） http://10.183.54.29/

本機および Command Center RX に関する一般情報と現在の状態が、 Web ページに表示されます。

3 画面左のナビゲーションバーから項目を選択してください。項目によっては、別途、 設定が必要です。

Command Center RX に制限がかけられている場合、スタートページ以外のページにアクセスするときは、ユーザー名とパスワードを入力してください。

詳細は **Command Center RX 操作手順書**を参照してください。

メール設定

SMTPを設定すると、 ジョブの終了をメールで通知することができます。

この機能を使用するには、SMTPプロトコルによる本機とメールサーバーの接続が必要です。

また、 次の項目を確認してください。

- 本機とメールサーバーを接続するネットワーク環境

  LANによる常時接続を推奨します。

- SMTPの設定

  Command Center RXでSMTPサーバーのホスト名またはIPアドレスを登録してください。

- メールサイズ制限が設定されている場合、容量の大きいメールは送信できない場合があります。

SMTPを設定する操作手順は次のとおりです。

1 **設定/登録→詳細→SMTP→基本**の順にクリックしてください。

2 各項目に入力してください。

SMTP の設定画面で設定する項目は次のとおりです。

項目	説明
SMTP	SMTPプロトコルを使用するかどうかを設定します。メールを送信するには、設定をオンにしてください。
SMTPポート番号	SMTPが使用するポート番号を設定します。通常は25番を使用します。
SMTPサーバー名	SMTPサーバーのIPアドレスまたはSMTPサーバー名を入力します。最大64文字まで入力できます。 サーバー名を入力する場合は、DNSサーバーのIPアドレスも設定してください。DNSサーバーのアドレスは、TCP/IP設定の画面で入力できます。
SMTPサーバーのタイムアウト	タイムアウトまでの時間を秒単位で入力します。
認証	SMTP認証を行うかどうか、またはPOP before SMTPを使用するかどうかを設定します。このSMTP認証はMicrosoft Exchange 2000に対応しています。
使用するユーザー	3つのPOP3アカウントのいずれか、またはそれ以外のアカウントを指定して、認証を行うユーザーを指定します。
ログインユーザー名	使用するユーザーでその他を選択した場合、認証を行うユーザー名を入力します。最大64文字まで入力できます。
ログインパスワード	使用するユーザーでその他を選択した場合、認証を行うログインユーザーのパスワードを入力します。最大64文字まで入力できます。
SMTPセキュリティー	SMTPセキュリティーを有効または無効にするか設定します。SSL/TLSまたはSTARTTLSが選択されている場合に有効です。SMTPセキュリティーを使用する場合、サーバー設定に合わせてSMTPポート番号の変更が必要になる場合があります。SSL/TLSでは465、STARTTLSの場合は25または587が一般に使用されるポートです。
POP before SMTPのタイムアウト	認証でPOP before SMTPを選択した場合、タイムアウトまでの時間を秒単位で設定します。
テスト	このページで設定した内容が正しいかどうかをテストします。
メール送信のサイズ制限	送信可能なメールの最大サイズをキロバイトで入力します。0を入力した場合、設定は無効になります。

項目	説明
差出人アドレス	本機が送信するメールの差出人のアドレスを指定します。配信エラーメールなどが、ここで指定した差出人のアドレスに返信される場合がありますので、架空のアドレスではなく、機器管理者などが受け取れるメールアドレスを指定することをお勧めします。また、SMTP 認証を設定している場合は、アドレスを正確に入力する必要があります。差出人アドレスは最大 128 文字まで入力できます。
署名	メール本文の最後に挿入される、テキスト形式の署名を入力します。ここで入力した署名を使って、プリントシステムの識別をすることもあります。署名は最大 512 文字まで入力できます。
ドメイン制限	制限するドメイン名を入力します。ドメイン名は最大 32 文字まで入力することができます。メールアドレスで指定することもできます。

ダイナミック DNS（DDNS）

本プリンターは、DHCP による DDNS をサポートしています。このシステムを使用するときは、最初に DHCP/BOOTP を**オン**にしてください。

DDNS サービスを使って、ホスト名と IP アドレスの対応を更新する場合は、DDNS を**オン**に設定してください。

設定方法は、Command Center RX **操作手順書**を参照してください。

操作パネルロック

操作パネルからの操作を制限します。ロックされているメニューを操作するためには管理者権限のあるユーザーでログインする必要があります。

操作パネルロックの設定は、Command Center RX から行います。設定方法は、Command Center RX **操作手順書**を参照してください。

操作パネルロックにより制限される操作は次のとおりです。

操作	操作パネルロックの設定				
	オフ	オン（一部）1	オン（一部）2	オン（一部）3	オン
システムメニュー					
レポート印刷	—	—	—	●	●
USB メモリー	—	—	—	●	●
カウンター	—	—	—	●	●
用紙設定	—	—	—	●	●
印刷設定	—	—	●	●	●
ネットワーク	—	●	●	●	●
オプションネットワーク *1	●	●	●	●	●
共通設定	—	●	●	●	●
セキュリティー *1	●	●	●	●	●
ユーザー / 部門管理 *1	●	●	●	●	●
調整 / メンテナンス	—	●	●	●	●
オプション機能 *1	●	●	●	●	●

操作	操作パネルロックの設定				
	オフ	オン（一部）1	オン（一部）2	オン（一部）3	オン
文書ボックス					
ユーザーボックス	—	●*2	●*2	●	●
ジョブボックス	—	—	●*3	●	●
操作パネルのキー操作	—	—	—	○*4	○*5

●：操作を行うには管理者権限のあるユーザーでログインする必要があります。

－：制限ありません。

*1：操作パネルロックの設定にかかわらず、管理者権限のあるユーザーでログインする必要があります。

●*2：ユーザーボックスの追加と編集が制限されます。

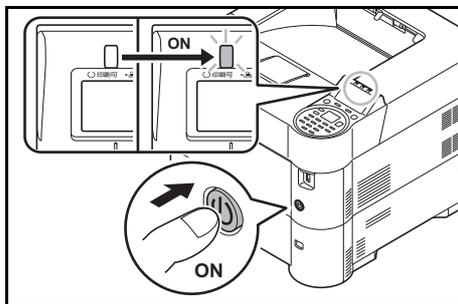
●*3：ジョブボックス設定が制限されます。

○*4：［**ログアウト**］キーと印刷のキャンセル操作のみ有効になります。

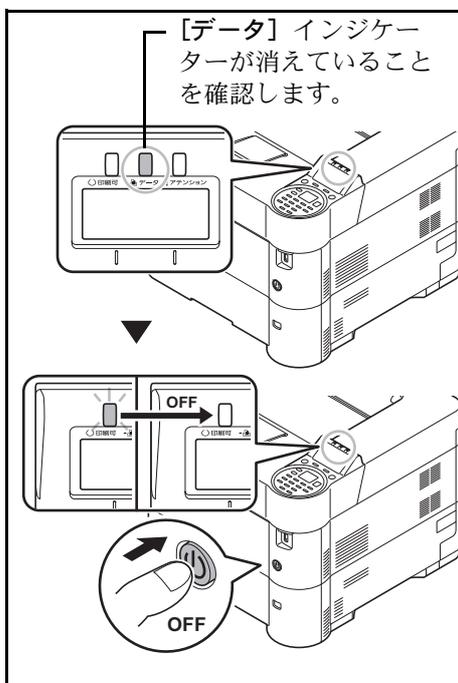
○*5：［**ログアウト**］キーとブザーを停止する［**キャンセル**］キーのみ有効になります。

参考：「**オプションネットワーク**」は、オプションのネットワークインターフェイスキット（IB-50）またはワイヤレスインターフェイスキット（IB-51）を装着しているときに表示されます。

電源の入 / 切

電源を入れる

電源スイッチを押してください。

重要：電源スイッチを入れ直す場合は、5秒以上あけて電源スイッチを押してください。

電源を切る

［データ］インジケーターが消えていることを確認して、電源スイッチを押してください。

省エネ機能について

スリープ

一定時間操作がないと（工場出荷時は1分)、自動的に「スリープ」に移行します。メッセージディスプレイのバックライトが消灯して消費電力を最小に抑えます。この状態をスリープと呼びます。

スリープモードには、「復帰優先モード」と「節電優先モード」の2つのスリープモードがあります。初期設定は「節電優先モード」です。

復帰優先モード

節電優先モードよりもスリープモードからの復帰が早いです。

スリープモードに入るとメッセージディスプレイを消灯し、［印刷可］インジケーターが点滅します。

［OK］キーを押すとすぐに復帰します。また、ジョブを検知すると自動的に復帰し印刷を行います。

スリープ中に印刷データが送られてくると、メッセージディスプレイは点灯し、印刷が開始されます。

本機を使用するときは［OK］キーを押してください。

設定についての詳細は、4-108ページの**「スリープ時間」（スリープ時間の設定）**を参照してください。

節電優先モード

節電優先とは、復帰優先モードよりもさらに消費電力を抑えた状態で、機能ごとにスリープモードを働かせるかを設定できます。

重要：節電優先モードを設定したときの注意

- 節電優先モードに入るとRAMディスクに保存されたデータは削除されます。
- USBケーブルで接続したパソコンから印刷データを受信しても、本機はスリープモードから復帰しません。
- 節電優先モード時はICカードを認識しません。

本機を使用するときは、［OK］キーを押してください。節電優先モードを設定している場合、ECOSYS LS-2100DNでは15秒以下、ECOSYS LS-4200DNでは20秒以下、ECOSYS LS-4300DNでは25秒以下で再び使用できるようになります。

外気など周囲の環境条件によっては時間が長くなる場合があります。

節電優先モードについての詳細は、4-106ページの**「スリープレベル設定」（スリープレベルの設定）**を参照してください。

電源オフ時間

本機はスリープモード中に操作がないと自動的に電源が切れます。電源オフ時間は、電源が切れるまでの時間を設定します。電源が切れるまでの時間は工場出荷時の設定で1時間です。

重要：電源オフの条件および時間は設定することができます。詳しくは、4-109ページの**「電源オフ条件」（電源オフ条件の設定）**および4-110ページの**「電源オフ時間」（電源オフ時間の設定）**を参照してください。

長期間本機を使用しないときは

注意：夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、電源スイッチを切ってください。また連休等で長期間、本製品を使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意：用紙を湿気から守るために、カセットから用紙を取り出して、元の包装紙に戻して密封してください。

用紙の補給

カセットや手差しトレイに用紙を補給する手順について説明します。

カセットへの補給

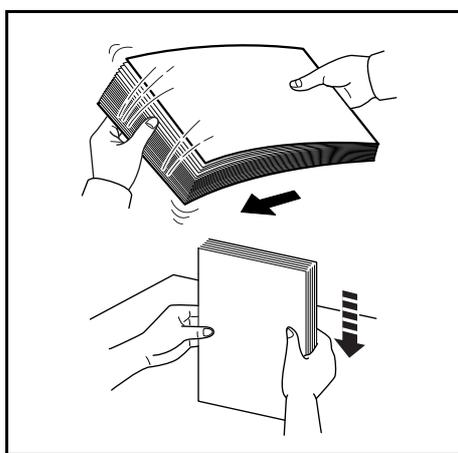
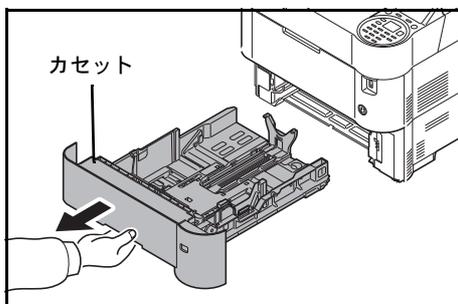
標準カセット（カセット1）には、A4以下の普通紙（64 g/m²）を500枚まで補給できます。

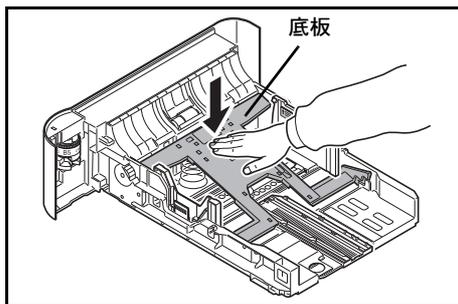
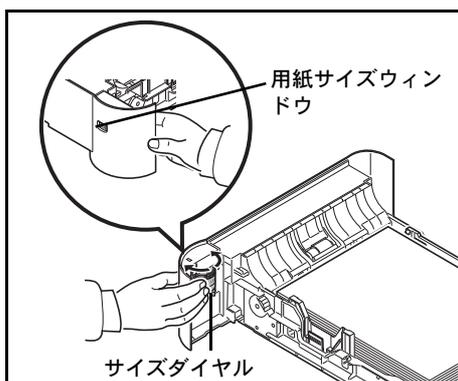
標準カセット（カセット1）に補給できる用紙サイズは、Envelope DL、Envelope C5、Executive、Letter、Legal、A4、B5、A5、A6、B6、ISO B5、カスタム、往復はがき、Oficio II、216×340 mm、16K、Statement、Folioです。

重要：インクジェットプリンター用紙や表面に特殊なコートがされている用紙は使用しないでください。（紙づまり等、故障の原因になる場合があります。）

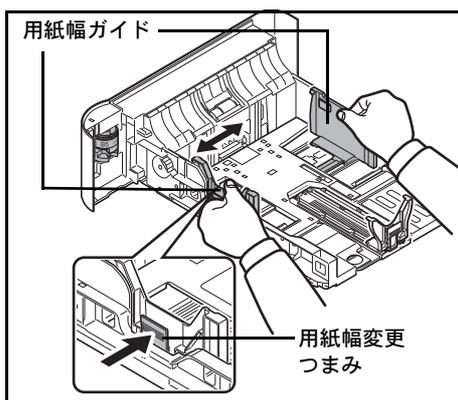
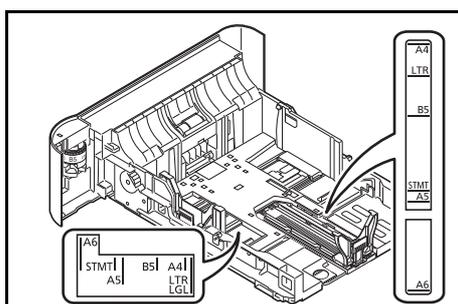
普通紙以外（再生紙、カラー紙など）の用紙を使用するときは、必ず用紙種類を設定してください（4-31ページの**「用紙種類」（給紙カセットの用紙種類設定）**参照）。カセットには120 g/m²の用紙まで使用できます。

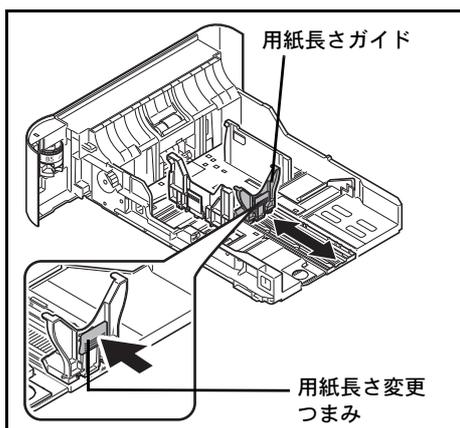
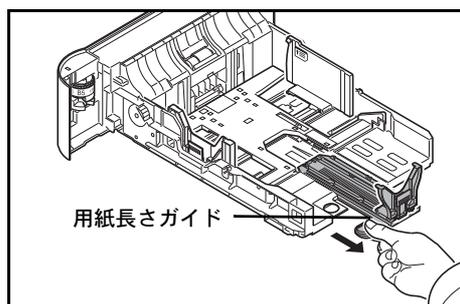
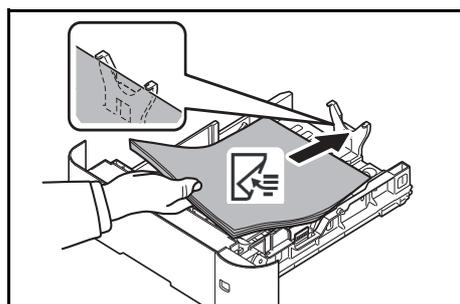
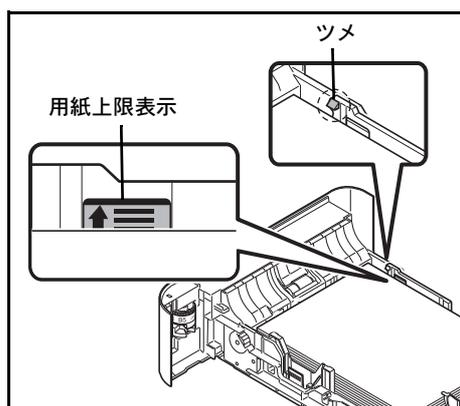
カセットには120 g/m²より重い厚紙をセットしないでください。120 g/m²より重い厚紙は、手差しトレイを使用してください。

参考：A6はECOSYS LS-4200DNまたはECOSYS LS-4300DNのカセット1のみ使用できます。
Envelope DL、B6、往復はがきは、ECOSYS LS-2100DNのカセット1では使用できません。

1 用紙をさばき、平らなところで用紙の端をよく揃えてください。

2 カセットを本機から引き出してください。

重要：カセットを引き出すときは、しっかり支えて落ちないようにしてください。

3 （ECOSYS LS-2100DN のみ）ロックするまで底板を押してください。

4 サイズダイヤルを回して、使用する用紙サイズが用紙サイズウィンドウに見えるように合わせてください。

参考：定形外の用紙を使用する場合は、サイズダイヤルをOtherにセットしてください。その際は操作パネルからその用紙サイズを設定することが必要です。詳しくは、4-30ページの**「カセット1（～5）設定」（給紙カセットの設定）**を参照してください。

---

5 左右の用紙幅ガイドの位置を調整します。用紙幅変更つまみを押しながらスライドさせて、使用する用紙サイズに合わせてください。

参考：用紙サイズはカセットに刻印されています。

---

6 用紙長さガイドの位置を調整します。用紙長さ変更つまみを押しながらスライドさせて、使用する用紙サイズに合わせてください。

カセットに A4 サイズを超える用紙を収納するときは、用紙長さガイドを後に引き出してください。

7 用紙の端をそろえて、カセットに入れてください。印刷面を下にして、用紙の折れ、カール、破損が無いようにしてください。

重要：用紙の量は、用紙上限表示以下になるようにしてください。

用紙に折れなどがないようにセットしてください。折れやカールは紙づまりの原因となります。

用紙の量は、用紙上限表示（イラスト参照）の目盛り以下にしてください。

用紙の両端をカセットのツメ（イラスト参照）の下に入れてください。

用紙長さガイドおよび用紙幅ガイドを用紙のサイズに合わせてください。ガイドを合わせずに用紙を入れると、斜め給紙や紙づまりの原因となります。

用紙長さガイドおよび用紙幅ガイドがしっかりと用紙に当たっているか確認し、隙間があるときは用紙長さガイドまたは用紙幅ガイドを合わせ直してください。

8 カセットをゆっくり奥まで押し込んでください。

参考：本機を長期間使用しない場合は、用紙を湿気から守るために、カセットから用紙を取り出し、元の包装紙に戻して密封してください。

9 カセットにセットする用紙の種類（普通紙、再生紙など）を設定してください（4-31 ページの**「用紙種類」（給紙カセットの用紙種類設定）**の設定参照）。

手差しトレイへの補給

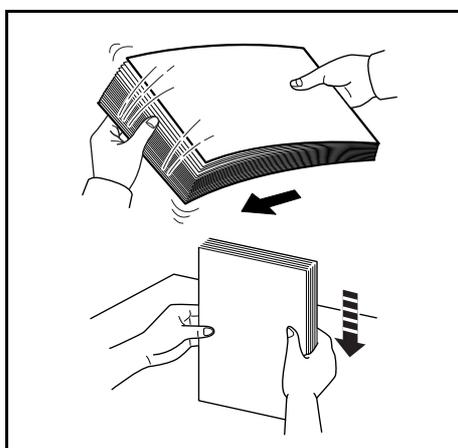
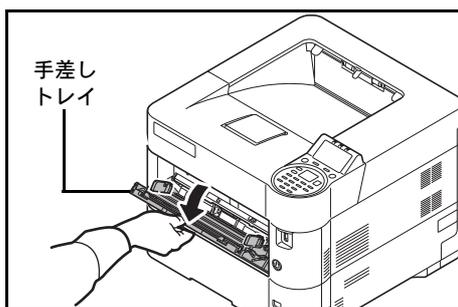
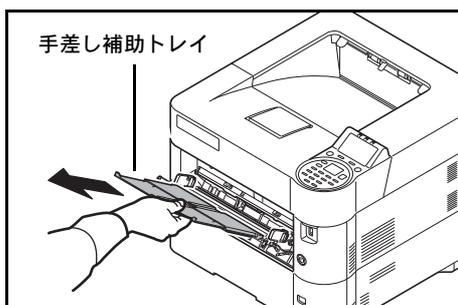
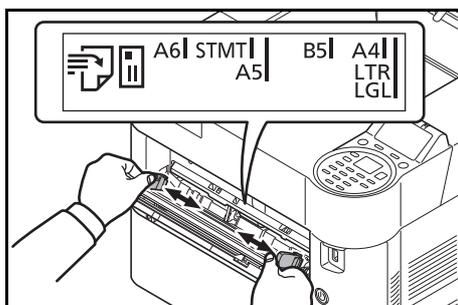
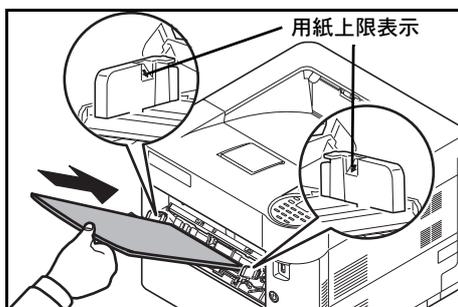
手差しトレイには、A4以下の普通紙（64 g/m²）を100枚まで補給できます。

手差しトレイに補給できる用紙サイズは、A4～A6、はがき、Legal～Statement、216×340 mm、Envelope Monarch、Envelope #10（Commercial #10）、Envelope DL、Envelope C5、Executive、Envelope #9（Commercial #9）、Envelope #6（Commercial #6 3/4）、ISO B5、往復はがき、Oficio II、16K、Folio、洋形2号、洋形4号、カスタムです。特殊紙に印刷するときは必ず手差しトレイを使用してください。

重要：普通紙以外（再生紙、カラー紙など）の用紙を使用するときは、必ず用紙種類を設定してください（4-29ページの**「用紙種類」（手差しトレイの用紙の種類の設定）**参照）。106 g/m² 以上の用紙を使用する場合は、用紙種類を厚紙にして、用紙の重さを使用用紙の重さに合わせて設定してください。

使用できる特殊紙とそのセット可能枚数は次のとおりです。

- A4以下の普通紙（64 g/m²）：100枚
- はがき：1枚
- OHPフィルム：1枚
- Envelope DL、Envelope C5、Envelope #10（Commercial #10）、Envelope #9（Commercial #9）、Envelope #6（Commercial #6 3/4）、Monarch、洋形4号、洋形2号：5枚
- Folio：20枚
- 厚紙：5枚

参考：OHPフィルムや厚紙などの特殊紙を使用するときは、4-29ページの**「用紙種類」（手差しトレイの用紙の種類の設定）**で用紙種類を設定してください。

1 用紙をさばき、平らなところで用紙の端をよく揃えてください。

2 手差しトレイを手前に、止まるところまで開けてください。

3 手差し補助トレイを伸ばしてください。

4 用紙ガイドの位置を調整します。用紙サイズは手差しトレイに刻印されていますので、用紙ガイドをスライドさせて、使用する用紙サイズに合わせてください。

5 用紙幅ガイドに沿って、用紙を止まる位置まで挿入してください。

重要：用紙の量は、手差しトレイ内側の用紙上限表示以下になるようにしてください。

開封面を上にしてください。

反っている用紙は必ず反りを直してから使用してください。

先端が反っているときは、まっすぐにのばしてください。

手差しトレイに用紙を補給する前に、用紙が手差しトレイに残っていないか確認してください。また、手差しトレイに残っている用紙が少ないなどで用紙を補給する場合は、用紙を一度取り除き、補給する用紙とあわせてさばいてから再度補給してください。

---

6 操作パネルで、手差しトレイの用紙サイズを設定してください。詳しくは、4-28 ページの**「手差し設定」（手差しトレイの設定）**を参照してください。

封筒の補給のしかた

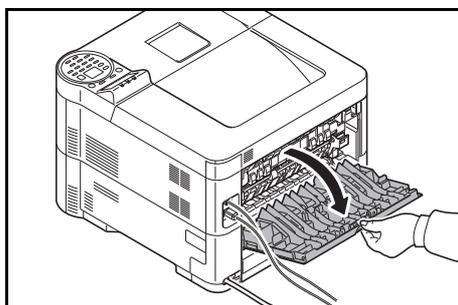
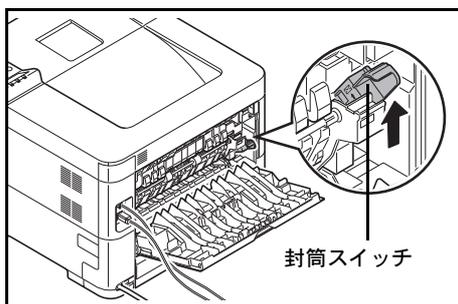
封筒は手差しトレイに5枚まで補給できます。

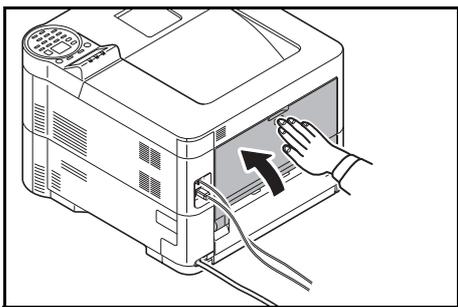
使用できる封筒とサイズは表のとおりです。

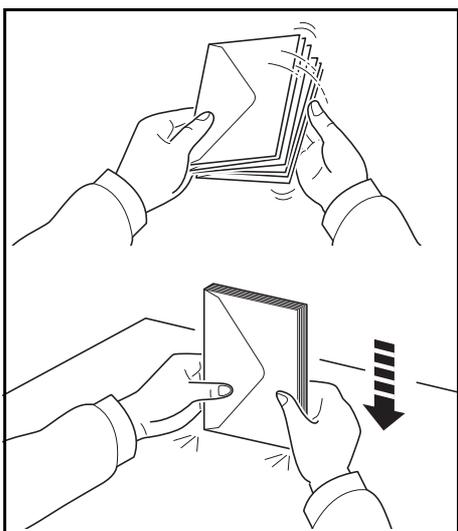
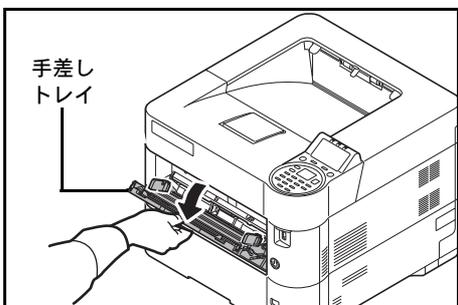
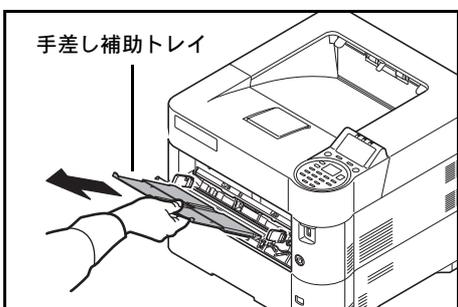
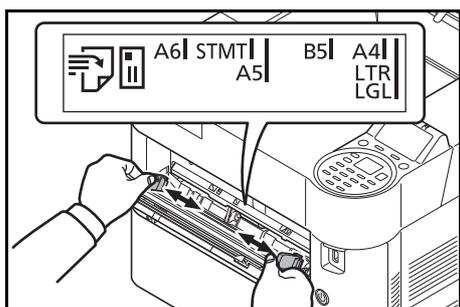
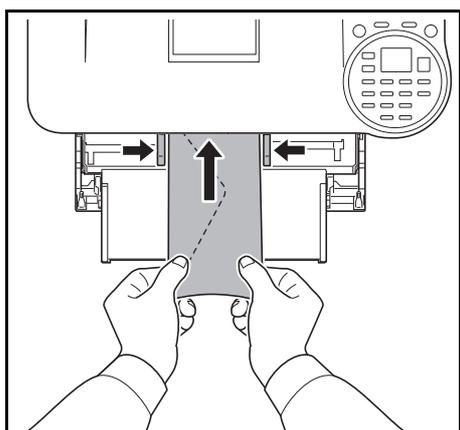
使用できる封筒	サイズ
洋形2号	114 × 162 (mm)
洋形4号	105 × 235 (mm)
Monarch	3 7/8" × 7 1/2"
Envelope #10（Commercial #10）	4 1/8" × 9 1/2"
Envelope DL	110 × 220 (mm)
Envelope C5	162 × 229 (mm)
Executive	7 1/4" × 10 1/2"
Envelope #9（Commercial #9）	3 7/8" × 8 7/8"
Envelope #6（Commercial #6 3/4）	3 5/8" × 6 1/2"

封筒モードの切替（ECOSYS LS-2100DN）

封筒に印刷する場合は、次の手順で封筒モードに切替えてください。

参考：封筒の印刷が終了したら、封筒スイッチを元の位置（下側）に戻してください。

1 後ろカバーを開けてください。

2 封筒に印刷するときは、封筒スイッチを上げてください。

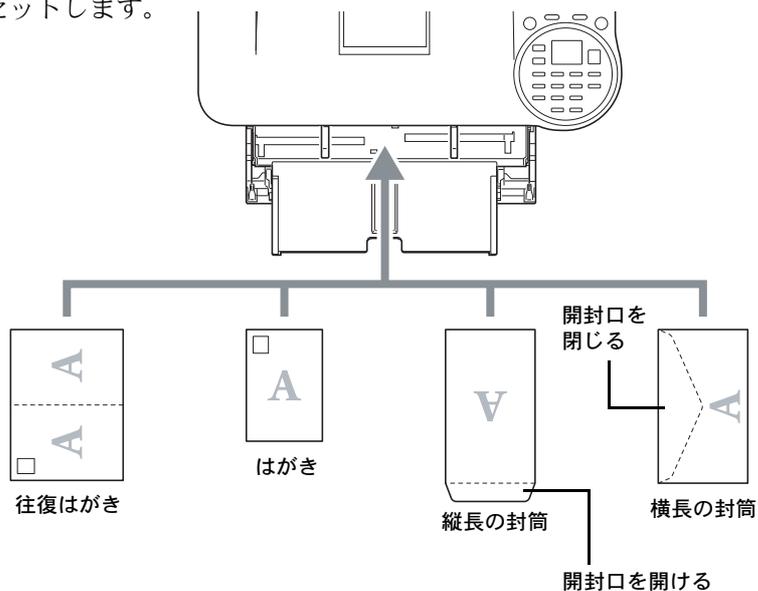
注意：本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

3 後ろカバーを閉めてください。

手差しトレイへの封筒の補給

1 封筒をさばき、平らなところで封筒の端をよく揃えてください。

2 手差しトレイを手前に、止まるところまで開けてください。

3 手差し補助トレイを伸ばしてください。

4 用紙ガイドの位置を調整します。

5 用紙幅ガイドに沿って、封筒を止まる位置まで挿入してください。

6 縦長の封筒の場合、開封口を開けます。印刷面を上にして、開封口が手前側になるようにして、幅ガイドに沿って奥まで挿入してください。

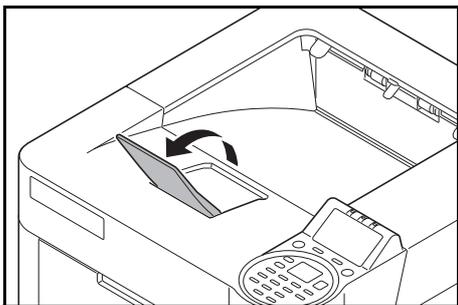
横長の封筒の場合、開封口を閉じます。印刷面を上にして、開封口が左側になるようにして、用紙幅ガイドに沿って奥まで挿入してください。

封筒、はがきをセットするとき

印刷面を上にしてセットします。

参考：往復はがきは折られていないものをセットしてください。

重要：封筒の補給のしかた（向き、裏表）は、封筒の種類によって異なります。正しく補給しないと、異なった方向、異なった面に印刷されることがあります。

参考：手差しトレイに封筒を補給するときは、4-29ページの**「用紙種類」（手差しトレイの用紙の種類の設定）**で封筒の種類を設定してください。

排紙ストッパー

A4/Letter以上の用紙を使用するときは、排紙ストッパーを図のように開いてください。

3　パソコンからの印刷

この章では次の内容について説明します。

パソコンから印刷する

ここでは、文書の基本的な印刷手順について説明します。操作の説明はWindows 7の画面で行います。

パソコンで作成した文書を本機で印刷するには、付属のProduct Libraryディスクを使って、パソコンにプリンタードライバーをインストールする必要があります。

参考：2-8ページの**ソフトウェアのインストール**を参照してください。

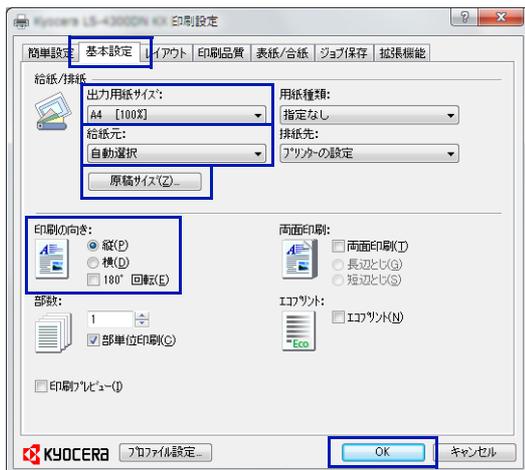
次の手順で、アプリケーションソフトで作成した文書を印刷できます。

1 アプリケーションソフトを使って、文書を作成してください。

2 **ファイル**をクリックし、**印刷**を選んでください。**印刷**ダイアログボックスが表示されます。

3 名前の▼ボタンをクリックし、リストから本機を選んでください。

4 印刷部数を入力してください。999 部まで入力できます。

文書が複数ページのときは、部単位印刷を選択すると、ページ番号順に一部ずつ印刷できます。

5 **プロパティ**ボタンをクリックしてください。**プロパティ**ダイアログボックスが表示されます。

6 **基本設定**タブを選択し、**出力用紙サイズ**を選択してください。

厚紙のような特殊紙に印刷するときは、**用紙種類**メニューをクリックし、用紙種類を選択してください。

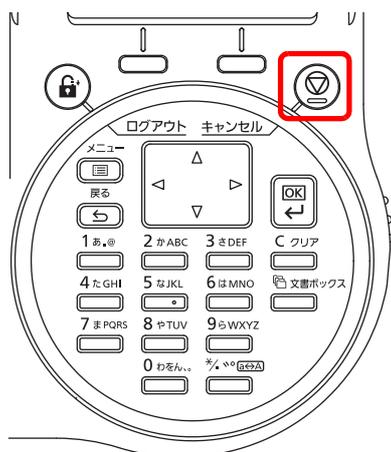
7 **給紙元**をクリックし、給紙元を選択してください。

参考：**自動選択**を選択している場合、最適なサイズと種類の用紙が入っている給紙元から用紙が給紙されます。封筒や厚紙などの特殊紙に印刷するときは、それらを手差しトレイにセットし、**給紙元**から**手差しトレイ**を選択してください。

8 文書の向きに合うように、印刷の向きを**縦**または**横**に設定してください。180° **回転**を選択すると、文書が 180 度回転します。

9 OK ボタンをクリックして、**印刷**ダイアログボックスに戻ってください。

10 OK ボタンをクリックしてください。印刷を開始します。

印刷ジョブのキャンセル

1 メッセージディスプレイに**「処理中」**が表示されていることを確認して、**[キャンセル]** キーを押します。

「**ジョブ中止リスト**」が表示され、現在のジョブ名が表示されます。

2 [△] または [▽] キーで中止したいジョブ名を選択して、[OK] キーを押してください。メッセージディスプレイに**「ジョブを中止します。よろしいですか？」**が表示され、**[左セレクト]（[はい]）**キーを押すとジョブをキャンセルし、**[右セレクト]（[いいえ]）**キーを押すと操作を中止し印刷を続けます。

ジョブをキャンセルし、**「中止です」**が表示されている場合は、現在印刷中のページが出力された後に印刷を中止します。

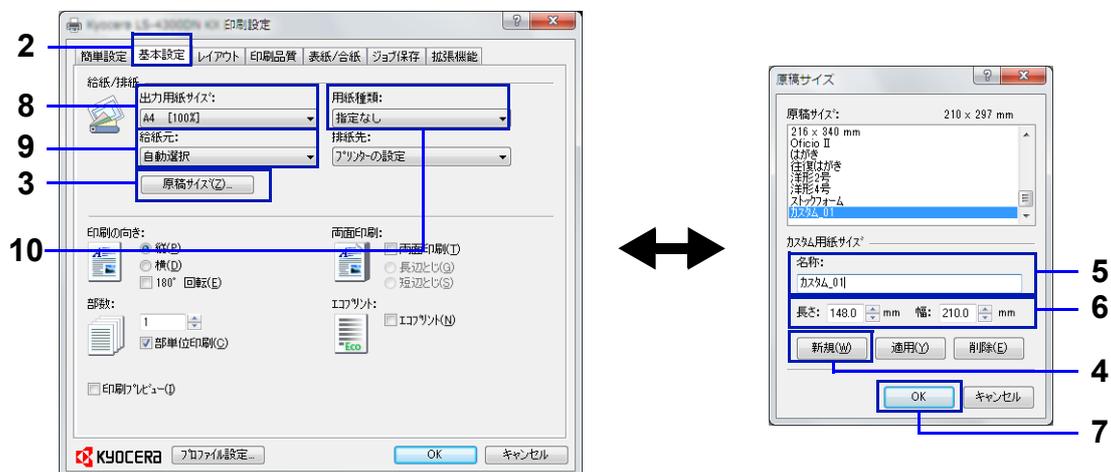
プリンタードライバーの印刷設定画面について

プリンタードライバーの印刷設定画面では、印刷に関するさまざまな設定ができます。詳しくは、Product Libraryディスクの**プリンタードライバー操作手順書**を参照してください。

No.	説明
1	**簡単設定タブ** よく使う機能を簡単に設定できるアイコンが用意されています。アイコンをクリックするごとに印刷結果と同様のイメージに切り替わり、設定が反映されます。 **基本設定タブ** よく使う基本的な機能がまとめられたタブです。用紙のサイズや種類、排紙先、両面印刷の設定ができます。 **レイアウトタブ** ブックレット印刷、ページ集約、ポスター印刷、変倍などさまざまなレイアウトで印刷するための設定ができます。 **印刷品質タブ** 印刷結果の品質やグレースケールの調整が設定ができます。 **表紙/合紙タブ** 印刷ジョブ用に表紙や合紙を作成したり、OHP フィルムの間に合紙を挿入できます。 **ジョブ保存タブ** 印刷データをパソコンから本機に保存するための設定ができます。定期的に使う文書などを本機に保存しておくと簡単に印刷できるので便利です。保存した文書は本機の操作で印刷するため、見られたくない文書を印刷する際などにも便利です。 **拡張機能タブ** 印刷データにテキストページやウォーターマーク（すかし文字）を付加するための設定ができます。
2	**プロファイル設定ボタン** プリンタードライバーの設定内容をプロファイルとして保存できます。保存したプロファイルはいつでも呼び出すことができるので、よく使用する設定を保存しておくと便利です。

原稿サイズの登録

手差しトレイにはがきや封筒をセットしたときは、用紙のサイズと種類を設定したあと、プリンタードライバーの印刷設定画面にある**基本設定**タブで用紙サイズを登録します。

登録したサイズは、**原稿サイズ**メニューから選択できるようになります。

1 印刷設定画面を表示させてください。

2 **基本設定**タブをクリックしてください。

3 **原稿サイズ**ボタンをクリックして登録してください。

4 **新規**ボタンをクリックしてください。

5 名称を入力してください。

6 用紙サイズを入力してください。

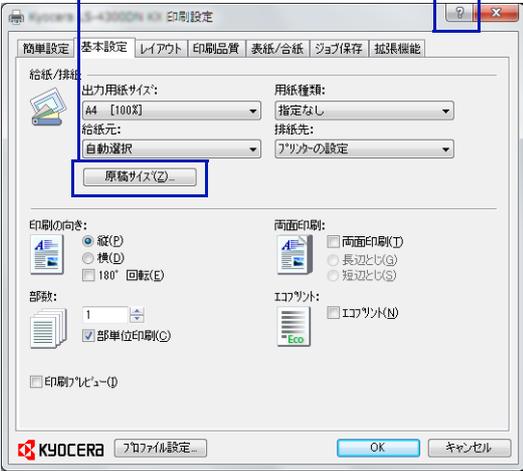
7 OK ボタンをクリックしてください。

8 手順 4 ～ 7 で登録した原稿サイズ（名）を選択します。

9 **手差しトレイ**を選択してください。

10 **はがき**または**封筒**を選択してください。

プリンタードライバーのヘルプの見かた

プリンタードライバーにはヘルプが用意されています。印刷設定項目について知りたいときは、プリンタードライバーの印刷設定画面を表示し、次の方法でヘルプを表示することができます。

1. 設定画面右上の？ボタンをクリックしてください。
2. 知りたい設定項目をクリックしてください。

プリンタードライバーの初期設定値を変更する（Windows 7 の場合）

プリンタードライバーの初期設定値は変更することができます。よく使う機能を設定しておくことで、印刷時の操作を省略することができます。

操作手順は、次のとおりです。

1. **スタート**ボタンをクリックして、**デバイスとプリンター**をクリックしてください。
2. 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックして、プリンタードライバーの**プロパティ**メニューをクリックしてください。
3. **全般**タブの**基本設定**ボタンをクリックしてください。
4. 初期設定値を設定し、OK ボタンを押してください。

   設定項目については、3-3 ページの**プリンタードライバーの印刷設定画面について**を参照してください。

印刷機能

プリンタードライバーで設定する便利な機能について説明します。詳しくは、**プリンタードライバー操作手順書**を参照してください。

半速モードを使用した印刷（プリンタードライバー設定）

半速モードを使用すると、印刷速度を通常の約半分に落として印刷します。選択すると、小さなサイズの用紙や厚紙へ印刷する際に、トナーののりがよくなります。また半速モードを選ぶと厚紙をスムーズに給紙し、紙づまりを軽減することができます。このモードでは印刷中の音を減少できる場合があります。

参考：半速モードは、OHP フィルムと薄紙を除くすべての用紙種類に適用されます。

細線化（プリンタードライバー設定）

細線化は、線を描画する際のペン幅を調整する機能です。アプリケーションソフトで設定された線の太さは変更できません。

設定	説明
オフ(デフォルト設定)	細線化は適用されません。
バーコード	この設定は、縦線と横線のペン幅を調整します。バーコードの読み取りやすさが向上します。
細線のみ	この設定は、縦線、横線、斜線のペン幅を調整します。
すべての線	バーコードや描画に使用する縦線、横線、斜線のペン幅を1ドット減らします。例えば、5ドット→4ドットになります。

参考：PDL 設定ダイアログボックスで、PCL XL が選択されている場合、細線化機能を使用できます。PDL 設定ダイアログボックスで、GDI 互換モードが選択されている場合、細線化機能は使用できません。

デバイスで細線を補正する

デバイス側でのペン幅補正を有効にします。この機能をサポートしている機種だけで使用できます。

ユーザーボックス（オプション機能）

文書ボックス内に作成し、後日再利用するデータを保存するための汎用ボックスです。ユーザーボックス内には、ユーザーがボックスを作成したり削除したりできます。

ユーザーボックスの作成や削除、いろいろなデータの操作を行うことができます。

ユーザーボックスを使用するには、プリンターにオプションの SSD を装着する必要があります。

ユーザーボックスの操作について詳しくは、5-4 ページの**ユーザーボックス**を参照してください。

ジョブボックス（オプション機能）

後に説明するプライベートプリント / ジョブ保留ボックス、クイックコピー / 試し刷り後保留ボックスを使用してデータを一時的にまたは恒久的に保存します。これらのジョブオプションと同じ４つのジョブボックスは文書ボックスにあります。これらのボックスを削除したり、新たなボックスを作成したりすることはできません。

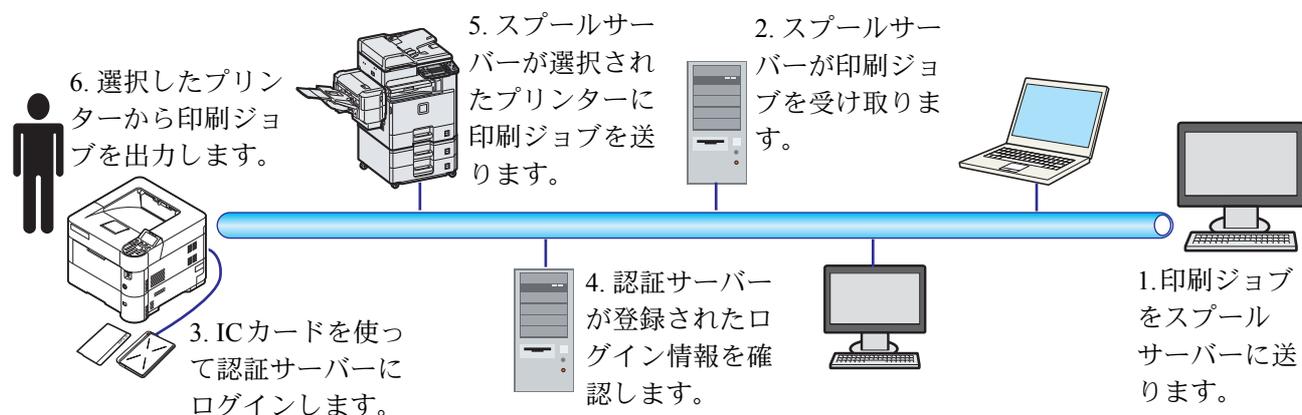
ジョブボックスの操作について詳しくは、5-27ページの**ジョブボックス**を参照してください。

ThinPrintの有効化（オプション機能）

本プリンターは、ThinPrintを使って通信することができます。

詳しい操作方法は、4-153ページの**「オプション機能」（オプション機能）**を参照してください。

セキュアプルプリント（オプション機能）

セキュアプルプリントとは、ユーザーが選択したプリンターに印刷ジョブを送り、プリンターを操作することで印刷する機能です。この機能を使用するには、次のような環境が必要になります。

認証サーバー：KYOCERA Net Policy Manager（オプションソフトウェア）をインストールする必要があります。

ICカードおよびICカードリーダー：ユーザーの登録および認証を行います。

スプールサーバー：ユーザーの操作により、印刷ジョブを選択したプリンターに送ります。

詳しくは、お買い上げの販売店またはサービス担当者に連絡してください。

4　操作パネル

この章では次の内容について説明します。

メッセージディスプレイ

メッセージディスプレイには、プリンターの各種動作状態を示すメッセージが表示されます。

ステータス情報

メッセージ表示	意味
お待ちください。	プリンターはウォーミングアップ中です。印刷はできません。最初にプリンターの電源を入れた際は、このメッセージがしばらく表示されます。
印刷できます。 カセット準備中です。	給紙カセット内の用紙を給紙可能な位置に移動しています。給紙カセットに用紙を補給した後に、このメッセージがしばらく表示されることがあります。 **参考**：このメッセージは、ECOSYS LS-2100DN では表示されません。
お待ちください。 ﾄﾅｰ補給中です。	トナーの補給中です。写真など多くのトナーを消費するデータを連続して印刷すると、このメッセージが表示されることがあります。
印刷できます。	印刷できます。
処理中	プリンターは印刷中か、データ処理中です。または、SD/SDHC メモリーカード、USB メモリー、SSD や RAM ディスクのデータを読み込んでいます。
中止中です。	印刷データをキャンセルしています。印刷データのキャンセルの方法は、4-4 ページの**キー**を参照してください。

エラーコード

メッセージディスプレイには、障害が発生した場合のエラーコードも表示されます。エラーコードについては、8-5 ページの**エラーメッセージ**を参照してください。

メッセージディスプレイ内の表示

インジケーターの表示

インジケーターとその意味を説明します。

表示	説明
印刷可	**点滅：** 解除可能なエラーが発生しています。8-1ページの**困ったときは**を参照してエラーの処理をしてください。または、プリンターはスリープモードです。プリンターは印刷ジョブを受信するとオートスリープから復帰します。オートスリープについては、4-108ページの**「スリープ時間」（スリープ時間の設定）**を参照ください。 **点灯：** プリンターはオンライン状態です。受信した印刷データは印刷されます。 **消灯：** 印刷の手動停止、または障害発生による自動停止によってプリンターはオフライン状態です。印刷データの受信は可能です。障害発生時による自動停止の場合は、8-5ページの**エラーメッセージ**を参照してください。
データ	**点滅：** プリンターは印刷データを受信しています。 **点灯：** 印刷処理中、またはオプションのSSDやSD/SDHCメモリーカードにアクセス中です。
アテンション	**点滅：** **「お待ちください。」**が表示されている場合、プリンターは準備中です。 その他は、給紙カセット内の用紙が無いなどの理由で印刷できません。メッセージディスプレイの表示を確認して必要な処理を行ってください。詳しくは、8-5ページの**エラーメッセージ**を参照してください。 **点灯：** エラーが発生して印刷できません。メッセージディスプレイの表示を確認して必要な処置を行ってください。詳しくは、8-5ページの**エラーメッセージ**を参照してください。

キー

各キーの機能は次のとおりです。複数の機能を持っています。

キャンセルキー

- 実行中の印刷を中止します。
- ブザーが鳴ったときに、ブザーを止めます。

印刷の中止のしかた

1. メッセージディスプレイに**「処理中」**が表示されていることを確認して、［**キャンセル**］キーを押します。

   「ジョブ中止リスト」が表示され、現在のジョブ名が表示されます。

2. ［△］または［▽］キーで中止したいジョブ名を選択して、［OK］キーを押してください。メッセージディスプレイに**「ジョブを中止します。よろしいですか？」**が表示され、［**左セレクト**］（［**はい**］）キーを押すとジョブをキャンセルし、［**右セレクト**］（［**いいえ**］）キーを押すと操作を中止し印刷を続けます。

   ジョブをキャンセルし、**「中止中です。」**が表示されている場合は、現在印刷中のページが出力された後に印刷を中止します。

ログアウトキー

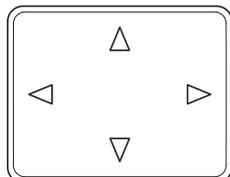
- ユーザー管理を設定しているとき、操作が終われば［**ログアウト**］キーを押してログアウトしてください。

メニューキー

- モード選択メニューからプリンターの初期設定を変更するときや設定を終了するときに押します。

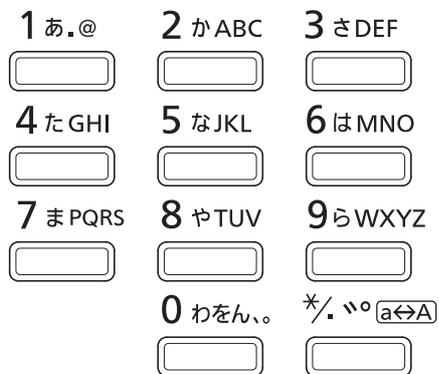
戻るキー

- 表示中のメニューの設定を取り消し、1つ上の階層のメニューに戻ります。

矢印キー

- 目的のメニューを表示させるときや、設定値の変更を行うときに使用します。

OK キー

- モード選択メニューで設定した内容を確定します。

テンキー

- 数字や記号を入力します。

クリアキー

- 文字や数字の入力画面で、入力値を削除します。

文書ボックスキー

文書ボックス

- 文書ボックスを使用するときに押します。詳しくは、5-1ページの**文書ボックス**を参照してください。

［左セレクト］キー・［右セレクト］キー

- メッセージディスプレイにキーのタブが表示されたときのみ機能有効になるキーです。メッセージディスプレイに表示された機能を実行します。

  例：

  下の メニューが表示されている時に［**左セレクト**］（［**はい**］）キーを押すと、選択したファイルを印刷します。［**右セレクト**］（［**いいえ**］）キーを押すと、印刷を中止して1つ上の階層のメニューに戻ります。

印刷します。
よろしいですか？

[　はい　] [　いいえ　]

- 紙づまりなどが発生したときにこれらのキーを押すと、メッセージディスプレイにオンラインヘルプメッセージを表示します。オンラインヘルプを中止するときは、もう一度押します。

モード選択メニューの使いかた

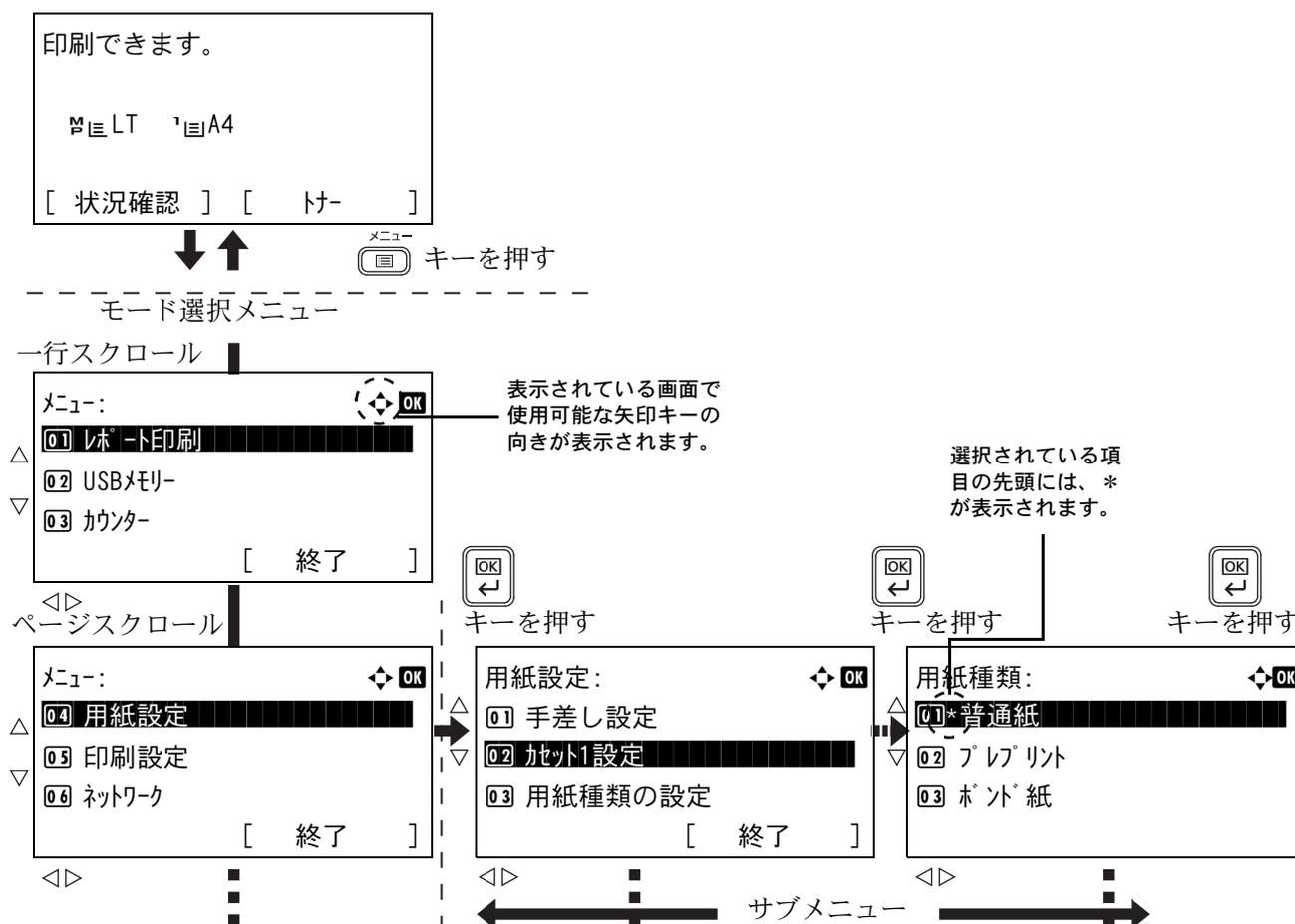
モード選択メニュー

ここでは、モード選択メニューについて説明します。

操作パネルの［**メニュー**］キーを使って、印刷ページ数やエミュレーションなどプリンターの環境を設定、変更できます。各設定はプリンターのメッセージディスプレイが「**印刷できます。**」、「**お待ちください。**」、「**処理中**」表示のときに行えます。

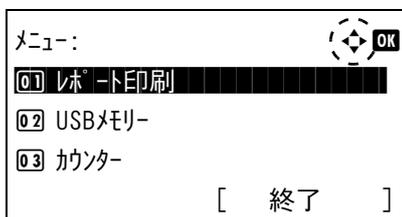
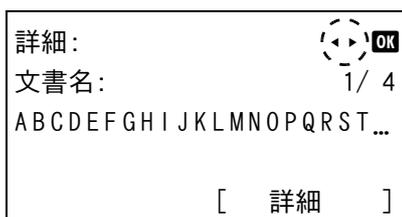
参考：操作パネルの設定よりも、アプリケーションソフトやプリンタードライバーでの設定が優先されます。

モード選択メニューへの入りかた

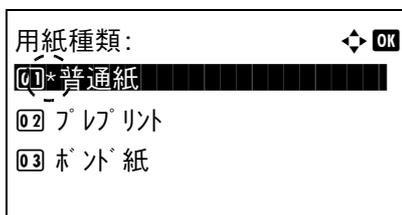
プリンターが「**印刷できます。**」表示状態のときに［**メニュー**］キーを押してください。

モード選択メニューが表示されます。

参考：「**USB メモリー**」は、USB メモリー装着時にのみ表示されます。

メニューの選択

モード選択メニューは階層構造（ツリー構造）をしています。[△] / [▽] キー、または [◁] / [▷] キーを押して、目的のメニューを表示させます。

- 画面右上に「✥」が表示されているときは、[△] / [▽] キーで選択項目が 1 行ずつ移動し、[◁] / [▷] キーで選択項目がページ単位に移動します。

- 画面右上に「◂▸」が表示されているときは、[◁] / [▷] キーで表示するページが切り替わります。

1つ上の階層のメニューに戻るときは、[戻る] キーを押してください。

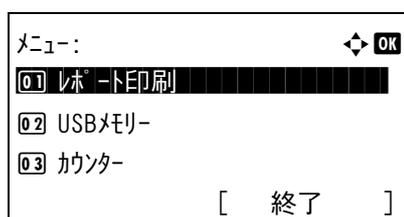
メニューの設定

目的のメニューを選択してから [OK] キーを押してください。そのメニューの設定操作に入りますので、[△] / [▽] キー、または [◁] / [▷] キーを押して希望の設定値を選択 / 入力し、[OK] キーを押して確定してください。

現在選択されている設定値は、先頭に＊が表示されています。

メニュー操作の中断

メニュー操作中に [メニュー] キーを押すと、「印刷できます。」表示状態に戻ります。

モード選択メニューの設定方法

ここではモード選択メニューから行う設定手順について、各メニューごとに説明します。

1 「**印刷できます。**」、「**お待ちください。**」、「**処理中**」と表示されているときに［**メニュー**］キーを押すと、モード選択メニューが表示されます。

2 ［△］または［▽］キーを押すと、次のモード選択メニューが循環して表示されます。

- **レポート印刷** ...4-10
- **USB メモリー** ...4-17
- **カウンター** ...4-27
- **用紙設定** ...4-28
- **印刷設定** ...4-43
- **ネットワーク** ...4-67
- **オプションネットワーク** ...4-76
- **共通設定** ...4-91
- **セキュリティー** ...4-115
- **ユーザー / 部門管理** ...4-130
- **調整 / メンテナンス** ...4-151
- **オプション機能** ...4-153

参考：「**オプションネットワーク**」はオプションのネットワークインターフェイスキット（IB-50）またはワイヤレスインターフェイスキット（IB-51）を装着しているときのみ表示されます。

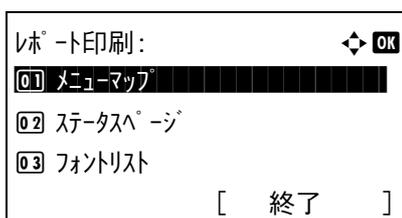
「レポート印刷」（レポート印刷）

レポートの印刷をします。レポート印刷には次の項目があります。

- 「メニューマップ」（メニューマップの印刷）...4-10
- 「ステータスページ」（ステータスページの印刷）...4-12
- 「フォントリスト」（フォントサンプルの印刷）...4-14
- 「RAMファイルリスト」（RAMディスクファイルリストの印刷）...4-15
- 「SSDファイルリスト」（SSDファイルリストの印刷）...4-15
- 「メモリーカードファイルリスト」（SD/SDHCメモリーカードファイルリストの印刷）...4-16

1［**メニュー**］キーを押してください。

2［△］または［▽］キーを押して、「**レポート印刷**」を選択してください。

3「**レポート印刷**」メニューが表示され、印刷できるレポートの種類が一覧表示されます。レポートの種類は、オプションの機器の装着状態によって内容が変わります。

「メニューマップ」（メニューマップの印刷）

モード選択メニューで表示されるすべてのメニューを印刷します。

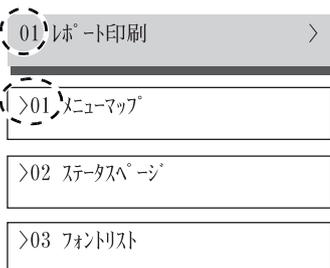
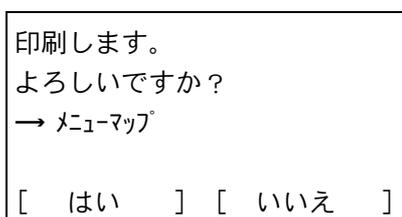
1「**レポート印刷**」メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「**メニューマップ**」を選択してください。

2［OK］キーを押してください。確認メッセージが表示されます。

参考：部門管理を設定し、ユーザー管理を設定していない場合は、部門管理の入力画面が表示されます。部門コードを入力して［OK］キーを押してください。

印刷します。
よろしいですか？
→ ﾒﾆｭｰﾏｯﾌﾟ
[はい] [いいえ]

3［**はい**］（［**左セレクト**］）キーを押してください。「**受け付けました。**」が表示され、メニューマップを印刷します。

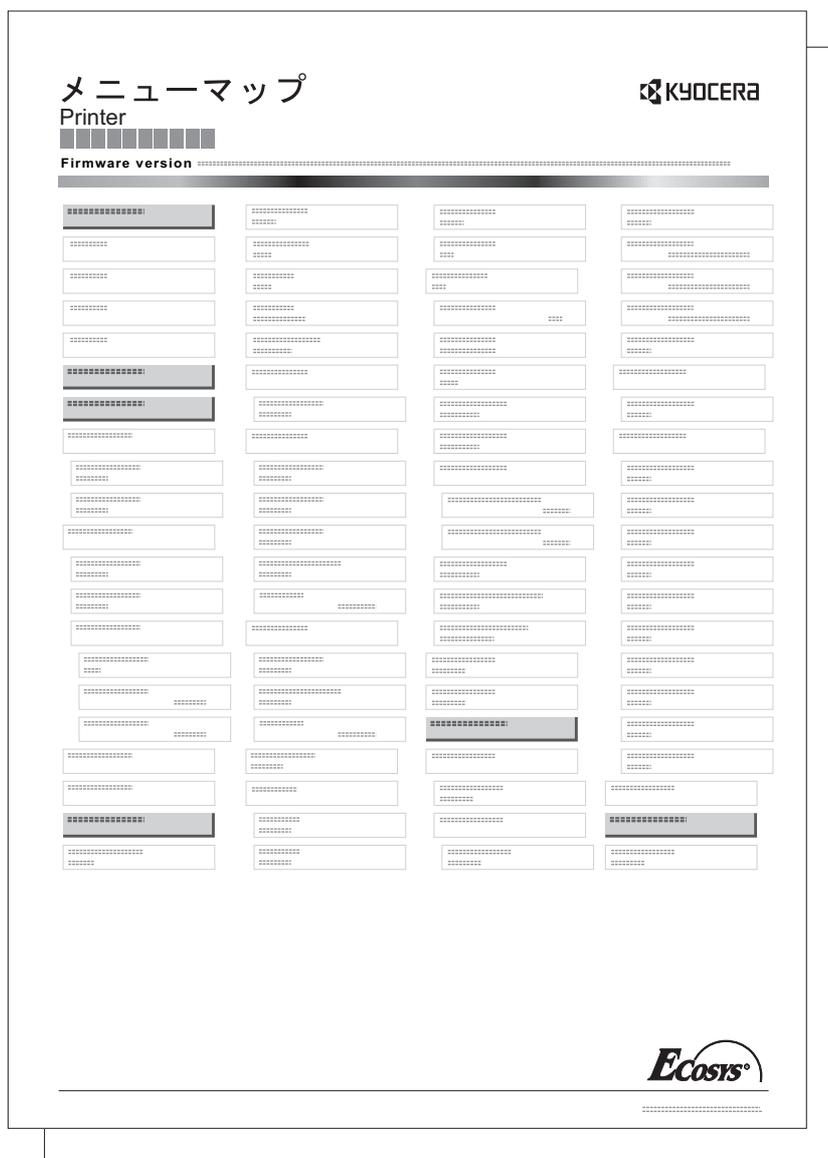
［**いいえ**］（［**右セレクト**］）キーを押すと、レポートの印刷は行わずレポート印刷メニューに戻ります。

参考：出力したメニューマップにはメニュー番号が印刷されています。テンキーでメニュー番号を入力して目的の設定を表示させることができます。

例：メニューマップの印刷メニューを表示させる

1［**メニュー**］キーを押してください。

2 テンキーの［1］キーを押してください。「**レポート印刷**」メニューが表示されます。

3 テンキーの［1］キーを押してください。確認メッセージが表示されます。

メニューマップサンプル

「ステータスページ」（ステータスページの印刷）

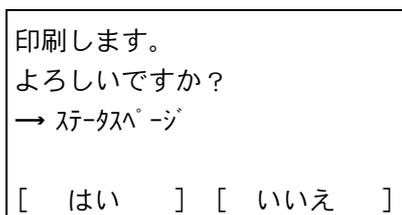
ステータスページを印刷して、プリンターの現在の設定状況、装着しているオプション機器などの情報を確認できます。

1 **「レポート印刷」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「ステータスページ」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。確認メッセージが表示されます。

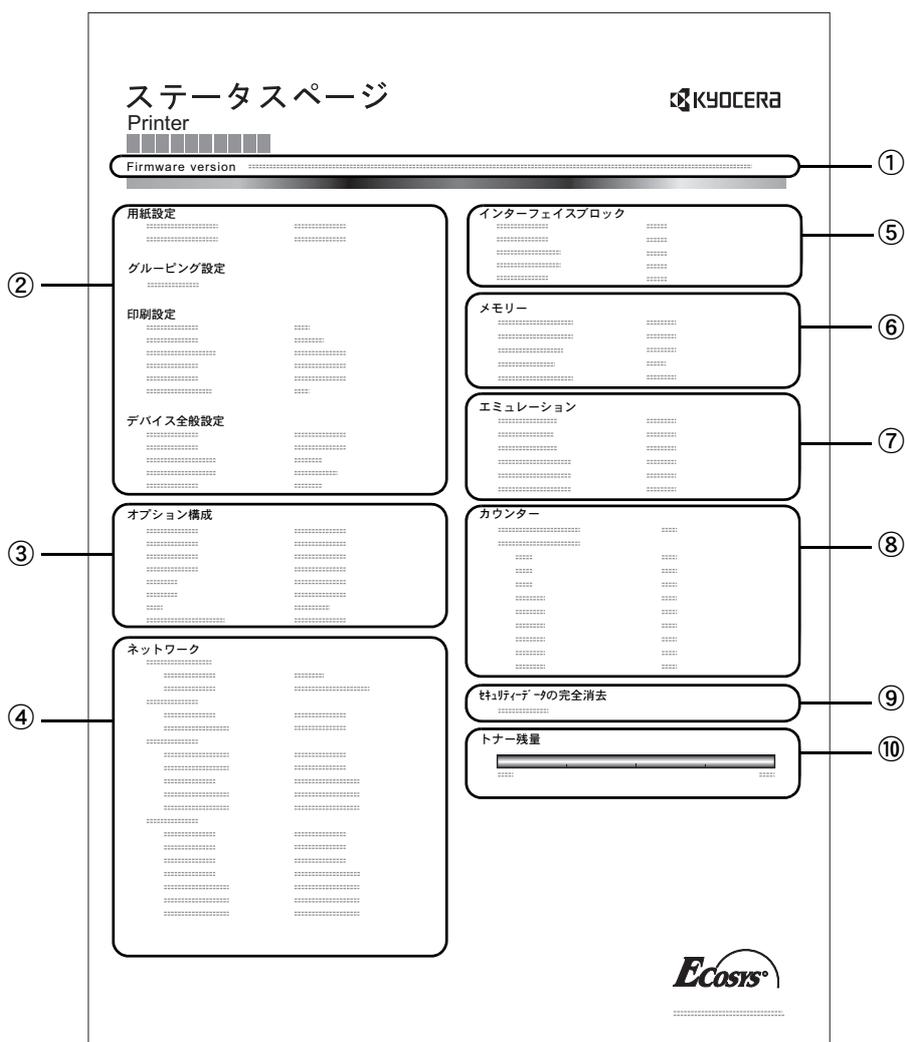
参考：部門管理を設定し、ユーザー管理を設定していない場合は、部門管理の入力画面が表示されます。部門コードを入力して［OK］キーを押してください。

```
印刷します。
よろしいですか？
⟶ ｽﾃｰﾀｽﾍﾟｰｼﾞ

[　はい　] [　いいえ　]
```

3 **[はい]**（**[左セレクト]**）キーを押してください。**「受け付けました。」**が表示され、ステータスページを印刷します。

[いいえ]（**[右セレクト]**）キーを押すと、ステータスページの印刷は行わず**「レポート印刷」**メニューに戻ります。

ステータスページの内容

次はステータスページの印刷例です。各項目については次ページに説明があります。プリンターのファームウェアのバージョンにより、ステータスページに印刷される項目や値が異なる場合があります。

① **ファームウェア（Firmware Version）**

ファームウェアのバージョンと発行日です。

② **プリンター設定状況（用紙設定、グルーピング設定、印刷設定、デバイス全般設定）**

カセットにセットされている用紙サイズと用紙種類、プリンターの主な設定項目についての情報を表示します。

③ **装着オプション（オプション構成）**

プリンターに装着されている、オプション機器の状態を表示します。

④ **ネットワークステータス（ネットワーク）**

ネットワーク関係の設定状態を表示します。TCP/IP 欄には、IP アドレス、サブネットマスクアドレス、デフォルトゲートウェイアドレスを表示します。

⑤ **インターフェイス（インターフェイスブロック）**

USB メモリースロットや、USB インターフェイスのブロック状況を表示します。ネットワークインターフェイス（NIC）接続時は、オプションインターフェイスのブロック状況も表示されます。

⑥ **メモリー使用状況（メモリー）**

プリンターに装着されている総メモリー、および現在の RAM ディスクの状態が表示されます。

⑦ **エミュレーション（エミュレーション）**

現在設定されているエミュレーションに関する情報が表示されます。出荷時には PCL 6 エミュレーションに設定されています。

⑧ **ページ情報（カウンター）**

カウンター情報が表示されます。総印刷ページ数、用紙サイズ毎の印刷ページ数が表示されます。

⑨ **セキュリティーデータ消去（セキュリティーデータの完全消去）**

セキュリティーデータ消去の実行状態が表示されます。

⑩ **消耗品（トナー残量）**

トナーコンテナの、およそのトナー残量を表示します。
100 から 0 に近づくほどトナーの残量が少なくなります。

「フォントリスト」（フォントサンプルの印刷）

フォント選択の目安となる標準フォントとオプションフォントのリストを印刷します。

1 **「レポート印刷」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「フォントリスト」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。確認メッセージが表示されます。

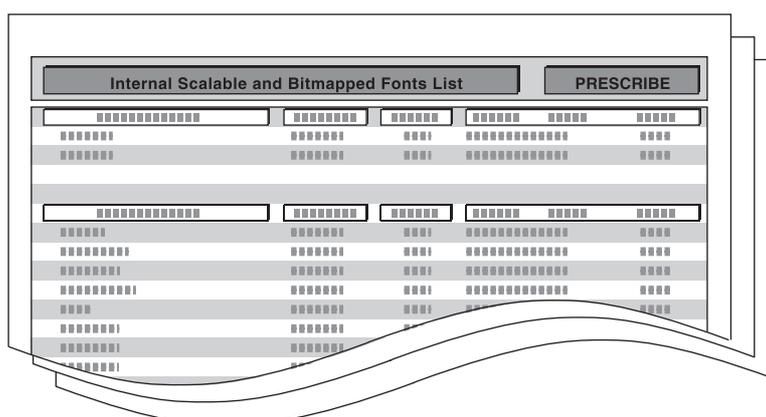
参考：部門管理を設定し、ユーザー管理を設定していない場合は、部門管理の入力画面が表示されます。部門コードを入力して［OK］キーを押してください。

```
印刷します。
よろしいですか？
→ ﾌｫﾝﾄﾘｽﾄ

[  はい  ] [  いいえ  ]
```

3 **［はい］（［左セレクト］）**キーを押してください。**「受け付けました。」**が表示され、フォントサンプルを印刷します。

［いいえ］（［右セレクト］）キーを押すと、フォントサンプルの印刷は行わず**「レポート印刷」**メニューに戻ります。

フォントリストサンプル

「RAM ファイルリスト」（RAM ディスクファイルリストの印刷）

RAMディスク内にあるファイルのリストを印刷できます。

重要：RAMディスクモードが**「設定する」**のとき表示されます。

1 **「レポート印刷」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「RAM ファイルリスト」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。確認メッセージが表示されます。

参考：部門管理を設定し、ユーザー管理を設定していない場合は、部門管理の入力画面が表示されます。部門コードを入力して［OK］キーを押してください。

印刷します。
よろしいですか？
→ RAMﾌｧｲﾙﾘｽﾄ

[　はい　] [　いいえ　]

3 **［はい］（［左セレクト］）**キーを押してください。**「受け付けました。」**が表示され、RAM ディスクファイルリストを印刷します。

［いいえ］（［右セレクト］）キーを押すと、RAM ディスクファイルリストの印刷は行わず**「レポート印刷」**メニューに戻ります。

「SSD ファイルリスト」（SSD ファイルリストの印刷）

SSD内にあるファイルのリストを印刷できます。

重要：オプションのSSD（HD-6）が装着され、正しくフォーマットされている場合のみ表示されます。

1 **「レポート印刷」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「SSD ファイルリスト」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。確認メッセージが表示されます。

参考：部門管理を設定し、ユーザー管理を設定していない場合は、部門管理の入力画面が表示されます。部門コードを入力して［OK］キーを押してください。

3 **[はい]（[左セレクト]）**キーを押してください。**「受け付けました。」**が表示され、SSD ファイルリストを印刷します。

[いいえ]（[右セレクト]）キーを押すと、SSD ファイルリストの印刷は行わず**「レポート印刷」**メニューに戻ります。

「メモリーカードファイルリスト」（SD/SDHC メモリーカードファイルリストの印刷）

SD/SDHC メモリーカード内にあるファイルのリストを印刷できます。

重要：SD/SDHC メモリーカードが装着され、正しくフォーマットされている場合のみ表示されます。

1 **「レポート印刷」**メニューで、[△] または [▽] キーを押して、**「SD カードファイルリスト」**を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。確認メッセージが表示されます。

参考：部門管理を設定し、ユーザー管理を設定していない場合は、部門管理の入力画面が表示されます。部門コードを入力して [OK] キーを押してください。

印刷します。
よろしいですか？
→ SDｶｰﾄﾞﾌｧｲﾙﾘｽﾄ
[　はい　] [　いいえ　]

3 **[はい]（[左セレクト]）**キーを押してください。**「受け付けました。」**が表示され、SD カードファイルリストを印刷します。

[いいえ]（[右セレクト]）キーを押すと、SD カードファイルリストの印刷は行わず**「レポート印刷」**メニューに戻ります。

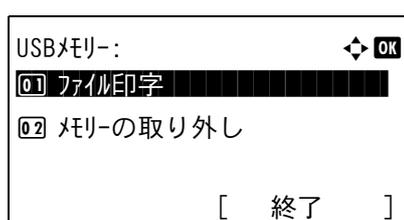
「USB メモリー」（USB メモリーの選択）

USB メモリーの取り外しやメモリー内の印刷設定をします。

USB メモリーを装着すると、「USB メモリー」メニューが自動的に表示されます。

重要：このメニューは、USB メモリースロットのブロック設定が「**ブロックしない**」に設定されている場合のみ表示されます。詳しくは、4-123 ページの「**I/F ブロック設定**」（**外部機器ブロックの設定**）を参照してください。

USB メモリーの選択には次の項目があります。

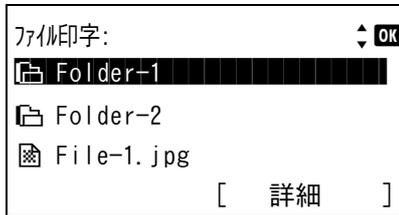
1. ［メニュー］キーを押してください。
2. ［△］または［▽］キーを押して、「USB メモリー」を選択してください。
3. ［OK］キーを押してください。「USB メモリー」メニューが表示され、操作項目の一覧が表示されます。

「ファイル印字」（USB メモリー内ファイルの確認と印刷）

USB メモリー内にあるフォルダー、ファイルを一覧表示します。

一覧から 1 つのファイルを選択し、印刷することができます。

一覧から 1 つのフォルダーまたはファイルを選択し、そのフォルダー（またはファイル）の詳細情報を確認することができます。

ファイル印字メニューには次の項目があります。

ファイルの一覧表示

1 「**USB メモリー**」メニューで、[△] または [▽] キーを押して「**ファイル印字**」を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。「**ファイル印字**」が表示され、USB メモリー内のフォルダー、ファイルが一覧表示されます。

フォルダーおよびファイルの数が 4 以上ある場合、[△] または [▽] キーを繰り返して押してください。一覧がスクロールします。

[△] または [▽] キーを押してフォルダーを選択し [OK] キーを押してください。

そのフォルダー内のフォルダー、ファイルが一覧表示されます。

重要：ファイル印字では、USB メモリー内の PDF、TIFF、JPEG、および XPS ファイルのみ表示されます。フォルダーの表示は 3 階層までです。USB メモリーの容量やファイル数によっては、一覧表示に時間がかかる場合があります。

USB メモリーファイルの印刷

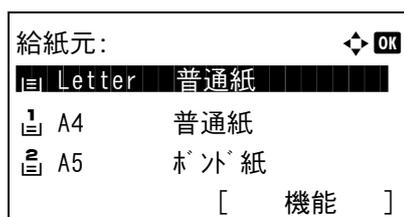
USB メモリー内のファイルを選択して印刷します。

1 上記「**ファイルの一覧表示**」の手順で、印刷したいファイルが保存されている階層のファイルを一覧表示させてください。

2 [△] または [▽] キーを押し、印刷したいファイルを選択してください。

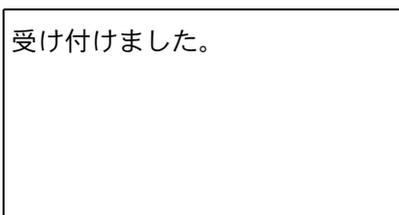
3 [OK] キーを押してください。「**部数**」メニューが表示されます。

参考：部門管理を設定し、ユーザー管理を設定していない場合は、部門管理の入力画面が表示されます。部門コードを入力して [OK] キーを押してください。

4 2 部以上印刷したい場合は、テンキーまたは、[△] / [▽] キーを使って印刷したい部数を設定してください。

5 [OK] キーを押してください。**「給紙元」**メニューが表示されます。

参考：[**機能**]（[**右セレクト**]）キーを押して、印刷設定を変更することができます。詳しくは、4-19 ページの**印刷機能設定**を参照してください。

6 [△] または [▽] キーを押し、印刷したい用紙を選択してください。

7 [OK] キーを押してください。**「受け付けました。」**が表示され、選択したファイルを印刷します。

印刷機能設定

印刷時に、印刷設定を変更することができます。

設定できる機能は次のとおりです。

- **「両面」（両面印刷の設定）**...4-19
- **「エコプリント」（エコプリントの設定）**...4-20
- **「文書名入力」（文書名の入力）**...4-21
- **「ジョブ終了通知」（ジョブ終了通知の設定）**...4-22
- **「暗号化PDF」（PDF パスワードの入力）**...4-23
- **「TIFF/JPEGサイズ」（TIFF/JPEGデータの出力サイズ調整）**...4-23
- **「XPS印刷範囲設定」（XPS ドキュメントの出力サイズ調整）**...4-24

「両面」（両面印刷の設定）

両面印刷を設定します。詳しくは、4-45 ページの**「両面」（両面印刷の設定）**を参照してください。

1 **「部数」**メニューまたは**「給紙元」**メニューで、[**機能**]（[**右セレクト**]）キーを押してください。**「機能」**メニューが表示されます。

2 [△] または [▽] キーを押して、**「両面」**を選択してください。

3 [OK] キーを押してください。**「両面」**が表示され、両面印刷モードが一覧表示されます。

4 [△] または [▽] キーを押して両面印刷モードを選択してください。

設定しない（初期値）
長辺とじ
短辺とじ
「設定しない」を選択すると両面印刷は行いません。

5 [OK] キーを押してください。選択した両面印刷モードが設定され、**「機能」**メニューに戻ります。

「エコプリント」（エコプリントの設定）

エコプリントモードを設定します。詳しくは、4-56ページの**「エコプリント」（エコプリントの設定）**を参照してください。

1 **「部数」**メニューまたは**「給紙元」**メニューで、**[機能]**（**[右セレクト]**）キーを押してください。**「機能」**メニューが表示されます。

2 [△] または [▽] キーを押して、**「エコプリント」**を選択してください。

3 [OK] キーを押してください。**「エコプリント」**が表示されます。

4 [△] または [▽] キーを押して**「設定する」**または**「設定しない」**を選択してください。

5 [OK] キーを押してください。エコプリントが設定され、**「機能」**メニューに戻ります。

「文書名入力」（文書名の入力）

文書名を入力します。入力した文書名は、ジョブ状況やジョブ履歴のジョブ名に表示されます。

1 「**部数**」メニューまたは「**給紙元**」メニューで、［**機能**］（［**右セレクト**］）キーを押してください。「**機能**」メニューが表示されます。

2 ［△］または［▽］キーを押して、「**文書名入力**」を選択してください。

3 ［OK］キーを押してください。「**文書名入力**」が表示されます。

4 テンキーで文書名を入力してください。

参考：文字数は最大 32 文字まで入力できます。文字の入力方法については、付録 -2 ページの**文字の入力方法**を参照してください。

5 ［OK］キーを押してください。「**付加情報**」が表示されます。

6 ［△］または［▽］キーを押して、文書名に付加する情報を選択できます。

選択できる設定は次のとおりです。

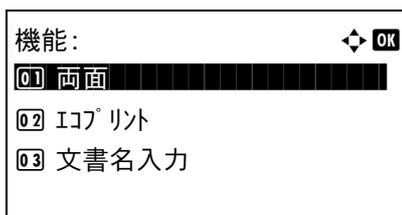
「**なし**」（追加情報を追加しません。）
「**日付**」（日付を追加します。）
「**ジョブ番号**」（ジョブ番号を追加します。）
「**ジョブ番号 + 日付**」（ジョブ番号 + 日付を追加します。）
「**日付 + ジョブ番号**」（日付 + ジョブ番号を追加します。）

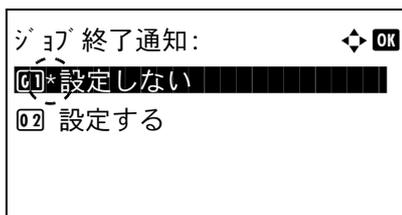
7 ［OK］キーを押してください。文書名が登録され、「**機能**」メニューに戻ります。

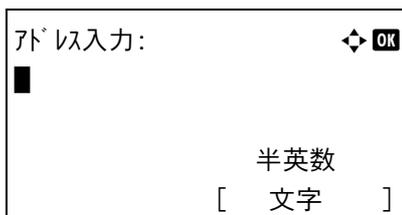
「ジョブ終了通知」（ジョブ終了通知の設定）

ジョブの終了をメールで通知します。

参考：本機でメールを送信するには、「SMTP」と「POP3」の設定を**「設定する」**に設定してください。詳しくは、4-74ページの**「プロトコル詳細」（ネットワークプロトコルの詳細設定）**を参照してください。

メールサーバーを登録する必要があります。サーバーの設定方法は、2-18ページのCommand Center RXの**設定**を参照してください。

---

1 「**部数**」メニューまたは「**給紙元**」メニューで、[**機能**]（[**右セレクト**]）キーを押してください。「**機能**」メニューが表示されます。

2 ［△］または［▽］キーを押して、「**ジョブ終了通知**」を選択してください。

3 ［OK］キーを押してください。「**ジョブ終了通知**」が表示されます。

4 ［△］または［▽］キーを押して「**設定する**」を選択してください。

5 ［OK］キーを押してください。「**アドレス入力**」が表示されます。

6 通知するアドレスを入力してください。

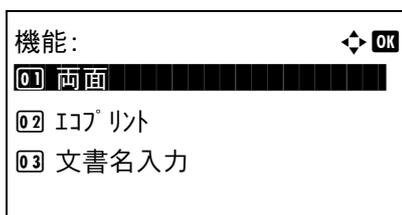
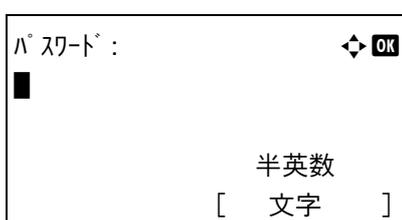
参考：文字数は最大128文字まで入力できます。文字の入力方法については、付録-2ページの**文字の入力方法**を参照してください。

ユーザー管理を設定している場合、ログインユーザーのアドレスが入力されています。

---

7 ［OK］キーを押してください。アドレスが登録され、「**機能**」メニューに戻ります。

「暗号化 PDF」（PDF パスワードの入力）

PDFファイルのパスワードを入力することができます。

1 **「部数」**メニューまたは**「給紙元」**メニューで、**［機能］**（**［右セレクト］**）キーを押してください。**「機能」**メニューが表示されます。

2 ［△］または［▽］キーを押して、**「暗号化 PDF」**を選択してください。

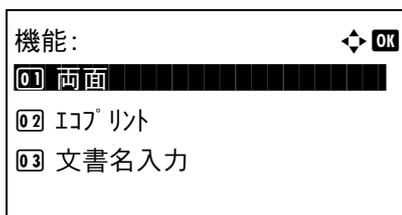
3 ［OK］キーを押してください。**「パスワード」**入力画面が表示されます。

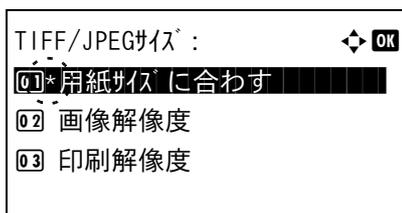
4 PDF ファイルのパスワードを入力してください。

参考：文字数は最大 256 文字まで入力できます。文字の入力方法については、付録 -2 ページの**文字の入力方法**を参照してください。

5 ［OK］キーを押してください。パスワードが登録され、**「機能」**メニューに戻ります。

「TIFF/JPEG サイズ」（TIFF/JPEG データの出力サイズ調整）

TIFF/JPEGデータを直接出力するときの出力方法を選択します。

1 **「部数」**メニューまたは**「給紙元」**メニューで、**［機能］**（**［右セレクト］**）キーを押してください。**「機能」**メニューが表示されます。

2 ［△］または［▽］キーを押して、**「TIFF/JPEG サイズ」**を選択してください。

3 ［OK］キーを押してください。**「TIFF/JPEG サイズ」**が表示されます。

使用できる出力方法には次の項目があります。

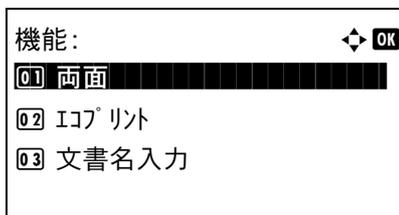
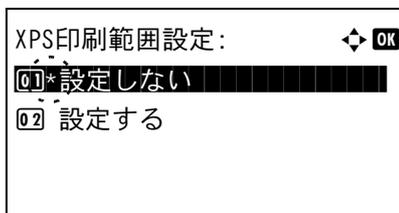
- **「用紙サイズに合わす」**（初期値）
  画像サイズが用紙サイズ一杯になるように、拡大または縮小されて出力されます。
- **「画像解像度」**
  画像データの解像度情報を参照して出力されます。解像度情報が無いときは、**「用紙サイズに合わす」**選択時と同様に出力されます。
- **「印刷解像度」**
  画像データの 1 dot を印刷データの 1 dot として出力します。例えばプリンターが 600 dpi で印刷する場合、600 dot の画像は 1 インチ（25.4 mm）の大きさで出力されます。

4 ［△］または［▽］キーを押して、出力方法を選択してください。

5 ［OK］キーを押してください。選択した出力方法が設定され、**「機能」**メニューに戻ります。

参考：出力される画像は、画像データと出力用紙の縦横比がより近くなる向きに、自動的に回転して出力されます。

「XPS 印刷範囲設定」（XPS ドキュメントの出力サイズ調整）

この設定を**「設定する」**にすると、XPS ドキュメントを、印刷領域に合わせたサイズに拡大または縮小して印刷します。

1 **「部数」**メニューまたは**「給紙元」**メニューで、**［機能］**（**［右セレクト］**）キーを押してください。**「機能」**メニューが表示されます。

2 ［△］または［▽］キーを押して、**「XPS 印刷範囲設定」**を選択してください。

3 ［OK］キーを押してください。**「XPS 印刷範囲設定」**が表示されます。

4 ［△］または［▽］キーを押して、**「設定する」**または**「設定しない」**を選択してください。

5 ［OK］キーを押してください。選択したモードが設定され、**「機能」**メニューに戻ります。

詳細（USB メモリーファイルの詳細情報の確認）

USB メモリー内のフォルダー、ファイルの情報を確認します。

1 4-18 ページの**ファイルの一覧表示**の手順で、確認したいフォルダーまたはファイルを一覧表示させてください。

2 ［△］または［▽］キーを押し、確認したいフォルダーまたはファイルを選択してください。

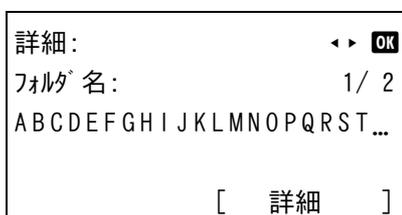
```
詳細:                ◂ ▸ OK
文書名:                 1/ 4
ABCDEFGHIJKLMNOPQRST…

              [  詳細   ]
```

3 ［**詳細**］（［**右セレクト**］）キーを押してください。詳細情報が表示されます。

ファイルを選択した場合、詳細情報は 4 画面あります。［◁］または［▷］キーを押して切り替えてください。

```
詳細:                ◂ ▸ OK
ﾌｫﾙﾀﾞ名:                1/ 2
ABCDEFGHIJKLMNOPQRST…

              [  詳細   ]
```

フォルダーを選択した場合、詳細情報は 2 画面あります。［◁］または［▷］キーを押して切り替えてください。フォルダー名、ファイル名表示の詳細情報で、［OK］キーを押すと、「**ファイル印字**」画面に戻ります。

```
詳細:                ◂ ▸ OK
文書名:                 1/ 4
ABCDEFGHIJKLMNOPQRST…

              [  詳細   ]
```

フォルダー名、ファイル名表示の詳細情報で、フォルダー名またはファイル名が 1 行ですべて表示できない場合、［**詳細**］（［**右セレクト**］）キーを押すと、名称が 3 行表示に切り替わります。名前が 3 行分以上ある場合は、［△］または［▽］キーを押すと、スクロールさせることができます。

```
詳細:                 ▴▾ OK
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTU
VWXYZabcdefghijklmnop
qrstuvwxyz1234567890
```

［OK］キーを 2 回押すと、ファイルの一覧表示画面に戻ります。

「メモリーの取り外し」（USB メモリーの取り外し）

USB メモリーの取り外しを設定します。

1 USB メモリー画面で、［△］または［▽］キーを押して「**メモリーの取り外し**」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。本機から USB メモリーを取り外せる状態になり、モード選択メニューの表示に戻ります。

使用中のため取り外す
ことができません。

重要：左の画面が表示されるときは、USB メモリーは使用中です。USB メモリーを使用した作業（例えば、USB メモリーからの印刷など）が終了してから、再度メモリーの取り外し操作を行ってください。

「カウンター」（カウンター値の確認）

印刷ページ数の表示を行います。カウンターの値は表示のみで、変更はできません。

1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 ［△］または［▽］キーを押して、**「カウンター」**を選択してください。

カウンター：	▲▼ OK
合計	17000
A4	2000
B5	1000

3 ［OK］キーを押してください。印刷の総ページ数および用紙サイズごとの印刷ページ数が表示されます。

［△］または［▽］キーを押すと、他の用紙サイズの印刷ページ数が表示されます。

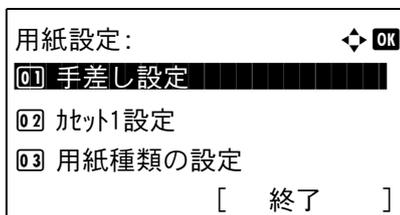
「用紙設定」（用紙の設定）

手差しトレイやカセット、各給紙元の用紙サイズと用紙の種類を設定します。

用紙の設定には次の項目があります。

1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 ［△］または［▽］キーを押して、**「用紙設定」**を選択してください。

3 ［OK］キーを押してください。**「用紙設定」**メニューが表示され、設定項目が一覧表示されます。

「手差し設定」（手差しトレイの設定）

手差しトレイから給紙する用紙に正しく印刷するために、次の手順で用紙サイズ、用紙の種類を設定してください。

参考：本メニューで設定した用紙サイズと同じサイズの用紙を、手差しトレイにセットしてください。設定が一致しないと紙づまりの原因になります。

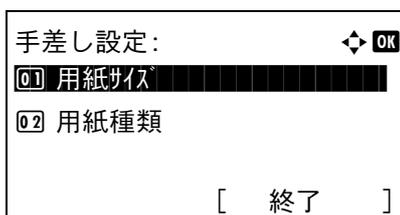
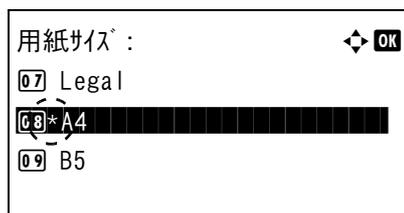
手差し設定には次の項目があります。

「用紙サイズ」（手差しトレイの用紙サイズの設定）

手差しトレイから給紙できる用紙サイズを設定できます。初期値は、A4サイズに設定されています。

手差しトレイで給紙できる用紙サイズについては、付録-23ページの**用紙について**を参照してください。

1 **「用紙設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「手差し設定」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「手差し設定」**メニューが表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、**「用紙サイズ」**を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。**「用紙サイズ」**が表示され、手差しトレイで使用できる用紙サイズが一覧表示されます。表示されるサイズは次のとおりです。

Envelope Monarch
Envelope #10
Envelope DL
Envelope C5
Executive
Letter
Legal
A4
B5
A5
A6
B6
Envelope #9
Envelope #6
ISO B5
カスタム
はがき
往復はがき
Oficio II
216×340mm
16K
Statement
Folio
洋形２号
洋形４号

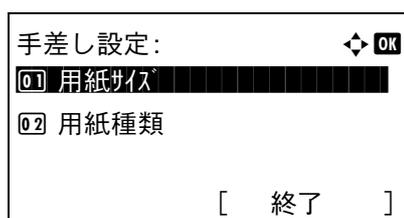
5 ［△］または［▽］キーを押して希望する用紙サイズを選択してください。

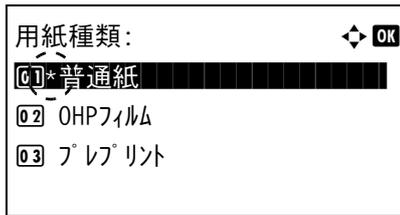
6 ［OK］キーを押してください。手差しトレイの用紙サイズが設定され、**「手差し設定」**メニューに戻ります。

「用紙種類」（手差しトレイの用紙の種類の設定）

手差しトレイから給紙できる用紙種類を設定できます。初期値は、普通紙に設定されています。

手差しトレイで給紙できる用紙種類については、付録-23ページの**用紙について**を参照してください。

1 **「用紙設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「手差し設定」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「手差し設定」**メニューが表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、**「用紙種類」**を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。**「用紙種類」**が表示され、手差しトレイで使用できる用紙の種類が一覧表示されます。表示される種類は次のとおりです。

普通紙
OHP フィルム
プレプリント
ラベル紙
ボンド紙
再生紙
薄紙
レターヘッド
カラー紙
パンチ済み紙
封筒
はがき
厚紙
上質紙
カスタム 1 ～ 8

5 ［△］または［▽］キーを押して設定したい用紙の種類を選択してください。

6 ［OK］キーを押してください。手差しトレイの用紙種類が設定され、**「手差し設定」**メニューに戻ります。

「カセット 1（～ 5）設定」（給紙カセットの設定）

給紙カセットから給紙する用紙に正しく印刷するために、次の手順で用紙サイズ、用紙の種類を設定してください。

用紙サイズの種類に応じてカセットを設定してください。

- **規格紙の用紙の設定**...4-30
- **その他の用紙の設定**...4-32

カセット1（～5）設定には次の項目があります。

- **「用紙種類」（給紙カセットの用紙種類設定）**...4-31
- **「その他用紙」（操作パネルからの用紙サイズの設定）**...4-32
- **「カスタム用紙」（カスタム用紙サイズの設定）**...4-34

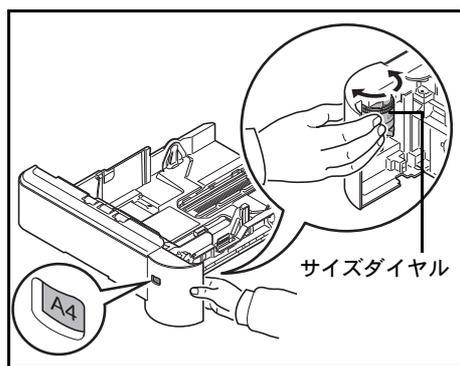
規格紙の用紙の設定

規格紙（A5、A4、B5、Letter、Legal、A6（本体カセット））を使用する場合のカセットの設定手順は次のとおりです。

- **給紙カセットの用紙サイズ設定**...4-30
- **「用紙種類」（給紙カセットの用紙種類設定）**...4-31

給紙カセットの用紙サイズ設定

本機の給紙カセットに用紙をセットする場合は、次の手順で給紙カセットのサイズダイヤルを設定してください。カセット内の用紙ガイドの調整手順は、**2-25ページの用紙の補給**を参照してください。

また、オプションのペーパーフィーダー PF-320 を装着している場合には、ペーパーフィーダーの給紙カセットも同じ手順で設定します。

1 プリンターから給紙カセットを引き出し、サイズダイヤルを使用する用紙のサイズに合わせてください。

2 印刷する用紙のサイズに合わせて、給紙カセット内の用紙幅ガイドと用紙長さガイドを調整し、用紙をカセットにセットしてください。

参考：詳しくは、2-25ページの**カセットへの補給**を参照してください。

「用紙種類」（給紙カセットの用紙種類設定）

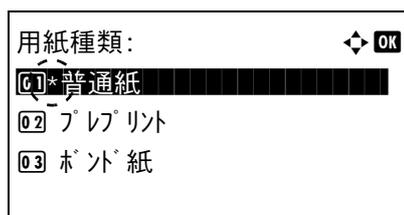
給紙カセットごとに用紙種類を設定すると、印刷時にアプリケーションソフトから指定した用紙種類に合わせて、自動的に給紙カセットが選択されて給紙します。初期値は**「普通紙」**に設定されています。

ペーパーフィーダー PF-320を装着している場合は、ペーパーフィーダーの給紙カセットにも、同様の手順で用紙種類を設定できます。

給紙カセットから給紙できる用紙の種類について、詳しくは付録-23ページの**用紙について**を参照してください。

1 **「用紙設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、設定したい給紙カセットを選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「カセット 1（～ 5）設定」**メニューが表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、**「用紙種類」**を選択してください。

用紙種類：
01 *普通紙
02 ﾌﾟﾚﾌﾟﾘﾝﾄ
03 ﾎﾞﾝﾄﾞ紙

4 ［OK］キーを押してください。**「用紙種類」**が表示され、選択した給紙カセットで使用できる用紙の種類が一覧表示されます。表示される種類は次のとおりです。

普通紙
プレプリント
ボンド紙
再生紙
レターヘッド
カラー紙
パンチ済み紙
封筒（#1）

上質紙
カスタム 1 ～ 8

#1　オプションのペーパーフィーダー PF-320 装着時のみ

5 ［△］または［▽］キーを押して設定したい用紙の種類を選択してください。

6 ［OK］キーを押してください。選択した給紙カセットの用紙の種類が設定され、**「カセット 1（～ 5）設定」**メニューに戻ります。

その他の用紙の設定

規格紙（A5、A4、B5、Letter、Legal、A6（本体カセット））以外の用紙を使用する場合のカセットの設定手順は次のとおりです。

サイズダイヤルの設定

1 プリンターから給紙カセットを引き出し、サイズダイヤルを Other に合わせてください。詳しくは、4-30 ページの**給紙カセットの用紙サイズ設定**の手順 1 を参照してください。

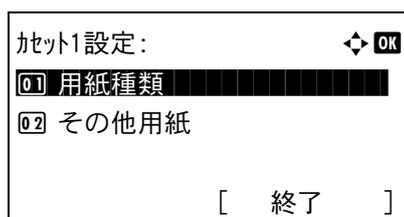
2 印刷する用紙のサイズに合わせて、給紙カセット内の用紙幅ガイドと用紙長さガイドを調整し、用紙をカセットにセットしてください。

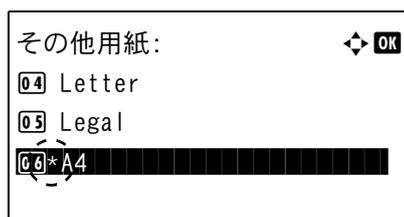
参考：詳しくは、2-25 ページの**カセットへの補給**を参照してください。

「その他用紙」（操作パネルからの用紙サイズの設定）

給紙カセットのサイズダイヤルをOtherに設定した場合には、操作パネルから、給紙カセットにセットした用紙のサイズをプリンターに設定します。

参考：**「カスタム」**を選択したときは、用紙サイズを登録できます。詳しくは、4-34 ページの**「カスタム用紙」（カスタム用紙サイズの設定）**を参照してください。

1 **「用紙設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、サイズダイヤルを Other に設定したカセット選択してください。

2 [OK] キーを押してください。**「カセット 1(~ 5)設定」**メニューが表示されます。

3 [△] または [▽] キーを押して、**「その他用紙」**を選択してください。

4 [OK] キーを押してください。**「その他用紙」**が表示され、給紙カセットで使用できる用紙サイズが一覧表示されます。表示されるサイズは次のとおりです。

Envelope Monarch (#2)
Envelope #10 (#2)
Envelope DL (#3)
Envelope C5
Executive
Letter
Legal
A4
B5
A5
A6 (#1)
B6 (#3)
Envelope #9 (#2)
Envelope #6 (#2)
ISO B5
カスタム
往復はがき (#3)
Oficio II
216×340mm
16K
Statement
Folio
洋形 2 号 (#2)
洋形 4 号 (#2)

#1 ECOSYS LS-4200DN と ECOSYS LS-4300DN の給紙カセット 1 のみ
#2 オプションのペーパーフィーダー PF-320 装着時のみ
#3 ECOSYS LS-2100DN の給紙カセット 1 以外

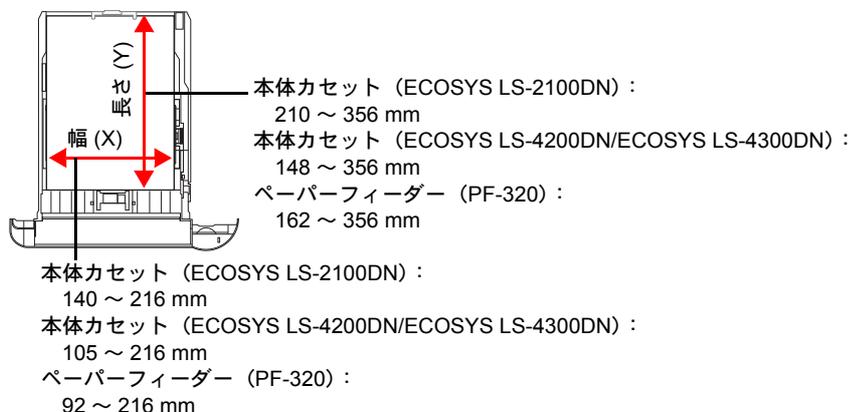
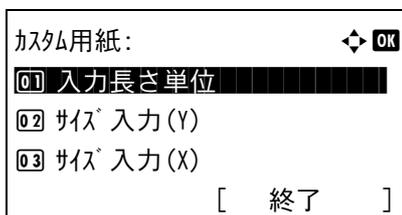
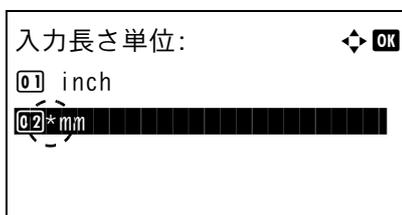
5 [△] または [▽] キーを押して希望する用紙サイズを選択してください。

参考:**「カスタム」**を選択したときは、用紙サイズを登録できます。詳しくは、4-34 ページの**「カスタム用紙」(カスタム用紙サイズの設定)**を参照してください。

6 [OK] キーを押してください。選択した給紙カセットの用紙サイズが設定され、**「カセット 1(~ 5)設定」**メニューに戻ります。

手順 4 で**「カスタム」**を選んだ場合は、次の手順で用紙の幅と長さを設定してください。

「カスタム用紙」（カスタム用紙サイズの設定）

次の手順で、カスタム用紙サイズを入力する単位を設定し、用紙の幅と長さを入力します。図のように用紙サイズの「Y」と「X」を、設定した単位で入力してください。

1 「**カセット 1（～ 5）設定**」メニューで、[△] または [▽] キーを押して、「**カスタム用紙**」を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。「**カスタム用紙**」メニューが表示されます。

3 [△] または [▽] キーを押して「**入力長さ単位**」を選択してください。

4 [OK] キーを押してください。「**入力長さ単位**」が表示されます。

5 [△] または [▽] キーを押して用紙サイズの単位を選択し、[OK] キーを押してください。入力する用紙サイズの単位が設定され、「**カスタム用紙**」メニューに戻ります。

6 [△] または [▽] キーを押して「**サイズ入力 (Y)**」を選択してください。

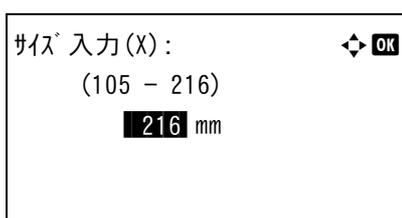
7 ［OK］キーを押してください。**「サイズ入力（Y）」**が表示されます。

8 テンキー、［△］または［▽］キーを使って用紙の長さ（Y）を入力してください。

各カセットで設定できる用紙長の範囲は、次の通りです。

- 本体カセット（ECOSYS LS-2100DN）：210 ～ 356 mm
- 本体カセット（ECOSYS LS-4200DN/ECOSYS LS-4300DN）：148 ～ 356 mm
- ペーパーフィーダー PF-320：162 ～ 356 mm

9 ［OK］キーを押してください。入力する用紙サイズの単位が設定され、**「カスタム用紙」**メニューに戻ります。

10 ［△］または［▽］キーを押して**「サイズ入力（X）」**を選択してください。

11 ［OK］キーを押してください。**「サイズ入力（X）」**が表示されます。

12 テンキー、［△］または［▽］キーを使って用紙の幅（X）を入力してください。

各カセットで設定できる用紙幅の範囲は、次の通りです。

- 本体カセット（ECOSYS LS-2100DN）：140 ～ 216 mm
- 本体カセット（ECOSYS LS-4200DN/ECOSYS LS-4300DN）：105 ～ 216 mm
- ペーパーフィーダー PF-320：92 ～ 216 mm

13 ［OK］キーを押してください。入力する用紙サイズの単位が設定され、**「カスタム用紙」**メニューに戻ります。

14 **［終了］**（**［右セレクト］**）キーを押すと、モード選択メニューを抜け、通常の表示に戻ります。

用紙種類の設定

4-29 ページの**「用紙種類」（手差しトレイの用紙の種類の設定）**を参照して、操作パネルから用紙の種類を設定してください。

「バルクフィーダー設定」（オプションバルクフィーダーの設定）

オプションバルクフィーダーから給紙する用紙に正しく印刷するために、次の手順で用紙サイズ、用紙の種類を設定してください。

参考：「バルクフィーダー設定」は、オプションのバルクフィーダーをプリンターに装着している場合のみ表示されます。

バルクフィーダー設定には次の項目があります。

- **「用紙サイズ」（オプションバルクフィーダーの用紙サイズ設定）...4-36**
- **「用紙種類」（オプションバルクフィーダーの用紙種類設定）...4-37**

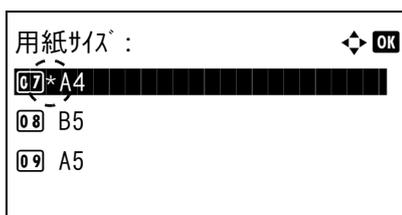
「用紙サイズ」（オプションバルクフィーダーの用紙サイズ設定）

オプションバルクフィーダーから給紙できる用紙サイズを設定できます。

1 **「用紙設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「バルクフィーダー設定」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「バルクフィーダー設定」**メニューが表示されます。

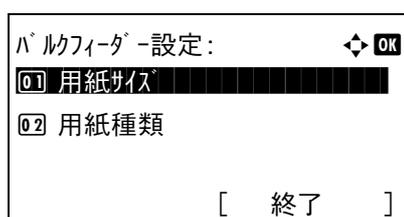
3 ［△］または［▽］キーを押して、**「用紙サイズ」**を選択してください。

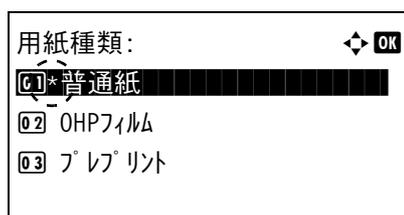
4 ［OK］キーを押してください。**「用紙サイズ」**が表示され、バルクフィーダーで使用できる用紙サイズが一覧表示されます。表示されるサイズは次のとおりです。

Envelope Monarch
Envelope #10
Envelope DL
Envelope C5
Executive
Letter
A4
B5
A5
A6
B6
Envelope #9
Envelope #6
ISO B5
カスタム
はがき
往復はがき
16K
Statement
洋形２号
洋形４号

5 ［△］または［▽］キーを押して希望する用紙サイズを選択してください。

6 ［OK］キーを押してください。バルクフィーダーの用紙サイズが設定され、**「バルクフィーダー設定」**メニューに戻ります。

「用紙種類」（オプションバルクフィーダーの用紙種類設定）

オプションバルクフィーダーから給紙できる用紙種類を設定できます。

1 **「用紙設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「バルクフィーダー設定」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「バルクフィーダー設定」**メニューが表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、**「用紙種類」**を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。**「用紙種類」**が表示され、バルクフィーダーで使用できる用紙の種類が一覧表示されます。表示される種類は次のとおりです。

普通紙
OHP フィルム
プレプリント
ラベル紙
ボンド紙
再生紙
薄紙
レターヘッド
カラー紙
パンチ済み紙
封筒
はがき
厚紙
上質紙
カスタム１～８

5 ［△］または［▽］キーを押して設定したい用紙の種類を選択してください。

6 ［OK］キーを押してください。バルクフィーダーの用紙種類が設定され、**「バルクフィーダー設定」**メニューに戻ります。

「用紙種類の設定」（用紙属性の設定）

用紙の厚さは、使用する用紙の重さを選択して設定します。用紙種類ごとに用紙の重さを設定できます。また、プリンターに登録したカスタムサイズの用紙（最大8個）に対しては、用紙の重さと両面印刷の可否を設定する事ができます。（カスタム用紙サイズの登録については、4-34ページの**「カスタム用紙」（カスタム用紙サイズの設定）**を参照してください。）

用紙の設定をする場合は、4-38ページの**「用紙重さ」（用紙の厚さ設定）**を参照してください。カスタムサイズの用紙設定をする場合は、4-39ページの**カスタム用紙の設定**を参照してください。

用紙種類の設定には次の項目があります。

「用紙重さ」（用紙の厚さ設定）

選択した用紙の重さを設定します。

選択できる重さは次の通りです。

OHP
重い 3
重い 2
重い 1
普通 3
普通 2
普通 1
軽い

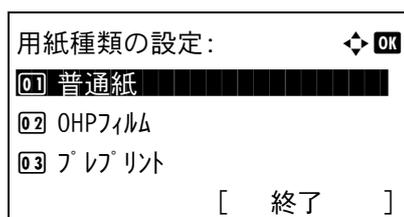
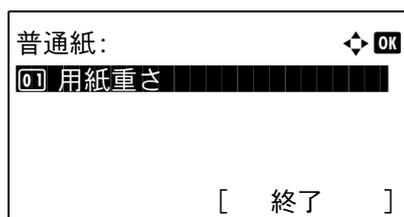
初期設定は普通紙用に**「普通 1」**に設定されています。普通紙以外の用紙を使用する場合は、各用紙で最適な印刷になるように、下記の表を参考に紙の厚さを変更してお使いください。

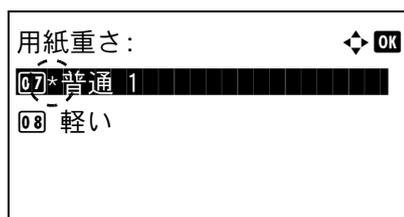
参考：用紙の種類によって、トナーが用紙に十分に定着しない場合があります。その場合は、プリンタードライバーで半速モードを選んでください。詳しくは、3-7ページの**半速モードを使用した印刷（プリンタードライバー設定）**を参照してください。

用紙種類	紙の厚さ	用紙種類	紙の厚さ
普通紙	普通1	カラー紙	普通3
OHPフィルム	OHP	パンチ済み紙	普通1
プレプリント	普通1	封筒	重い3
ラベル紙	重い1	はがき	重い3
ボンド紙	普通3	厚紙	重い3
再生紙	普通1	上質紙	普通1
薄紙	軽い	カスタム1～8	普通1
レターヘッド	普通3		

用紙の重さを設定する場合は、次の手順で行ってください。

（カスタム1～8の重さを設定する場合は、4-39ページの**カスタム用紙の設定**を参照してください。）

1 **「用紙設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「用紙種類の設定」**を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。**「用紙種類の設定」**が表示され、プリンターで使用できる用紙の種類の一覧が表示されます。

3 [△] または [▽] キーを押して厚さを設定したい用紙の種類を選択してください。

4 [OK] キーを押してください。選択した用紙名のメニューが表示されます。

5 [△] または [▽] キーを押して**「用紙重さ」**を選択してください。

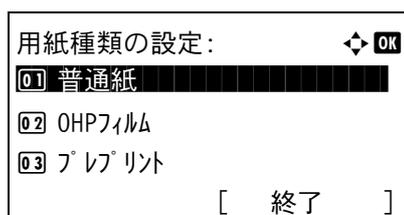
6 [OK] キーを押してください。**「用紙重さ」**が表示されます。

7 [△] または [▽] キーを押して用紙の重さを選択してください。

8 [OK] キーを押してください。用紙の重さ（厚さ）が設定され、**「用紙種類の設定」**に戻ります。

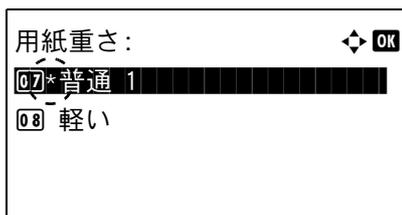
カスタム用紙の設定

選択したカスタム用紙の重さと両面印刷の可否の設定と表示名称の登録をします。

カスタム用紙の重さ（厚さ）を設定する手順は次のとおりです。

1 **「用紙設定」**メニューで、[△] または [▽] キーを押して、**「用紙種類の設定」**を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。**「用紙種類の設定」**が表示され、プリンターで使用できる用紙の種類の一覧が表示されます。

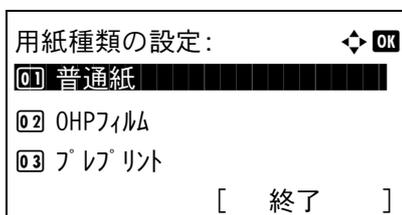
3 [△] または [▽] キーを押してカスタム用紙（カスタム 1 〜 8）を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。**「カスタム 1（～ 8)」**メニューが表示されます。

5 ［△］または［▽］キーを押して**「用紙重さ」**を選択してください。

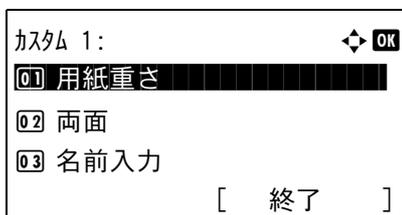
6 ［OK］キーを押してください。**「用紙重さ」**が表示されます。

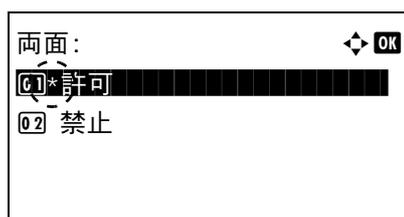
7 ［△］または［▽］キーを押して用紙の重さを選択してください。

8 ［OK］キーを押してください。用紙の重さ（厚さ）が設定され、**「用紙種類の設定」**に戻ります。

カスタム用紙の両面印刷の可否を設定する手順は次のとおりです。

1 **「用紙設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「用紙種類の設定」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「用紙種類の設定」**が表示され、プリンターで使用できる用紙の種類の一覧が表示されます。

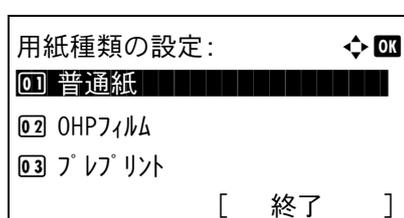
3 ［△］または［▽］キーを押してカスタム用紙（カスタム 1 ～ 8）を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。**「カスタム 1（～ 8)」**メニューが表示されます。

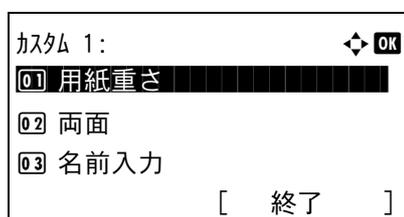
5 ［△］または［▽］キーを押して**「両面」**を選択してください。

6 ［OK］キーを押してください。**「両面」**が表示されます。

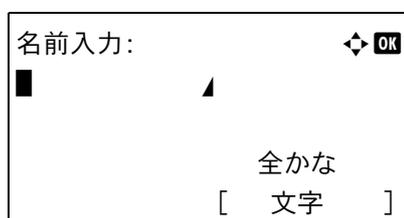
7 ［△］または［▽］キーを押して両面印刷の可否を選択します。

8 ［OK］キーを押してください。両面印刷の可否が設定され、**「用紙種類の設定」**に戻ります。

カスタム用紙の表示名称を登録する手順は次のとおりです。

1 **「用紙設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「用紙種類の設定」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「用紙種類の設定」**が表示され、プリンターで使用できる用紙の種類の一覧が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押してカスタム用紙（カスタム 1 ～ 8）を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。**「カスタム 1（～ 8）」**メニューが表示されます。

5 ［△］または［▽］キーを押して**「名前入力」**を選択してください。

6 ［OK］キーを押してください。**「名前入力」**が表示されます。

7 テンキーを使ってカスタム用紙の表示名称を入力してください。

参考：文字数は最大 16 文字まで入力できます。文字の入力方法については、付録 -2 ページの**文字の入力方法**を参照してください。

---

8 ［OK］キーを押してください。表示名称が登録され、名称を変更したカスタム用紙の画面に戻ります。

「初期設定に戻す」（用紙の設定を初期設定に戻す）

4-38ページの**「用紙種類の設定」（用紙属性の設定）**で設定したすべての種類の用紙について属性の設定をリセットします。

1 **「用紙設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「初期設定に戻す」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。確認画面が表示されます。

種類属性のﾘｾｯﾄを
行います。
よろしいですか？

［　はい　］［　いいえ　］

3 **［はい］（［左セレクト］）**キーを押してください。**「完了しました。」**が表示され、**「用紙設定」**メニューに戻ります。

［いいえ］（［右セレクト］）キーを押すと、カスタム設定のリセットは行わずに、**「用紙設定」**メニューに戻ります。

「印刷設定」（印刷の設定）

印刷に関する各設定を行います。

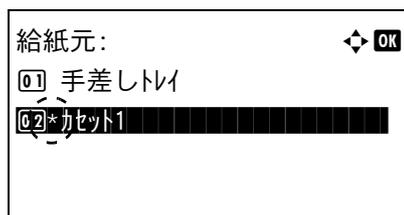
印刷設定には次の項目があります。

1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 ［△］または［▽］キーを押して、**「印刷設定」**を選択してください。

3 ［OK］キーを押してください。**「印刷設定」**メニューが表示され、設定項目が一覧表示されます。

「給紙元」（給紙元の選択）

給紙元を設定します。各アプリケーションソフトからの印刷で給紙元を指定しないときは、ここで設定した給紙元から給紙されます。給紙カセットや手差しトレイのほかに、オプションのペーパーフィーダーを給紙元として設定することもできます。

1 **「印刷設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「給紙元」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「給紙元」**が表示され、給紙元の一覧が表示されます。

次の給紙元が表示されます。カセット2～5は、実際にオプションのペーパーフィーダーが装着されている場合に表示されます。

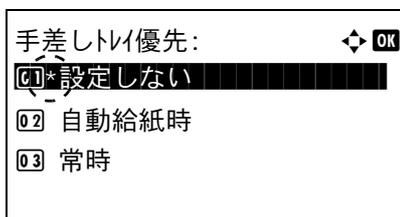
手差しトレイ
カセット1（プリンター本体の給紙カセット）

カセット 2 ～ 5（オプションのペーパーフィーダー装着時）

3 ［△］または［▽］キーを押して給紙元を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。選択した給紙カセットが給紙元として設定され、**「印刷設定」**メニューに戻ります。

「手差しトレイ優先」（手差しトレイ優先給紙モード）

手差しトレイに用紙がセットされている場合に、手差しトレイから優先して給紙させることができます。

1 **「印刷設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「手差しトレイ優先」**を選択してください。

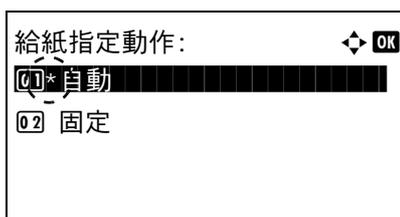
2 ［OK］キーを押してください。**「手差しトレイ優先」**が表示され、手差しトレイ優先モードが一覧表示されます。

「設定しない」（プリンタードライバーの設定に従います）
「自動給紙時」（プリンタードライバーで**自動**を選択している場合、手差しトレイに用紙があれば手差しトレイから給紙します。）
「常時」（手差しトレイに用紙があれば、プリンタードライバーの設定にかかわらず手差しトレイから給紙します。）

3 ［△］または［▽］キーを押して手差しトレイ優先モードを選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。手差しトレイ優先モードが設定され、**「印刷設定」**メニューに戻ります。

「給紙指定動作」（給紙動作の設定）

給紙元（カセット、手差しトレイ）と用紙の種類を指定している場合、給紙の仕方を指定する機能です。**「自動」**にすると、用紙のサイズ、種類が合致した給紙元を検索し、一致した給紙元より用紙を送ります。**「固定」**にすると、指定した給紙元が合致しない場合、**「エラー処理設定」**の**「用紙ミスマッチ」**で設定した動作を行います。**「固定」**時の給紙動作については、4-103 ページの**「用紙ミスマッチ」（用紙ミスマッチエラー時動作の設定）**を参照してください。初期設定は**「自動」**です。設定を変更する場合は、次の手順で行ってください。

1 **「印刷設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「給紙指定動作」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「給紙指定動作」**が表示されます。

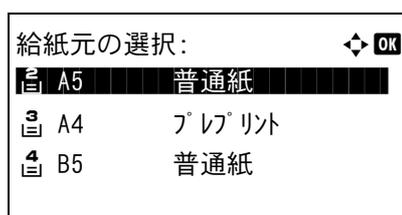
3 ［△］または［▽］キーを押して給紙指定動作を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。選択した給紙指定動作が設定され、**「印刷設定」**メニューに戻ります。

印刷途中で用紙がなくなったとき

給紙指定動作を**「固定」**に設定した場合、印刷途中で給紙カセットの用紙がなくなると、**「カセット1に用紙を補給してください。」**と表示して待機します。この場合は、用紙がなくなった給紙カセットに用紙を補給するか、次の手順で他の給紙元から印刷を行います。

1 **「カセット 1 に用紙を補給してください。」**を表示中に、**[代用給紙]**（**[左セレクト]**）キーを押してください。**「給紙元の選択」**メニューが表示されます。

2 希望する給紙元およびサイズが表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 [OK] キーを押してください。印刷が続行されます。

「両面」（両面印刷の設定）

両面印刷が可能な用紙の種類は、給紙カセットから給紙できる用紙です。

両面印刷が可能な用紙種類は次のとおりです。

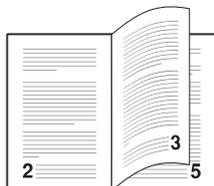
普通紙
プレプリント
ボンド紙
再生紙
レターヘッド
カラー紙
パンチ済み紙
上質紙
カスタム1～8

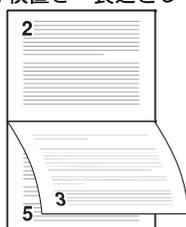
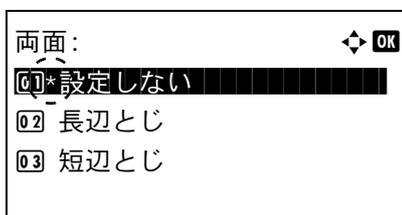
参考：手差しトレイから両面印刷する場合、両面印刷ができる用紙を使用しないと、紙づまりの原因となりますのでご注意ください。

「カスタム」を指定する場合、両面印刷の設定ができます。詳しくは、4-39ページの**カスタム用紙の設定**を参照してください。

製本モードの設定

製本モードには縁の長い側をとじる長辺とじと、縁の短い側をとじる短辺とじの2種類があります。長辺とじまたは短辺とじは、プリンターの縦置き（ポートレート）印刷や横置き（ランドスケープ）印刷と組み合わせて選択できます。したがって、製本の種類および印刷方向によって、製本モードは次の4通りが設定できます。

(1) 縦置き・長辺とじ

(2) 縦置き・短辺とじ

(3) 横置き・長辺とじ

(4) 横置き・短辺とじ

1 **「印刷設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「両面」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「両面」**が表示され、両面印刷モードが一覧表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して両面印刷モードを選択してください。

「設定しない」（初期値）
「長辺とじ」
「短辺とじ」
「設定しない」を選択すると両面印刷は行いません。

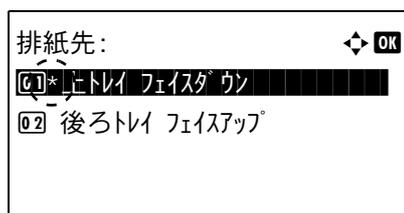
4 ［OK］キーを押してください。選択した両面印刷モードが設定され、**「印刷設定」**メニューに戻ります。

「排紙先」（排紙先の選択）

印刷した用紙をプリンターの上トレイに排紙するか、オプションのフェイスアップトレイ（PF-320）に排紙するかを選択します。

参考：このメニューは、ECOSYS LS-4200DNまたはECOSYS LS-4300DNで使用できます。

1 「**印刷設定**」メニューで、[△] または [▽] キーを押して、「**排紙先**」を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。「**排紙先**」が表示されます。

3 [△] または [▽] キーを押して希望する排紙先（「**上トレイ フェイスダウン**」または「**後ろトレイ フェイスアップ**」）を選択します。

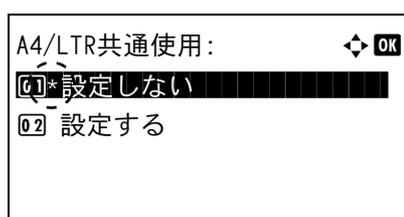
参考：「**後ろトレイ フェイスアップ**」を選択する場合は、オプションのフェイスアップトレイ（PF-320）が必要です。

4 [OK] キーを押してください。排出先が設定され、「**印刷設定**」メニューに戻ります。

「A4/LTR 共通使用」（A4/Letter 用紙の共通給紙設定）

この設定を「**設定する**」にすると、A4サイズとLetterを区別せずに給紙を行います。初期値は「**設定しない**」（A4サイズとLetterを区別する）になっています。

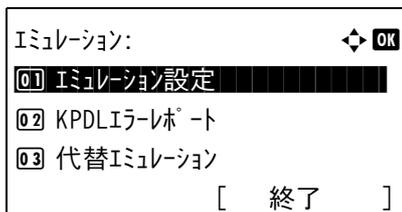
1 「**印刷設定**」メニューで、[△] または [▽] キーを押して、「**A4/LTR 共通使用**」を選択してください。

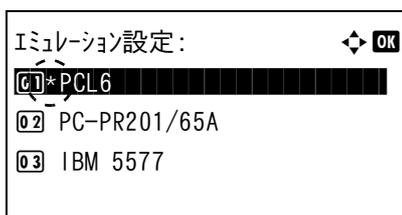
2 [OK] キーを押してください。「**A4/LTR 共通使用**」が表示されます。

3 [△] または [▽] キーを押して「**設定する**」または「**設定しない**」を選択してください。

4 [OK] キーを押してください。「**印刷設定**」メニューに戻ります。

「エミュレーション設定」（エミュレーションモードの選択）

エミュレーションモードを変更することができます。次の手順でエミュレーションを選択します。

参考：FTP印刷でPDFファイルを印刷するときは、エミュレーションを「**KPDL**」に設定してください。（FTP印刷とは、FTPコマンドまたはFTPソフトウェアを使用して、印刷ファイルをパソコンからプリンターに送信（転送）して印刷する方法です。）

1 「**印刷設定**」メニューで、[△] または [▽] キーを押して、「**エミュレーション**」を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。「**エミュレーション**」メニューが表示されます。

3 [△] または [▽] キーを押して「**エミュレーション設定**」を選択してください。

4 [OK] キーを押してください。「**エミュレーション設定**」が表示され、使用できるエミュレーションが一覧表示されます。

次のエミュレーションが、選択できます。

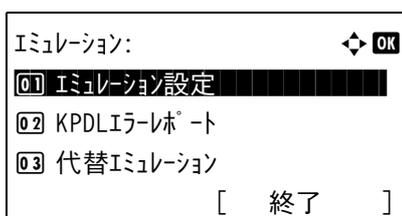
PCL6
PC-PR201/65A
IBM 5577
EPSON VP-1000
KPDL
KPDL（自動）

5 [△] または [▽] キーを押してエミュレーションを選択してください。

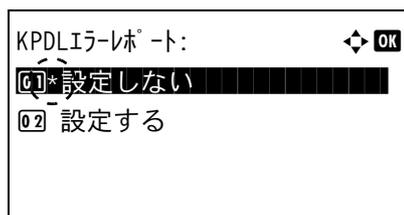
6 [OK] キーを押してください。選択したエミュレーションが設定され、「**エミュレーション**」メニューに戻ります。

「KPDL エラーレポート」（KPDL エラーレポートの設定）

KPDLエミュレーションモードで印刷中に、エラーが発生した際にその内容を印刷します。初期設定は、印刷しない設定（「**設定しない**」）です。

重要：この設定は、エミュレーションに「KPDL」または「KPDL（自動）」を選択したときのみ表示されます。

1 「**印刷設定**」メニューで、[△] または [▽] キーを押して、「**エミュレーション**」を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。「**エミュレーション**」メニューが表示されます。

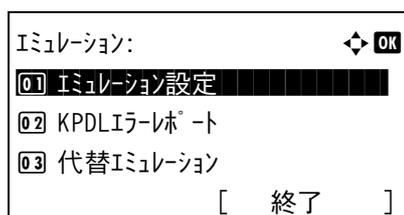
3 [△] または [▽] キーを押して「**KPDL エラーレポート**」を選択してください。

4 [OK] キーを押してください。「KPDL エラーレポート」が表示されます。

5 [△] または [▽] キーを押して「**設定する**」または「**設定しない**」を選択してください。

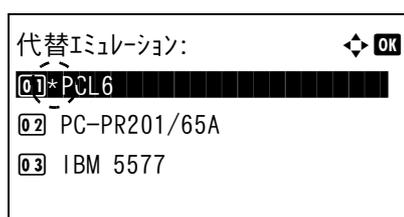
6 [OK] キーを押してください。選択したモードが設定され、「**エミュレーション**」メニューに戻ります。

「代替エミュレーション」（KPDL の代替エミュレーションの選択）

エミュレーションの選択で「**KPDL（自動）**」を選択すると、印刷するデータに応じてKPDLと代替エミュレーションを自動的に切り替えます。

重要：この設定は、エミュレーションに「**KPDL（自動）**」を選択したときのみ表示されます。

1 「**印刷設定**」メニューで、[△] または [▽] キーを押して、「**エミュレーション**」を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。「**エミュレーション**」メニューが表示されます。

3 [△] または [▽] キーを押して「**代替エミュレーション**」を選択してください。

4 [OK] キーを押してください。「**代替エミュレーション**」が表示されます。

代替エミュレーションは次のとおりです。

PCL6
PC-PR201/65A
IBM 5577
EPSON VP-1000

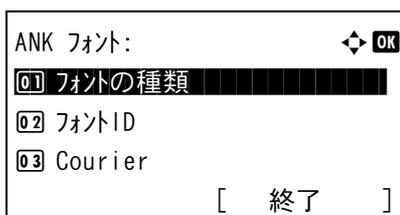
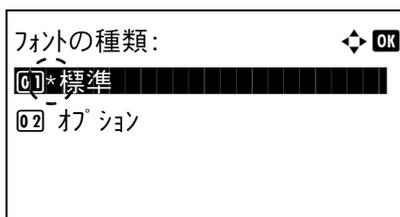
5 [△] または [▽] キーを押して希望の代替エミュレーションを選択してください。

6 [OK] キーを押してください。代替エミュレーションが設定され、「**エミュレーション**」メニューに戻ります。

「ANK/ 漢字フォント」（初期フォントの設定）

初期フォント（ANKフォント・漢字フォント）を選択できます。プリンター内蔵フォントだけでなく、プリンターのメモリーにフォントをダウンロードしている場合や、SD/SDHCカードまたはSSDにフォントがある場合は、初期フォントとして設定できます。また、フォントの太さ、サイズ、ピッチなども設定できます。

フォントメニューには次の項目があります。

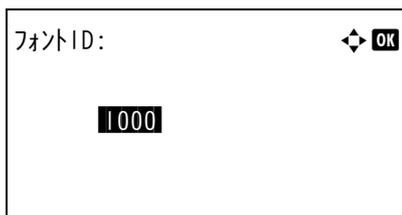
ANK フォントの選択

1 「**印刷設定**」メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「**ANK フォント**」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「**ANK フォント**」メニューが表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して「**フォントの種類**」を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。「**フォントの種類**」が表示されます。

5 プリンター内蔵のフォントを選択する場合は、［△］または［▽］キーを押して「**標準**」を選択してください。

6 ［OK］キーを押してください。フォントの種類を選択して「**ANK フォント**」メニューに戻ります。

7 ［△］または［▽］キーを押して「**フォント ID**」を選択してください。

8 ［OK］キーを押してください「**フォント ID**」が表示されます。

9 ［△］または［▽］キーを押して希望のフォント番号を入力してください。

参考：内蔵フォントの番号はフォントリストを印刷して確認することができます。詳しくは、4-14ページの**「フォントリスト」（フォントサンプルの印刷）**を参照してください。

文字の入力方法については、付録-2ページの**文字の入力方法**を参照してください。

内蔵フォント以外のオプションフォントを選択するときは、手順5で**「オプション」**を選択してください。この操作は、プリンターにオプションのフォントがある場合のみ可能です。

フォント番号の前に表示されるアルファベットは、フォントの種類によって次のように表示されます。

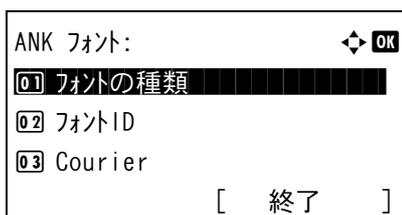
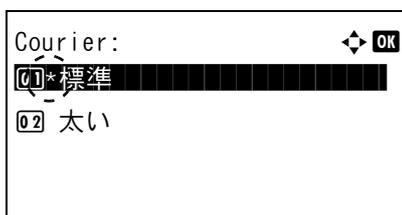
I：プリンター内蔵欧文フォント
IJ：プリンター内蔵日本語フォント
SO：欧文ダウンロードフォント
SJ：日本語ダウンロードフォント
MO：SD/SDHC メモリーカード内の欧文フォント
MJ：SD/SDHC メモリーカード内の日本語フォント
HO：RAM ディスクまたは SSD 内の欧文フォント
HJ：RAM ディスクまたは SSD 内の日本語フォント

10 ［OK］キーを押してください。初期フォントを設定して「**ANK フォント**」メニューに戻ります。

Courier/Letter Gothic フォントの太さ選択

このメニューでは、Courier/Letter Gothic フォントの太さを、**「標準」**と**「太い」**から選択できます。ここでは、Courier フォントの太さを変える例を説明します。Letter Gothic でも手順は同じです。

1 「**印刷設定**」メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「**ANK フォント**」を選択してください。

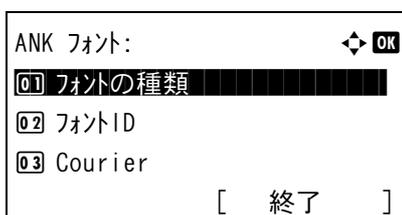
2 ［OK］キーを押してください。「**ANK フォント**」メニューが表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して「Courier」を選択してください。Letter Gothic フォントの太さを変える場合には、「Letter Gothic」を選択します。

4 ［OK］キーを押してください。「Courier」が表示されます。

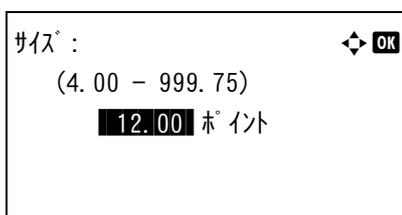
5 ［△］または［▽］キーを押して「**標準**」または「**太い**」を選択してください。

6 ［OK］キーを押してください。フォントの太さを設定して「**ANK フォント**」メニューに戻ります。

ANK フォントのサイズ設定

初期フォントに設定したANKフォントのサイズを設定します。初期フォントを等幅フォントに設定している場合は、このメニューは表示されずに文字ピッチの設定が表示されます。

1 「**印刷設定**」メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「**ANK フォント**」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「**ANK フォント**」メニューが表示されます。

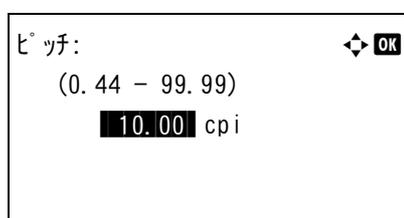
3 ［△］または［▽］キーを押して「**サイズ**」を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。「**サイズ**」入力画面が表示されます。

5 ［△］または［▽］キーを押して押してフォントサイズを入力してください。

参考：0.25 ポイントごとに 4.00 ～ 999.75 ポイントの範囲で設定できます。

6 ［OK］キーを押してください。フォントサイズを設定して「**ANK フォント**」メニューに戻ります。

フォントの文字ピッチの設定

フォントの文字ピッチの設定ができます。

1 **「印刷設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「ANK フォント」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「ANK フォント」**メニューが表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して**「ピッチ」**を選択してください。

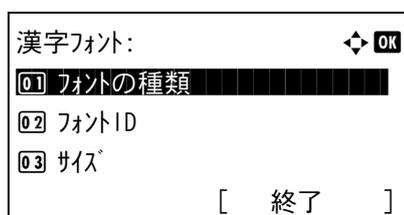
4 ［OK］キーを押してください。**「ピッチ」**入力画面が表示されます。

5 テンキー、［△］または［▽］キーを使って文字ピッチを入力してください。

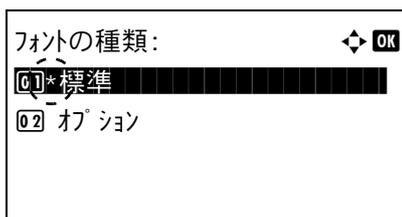
参考：0.01 cpi ごとに 0.44 ～ 99.99 cpi の範囲で設定できます。

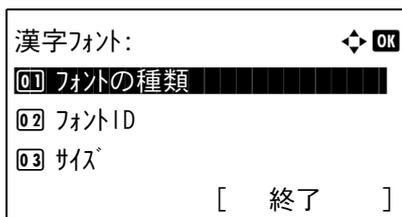
6 ［OK］キーを押してください。文字ピッチを設定して**「ANK フォント」**メニューに戻ります。

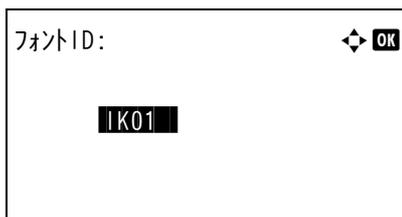
漢字フォントの設定

印刷する漢字フォントの種類を選択できます。

1 **「印刷設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「漢字フォント」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「漢字フォント」**メニューが表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して**「フォントの種類」**を選択してください。

4 [OK] キーを押してください。**「フォントの種類」**が表示されます。

5 プリンター内蔵のフォントを選択する場合は、[△] または [▽] キーを押して**「標準」**を選択してください。

6 [OK] キーを押してください。フォントの種類を選択して**「漢字フォント」**メニューに戻ります。

7 [△] または [▽] キーを押して**「フォント ID」**を選択してください。

ﾌｫﾝﾄID:

IK01

8 [OK] キーを押してください。**「フォント ID」**が表示されます。

9 [△] または [▽] キーを押して希望のフォント番号を入力してください。

参考：内蔵フォントの番号はフォントリストを印刷して確認することができます。詳しくは、4-14 ページの**「フォントリスト」（フォントサンプルの印刷）**を参照してください。

文字の入力方法については、付録-2 ページの**文字の入力方法**を参照してください。

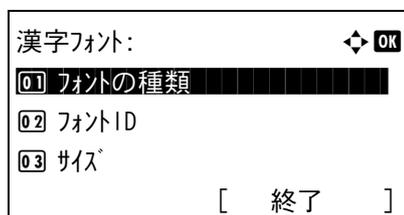
内蔵フォント以外のオプションフォントを選択するときは、手順 5 で**「オプション」**を選択してください。この操作は、プリンターにオプションのフォントがある場合のみ可能です。

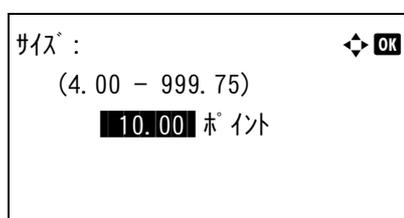
フォント番号の前に表示されるアルファベットは、フォントの種類によって次のように表示されます。

IK：プリンター内蔵フォント
SK：ダウンロードフォント
MK：SD/SDHC メモリーカード内のフォント
HK：RAM ディスクまたは SSD 内のフォント

10 [OK] キーを押してください。初期フォントを設定して**「漢字フォント」**メニューに戻ります。

漢字フォントサイズの設定

初期フォントに設定した漢字フォントのサイズを設定します。

1 **「印刷設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「漢字フォント」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「漢字フォント」**メニューが表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して**「サイズ」**を選択してください。

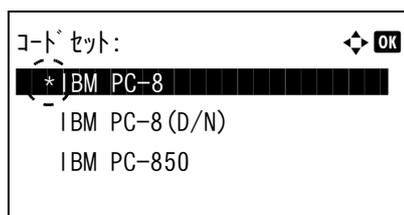
4 ［OK］キーを押してください。**「サイズ」**入力画面が表示されます。

5 ［△］または［▽］キーを押してフォントサイズを入力してください。

参考：0.25 ポイントごとに 4.00 〜 999.75 ポイントの範囲で設定できます。

6 ［OK］キーを押してください。フォントサイズを設定して**「漢字フォント」**メニューに戻ります。

「コードセット」（コードセットの設定）

文字コードセットを選択できます。選択できる文字コードセットは、現在選択されているフォントにより変化します。初期値として「IBM PC-8」が設定されています。

1 **「印刷設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「コードセット」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「コードセット」**が表示され、設定できるコードセットが一覧表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、使用したいコードセットを選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。コードセットを設定して**「印刷設定」**メニューに戻ります。

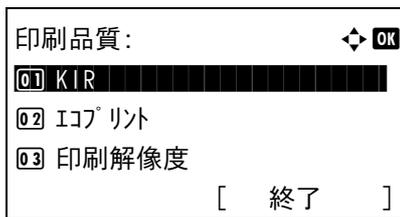
「印刷品質」（印刷品質の設定）

印刷品質メニューでは、KIRモードやエコプリントなどが設定できます。

印刷品質の設定には次の項目があります。

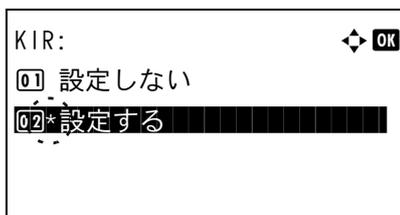
- 「KIR」（KIRモードの設定）...4-56
- 「エコプリント」（エコプリントの設定）...4-56
- 「印刷解像度」（解像度の設定）...4-57
- 「印刷濃度」（印刷濃度の設定）...4-57

1 **「印刷設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「印刷品質」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「印刷品質」**メニューが表示されます。

「KIR」（KIR モードの設定）

本プリンターは京セラ独自のスムージング機能KIR（Kyocera Image Refinement）を搭載しています。KIRはプリンターの解像度をソフト的に向上させることによって、高品質の印刷を実現します。初期設定は**「設定する」**です。KIRはプリンターの印刷スピードには影響しません。

1 **「印刷品質」**メニューで、［△］または［▽］キーを押し「KIR」を選択してください。

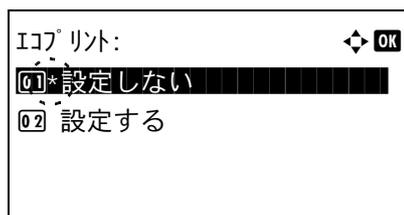
2 ［OK］キーを押してください。「KIR」が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して KIR モードを選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。KIR モードが設定され、**「印刷品質」**メニューに戻ります。

「エコプリント」（エコプリントの設定）

エコプリントモードを**「設定する」**にすると、トナー消費量をおさえて印刷することができます。印刷結果は標準解像度に比べ、画像がやや粗くなるため、試しプリントなど高品質な出力紙が必要でないときに使用してください。エコプリントはプリンターの印刷スピードには影響しません。

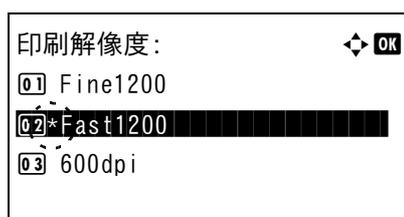
エコプリントモードは、次のように切り換えます。初期設定は**「設定しない」**です。

1 **「印刷品質」**メニューで、［△］または［▽］キーを押し**「エコプリント」**を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。**「エコプリント」**が表示されます。

3 [△] または [▽] キーを押してエコプリントモードを選択してください。

4 [OK] キーを押してください。エコプリントモードが設定され、**「印刷品質」**メニューに戻ります。

「印刷解像度」（解像度の設定）

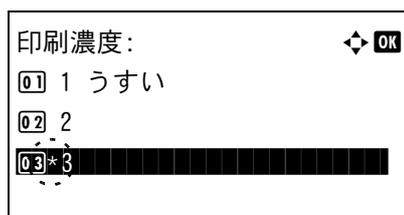
本プリンターは「300dpi」、「600dpi」、「Fast 1200」および「Fine 1200」モードの4種類の解像度を設定できます。印刷された文字や画像は、この順に鮮明になります。

1 **「印刷品質」**メニューで、[△] または [▽] キーを押し**「印刷解像度」**を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。**「印刷解像度」**が表示されます。

3 [△] または [▽] キーを押して印刷解像度を選択してください。

4 [OK] キーを押してください。印刷解像度が設定され、**「印刷品質」**メニューに戻ります。

「印刷濃度」（印刷濃度の設定）

印刷濃度は「1 **うすい**」～「5 **こい**」までの5段階の調整ができます。初期設定は「3」に設定されています。

1 **「印刷品質」**メニューで、[△] または [▽] キーを押し**「印刷濃度」**を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。**「印刷濃度」**が表示されます。

3 [△] または [▽] キーを押して、「1 **うすい**」～「5 **こい**」までの 5 段階から印刷濃度を選択します。

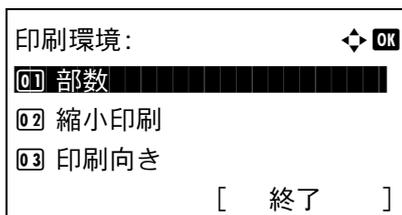
4 [OK] キーを押してください。印刷濃度が設定され、**「印刷品質」**メニューに戻ります。

「印刷環境」（印刷環境の設定）

印刷枚数や印刷方向など、印刷環境の設定を行います。

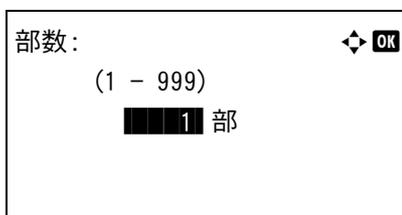
印刷環境の設定には次の項目があります。

1 **「印刷設定」**メニューで、[△] または [▽] キーを押して、**「印刷環境」**を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。**「印刷環境」**メニューが表示されます。

「部数」（部数の設定）

印刷する枚数を設定します。

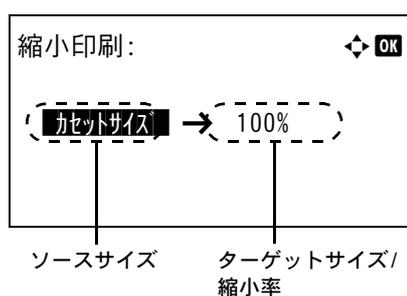
1 **「印刷環境」**メニューで、[△] または [▽] キーを押し**「部数」**を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。**「部数」**が表示されます。

3 テンキー、[△] または [▽] キーを使って希望する部数を入力してください。

4 [OK] キーを押してください。入力した部数が設定され、**「印刷環境」**メニューに戻ります。

「縮小印刷」（縮小印刷の設定）

印刷データを縮小して印刷する（縮小印刷）ための設定を行います。縮小前の用紙サイズと縮小率を設定します。

参考：縮小印刷では、等倍の印刷結果とは異なり、文字の線幅が一定にならない場合や、図形、イメージおよびパターンなどの中に線が見られる場合があります。また細い線などは印刷されない場合があります。また、バーコードを縮小印刷すると、読み取れない場合があります。

1 **「印刷環境」**メニューで、［△］または［▽］キーを押し**「縮小印刷」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「縮小印刷」**が表示されます。

縮小印刷は次のように表示されます。

ソースサイズ：縮小前の用紙サイズです。印刷データに設定されている用紙サイズと同一でなければなりません。

ターゲットサイズ / 縮小率：縮小後の用紙サイズまたは縮小率です。用紙サイズまたは倍率で表示されます。

ソースサイズとターゲットサイズ / 縮小率の設定可能な組み合わせについては下表を参照してください。

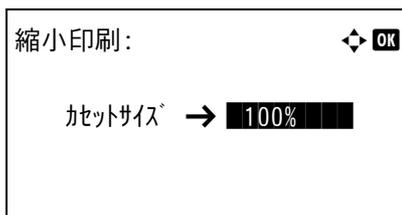
ソースサイズ	ターゲットサイズ/縮小率
カセットサイズ	100%
	98%
Legal	100%
	98%
Letter	100%
	A4
	98%
8.5×13.5	100%
Folio	100%
16K	100%
A5	100%
	98%
B5	100%
	A5
	98%
A4	100%
	Letter
	B5
	A5
	98%

ソースサイズ	ターゲットサイズ/縮小率
B4	B5
	A4
A3	A4
SF(A4)	A4

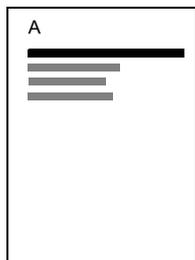
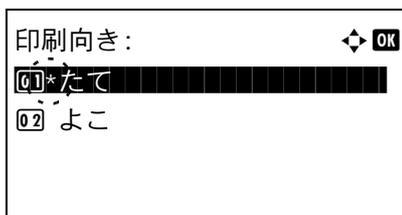
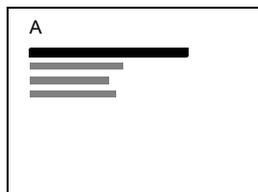
3 [△] または [▽] キーを押して希望のソースサイズに変更してください。

4 [▷] キーを押すと、ターゲットサイズ / 縮小率が反転表示し入力位置が移動します。

5 [△] または [▽] キーを押して希望のターゲットサイズに変更してください。ターゲットサイズ / 縮小率だけが変わります。

6 [OK] キーを押してください。縮小印刷が設定され、**「印刷環境」**メニューに戻ります。

「印刷向き」(印刷方向の設定)

印刷方向を縦向き、または横向きのどちらかを選択します。

縦向き「たて」

横向き「よこ」

1 **「印刷環境」**メニューで、[△] または [▽] キーを押し**「印刷向き」**を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。**「印刷向き」**が表示されます。

印刷向き:
01*たて
02 よこ

3 [△] または [▽] キーを押して希望する印刷方向を選択してください。

4 [OK] キーを押してください。印刷方向が設定され、**「印刷環境」**メニューに戻ります。

「改行 (LF) 動作」（改行動作の設定）

プリンターが改行コード（文字コード0AH）を受信したときの動作を設定します。

- **「改行 (LF) のみ」**：改行を行います（初期設定）。
- **「改行 (LF)+(CR)」**：改行および復帰を行います。
- **「改行 (LF) を無視」**：改行を行いません。

1 **「印刷環境」**メニューで、［△］または［▽］キーを押し**「改行 (LF) 動作」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「改行 (LF) 動作」**が表示されます。

改行(LF)動作:
01* 改行(LF)のみ
02 改行(LF)+(CR)
03 改行(LF)を無視

3 ［△］または［▽］キーを押して希望する改行動作を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。改行動作が設定され、**「印刷環境」**メニューに戻ります。

「復帰 (CR) 動作」（復帰動作の設定）

プリンターが復帰コード（文字コード0DH）を受信したときの動作を設定します。

- **「復帰 (CR) のみ」**：復帰を行います（初期設定）。
- **「改行 (LF)+(CR)」**：復帰および改行を行います。
- **「復帰 (CR) を無視」**：復帰を行いません。

1 **「印刷環境」**メニューで、［△］または［▽］キーを押し**「復帰 (CR) 動作」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「復帰 (CR) 動作」**が表示されます。

復帰(CR)動作:
01* 復帰(CR)のみ
02 改行(LF)+(CR)
03 復帰(CR)を無視

3 ［△］または［▽］キーを押して希望する復帰動作を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。復帰動作が設定され、**「印刷環境」**メニューに戻ります。

「印刷範囲補正」（印刷範囲の補正）

用紙の上下左右には、各5 mmの非印刷領域があります。（PCLエミュレーション時は、次の図のように異なります。）アプリケーションソフトによって、印刷位置が意図したものとは異なる場合は、印刷位置を補正するために、印刷位置を縦横方向にずらす設定ができます。

参考：エミュレーションによっては、設定した補正値が有効にならない場合があります。

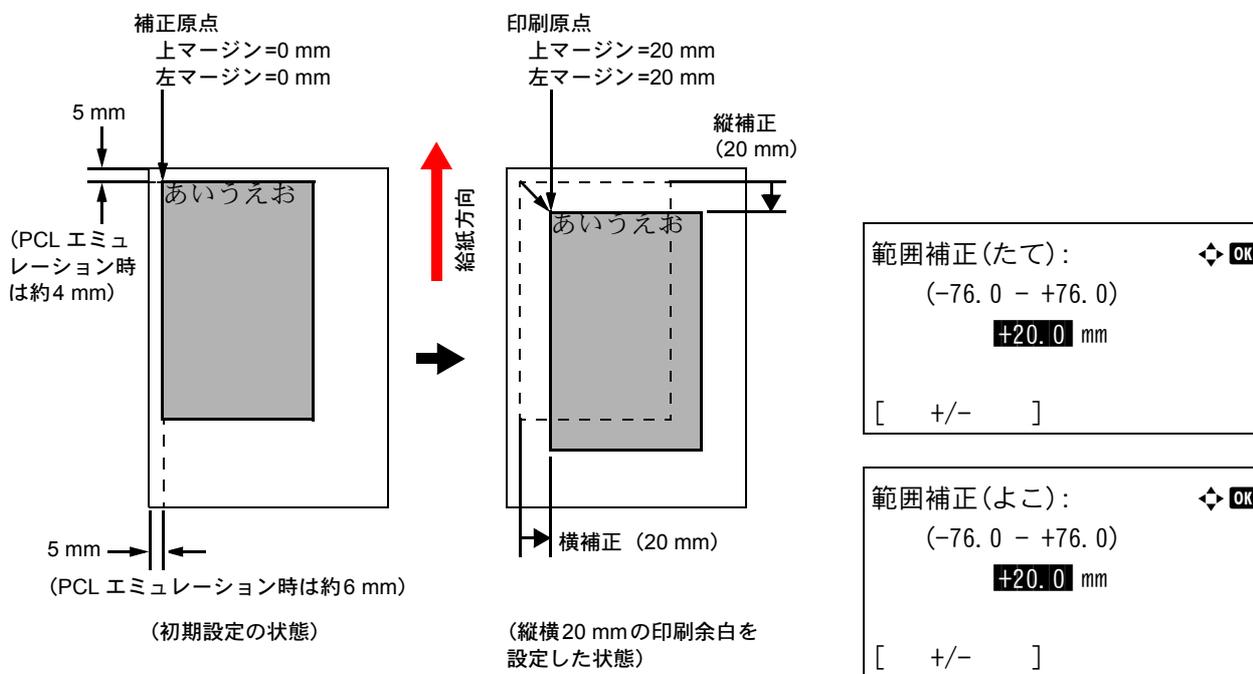
この機能は、印刷後にパンチ穴を開けたり、ステープルするために意図的にマージンを作る場合にも利用できます。

印刷位置を設定するための補正原点は、給紙方向に対して左上端（上マージン＝0 mm、左マージン＝0 mm）になります。

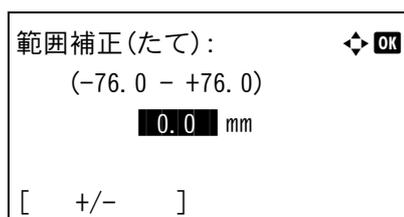
補正原点より縦横両方に0.1 mm単位で±76 mmの範囲で印刷位置を補正できます。

印刷位置の補正値は、縮小印刷した場合も同じ比率で変化します。例えば、縦横10 mmの印刷余白を設定していた場合、70%の縮小を行うと印刷余白は縦横7 mmになります。設定した補正値は電源再投入後も有効です。

（初期設定の状態）

（縦横20 mmの印刷余白を設定した状態）

1 **「印刷環境」**メニューで、［△］または［▽］キーを押し**「印刷範囲補正」**を選択してください。

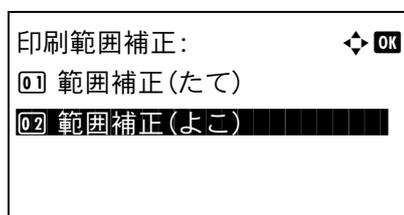
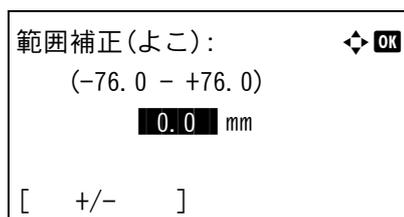
2 ［OK］キーを押してください。**「印刷範囲補正」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して**「範囲補正（たて)」**を選択してください。

4 [OK] キーを押してください。**「範囲補正(たて)」**が表示されます。

5 テンキー、[△] または [▽] キーを使って印刷位置(たて)の補正値を入力してください。

[+/-]([**左セレクト**])キーを押すとプラス(+)とマイナス(-)の符号を切り替えることができます。

補正値は 0.1 mm 単位で ±76 mm です。

6 [OK] キーを押してください。

7 [▽] キーを押して**「範囲補正(よこ)」**を選択してください。

8 [OK] キーを押してください。**「範囲補正(よこ)」**が表示されます。

9 テンキー、または [△] / [▽] キーを使って印刷位置(よこ)の補正値を入力してください。

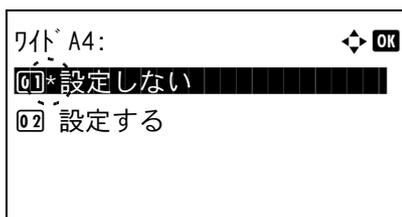
[+/-]([**左セレクト**])キーを押すとプラス(+)とマイナス(-)の符号を切り替えることができます。

補正値は 0.1 mm 単位で ±76 mm です。

10 [OK] キーを押してください。印刷範囲補正が設定され、**「印刷範囲補正」**に戻ります。

「ワイド A4」(ワイド A4 の設定)

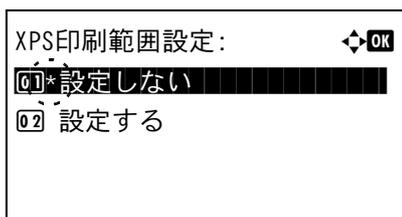
この設定を**「設定する」**にすると、A4ページ1行に印刷できる文字数が80文字に増加します(10 cpi)。この設定はPCL 6のエミュレーションでのみ有効になります。

1 **「印刷環境」**メニューで、[△] または [▽] キーを押し**「ワイド A4」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「ワイド A4」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して**「設定する」**または**「設定しない」**を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。**「印刷環境」**メニューに戻ります。

「XPS 印刷範囲設定」（XPS ドキュメントの出力サイズ調整）

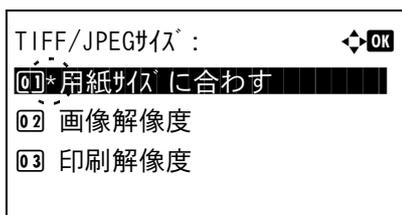
この設定を**「設定する」**にすると、XPS ドキュメントを、印刷領域に合わせたサイズに拡大または縮小して印刷します。

1 **「印刷環境」**メニューで、［△］または［▽］キーを押し**「XPS 印刷範囲設定」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「XPS 印刷範囲設定」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、**「設定する」**または**「設定しない」**を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。選択したモードが設定され、**「印刷環境」**メニューに戻ります。

「TIFF/JPEG サイズ」（TIFF/JPEG データの出力サイズ調整）

TIFF/JPEGデータを直接出力するときの出力方法を選択します。

1 **「印刷環境」**メニューで、［△］または［▽］キーを押し**「TIFF/JPEG サイズ」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「TIFF/JPEG サイズ」**が表示されます。

使用できる出力方法には次の項目があります。

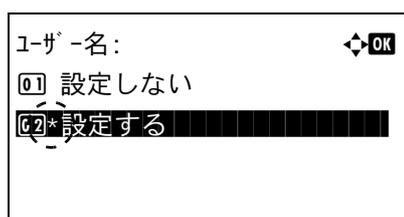
- **「用紙サイズに合わす」**（初期値）
  画像サイズが用紙サイズ一杯になるように、拡大または縮小されて出力されます。
- **「画像解像度」**
  画像データの解像度情報を参照して出力されます。解像度情報が無いときは、**「用紙サイズに合わす」**選択時と同様に出力されます。
- **「印刷解像度」**
  画像データの 1 dot を印刷データの 1 dot として出力します。例えばプリンターが 600 dpi で印刷する場合、600 dot の画像は 1 インチ（25.4 mm）の大きさで印刷されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、出力方法を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。選択した出力方法が設定され、**「印刷環境」**メニューに戻ります。

参考：出力される画像は、画像データと出力用紙の縦横比がより近くなる向きに、自動的に回転して出力されます。

「ユーザー名」（ユーザー名称表示設定）

プリンタードライバーで設定したユーザー名を使用するかどうかを設定します。

1 **「印刷環境」**メニューで、［△］または［▽］キーを押し**「ユーザー名」**を選択してください。

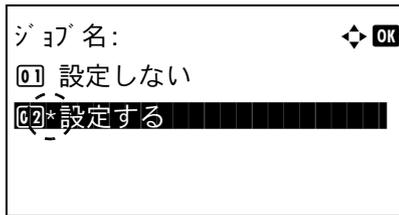
2 ［OK］キーを押してください。**「ユーザー名」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、**「設定する」**または**「設定しない」**を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。ユーザー名の表示が設定され、**「印刷環境」**メニューに戻ります。

「ジョブ名」（ジョブ名称表示設定）

プリンタードライバーで設定したジョブ名を使用するかどうかを設定します。

1 **「印刷環境」**メニューで、［△］または［▽］キーを押し**「ジョブ名」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「ジョブ名」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、**「設定する」**または**「設定しない」**を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。ジョブ名の表示が設定され、**「印刷環境」**メニューに戻ります。

「ネットワーク」（ネットワークの設定）

本機は、TCP/IP、TCP/IP（IPv6）プロトコルに対応しています。

IPとは、インターネットプロトコルを意味します。通常IPはTCP/IP（IPv4）を使用し、次世代のIPであるIPv6（バージョン6）と区別しています。

TCP/IP（IPv4）では、IPアドレスに32ビットが使用されていますが、インターネット・ユーザーの急速な拡大に伴って、IPアドレスが不足するようになりました。このため、IPアドレスに128ビットを使用し、広範囲に適応できるIPv6が開発されました。

ネットワークの設定には次の項目があります。

参考：設定するネットワークは、ネットワーク管理者に確認してください。

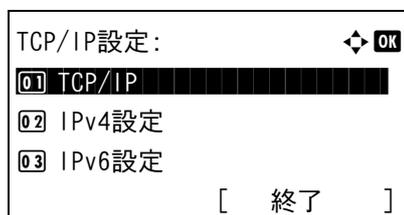
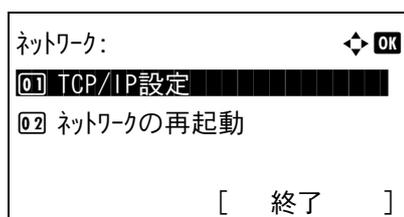
設定を有効にするために、ネットワークの設定をした後、ネットワークを必ず再起動してください。4-75ページの**「ネットワークの再起動」（ネットワークカードの再起動）**を参照してください。

Command Center RXを使うと、ネットワーク設定やセキュリティー設定がパソコンから確認と変更ができるので便利です。詳しくは、**Command Center RX操作手順書**を参照してください。

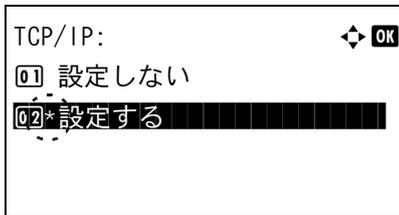
1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 ［△］または［▽］キーを押して、「**ネットワーク**」を選択してください。

3 ［OK］キーを押してください。「**ネットワーク**」メニューが表示されます。

4 「**TCP/IP設定**」を選択し、［OK］キーを押してください。「**TCP/IP設定**」メニューが表示されます。

「TCP/IP」（TCP/IP使用の有無）

TCP/IPシステムは、インターネット・システムを示し、インターフェイス層、リンク層、ネットワーク（IP）層、トランスポート（TCP/UDP）層、アプリケーション層の5つのレイヤ構成になっています。

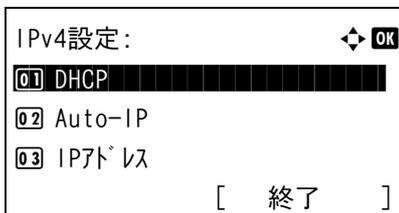
インターフェイス層は、TCP/IPシステムの1つの特徴となっている層で、IPモジュール（IP層）に対してリンク（通信回線：フレーム・リレーやEthernetなど）に依存しない、抽象化されたインターフェイスを提供します。このため、IPモジュールは、この抽象化された（リンク種別に依存しない）インターフェイスを用いて、IPパケットをリンク層に渡し、リンク層から受け取っています。

1 **「TCP/IP 設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して**「TCP/IP」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「TCP/IP」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して**「設定する」**または**「設定しない」**を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。TCP/IP の使用の有無が設定され、**「TCP/IP 設定」**メニューに戻ります。

「IPv4 設定」（TCP/IP(IPv4) の設定）

TCP/IP(IPv4)の各種設定を行います。

1 **「TCP/IP 設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「IPv4 設定」**を選択してください。

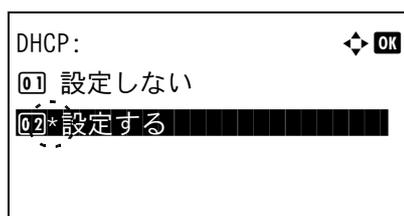
2 ［OK］キーを押してください。**「IPv4 設定」**メニューが表示されます。

TCP/IP(IPv4) の設定には次の項目があります。

- 「DHCP」（DHCP の設定）...4-69
- 「Auto-IP」（Auto IP の設定）...4-69
- 「IP アドレス」（IP アドレスの設定）...4-69
- 「サブネットマスク」（サブネットマスクの設定）...4-70
- 「デフォルトゲートウェイ」（ゲートウェイの設定）...4-71
- 「Bonjour」（Bonjour の設定）...4-72

重要：TCP/IPのDHCP、Auto-IP、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、Bonjourのメニューは、TCP/IPの使用の有無が**「設定する」**になっている時に表示されます。

「DHCP」（DHCP の設定）

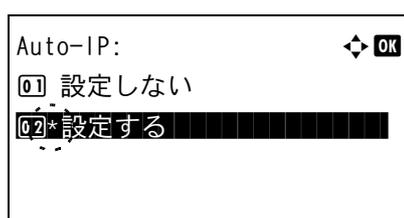
DHCPは、動的ホスト構成プロトコルで、ホストがネットワーク（インターネット）に接続しようとする際に、自ノードのIPアドレスやデフォルト・ルータ（自分が属するネットワーク・システム内にあるルータ）のIPアドレス、DNS（Domain Name System、ドメイン名解決システム）サーバーなどの、ネットワーク接続に必要な情報を与えるプロトコルです。DHCPは、BOOTP（Bootstrap Protocol、起動プロトコル。ブート・ピーと読む）を拡張しています。

1 「IPv4 設定」メニューで、［△］または［▽］キーを押して「DHCP」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「DHCP」が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して「**設定する**」または「**設定しない**」を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。DHCP の使用の有無が設定され、「IPv4 設定」メニューに戻ります。

「Auto-IP」（Auto IP の設定）

DHCPサーバーがない小規模なネットワークに接続されたとき、IPアドレスを自動的に割り振るためのプロトコルです。予約範囲169.254.0.1～169.254.255.254の中から任意のアドレスを1つ選択してネットワーク上で他の機器が使用していなければそのアドレスを使います。

1 「IPv4 設定」メニューで、［△］または［▽］キーを押して[Auto-IP] を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「Auto-IP」が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して「**設定する**」または「**設定しない**」を選択してください。

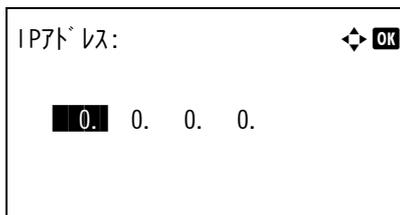
4 ［OK］キーを押してください。Auto-IP の使用の有無が設定され、「IPv4 設定」メニューに戻ります。

「IP アドレス」（IP アドレスの設定）

IPアドレスとは、インターネットのデータ（IPパケット）を送受信するため、必要なIPパケットの中に含まれている、パソコンなどの住所のことを示します（宛先アドレスと送信アドレスがある）。

具体的には、インターネットに接続されたパソコン（ホスト）を識別する「ホスト・アドレス（ホスト部とも言う）」と、そのパソコン（ホスト）が属しているネットワーク（具体的にはパソコンのネットワーク・インターフェイスを指す）を識別する「ネットワーク・アドレス（ネットワーク部）」の2つで構成され、ビット列となっています。インターネット・システム全体の中で唯一の（一意の）ビット列（IPアドレス）が、それぞれのパソコンあるいはインターフェイスに割り当てられます。

現在のインターネット（IPv4：IPバージョン4）で用いられているIPアドレスは、32ビットの固定長となっています。

参考：IPアドレスを入力するときは、DHCPの設定を**「設定しない」**にしてください。

1 「**IPv4 設定**」メニューで、［△］または［▽］キーを押して「**IP アドレス**」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「**IP アドレス**」が表示されます。

3 テンキー、［△］または［▽］キーを使って IP アドレスを入力します。000 ～ 255 の間で設定できます。

4 ［△］または［▽］キーを押すと、数値が増減します。

［◁］または［▷］キーを押すと、反転表示されている入力位置を移動します。

5 ［OK］キーを押してください。IP アドレスが設定され、「**IPv4 設定**」メニューに戻ります。

「サブネットマスク」（サブネットマスクの設定）

サブネットマスクは、IPアドレスのネットワーク・アドレス部を増やす方法です。

サブネット・マスクは、ネットワーク・アドレス部をすべて1として表現し、ホスト・アドレス部をすべて0として表現します。プレフィックス長は、ネットワーク・アドレス部の長さをビット数で表します。プレフィックス（Prefix）とは、「接頭辞」つまり、「前に付けるもの」という意味があり、IPアドレスの「先頭部分」を指します。

IPアドレスを表記するときに、ネットワーク・アドレス部の長さまで表現したい場合は、“133.201.2.0/24”のように“/”（スラッシュ）の後にプレフィックス長（この場合は「24」）を書くことになっています。したがって、「133.201.2.0/24」は、プレフィックス長（つまりネットワーク部）が24ビットの「133.201.2.0」というIPアドレスということになります。

サブネット・マスクによって新しく増えたネットワーク・アドレス部（本来のホスト・アドレス部の一部分）をサブネット・アドレスと呼びます。

参考：サブネットマスクを入力するときは、DHCPの設定を**「設定しない」**にしてください。

1 「**IPv4 設定**」メニューで、［△］または［▽］キーを押して「**サブネットマスク**」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「サブネットマスク」**が表示されます。

3 テンキー、［△］または［▽］キーを使ってサブネットマスクを入力します。000 ～ 255 の間で設定できます。

［△］または［▽］キーを押すと、数値が増減します。

［◁］または［▷］キーを押すと、反転表示されている入力位置を移動します。

4 ［OK］キーを押してください。サブネットマスクが設定され、**「IPv4 設定」**メニューに戻ります。

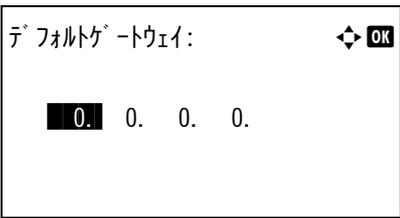
「デフォルトゲートウェイ」（ゲートウェイの設定）

ゲートウェイとは、一般的にプロトコル体系が異なるネットワーク間を相互接続するためのプロトコル変換器のことを示します。

例えば、異なる閉じたネットワーク（独自のプロトコル環境）と、オープンなインターネット（TCP/IP プロトコル環境）をつなぐ装置として「ゲートウェイ」が必要となります。

ゲートウェイを導入することによって、異なるネットワーク間で「通信プロトコル」や「データの表示方法」が相互に変換できるようになります。

TCP/IP ネットワークでは、ルータを指してゲートウェイ（デフォルト・ゲートウェイ）といいます。

参考：ゲートウェイを入力するときは、DHCP の設定を**「設定しない」**にしてください。

1 **「IPv4 設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して**「デフォルトゲートウェイ」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「デフォルトゲートウェイ」**が表示されます。

3 テンキー、［△］または［▽］キーを使ってゲートウェイのアドレスを入力します。000 ～ 255 の間で設定できます。

［△］または［▽］キーを押すと、数値が増減します。

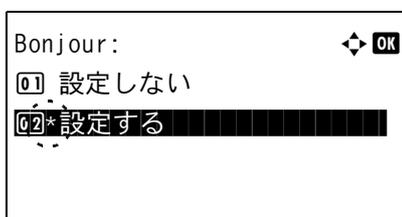
［◁］または［▷］キーを押すと、反転表示されている入力位置を移動します。

4 ［OK］キーを押してください。ゲートウェイのアドレスが設定され、**「IPv4 設定」**メニューに戻ります。

「Bonjour」（Bonjour の設定）

Bonjourは、ゼロコンフィギュレーション・ネットワークとも呼ばれています。IPネットワーク上のパソコン、デバイス、およびサービスを自動的に検出するサービスです。

Bonjourは、業界標準のIPプロトコルが使用されているので、IPアドレスを入力したりDNSサーバーを設定しなくても、デバイスが相互に自動的に検出されます。

また、Bonjourは、UDPポート5353上でネットワークパケットを送受信します。ファイアウォールを有効にしている場合は、Bonjourが正しく動作するようにUDPポート5353が開いていることを確認する必要があります。一部のファイアウォールは、Bonjourパケットの一部だけを拒否するように設定されていることがあります。Bonjourの動作が不安定な場合には、ファイアウォールの設定を確認して、Bonjourが例外リストに登録されていて受信パケットを受け入れるように設定されていることを確認してください。BonjourをWindows XP Service Pack 2以降にインストールする場合、WindowsファイアウォールはBonjourによって適切に設定されます。

1 「IPv4 設定」メニューで、[△] または [▽] キーを押して「Bonjour」を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。「Bonjour」が表示されます。

3 [△] または [▽] キーを押して**「設定する」**または**「設定しない」**を選択してください。

4 [OK] キーを押してください。Bonjour の使用の有無が設定され、「IPv4 設定」メニューに戻ります。

「IPv6 設定」（TCP/IP(IPv6) の設定）

TCP/IP(IPv6)の各種設定を行います。

TCP/IP(IPv6)は、アドレスの不足が心配される現行のインターネットプロトコルTCP/IP(IPv4)をベースに、管理できるアドレス空間の増大、セキュリティー機能の追加、優先度に応じたデータの送信などの改良を施した次世代インターネットプロトコルを示します。

1 「TCP/IP 設定」メニューで、[△] または [▽] キーを押して、「IPv6 設定」を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。「IPv6 設定」メニューが表示されます。

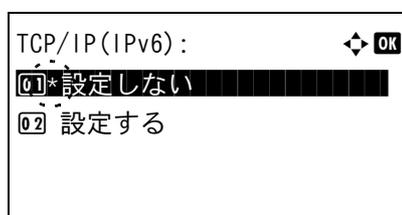
TCP/IP （IPv6) の設定には次の項目があります。

- 「TCP/IP(IPv6)」（TCP/IP(IPv6) 使用の有無）...4-73
- 「RA(Stateless)」（RA(Stateless) の設定）...4-73
- 「DHCPv6」（DHCPv6 の設定）...4-73

重要：TCP/IP(IPv6)のRA(Stateless)、DHCPv6のメニューは、TCP/IP(IPv6)オン時に表示されます。

「TCP/IP(IPv6)」（TCP/IP(IPv6) 使用の有無）

TCP/IP(IPv6)を使用するかしないかを設定します。

1 「IPv6 設定」メニューで、［△］または［▽］キーを押して「TCP/IP(IPv6)」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「TCP/IP(IPv6)」が表示されます。

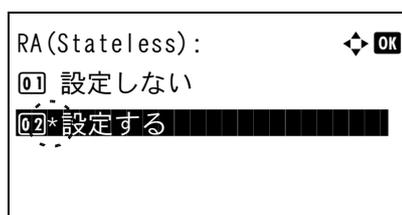
3 ［△］または［▽］キーを押して**「設定する」**または**「設定しない」**を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。TCP/IP(IPv6) の使用の有無が設定され、「IPv6 設定」メニューに戻ります。

「RA(Stateless)」（RA(Stateless) の設定）

IPv6ルータは、グローバルアドレスのプレフィックスなどの情報をICMPv6で知らせます。この情報がRouter Advertisement (RA)です。

また、ICMPv6はインターネット制御メッセージプロトコルのことで、RFC 2463「Internet Control Message Protocol（ICMPv6） for the Internet Protocol Version 6(IPv6) Specification」で定義されているIPv6標準です。

1 「IPv6 設定」メニューで、［△］または［▽］キーを押して「RA(Stateless)」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「RA(Stateless)」が表示されます。

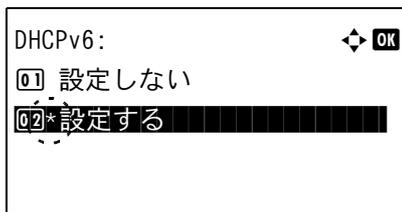
3 ［△］または［▽］キーを押して**「設定する」**または**「設定しない」**を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。RA(Stateless) の使用の有無が設定され、「IPv6 設定」メニューに戻ります。

「DHCPv6」（DHCPv6 の設定）

DHCPv6は、次世代のインターネットプロトコルであるIPv6をサポートする動的ホスト構成プロトコルのことで、構成情報をネットワーク上のホストに渡すためのプロトコルを定義しているBOOTPを拡張します。

DHCPv6を使うと、DHCPサーバーは拡張機能を使ってIPv6ノードに構成パラメーターを送信できるようになります。再利用可能なネットワークアドレスが自動的に割り当てられるため、管理者がIPアドレスの割り当てを細かく制御する必要がある環境では、IPv6ノードの管理が低減されます。

1 「IPv6 設定」メニューで、[△] または [▽] キーを押して「DHCPv6」を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。「DHCPv6」が表示されます。

3 [△] または [▽] キーを押して**「設定する」**または**「設定しない」**を選択してください。

4 [OK] キーを押してください。DHCPv6 の使用の有無が設定され、「IPv6 設定」メニューに戻ります。

「プロトコル詳細」(ネットワークプロトコルの詳細設定)

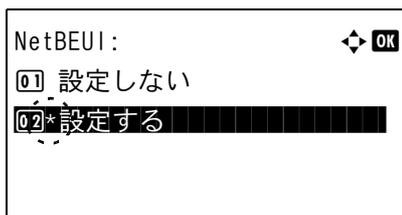
プロトコルの詳細設定を行います。

項目	説明	初期設定	再起動†
NetBEUI	NetBEUI を使用して文書を受信するかどうかを設定します。	設定する	×
SNMPv3	SNMPv3 を設定します。	設定しない	●
FTP (Server)	FTP を使用して文書を受信するかどうかを設定します。	設定する	●
SNMP	SNMP を使用して通信を行うかどうかを設定します。	設定する	●
SMTP	SMTP を使用してメールを送信するかどうかを設定します。	設定しない	×
POP3	POP3 を使用してメールを受信するかどうかを設定します。	設定しない	×
RAW Port	RAW Port を使用して通信を行うかどうかを設定します。	設定する	●
LPD	ネットワークプロトコルで使う、LPD を使用して文書を受信するかどうかを設定します。	設定する	●
HTTP	HTTP を使用して通信を行うかどうかを設定します。	設定する	●
LDAP	LDAP を使用するかどうかを設定します。	設定しない	×

† ●:設定の変更後にシステムの再起動が必要です。
×:設定の変更後にシステムの再起動は必要ありません。

手順は次のとおりです。

1 「TCP/IP 設定」メニューで、[△] または [▽] キーを押して**「プロトコル詳細」**を選択してください。

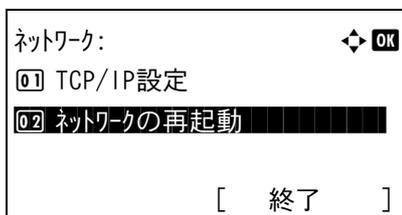
2 [OK] キーを押してください。**「プロトコル詳細」**が表示されます。

3 [△] または [▽] キーを押して、設定したい項目を選択してください。

4 [OK] キーを押してください。手順 3 で選択した項目の設定画面が表示されます。この画面例は、「NetBEUI」が選択されたときのものです。

5 [△] または [▽] キーを押して**「設定する」**または**「設定しない」**を選択してください。

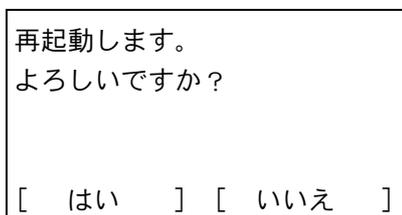
6 [OK] キーを押してください。**「プロトコル詳細」**に戻ります。

「ネットワークの再起動」（ネットワークカードの再起動）

設定を有効にするために、ネットワークの設定をした後、ネットワークを必ず再起動してください。

1 **「ネットワーク」**メニューで、[△] または [▽] キーを押して**「ネットワークの再起動」**を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。確認画面が表示されます。

3 **[はい]**（**[左セレクト]**）キーを押してください。**「再起動します。」**が表示され、ネットワークを再起動します。

[いいえ]（**[右セレクト]**）キーを押すと、ネットワークの再起動は行わず**「ネットワーク」**メニューに戻ります。

「オプションネットワーク」（オプションネットワークの設定）

オプションのネットワークインターフェイスキット（IB-50）またはワイヤレスインターフェイスキット（IB-51）の設定を行います。

参考：この設定は、ネットワークインターフェイスキット（IB-50）またはワイヤレスインターフェイスキット（IB-51）を装着している場合に表示します。

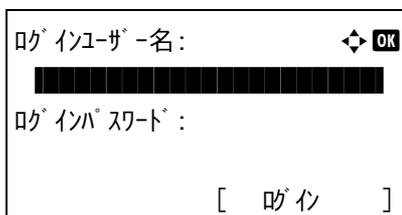
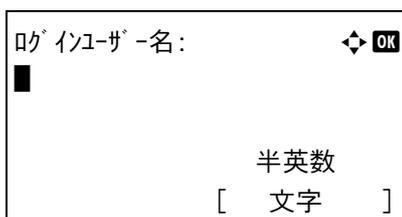
オプションネットワークの設定には次の項目があります。

- **「ワイヤレスネットワーク」（ワイヤレスネットワークの設定）**...4-77
- **「基本設定」（オプションネットワークインターフェイスの基本設定）**...4-85
- **「通信」（使用するネットワークインターフェイスの選択）**...4-89

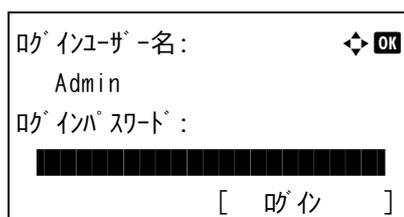
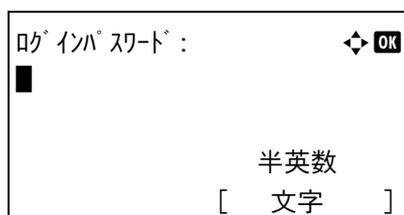
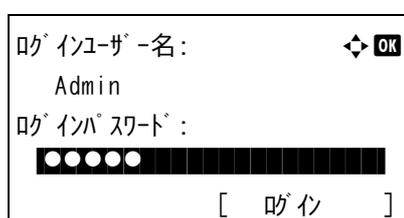
参考：設定するネットワークは、ネットワーク管理者に確認してください。
設定を有効にするために、ネットワークの設定をした後、ネットワークを必ず再起動してください。4-89 ページの**「ネットワークの再起動」（オプションネットワークカードの再起動）**を参照してください。
IB-50またはIB-51のWebページを使うと、ネットワーク設定やセキュリティー設定がパソコンから確認と変更ができるので便利です。詳しくは、IB-50またはIB-51の使用説明書を参照してください。

1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 ［△］または［▽］キーを押して、**「オプションネットワーク」**を選択してください。

3 ［OK］キーを押してください。ログイン画面が表示されます。

参考：ユーザー管理を設定している場合
管理者でログインしている場合は、ログイン画面は表示されずに**「オプションネットワーク」**メニューが表示されます。管理者以外でログインしている場合は、設定できません。管理者でログインし直してください。

4 **「ログインユーザー名」**入力欄を選択して、［OK］キーを押してください。**「ログインユーザー名」**入力画面が表示されます。

5 テンキーでログインユーザー名を入力し、［OK］キーを押してください。ログイン画面に戻ります。

参考：管理者のログインユーザー名の初期値は「Admin」です。文字の入力方法については、付録 -2 ページの**文字の入力方法**を参照してください。

6 [△] または [▽] キーを押して、**「ログインパスワード」**を選択してください。

7 [OK] キーを押してください。**「ログインパスワード」**入力画面が表示されます。

8 テンキーでログインパスワードを入力し、[OK] キーを押してください。ログイン画面に戻ります。

参考：管理者のログインパスワードの初期値は「Admin」です。文字の入力方法については、付録 -2 ページの**文字の入力方法**を参照してください。

9 **[ログイン]**（**[右セレクト]**）キーを押してください。入力したログインユーザー名とログインパスワードが正しければ、**「オプションネットワーク」**メニューが表示されます。

「ワイヤレスネットワーク」（ワイヤレスネットワークの設定）

ワイヤレスネットワークを設定します。

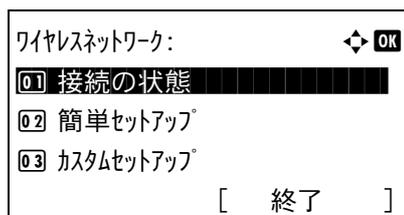
参考：**「ワイヤレスネットワーク」**はオプションのワイヤレスインターフェイスキット（IB-51）を装着した場合に表示されます。

1 **「オプションネットワーク」**メニューで、[△] または [▽] キーを押して**「ワイヤレスネットワーク」**を選択してください。

ﾜｲﾔﾚｽﾈｯﾄﾜｰｸ:
01 接続の状態
02 簡単ｾｯﾄｱｯﾌﾟ
03 ｶｽﾀﾑｾｯﾄｱｯﾌﾟ
[終了]

2 [OK] キーを押してください。**「ワイヤレスネットワーク」**メニューが表示されます。

次の設定ができます。

- **「接続の状態」（ワイヤレスネットワークの接続状態の確認）**...4-78
- **「簡単セットアップ」（ワイヤレスネットワークの簡単セットアップ）**...4-78
- **「カスタムセットアップ」（ワイヤレスネットワークの詳細設定）**...4-81

「接続の状態」（ワイヤレスネットワークの接続状態の確認）

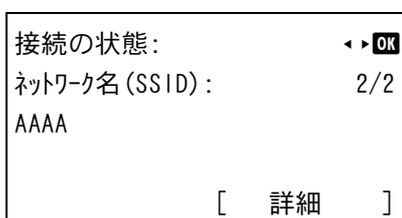
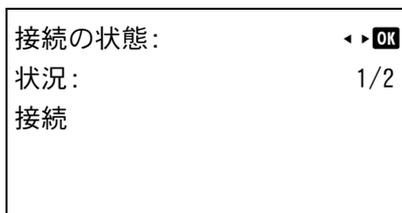
オプションのワイヤレスインターフェイスキット（IB-51）を装着した場合に、ワイヤレスネットワークの状態を確認することができます。

1 **「ワイヤレスネットワーク」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して**「接続の状態」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「接続の状態」**が表示されます。

```
接続の状態:            OK
状況:                 1/2
接続
```

3 ［◁］または［▷］キーを押してください。**「ネットワーク名（SSID）」**が表示されます。

```
接続の状態:            OK
ﾈｯﾄﾜｰｸ名(SSID):       2/2
AAAA
              [  詳細   ]
```

「ネットワーク名（SSID）」が 1 行ですべて表示できない場合、**［詳細］（［右セレクト］）**キーを押すと、名称が 3 行表示に切り替わります。

```
詳細:                  OK
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTU
VWXYZabcdefghijklmnop
qrstuvwxyz1234567890
```

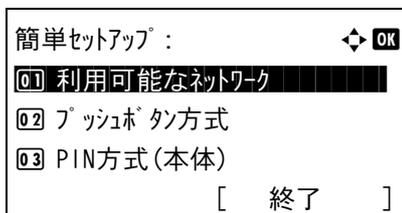
「簡単セットアップ」（ワイヤレスネットワークの簡単セットアップ）

ワイヤレスネットワークの自動設定に対応したアクセスポイントに接続する場合は、簡単セットアップで接続設定ができます。

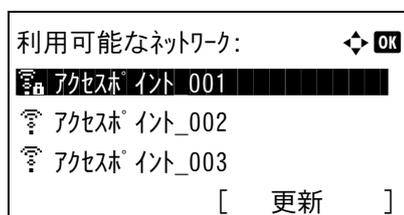
1 **「ワイヤレスネットワーク」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して**「簡単セットアップ」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「簡単セットアップ」**メニューが表示されます。

```
簡単ｾｯﾄｱｯﾌﾟ:           OK
01 利用可能なﾈｯﾄﾜｰｸ
02 ﾌﾟｯｼｭﾎﾞﾀﾝ方式
03 PIN方式(本体)
              [  終了   ]
```

次の設定ができます。

- 「利用可能なネットワーク」（アクセスポイントの表示）...4-79
- 「プッシュボタン方式」（プッシュボタンで接続する）...4-79
- 「PIN 方式 (本体)」（PIN コード (ワイヤレスインターフェイスキット) で接続する）...4-80
- 「PIN 方式 (端末)」(PIN コード (アクセスポイント) で接続する)...4-80

「利用可能なネットワーク」（アクセスポイントの表示）

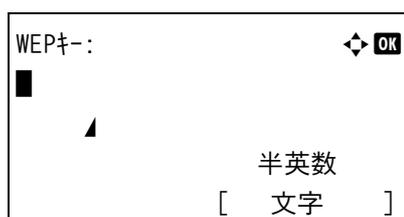
接続可能なアクセスポイントを表示します。

1 **「簡単セットアップ」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して**「利用可能なネットワーク」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「利用可能なネットワーク」**が表示されます。

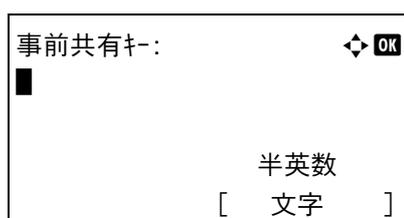
参考：希望のアクセスポイントが表示されないときは**［更新］**（**［右セレクト］**）キーを押してください。情報が更新されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して接続するアクセスポイントを選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。アクセスポイントとの接続を開始します。

暗号鍵の入力が必要な場合は、WEP キーまたは事前共有キーの入力画面が表示されます。

WEP キーの入力が必要な場合：

テンキーを使って WEP キーを入力して、［OK］キーを押してください。

参考：文字数は最大 26 文字まで入力できます。文字の入力方法については、付録 -2 ページの**文字の入力方法**を参照してください。

事前共有ｷｰ:
半英数
[文字]

事前共有キーの入力が必要な場合：

テンキーを使って事前共有キーを入力して、［OK］キーを押してください。

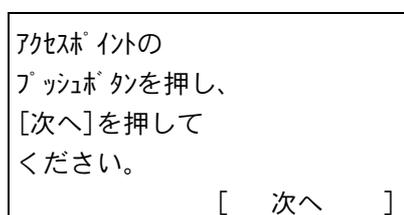
参考：文字数は 8 ～ 64 文字です。文字の入力方法については、付録 -2 ページの**文字の入力方法**を参照してください。

「プッシュボタン方式」（プッシュボタンで接続する）

アクセスポイントがワイヤレスネットワーク（無線LAN）自動設定ボタンに対応している場合、自動設定ボタンとプリンターの操作パネルを使ってワイヤレスネットワークの設定を行うことができます。

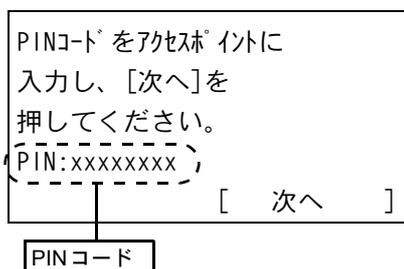
1 **「簡単セットアップ」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して**「プッシュボタン方式」**を選択してください。

ｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄの
ﾌﾟｯｼｭﾎﾞﾀﾝを押し、
[次へ]を押して
ください。
[次へ]

2 ［OK］キーを押してください。確認画面が表示されます。

3 アクセスポイントのワイヤレスネットワーク（無線 LAN）自動設定ボタンを押してください。

4 ［次へ］（［右セレクト］）キーを押してください。メッセージに「**接続中です。**」が表示され、アクセスポイントとの接続を開始します。

「PIN 方式 (本体)」（PIN コード (ワイヤレスインターフェイスキット) で接続する）

本機のPINコードで接続を開始します。表示されたPINコードをアクセスポイントに入力してください。本機のPINコードは自動的に生成されます。

1 「**簡単セットアップ**」メニューで、［△］または［▽］キーを押して「**PIN 方式 (本体)**」を選択してください。

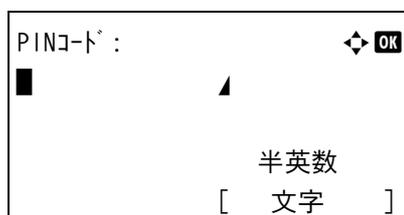
2 ［OK］キーを押してください。メッセージディスプレイに PIN コードが表示されます。

3 メッセージディスプレイに PIN コードが表示されますので書き留めてください。

4 ［次へ］（［右セレクト］）キーを押してください。メッセージに「**接続中です。**」が表示されます。

5 アクセスポイントで、手順 3 で書き留めた PIN コードをすぐに入力してください。アクセスポイントとの接続を開始します。

「PIN 方式 (端末)」(PIN コード (アクセスポイント) で接続する)

アクセスポイントのPINコードで接続を開始します。アクセスポイントのPINコードを入力してください。
アクセスポイントのPINコードについては、アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

1 「**簡単セットアップ**」メニューで、［△］または［▽］キーを押して「**PIN 方式 (端末)**」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「**PIN コード**」入力画面が表示されます。

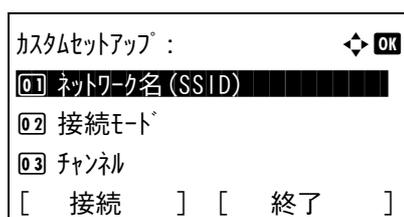
3 テンキーで PIN コードを入力してください。

参考：文字数は最大 8 文字まで入力できます。文字の入力方法については、付録 -2 ページの**文字の入力方法**を参照してください。

4 ［OK］キーを押してください。メッセージに**「接続中です。」**が表示され、アクセスポイントとの接続を開始します。

「カスタムセットアップ」（ワイヤレスネットワークの詳細設定）

ワイヤレスネットワークの詳細設定を変更できます。

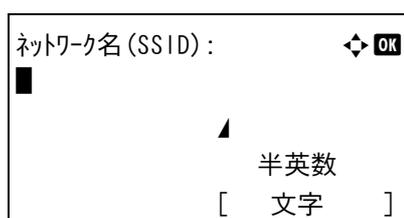
1 **「ワイヤレスネットワーク」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して**「カスタムセットアップ」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「カスタムセットアップ」**メニューが表示されます。

次の設定ができます。

- **「ネットワーク名 (SSID)」（アクセスポイントの SSID の登録）**...4-81
- **「接続モード」（接続モードの切替）**...4-82
- **「チャンネル」（チャンネルの設定）**...4-82
- **「ネットワーク認証」（ネットワーク認証の設定）**...4-82
- **「暗号化」（暗号化の設定）**...4-83

「ネットワーク名 (SSID)」（アクセスポイントの SSID の登録）

本製品を接続するワイヤレスネットワーク（無線LAN）アクセスポイントのSSID (Service Set Identifier)を設定します。

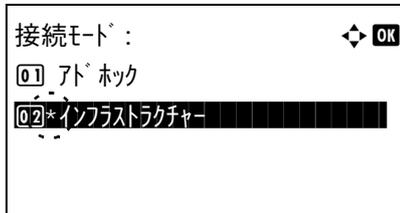
1 **「カスタムセットアップ」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して**「ネットワーク名 (SSID)」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「ネットワーク名 (SSID)」**入力画面が表示されます。

3 テンキーでアクセスポイントの SSID を入力してください。

参考：半角英数字で最大 32 文字まで入力できます。文字の入力方法については、付録 -2 ページの**文字の入力方法**を参照してください。

4 ［OK］キーを押してください。**「カスタムセットアップ」**メニューに戻ります。

「接続モード」（接続モードの切替）

ワイヤレスネットワークへの接続方法を選択します。アクセスポイントを介さずに機器同士で直接接続を行う場合は**「アドホック」**を設定します。

1 **「カスタムセットアップ」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して**「接続モード」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「接続モード」**が表示されます。

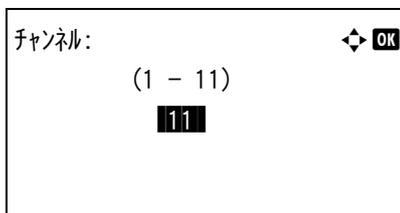
選択できる接続モードは次のとおりです。

アドホック（アクセスポイントを介さずに接続を行う）
インフラストラクチャー（アクセスポイントを介して接続を行う）

3 ［△］または［▽］キーを押して接続モードを選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。**「カスタムセットアップ」**メニューに戻ります。

「チャンネル」（チャンネルの設定）

ワイヤレスネットワークで使用するチャンネルを設定します。

1 **「カスタムセットアップ」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して**「チャンネル」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「チャンネル」**が表示されます。

3 テンキー、［△］または［▽］キーでチャンネル番号を設定してください。

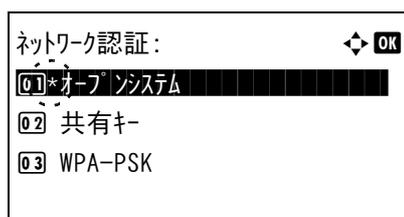
参考：チャンネルは 1 ～ 11 で設定できます。

4 ［OK］キーを押してください。**「カスタムセットアップ」**メニューに戻ります。

「ネットワーク認証」（ネットワーク認証の設定）

アクセスポイントと接続する際に使用する認証方式を設定します。

参考：オプションのワイヤレスインターフェイスキット(IB-51)のWebページを使ってネットワーク認証方式にWEP-Enterpriseまたは、WPA2-Enterpriseを設定することができます。詳しくはIB-51使用説明書を参照してください。

1 **「カスタムセットアップ」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して**「ネットワーク認証」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「ネットワーク認証」**が表示されます。

選択できる認証モードは次のとおりです。

オープンシステム
共有キー
WPA-PSK
WPA2-PSK

参考：「WPA-PSK」と「WPA2-PSK」は、4-82 ページの**「接続モード」（接続モードの切替）**で**「インフラストラクチャー」**を設定している場合のみ表示されます。

3 ［△］または［▽］キーで希望の認証方式を選択してください。

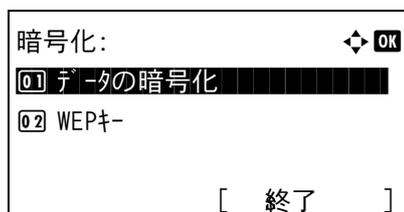
4 ［OK］キーを押してください。**「カスタムセットアップ」**メニューに戻ります。

「暗号化」（暗号化の設定）

暗号化の設定を行います。

参考：4-82 ページの**「ネットワーク認証」（ネットワーク認証の設定）**の設定をユーティリティを使って**「オープンシステム」**、**「共有キー」**、「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」以外の認証方式に設定されている場合には、この設定は表示されません。

1 **「カスタムセットアップ」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して**「暗号化」**を選択してください。

暗号化:
01 ﾃﾞｰﾀの暗号化
02 WEPｷｰ
[終了]

2 ［OK］キーを押してください。**「暗号化」**メニューが表示されます。

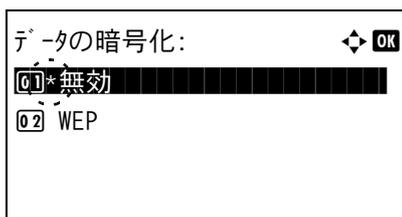
設定項目は次のとおりです。

- **「データの暗号化」（データの暗号化設定）**...4-83
- **「WEP キー」（WEP キーの設定）**...4-84
- **「事前共有キー」（事前共有キーの設定）**...4-85

参考：「WEP **キー」**は、4-82 ページの**「ネットワーク認証」（ネットワーク認証の設定）**で**「オープンシステム」**または**「共有キー」**を設定している場合に表示されます。
「事前共有キー」は、4-82 ページの**「ネットワーク認証」（ネットワーク認証の設定）**で「WPA-PSK」または「WPA2-PSK」を設定している場合に表示されます。

「データの暗号化」（データの暗号化設定）

暗号化方式を設定します。

1 **「暗号化」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して**「データの暗号化」**を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。**「データの暗号化」**が表示されます。

参考：4-82 ページの**「ネットワーク認証」（ネットワーク認証の設定）**で設定される認証方式によって、選択できる暗号化方式が変わります。

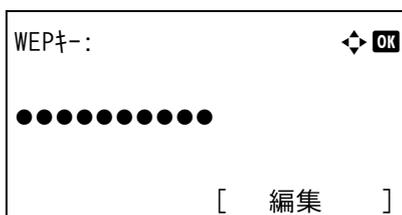
「オープンシステム」または**「共有キー」**を設定している場合は、**「無効」**または「WEP」が選択できます。

「WPA-PSK」を設定している場合は、「TKIP」、「AES」または**「自動」**が選択できます。「WPA2-PSK」を設定している場合は、「AES」が選択できます。

3 [△] または [▽] キーで希望の暗号方式を選択してください。

4 [OK] キーを押してください。**「暗号化」**メニューに戻ります。

「WEP キー」（WEP キーの設定）

WEP キーを設定します。

1 **「暗号化」**メニューで、[△] または [▽] キーを押して「WEP **キー」**を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。「WEP **キー」**が表示されます。

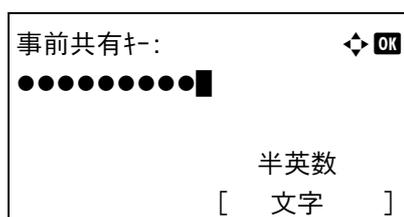
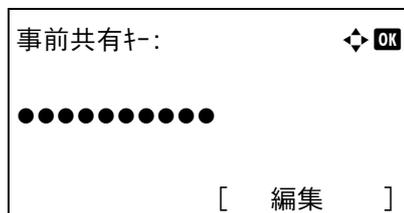
3 **[編集]（[右セレクト]）**キーを押してください。「WEP **キー」**入力画面が表示されます。

4 テンキーで WEP キーを入力してください。

参考：半角英数字で最大 26 文字まで入力できます。文字の入力方法については、付録 -2 ページの**文字の入力方法**を参照してください。

5 [OK] キーを 2 回押してください。**「暗号化」**メニューに戻ります。

「事前共有キー」（事前共有キーの設定）

事前共有キーを設定します。

1 **「暗号化」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して**「事前共有キー」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「事前共有キー」**が表示されます。

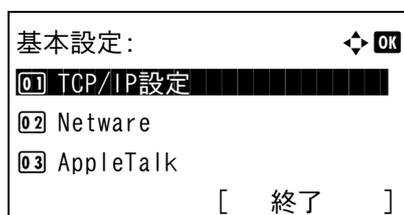
3 **［編集］（［右セレクト］）**キーを押してください。**「事前共有キー」**入力画面が表示されます。

4 テンキーで事前共有キーを入力してください。

参考：半角英数字で 8 ～ 64 文字です。文字の入力方法については、付録 -2 ページの**文字の入力方法**を参照してください。

5 ［OK］キーを 2 回押してください。**「暗号化」**メニューに戻ります。

「基本設定」（オプションネットワークインターフェイスの基本設定）

オプションのネットワークインターフェイスキット（IB-50）またはワイヤレスインターフェイスキット（IB-51）のネットワークの基本設定を行います。

1 **「オプションネットワーク」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して**「基本設定」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「基本設定」**メニューが表示されます。

次の設定ができます。

- 「TCP/IP 設定」（オプションネットワークの TCP/IP 設定）...4-86
- 「NetWare」（NetWare の設定）...4-87
- 「AppleTalk」（AppleTalk の設定）...4-87
- 「IPSec」（IPSec の設定）...4-88
- 「LAN インターフェイス」（LAN インターフェイス設定）...4-88
- 「MAC アドレスフィルター」（MAC アドレスフィルタリング設定）...4-89
- 「ネットワークの再起動」（オプションネットワークカードの再起動）...4-89

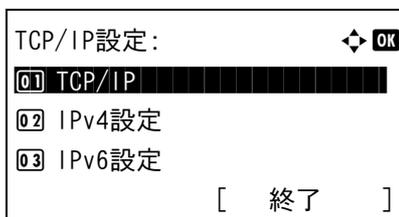
「TCP/IP 設定」（オプションネットワークの TCP/IP 設定）

TCP/IP の設定を行います。

TCP/IP の設定には次の項目があります。

- 「TCP/IP」（TCP/IP 使用の有無）...4-86
- 「IPv4 設定」（TCP/IP（IPv4）の設定）...4-86
- 「IPv6 設定」（TCP/IP（IPv6）の設定）...4-86

1 「基本設定」メニューで、［△］または［▽］キーを押して「TCP/IP 設定」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「TCP/IP 設定」が表示されます。

「TCP/IP」（TCP/IP 使用の有無）

TCP/IP を使用するかしないかを設定します。設定方法は標準のネットワーク設定と同じです。詳しくは、4-67 ページの「TCP/IP」（TCP/IP 使用の有無）を参照してください。

「IPv4 設定」（TCP/IP（IPv4）の設定）

TCP/IP(IPv4) の各種設定を行います。設定方法は標準のネットワーク設定と同じです。詳しくは、4-68 ページの「IPv4 設定」（TCP/IP(IPv4) の設定）を参照してください。

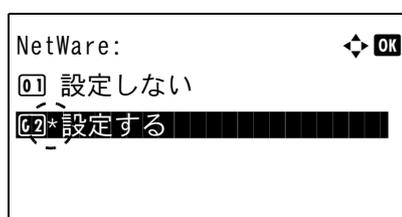
「IPv6 設定」（TCP/IP（IPv6）の設定）

TCP/IP(IPv6) の各種設定を行います。設定方法は標準のネットワーク設定と同じです。詳しくは、4-72 ページの「IPv6 設定」（TCP/IP(IPv6) の設定）を参照してください。

「NetWare」（NetWare の設定）

NetWare（ネットウェア）は、パソコンで動作するサーバー専用のネットワーク・オペレーティング・システムです。

NetWareは、クライアント・サーバー型のシステムであり、サーバー機にNetWare OSを、クライアント機（MS-DOS、OS/2、Windowsなど）に専用のクライアントモジュール（NetWareクライアント）を導入して運用します。ネットワーク層のプロトコルは、独自のIPX (Internetwork Packet eXchange)/SPX (Sequenced Packet eXchange)を用いるのが基本ですが、TCP/IPにも対応しています。

NetWare OSの特徴は、完全にサーバー用途に特化しており、Windows NTやUNIXなどの汎用OSとは異なります。サーバー機のNetWare OSのコンソールからはサーバーの運用に必要な最低限の操作しかできず、基本的にサーバーやファイルの管理はクライアント機から管理ツールを用いて行います。また、ドライバーやプロトコルスタックなどがすべてNetWare Loadable Module (NLM)というモジュール形式になっており、NLMの動的なロード・アンロードが自在に行えることも大きな特徴です。

1 **「基本設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して「NetWare」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「NetWare」が表示されます。

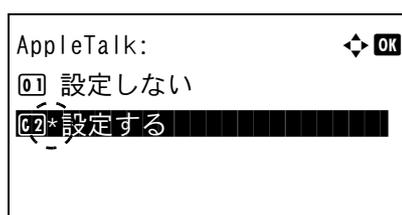
3 ［△］または［▽］キーを押して、NetWare 使用の有無を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。NetWare 使用の有無が設定され、**「基本設定」**メニューに戻ります。

「AppleTalk」（AppleTalk の設定）

AppleTalk（アップルトーク）は、主にMacintoshで使用されている通信プロトコル、またはMac OSのネットワーク機能を示します。

AppleTalkは24ビットのネットワークアドレス（16ビットのネットワーク部と8ビットのノードアドレス）を実装し、ネットワーク上で各機器（パソコンやプリンターなど）の識別に利用します。

電源を投入すると、ブロードキャスト信号をネットワーク上に流し、自動的にアドレスとマシン名を割り当てます。初期設定は**「設定する」**です。

1 **「基本設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「AppleTalk」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「AppleTalk」が表示されます。

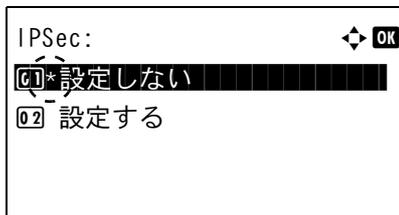
3 ［△］または［▽］キーを押して、AppleTalk 使用の有無を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。AppleTalk 使用の有無が設定され、**「基本設定」**メニューに戻ります。

「IPSec」（IPSec の設定）

IPSec（IP Security Protocol）は、IETFで標準化された第3層のネットワーク層（IP層）での認証および暗号化を行うためのセキュリティープロトコルのことです。

IPv4とIPv6の双方に適用できます。

参考：IPv4ではIPアドレスに32ビットが使用され、IPv6では128ビットが使用されます。

1 **「基本設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「IPSec」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「IPSec」が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、IPSec 使用の有無を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。IPSec 使用の有無が設定され、**「基本設定」**メニューに戻ります。

「LAN インターフェイス」（LAN インターフェイス設定）

ネットワーク接続で使用するインターフェイスを選択します。

参考：「LANインターフェイス」は、オプションのネットワークインターフェイスキット（IB-50）を装着している場合に表示されます。

1 **「基本設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「LAN インターフェイス」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「LAN インターフェイス」**が表示されます。

設定できる LAN インターフェイスは次のとおりです。

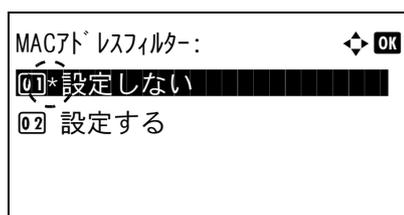
自動
10BASE-Half
10BASE-Full
100BASE-Half
100BASE-Full
1000BASE-T

3 ［△］または［▽］キーを押して、希望の LAN インターフェイスを選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。LAN インターフェイスが設定され、**「基本設定」**メニューに戻ります。

「MAC アドレスフィルター」（MAC アドレスフィルタリング設定）

MACアドレスフィルタリングの有効/無効を設定します。

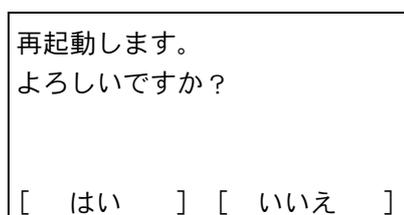
参考：MACアドレスフィルタリングの詳細設定は、オプションのネットワークインターフェイスキットのユーティリティーソフトで行います。

1 **「基本設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「MAC アドレスフィルター」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「MAC アドレスフィルター」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、MAC アドレスフィルタリングの有無を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。MAC アドレスフィルタリングが設定され、**「基本設定」**メニューに戻ります。

「ネットワークの再起動」（オプションネットワークカードの再起動）

設定を有効にするために、ネットワークの設定をした後、ネットワークを必ず再起動してください。

1 **「基本設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「ネットワークの再起動」**を選択してください。

再起動します。
よろしいですか？
[はい] [いいえ]

2 ［OK］キーを押してください。確認画面が表示されます。

3 **［はい］（［左セレクト］）**キーを押してください。**「再起動します。」**が表示され、ネットワークを再起動します。お待ちください。

［いいえ］（［右セレクト］）キーを押すと、ネットワークの再起動は行わず**「基本設定」**メニューに戻ります。

「通信」（使用するネットワークインターフェイスの選択）

ネットワーク認証、およびLDAPによるユーザー情報の参照のようなクライアント機能は、選択されたインターフェイスによってのみ作動します。通常この設定はネットワーク管理者が使用します。各機能の詳細については、**Command Center RX操作手順書**またはIB-50/IB-51の使用説明書を参照してください。

1 **「オプションネットワーク」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して**「通信」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「通信」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、希望のネットワークインターフェイスカードを選択してください。

「標準 NIC」：プリンター標準のネットワークインターフェイス
「オプション NIC」：オプションのネットワークインターフェイスキット

4 ［OK］キーを押してください。ネットワークインターフェイスカードが設定され、**「オプションネットワーク」**メニューに戻ります。

「共通設定」（デバイス全般の選択・設定）

本機の機能全般を選択・設定します。

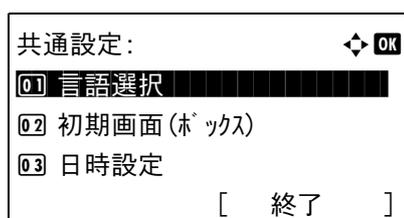
共通設定には次の項目があります。

- 「言語選択」（表示言語の選択）...4-91
- 「初期画面(ボックス)」（文書ボックスの初期画面設定）...4-92
- 「日時設定」（日付/時刻の設定）...4-92
- 「ブザー」（ブザーの設定）...4-96
- 「RAMディスク設定」（RAMディスクの設定）...4-98
- 「SSDフォーマット」（SSDのフォーマット）...4-100
- 「SDカードフォーマット」（SD/SDHCメモリーカードのフォーマット）...4-101
- 「画面の明るさ」（ディスプレイの明るさ）...4-101
- 「画面のバックライト」（メッセージディスプレイのバックライト設定）...4-102
- 「エラー処理設定」（エラー処理動作の設定）...4-102
- 「タイマー設定」（タイマーの設定）...4-104
- 「USBキーボードタイプ」（USBキーボードタイプの選択）...4-112
- 「トナー少の通知レベル」（トナー補給のアラートレベルの設定）...4-112

重要：「**初期画面（ボックス）**」、「**SSDフォーマット**」と「**SDカードフォーマット**」は、該当オプションを装着しているときのみ表示されます。

1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 ［△］または［▽］キーを押して、「**共通設定**」を選択してください。

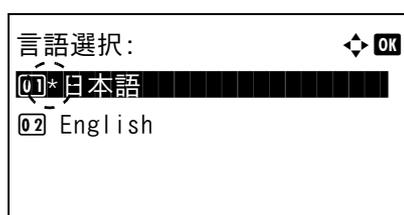
3 ［OK］キーを押してください。「**共通設定**」メニューが表示され、設定項目の一覧が表示されます。

「言語選択」（表示言語の選択）

メッセージディスプレイに表示するメッセージの言語を、日本語または英語に設定できます。

1 「**共通設定**」メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「**言語選択**」を選択してください。

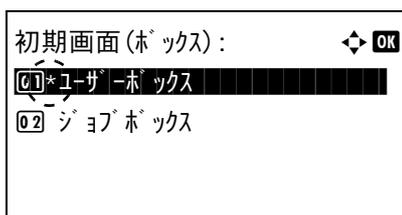
2 ［OK］キーを押してください。「**言語選択**」が表示され、言語の一覧が表示されます。

選択できる言語は次のとおりです。

日本語
English

3 ［△］または［▽］キーを押して、言語を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。言語が設定され、**「共通設定」**メニューに戻ります。

「初期画面 (ボックス)」（文書ボックスの初期画面設定）

［**文書ボックス**］キーを押したときに表示される画面を選択します。

1 **「共通設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「初期画面 (ボックス)」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「初期画面 (ボックス)」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、初期画面を**「ユーザーボックス」**または**「ジョブボックス」**から選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。文書ボックスの初期画面が設定され、**「共通設定」**メニューに戻ります。

「日時設定」（日付 / 時刻の設定）

日付と時刻を設定します。

重要：日時設定を変更する場合は、管理者のログインユーザー名とログインパスワードを入力する必要があります。管理者の設定については、4-137ページの**管理者について**を参照してください。お試し機能を使用している場合に日時設定を変更すると、お試し機能が使用できなくなります。

日時設定には次の項目があります。

- 「日付」（日付の設定）...4-94
- 「時刻」（時刻の設定）...4-94
- 「日付形式」（日付形式の選択）...4-94
- 「時差」（時差の設定）...4-95
- 「サマータイム」（サマータイムの設定）...4-95

1 **「共通設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「日時設定」**を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。ログイン画面が表示されます。

参考：ユーザー管理を設定している場合
管理者でログインしている場合は、ログイン画面は表示されずに**「日時設定」**メニューが表示されます。
管理者以外でログインしている場合は、設定できません。管理者でログインし直してください。

3 **「ログインユーザー名」**入力欄を選択して、[OK] キーを押してください。**「ログインユーザー名」**入力画面が表示されます。

4 テンキーでログインユーザー名を入力し、[OK] キーを押してください。ログイン画面に戻ります。

参考：管理者のログインユーザー名の初期値は「Admin」です。文字の入力方法については、付録 -2 ページの**文字の入力方法**を参照してください。

5 [△] または [▽] キーを押して、**「ログインパスワード」**を選択してください。

6 [OK] キーを押してください。**「ログインパスワード」**入力画面が表示されます。

7 テンキーでログインパスワードを入力し、[OK] キーを押してください。ログイン画面に戻ります。

参考：管理者のログインパスワードの初期値は「Admin」です。文字の入力方法については、付録 -2 ページの**文字の入力方法**を参照してください。

8 **[ログイン]**（**[右セレクト]**）キーを押してください。入力したログインユーザー名とログインパスワードが正しければ、**「日時設定」**メニューが表示されます。

「日付」（日付の設定）

1 **「日時設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「日付」**を選択してください。

日付:
年　月　日
2012 / 04 / 20
(時差　:東京　)

2 ［OK］キーを押してください。**「日付」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを使って、年、月、日を設定してください。

［◁］または［▷］キーを押すと、反転表示されている入力位置を移動します。

4 ［OK］キーを押してください。日付が設定され、**「日時設定」**メニューに戻ります。

「時刻」（時刻の設定）

1 **「日時設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「時刻」**を選択してください。

時刻:
時　分　秒
11 : 45 : 50
(時差　:東京　)

2 ［OK］キーを押してください。**「時刻」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを使って、時、分、秒を設定してください。

［◁］または［▷］キーを押すと、反転表示されている入力位置を移動します。

4 ［OK］キーを押してください。時刻が設定され、**「日時設定」**メニューに戻ります。

「日付形式」（日付形式の選択）

日付形式は、3種類から選択できます。

1 **「日時設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「日付形式」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「日付形式」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、希望の日付形式を選択してください。

選択できる日付形式は次のとおりです。

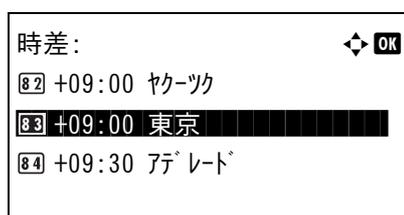
月 / 日 / 年
日 / 月 / 年
年 / 月 / 日

4 ［OK］キーを押してください。日付形式が設定され、**「日時設定」**メニューに戻ります。

「時差」（時差の設定）

ご使用の地域での、GMT（世界標準時）からの時差を設定してください。

1 **「日時設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「時差」**を選択してください。

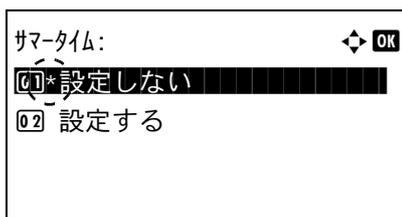
2 ［OK］キーを押してください。**「時差」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、地域を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。時差が設定され、**「日時設定」**メニューに戻ります。

参考：サマータイムを利用していない地域を選択した場合、サマータイムの設定は表示されません。

「サマータイム」（サマータイムの設定）

サマータイムを設定します。

1 **「日時設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「サマータイム」**を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。**「サマータイム」**が表示されます。

3 [△] または [▽] キーを押して、サマータイムを設定するかどうかを選択してください。

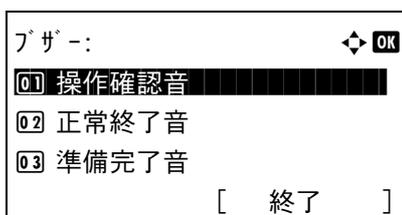
4 [OK] キーを押してください。サマータイムが設定され、**「日時設定」**メニューに戻ります。

「ブザー」(ブザーの設定)

プリンターの状況や操作をブザーを鳴らして知らせる機能です。プリンターが離れた場所にある場合などに便利です。

ブザーの設定には次の項目があります。

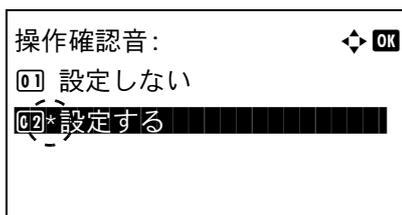
- **「操作確認音」(キー操作音の設定)...4-96**
- **「正常終了音」(印刷完了音の設定)...4-97**
- **「準備完了音」(準備完了音の設定)...4-97**
- **「注意音」(警告音の設定)...4-97**
- **「キーボード確認音」(キーボード確認音の設定)...4-98**

1 **「共通設定」**メニューで、[△] または [▽] キーを押して、**「ブザー」**を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。**「ブザー」**メニューが表示されます。

「操作確認音」(キー操作音の設定)

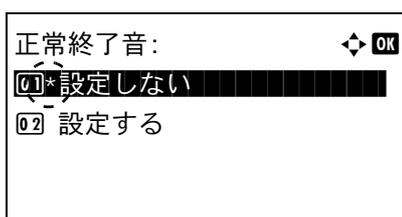
この設定を**「設定する」**にすると、キーの操作時に音が鳴ります。初期設定は**「設定する」**です。

1 **「ブザー」**メニューで、[△] または [▽] キーを押して、**「操作確認音」**を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。**「操作確認音」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、操作確認音の有無を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。操作確認音の有無が設定され、**「ブザー」**メニューに戻ります。

「正常終了音」（印刷完了音の設定）

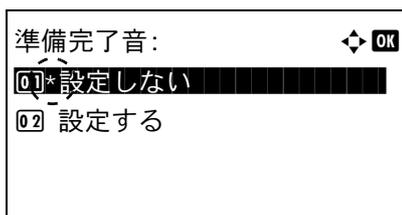
この設定を**「設定する」**にすると、印刷の完了時に音が鳴ります。初期設定は**「設定しない」**です。

1 **「ブザー」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「正常終了音」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「正常終了音」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、正常終了音の有無を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。正常終了音の有無が設定され、**「ブザー」**メニューに戻ります。

「準備完了音」（準備完了音の設定）

この設定を**「設定する」**にすると、印刷準備が整ったとき音が鳴ります。初期設定は**「設定しない」**です。

1 **「ブザー」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「準備完了音」**を選択してください。

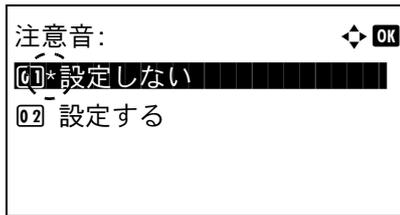
2 ［OK］キーを押してください。**「準備完了音」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、準備完了音の有無を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。準備完了音の有無が設定され、**「ブザー」**メニューに戻ります。

「注意音」（警告音の設定）

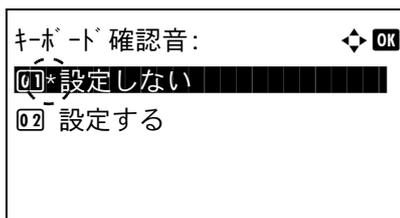
この設定を**「設定する」**にすると、印刷中に起きる用紙切れや紙づまりなど不具合時に音が鳴ります。初期設定は**「設定しない」**です。

1 **「ブザー」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「注意音」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「注意音」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、注意音の有無を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。注意音が設定され、**「ブザー」**メニューに戻ります。

「キーボード確認音」（キーボード確認音の設定）

この設定を**「設定する」**にすると、USBキーボードを使ったときに音が鳴ります。初期設定は**「設定しない」**です。

1 **「ブザー」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「キーボード確認音」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「キーボード確認音」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、キーボード確認音の有無を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。キーボード確認音が設定され、**「ブザー」**メニューに戻ります。

「RAM ディスク設定」（RAM ディスクの設定）

本機はRAMディスク機能を搭載しています。RAMディスクはプリンターの総メモリーの中から、任意のメモリーサイズをRAMディスクとして設定できます。この機能により電子ソートが可能になり、トータルの印刷時間を短縮できます。

RAMディスクを有効にした場合、最大設定値は標準で16MB、オプションメモリーを装着した時はその装着したオプションメモリーの1/2の値になります。

RAMディスクモードは初期設定では**「設定する」**になっています。

RAMディスク機能を使用する前に、次項で説明する方法でRAMディスクモードを**「設定する」**にして、RAMディスクのデータサイズを設定後、再起動してください。

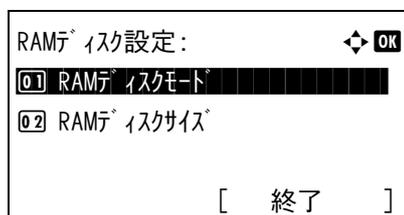
参考：本機はSD/SDHCメモリーカード、オプションのSSD（HD-6）、およびRAMディスクの3種類のストレージ装置を使用できます。SD/SDHCメモリーカードやSSD（HD-6）は、プリンターの専用スロットに装着して使用します。RAMディスクは、プリンターのメモリーの一部をRAMディスクに割り当てて使用します。

重要：SSD（HD-6）を装着した場合、RAMディスク機能は使用できません。
RAMディスクは一時的にデータを保存する機能です。プリンターを再起動したり電源を切った場合は消去されます。
RAMディスクは、ジョブボックスの一部の機能が使用できます。
RAM ディスクはプリンターのユーザー使用可能メモリーの中に割り当てられます。したがって、RAMディスクの設定値によっては、印刷速度が落ちたり、メモリー不足のために正常に印刷されない場合があります。

RAMディスク設定には次の項目があります。

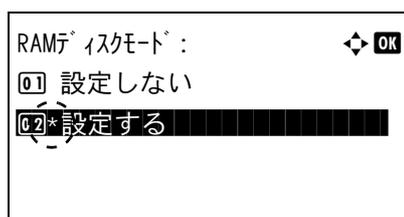
- 「RAMディスクモード」（RAMディスクモードの設定）...4-99
- 「RAMディスクサイズ」（RAMディスクサイズの設定）...4-99

1 **「共通設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「RAM ディスク設定」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「RAM ディスク設定」**メニューが表示されます。

「RAM ディスクモード」（RAM ディスクモードの設定）

この設定を**「設定する」**にするとRAMディスクが使用できます。

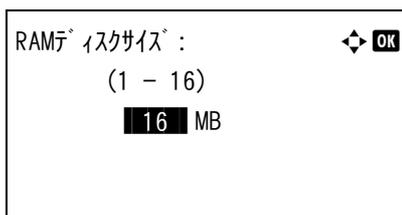
1 **「RAM ディスク設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「RAM ディスクモード」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「RAM ディスクモード」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、RAM ディスク使用の有無を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。RAM ディスク使用の有無が設定され、**「RAM ディスク設定」**メニューに戻ります。

「RAM ディスクサイズ」（RAM ディスクサイズの設定）

RAMディスクに使用するメモリー量を設定します。

1 **「RAM ディスク設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「RAM ディスクサイズ」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「**RAM ディスクサイズ**」が表示されます。

3 テンキー、［△］または［▽］キーを使って、RAM ディスクとして利用するメモリーサイズを設定します。

設定できるメモリーサイズの最大値は、プリンターの総メモリー量によって変わります。

4 ［OK］キーを押してください。RAM ディスクとして利用するメモリーサイズが登録され、RAM ディスク設定メニューに戻ります。

設定が終わったらメニューを終了し、プリンターの電源を入れ直してください。再起動後に設定が有効になります。

「SSD フォーマット」（SSD のフォーマット）

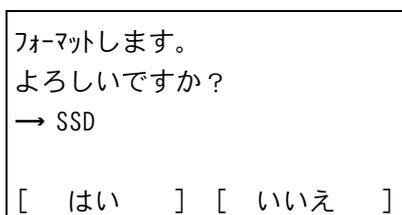
SSDのフォーマットは、オプションのSSD（HD-6）を初めてプリンターに装着した際に必要な操作です。この設定は、プリンターにHD-6を装着した場合に表示されます。

参考：HD-6を装着すると、文書ボックスの全機能を使用できます。すでにデータの書き込まれているHD-6に対してフォーマットを行った場合は、そのHD-6内のデータはすべて消去されます。
HD-6のフォーマットは、必ずプリンターで行ってください。HD-6が未フォーマットのときは、［**アテンション**］インジケーターが点滅し、「**SSDのフォーマットが必要**」が表示されます。

HD-6をフォーマットするときは、次の手順で行ってください。本機でフォーマットしていないHD-6を装着した場合は、「**SSDのフォーマットが必要**」が表示されます。

1 「**共通設定**」メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「**SSD フォーマット**」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。確認画面が表示されます。

ﾌｫｰﾏｯﾄします。
よろしいですか？
→ SSD
［　はい　］［　いいえ　］

3 ［**はい**］（［**左セレクト**］）キーを押してください。「**SSD フォーマット中です。**」が表示され、SSD のフォーマットが開始されます。フォーマットが終了すると、待機画面に戻ります。

［**いいえ**］（［**右セレクト**］）キーを押すと、SSD のフォーマットは行わずに、「**共通設定**」メニューに戻ります。

「SD カードフォーマット」（SD/SDHC メモリーカードのフォーマット）

本機にはSD/SDHCメモリーカードスロットが装備されています。SD/SDHCメモリーカードの取り扱いについては、付録-10ページのSD/SDHCメモリーカードを参照してください。

未使用のSD/SDHCメモリーカードを使用するためには、最初に本機でSD/SDHCメモリーカードのフォーマットを行う必要があります。初期化すると、SD/SDHCメモリーカードへのデータの書き込みが可能になります。

重要：「**SDカードフォーマット**」は、SD/SDHCメモリーカードが挿入されていてプロテクトが解除されている時に表示されます。

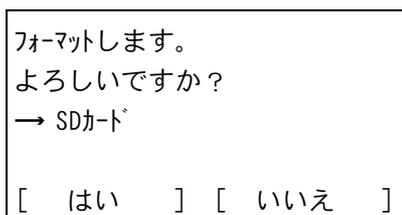
参考：すでにデータの書き込まれているSD/SDHCメモリーカードに対してフォーマットを行った場合は、そのSD/SDHCメモリーカード内のデータはすべて消去されます。SD/SDHCメモリーカードのフォーマットは、必ずプリンターで行ってください。

SD/SDHCメモリーカードをフォーマットするときは、次の手順で行ってください。本機でフォーマットしていないSD/SDHCメモリーカードを装着した場合は、「**SDカードのフォーマットが必要**」が表示されます。

1 「**共通設定**」メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「**SD カードフォーマット**」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。確認画面が表示されます。

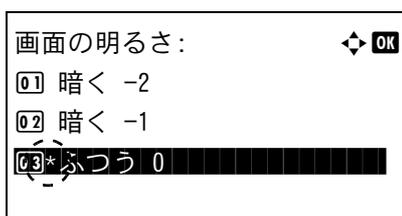
```
ﾌｫｰﾏｯﾄします。
よろしいですか？
→ SDｶｰﾄﾞ

[  はい  ] [  いいえ  ]
```

3 ［**はい**］（［**左セレクト**］）キーを押してください。「**SD カードフォーマット中です。**」が表示され、SD/SDHC メモリーカードのフォーマットが開始されます。フォーマットが終了すると、待機画面に戻ります。

［**いいえ**］（［**右セレクト**］）キーを押すと、SD/SDHC メモリーカードのフォーマットは行わずに、「**共通設定**」メニューに戻ります。

「画面の明るさ」（ディスプレイの明るさ）

メッセージディスプレイの明るさを設定します。

1 「**共通設定**」メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「**画面の明るさ**」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「**画面の明るさ**」が表示され、明るさの一覧が表示されます。

```
画面の明るさ:        OK
01 暗く -2
02 暗く -1
03*ふつう 0
```

選択できる明るさは次のとおりです。

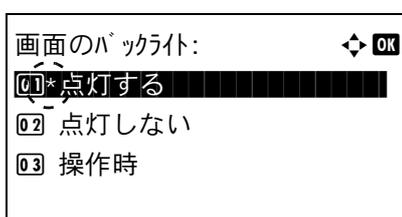
暗く -2
暗く -1
ふつう 0
明るく +1

明るく +2

3 ［△］または［▽］キーを押して、明るさを選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。明るさが設定され、**「共通設定」**メニューに戻ります。

「画面のバックライト」（メッセージディスプレイのバックライト設定）

メッセージディスプレイのバックライトを設定します。

1 **「共通設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「画面のバックライト」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「画面のバックライト」**が表示されます。

バックライトの設定は次のとおりです。

「点灯する」（標準）
「点灯しない」(バックライトを消灯)
「操作時」(操作部のキーを押したときに、バックライトを点灯)

参考：「操作時」を選択した場合、オートパネルリセットの設定時間が経過し操作パネルがリセットされたときや、［**ログアウト**］キーを押したときにバックライトは再び消灯します。

3 ［△］または［▽］キーを押して、バックライト設定を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。バックライトが設定され、**「共通設定」**メニューに戻ります。

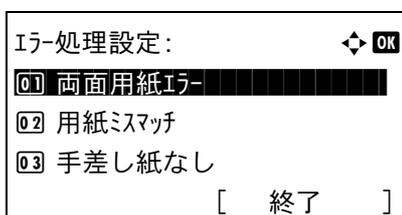
「エラー処理設定」（エラー処理動作の設定）

両面印刷時のエラーや給紙元固定時の用紙サイズ・種類のエラーの検知方法を設定できます。

エラー処理設定には次の項目があります。

- **「両面用紙エラー」（両面用紙エラー時動作の設定）...4-103**
- **「用紙ミスマッチ」（用紙ミスマッチエラー時動作の設定）...4-103**
- **「手差し紙なし」（手差しトレイ用紙なし時の表示設定）...4-103**

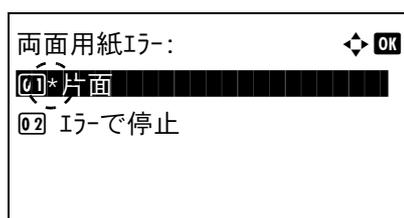
1 **「共通設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「エラー処理設定」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「エラー処理設定」**メニューが表示されます。

「両面用紙エラー」（両面用紙エラー時動作の設定）

両面印刷を行う時、両面印刷できないラベルなどの用紙種類を指定した場合に、**「この用紙は両面印刷できません。」**のメッセージを表示するか、しないかを選択できます。

片面	エラーを表示せずに片面印刷を行います。
エラーで停止	**「この用紙は両面印刷できません。」**を表示して印刷を停止します。 • ［OK］キーを押すと、片面印刷を行います。 • **［キャンセル］**キーを押すと、印刷そのものをキャンセルします。

1 **「エラー処理設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「両面用紙エラー」**を選択してください。

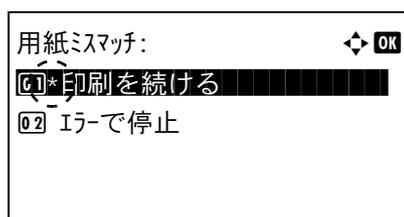
2 ［OK］キーを押してください。**「両面用紙エラー」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、両面用紙エラー時動作の設定を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。両面用紙エラー時動作の設定が設定され、**「エラー処理設定」**メニューに戻ります。

「用紙ミスマッチ」（用紙ミスマッチエラー時動作の設定）

給紙元を固定して印刷するときに、用紙サイズまたは種類が異なる場合、そのまま給紙する（印刷を続ける）、もしくは給紙エラーを表示する（エラーで停止）を選択できます。

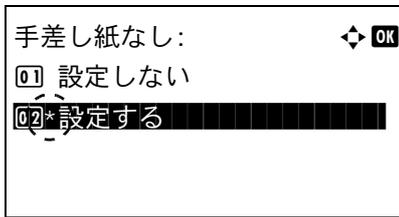
1 **「エラー処理設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「用紙ミスマッチ」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「用紙ミスマッチ」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、用紙ミスマッチエラー時動作の設定を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。用紙ミスマッチエラー時動作の設定が設定され、**「エラー処理設定」**メニューに戻ります。

「手差し紙なし」（手差しトレイ用紙なし時の表示設定）

給紙元を手差しトレイに固定して印刷するときに、手差しトレイに用紙が無い場合、用紙なしメッセージを表示する、もしく表示しないを選択できます。

「設定する」にすると、手差しトレイに用紙が無い場合、常に用紙なしメッセージが表示されます。

1 **「エラー処理設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「手差し紙なし」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「手差し紙なし」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、手差しトレイ用紙なし時表示の設定を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。手差しトレイ用紙なし時の表示設定が設定され、**「エラー処理設定」**メニューに戻ります。

「タイマー設定」（タイマーの設定）

自動改ページの待ち時間やオートスリープの待ち時間など、時間に関する設定を行います。

重要：タイマー設定を変更する場合は、管理者のログインユーザー名とログインパスワードを入力する必要があります。管理者の設定については、4-137ページの**管理者について**を参照してください。

タイマー設定には次の項目があります。

1 **「共通設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「タイマー設定」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。ログイン画面が表示されます。

参考：ユーザー管理を設定している場合
管理者でログインしている場合は、ログイン画面は表示されずに**「タイマー設定」**メニューが表示されます。
管理者以外でログインしている場合は、設定できません。管理者でログインし直してください。

3 **「ログインユーザー名」**入力欄を選択して、［OK］キーを押してください。**「ログインユーザー名」**入力画面が表示されます。

4 テンキーでログインユーザー名を入力し、［OK］キーを押してください。ログイン画面に戻ります。

参考：管理者のログインユーザー名の初期値は「Admin」です。文字の入力方法については、付録 -2 ページの**文字の入力方法**を参照してください。

5 ［△］または［▽］キーを押して、**「ログインパスワード」**を選択してください。

6 ［OK］キーを押してください。**「ログインパスワード」**入力画面が表示されます。

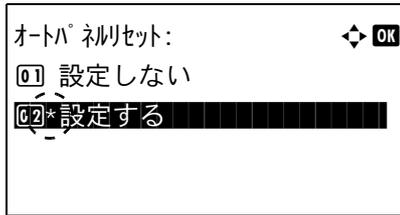
7 テンキーでログインパスワードを入力し、［OK］キーを押してください。ログイン画面に戻ります。

参考：管理者のログインパスワードの初期値は「Admin」です。文字の入力方法については、付録 -2 ページの**文字の入力方法**を参照してください。

8 **［ログイン］（［右セレクト］）**キーを押してください。入力したログインユーザー名とログインパスワードが正しければ、**「タイマー設定」**メニューが表示されます。

「オートパネルリセット」（オートパネルリセットの設定）

オートパネルリセットは、一定時間操作がないと、設定内容が自動的にリセットされて初期値に戻る機能です。初期設定は**「設定する」**です。

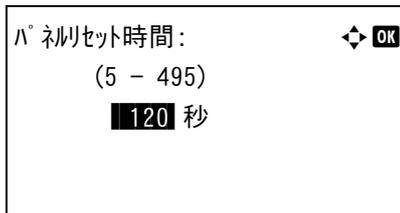
オートパネルリセットに入るまでの時間設定は、4-106 ページの**「パネルリセット時間」（パネルリセット時間の設定）**で行ってください。

1 **「タイマー設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「オートパネルリセット」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「オートパネルリセット」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、オートパネルリセットの有無を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。オートパネルリセット有無が設定され、**「タイマー設定」**メニューに戻ります。

「パネルリセット時間」（パネルリセット時間の設定）

オートパネルリセット**「設定する」**に設定した場合、操作終了後、オートリセットされるまでの時間を設定できます。初期設定では120秒です。

1 **「タイマー設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「パネルリセット時間」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「パネルリセット時間」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを使って、パネルリセット時間を設定します。

4 ［OK］キーを押してください。パネルリセット時間の設定が登録され、**「タイマー設定」**メニューに戻ります。

「スリープレベル設定」（スリープレベルの設定）

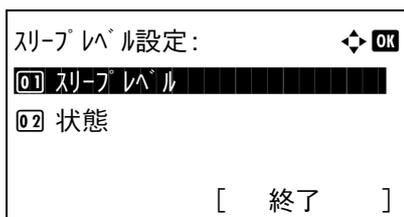
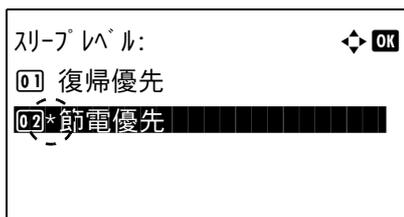
スリープモードには、**「復帰優先」**と**「節電優先」**の2つのスリープレベルがあります。

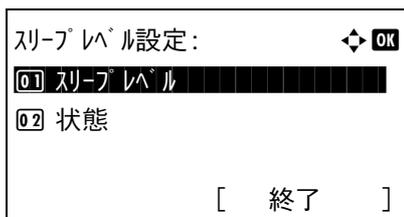
復帰優先モード：節電優先モードよりもスリープモードからの復帰が早いです。

節電優先モード：復帰優先モードよりも消費電力を抑えることができます。節電優先モードでは、各機能ごとに節電優先モードを有効にするか設定することができます。

参考：復帰優先モードと節電優先モードについては、2-23ページの**省エネ機能について**を参照してください。
「スリープレベル設定」は、オプションのネットワークインターフェイスキット（IB-50）またはワイヤレスインターフェイスキット（IB-51）を装着している場合、表示されません。

---

1 **「タイマー設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「スリープレベル設定」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「スリープレベル設定」**メニューが表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、**「スリープレベル」**を選択してください。

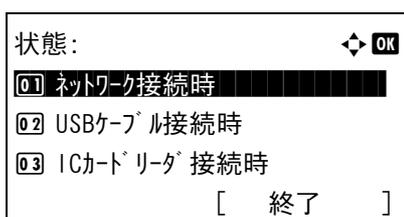
4 ［OK］キーを押してください。**「スリープレベル」**メニューが表示されます。

5 ［△］または［▽］キーを押して、**「復帰優先」**または**「節電優先」**を選択してください。

6 ［OK］キーを押してください。スリープレベルが設定され、**「スリープレベル設定」**メニューに戻ります。

「節電優先」を選択した場合は、続けて機能別に節電優先モードを使用するかどうかを設定します。

7 ［△］または［▽］キーを押して、**「状態」**を選択してください。

参考：「状態」は節電優先モード設定時のみ表示されます。

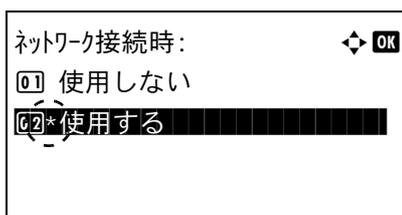
状態：
01 ﾈｯﾄﾜｰｸ接続時
02 USBｹｰﾌﾞﾙ接続時
03 ICｶｰﾄﾞ ﾘｰﾀﾞ 接続時
[終了]

8 ［OK］キーを押してください。**「状態」**メニューが表示されます。

次の機能別に、節電優先モードを使用するかどうかを設定します。

項目	初期値
ネットワーク接続時（ネットワークインターフェイスの設定）	使用する
USBケーブル接続時（USBインターフェイスの設定）	使用する
ICカードリーダ接続時（ICカードリーダーの設定）	使用する
RAMディスク使用時（RAMディスクモードの設定）	使用しない
パラレルI/F接続時（パラレルインターフェイスの設定）	使用する

参考：**「ICカードリーダ接続時」**は、ICカードリーダー機能が有効になっている場合のみ表示されます。

「パラレルI/F接続時」は、オプションのパラレルインターフェイスキット（IB-32）が装着されている場合のみ表示されます。

9 ［△］または［▽］キーを押して、設定する機能を選択してください。

10 ［OK］キーを押してください。選択した機能の画面が表示されます。

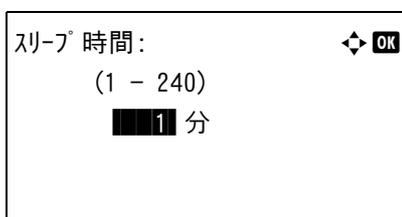
11 ［△］または［▽］キーを押して、節電優先モードを使用するかどうか選択してください。

「使用する」を選択すると節電優先モードが設定されます。

12 ［OK］キーを押してください。各機能の節電優先モードが設定され、**「状態」**メニューに戻ります。

参考：別の機能の節電優先モードを設定するときは、手順9～12を行ってください。

「スリープ時間」（スリープ時間の設定）

オートスリープの設定を**「設定する」**にしたとき、プリンターがスリープモードに入るまでの時間を設定します。印刷データを受信したり、操作パネルの［OK］キーを押すと、プリンターはスリープモードより復帰します。初期設定では1分です。

1 **「タイマー設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「スリープ時間」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「スリープ時間」**が表示されます。

3 テンキー、［△］または［▽］キーを使って、待機時間を設定してください。

4 ［OK］キーを押してください。スリープ時間の設定が登録され、**「タイマー設定」**メニューに戻ります。

「電源オフ条件」（電源オフ条件の設定）

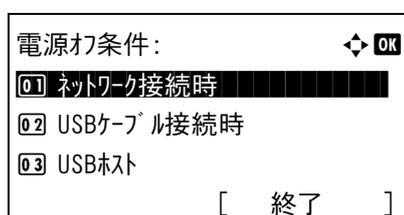
電源オフ条件は、本機の状態や設定により電源が自動的に切れないようにする機能です。設定できる条件と初期値は次のとおりです。

項目	初期値
ネットワーク接続時（ネットワークインターフェイスの設定）	使用しない
USBケーブル接続時（USBインターフェイスの設定）	使用しない
USBホスト（USB メモリースロットの設定）	使用しない
RAMディスク使用時（RAMディスクモードの設定）†	使用しない
NIC装着時（オプションネットワークインターフェイスカード（NIC）の設定）	使用しない
パラレルI/F接続時（パラレルインターフェイスの設定）	使用しない

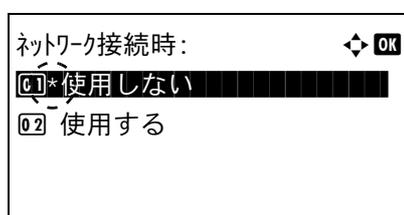
† 電源オフ条件を**「使用する」**に設定すると、電源を切ったときに RAM ディスクに保存されているすべてのデータを削除します。

参考：**「使用する」**を設定すると、自動的に電源を切ります。

「NIC装着時」は、ネットワークインターフェイスキット（IB-50）または、ワイヤレスインターフェイスキット（IB-51）が装着されている場合のみ表示されます。

「パラレルI/F接続時」は、オプションのパラレルインターフェイスキット（IB-32）が装着されている場合のみ表示されます。

1 **「タイマー設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「電源オフ条件」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「電源オフ条件」**メニューが表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、設定する条件を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。選択した条件の画面が表示されます。

5 ［△］または［▽］キーを押して、各条件で電源をオフにするかどうか選択してください。

6 ［OK］キーを押してください。電源オフ条件が設定され、**「電源オフ条件」**メニューに戻ります。

参考：別の条件を設定するときは、手順 3 ～ 6 を行ってください。

「電源オフ時間」（電源オフ時間の設定）

電源が切れるまでの時間を設定できます。初期設定は**「1時間」**です。

1. **「タイマー設定」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「電源オフ時間」**を選択してください。
2. ［OK］キーを押してください。**「電源オフ時間」**が表示されます。
3. ［△］または［▽］キーを使って、電源が切れるまでの時間を選択してください。

   設定できる時間は、1 時間、2 時間、3 時間、4 時間、5 時間、6 時間、9 時間、12 時間、1 日、2 日、3 日、4 日、5 日、6 日、1 週間です。
4. ［OK］キーを押してください。電源が切れるまでの時間が設定され、**「タイマー設定」**メニューに戻ります。

「エラー後自動継続」（エラー後自動継続の設定）

継続印刷の可能なエラーが発生した場合、一定時間が経過した後に次に受信しているデータを自動的に継続印刷します。たとえばプリンターを共有している場合、前に印刷していた人がそれらのエラーを発生させても、一定時間後には他の人の印刷を継続して印刷できます。初期設定は**「設定しない」**（自動継続印刷しない）です。

継続印刷可能なエラー：

「プリントオーバーランです。」

「KPDLエラーです。」

「SSDエラーです。」

「RAMディスクエラーです。」

「SDカードエラーです。」

「部門コードが違います。」

「部門管理設定エラーです。」

「この用紙は両面印刷できません。」

「部門管理の制限を超えました。」

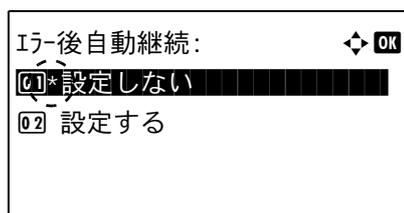
「複数印刷できません。」

「USBメモリーエラーです。」

「部門管理で禁止されています。」

「ジョブが保存できません。」

継続印刷が可能なエラーが発生してから印刷を再開するまでの時間は、4-111 ページの**「エラー後継続時間」（エラー後継続時間の設定）**で行ってください。

1 「**タイマー設定**」メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「**エラー後自動継続**」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「**エラー後自動継続**」が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、エラー後自動継続の有無を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。エラー後自動継続の有無が設定され、「**タイマー設定**」メニューに戻ります。

「エラー後継続時間」（エラー後継続時間の設定）

エラー後自動継続が設定するになっているときに、継続印刷が可能なエラーが発生してから印刷を再開するまでの復帰時間を設定します。初期値は30秒です。

1 「**タイマー設定**」メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「**エラー後継続時間**」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「**エラー後継続時間**」が表示されます。

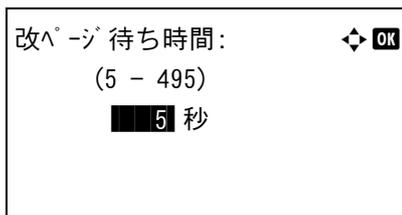
3 ［△］または［▽］キーを使って、復帰時間を設定してください。

4 ［OK］キーを押してください。復帰時間の設定が登録され、「**タイマー設定**」メニューに戻ります。

「改ページ待ち時間」（改ページ待ち時間の設定）

プリンターはパソコンからの印刷データを受け取る際に、パソコンからのデータ送信が終了したことを示す情報がないと、最後のページを印刷せずに待機します。

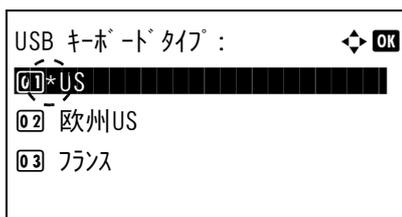
あらかじめ設定された待ち時間が経過すると、自動的に改ページして残りのデータを印刷します。初期設定では5秒です。

1 「**タイマー設定**」メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「**改ページ待ち時間**」を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。**「改ページ待ち時間」**が表示されます。

3 [△] または [▽] キーを使って、改ページ待ち時間を設定してください。

4 [OK] キーを押してください。改ページ待ち時間の設定が登録され、**「タイマー設定」**メニューに戻ります。

「USB キーボードタイプ」（USB キーボードタイプの選択）

使用するUSBキーボードのタイプを選択してください。

1 **「共通設定」**メニューで、[△] または [▽] キーを押して、**「USB キーボードタイプ」**を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。**「USB キーボードタイプ」**が表示されます。

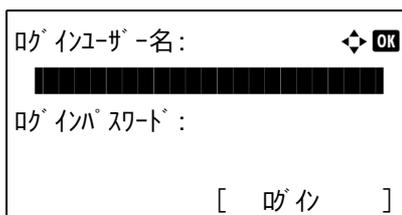
USB キーボードタイプは次のとおりです。

US
欧州 US
フランス
ドイツ

3 [△] または [▽] キーを押して、希望の USB キーボードタイプを選択してください。

4 [OK] キーを押してください。USB キーボードタイプが設定され、**「共通設定」**メニューに戻ります。

「トナー少の通知レベル」（トナー補給のアラートレベルの設定）

ステータスモニターに表示されるトナー補給のアラートレベルを設定します。

1 **「共通設定」**メニューで、[△] または [▽] キーを押して、**「トナー少の通知レベル」**を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。ログイン画面が表示されます。

参考：ユーザー管理を設定している場合
管理者でログインしている場合は、ログイン画面は表示されずに**「トナー少の通知レベル」**メニューが表示されます。管理者以外でログインしている場合は、設定できません。管理者でログインし直してください。

---

3 **「ログインユーザー名」**入力欄を選択して、[OK] キーを押してください。**「ログインユーザー名」**入力画面が表示されます。

4 テンキーでログインユーザー名を入力し、[OK] キーを押してください。ログイン画面に戻ります。

参考：管理者のログインユーザー名の初期値は「Admin」です。文字の入力方法については、付録 -2 ページの**文字の入力方法**を参照してください。

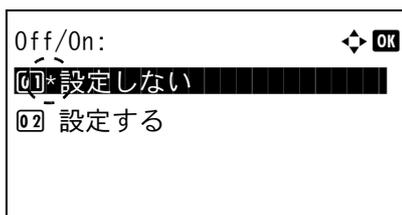
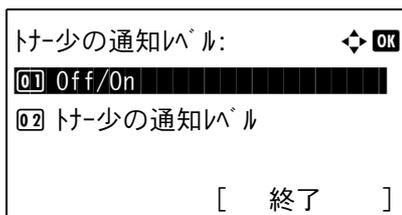
5 [△] または [▽] キーを押して、**「ログインパスワード」**を選択してください。

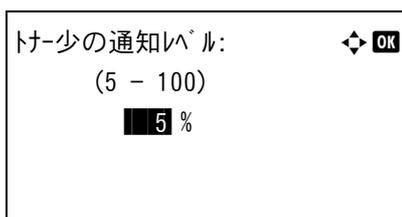
6 [OK] キーを押してください。**「ログインパスワード」**入力画面が表示されます。

7 テンキーでログインパスワードを入力し、[OK] キーを押してください。ログイン画面に戻ります。

参考：管理者のログインパスワードの初期値は「Admin」です。文字の入力方法については、付録 -2 ページの**文字の入力方法**を参照してください。

8 **[ログイン]**（**[右セレクト]**）キーを押してください。入力したログインユーザー名とログインパスワードが正しければ、**「トナー少の通知レベル」**メニューが表示されます。

9 [△] または [▽] キーを押して、「Off/On」を選択してください。

10 [OK] キーを押してください。「Off/On」が表示されます。

11 [△] または [▽] キーを押して、トナー補給の通知を行うかどうかを選択してください。

12 [OK] キーを押してください。**「トナー少の通知レベル」**メニューに戻ります。

13 [△] または [▽] キーを押して、**「トナー少の通知レベル」**を選択してください。

14 [OK] キーを押してください。**「トナー少の通知レベル」**が表示されます。

15 テンキー、[△] または [▽] キーを使って、アラートを表示するレベルを設定してください。トナー残量 5 〜 100 %で設定できます。

16 [OK] キーを押してください。アラート通知のレベルが設定され、**「トナー少の通知レベル」**メニューに戻ります。

「セキュリティー」（セキュリティー機能の設定）

本機の操作およびデータを保護するため、セキュリティー機能の設定ができます。

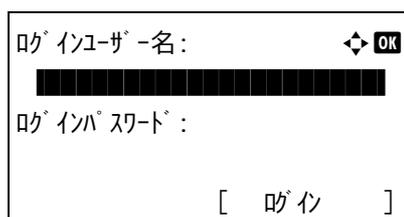
重要：セキュリティー機能を設定する場合は、管理者のログインユーザー名とログインパスワードを入力する必要があります。管理者の設定については、4-137ページの**管理者について**を参照してください。

セキュリティー機能の設定には次の項目があります。

参考：「データセキュリティーメニュー」は、オプションのData Security Kit (E)を使用している場合に表示されます。詳しくは、Data Security Kit (E)**使用説明書**を参照してください。

1 ［メニュー］キーを押してください。

2 ［△］または［▽］キーを押して、「**セキュリティー**」を選択してください。

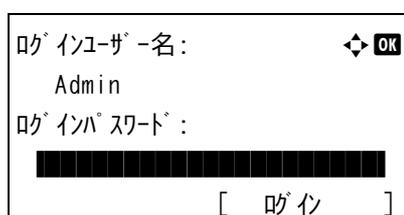
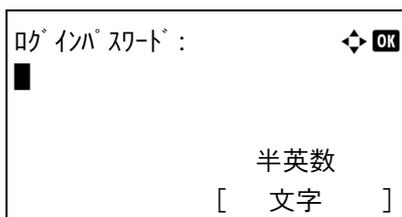
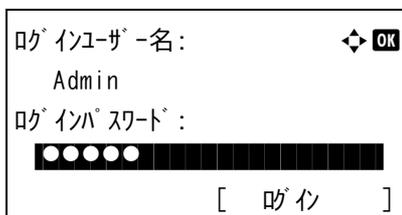
3 ［OK］キーを押してください。ログイン画面が表示されます。

参考：ユーザー管理を設定している場合
管理者でログインしている場合は、ログイン画面は表示されずに「**セキュリティー**」メニューが表示されます。
管理者以外でログインしている場合は、設定できません。管理者でログインし直してください。

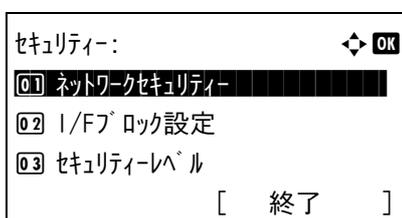
4 「**ログインユーザー名**」入力欄を選択して、［OK］キーを押してください。「**ログインユーザー名**」入力画面が表示されます。

5 テンキーでログインユーザー名を入力し、［OK］キーを押してください。ログイン画面に戻ります。

参考：管理者のログインユーザー名の初期値は「Admin」です。文字の入力方法については、付録-2ページの**文字の入力方法**を参照してください。

ﾛｸﾞｲﾝﾕｰｻﾞｰ名:
Admin
ﾛｸﾞｲﾝﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:
[ﾛｸﾞｲﾝ]

6 ［△］または［▽］キーを押して、「**ログインパスワード**」を選択してください。

7 [OK] キーを押してください。「**ログインパスワード**」入力画面が表示されます。

8 テンキーでログインパスワードを入力し、[OK] キーを押してください。ログイン画面に戻ります。

参考：管理者のログインパスワードの初期値は「Admin」です。文字の入力方法については、付録 -2 ページの**文字の入力方法**を参照してください。

9 **[ログイン]（[右セレクト]）**キーを押してください。入力したログインユーザー名とログインパスワードが正しければ、「**セキュリティー**」メニューが表示されます。

「ネットワークセキュリティー」（ネットワークセキュリティーの設定）

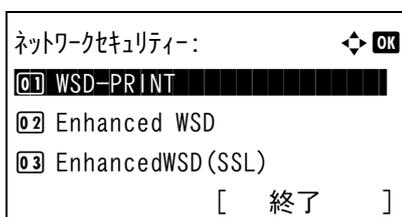
使用するネットワークプロトコルごとのセキュリティー設定を行います。

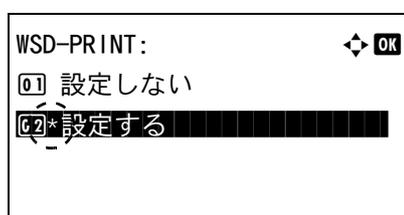
重要：ネットワークの設定は、ネットワーク管理者に確認してください。

ネットワークセキュリティー設定には次の項目があります。

- 「WSD-PRINT」（WSDプリントの設定）...4-117
- 「Enhanced WSD」（Enhanced WSDの設定）...4-117
- 「EnhancedWSD(SSL)」（EnhancedWSD(SSL)の設定）...4-117
- 「IPP」（IPPの設定）...4-118
- 「SSL設定」（SSLの設定）...4-118
- 「IPSec」（IPSecの設定）...4-121
- 「ThinPrint」（ThinPrintの設定）...4-122
- 「LANインターフェイス」（LANインターフェイス設定）...4-123

1 「**セキュリティー**」メニューで、[△] または [▽] キーを押して、「**ネットワークセキュリティー**」を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。「**ネットワークセキュリティー**」メニューが表示されます。

「WSD-PRINT」（WSD プリントの設定）

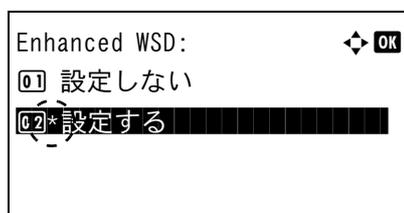
WSDプリントを使用するかどうかを選択します。初期設定は**「設定する」**です。

1 「**ネットワークセキュリティー**」メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「WSD-PRINT」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「WSD-PRINT」が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、WSD-PRINT 使用の有無を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。WSD-PRINT 使用の有無が設定され、「**ネットワークセキュリティー**」メニューに戻ります。

「Enhanced WSD」（Enhanced WSD の設定）

弊社が独自に提供するWebサービスを使用するかどうかを設定します。ネットワークドライバーはこのEnhanced WSDのWebサービスを利用します。初期設定は**「設定する」**です。

1 「**ネットワークセキュリティー**」メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「Enhanced WSD」を選択してください。

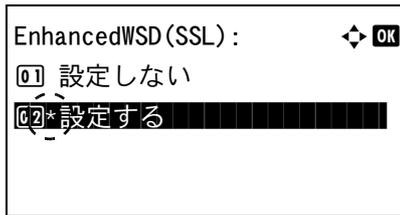
2 ［OK］キーを押してください。「Enhanced WSD」が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、Enhanced WSD 使用の有無を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。Enhanced WSD 使用の有無が設定され、「**ネットワークセキュリティー**」メニューに戻ります。

「EnhancedWSD(SSL)」（EnhancedWSD(SSL) の設定）

弊社が独自に提供するWebサービスをSSL上で使用するかどうかを設定します。4-119ページの「SSL」（SSLサーバーの設定）でSSLを**「設定する」**に設定する必要があります。初期設定は**「設定する」**です。

1 「**ネットワークセキュリティー**」メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「EnhancedWSD(SSL)」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「EnhancedWSD(SSL)」が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、EnhancedWSD(SSL) 使用の有無を選択してください。

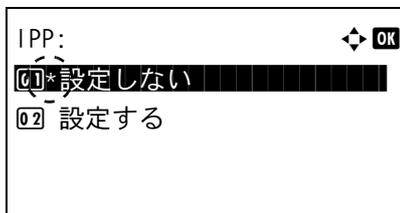
4 ［OK］キーを押してください。EnhancedWSD(SSL) 使用の有無が設定され、**「ネットワークセキュリティー」**メニューに戻ります。

「IPP」（IPP の設定）

IPP（Internet Printing Protocol、インターネット プリンティング プロトコル）は、インターネット網に代表されるTCP/IPネットワークを利用して、遠隔地にあるプリンターとパソコンの間で印刷データなどのやりとりを行うための規格です。

Webページの閲覧に使われるHTTPを拡張した規格であり、ルーターによって隔てられた遠隔地のプリンターに対しても印刷操作を行うことが可能になります。また、HTTPの認証機構や、SSLによるサーバー認証、クライアント認証、および暗号化にも対応しています。初期設定は**「設定しない」**です。

1 **「ネットワークセキュリティー」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「IPP」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「IPP」が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、IPP 使用の有無を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。IPP 使用の有無が設定され、**「ネットワークセキュリティー」**メニューに戻ります。

「SSL 設定」（SSL の設定）

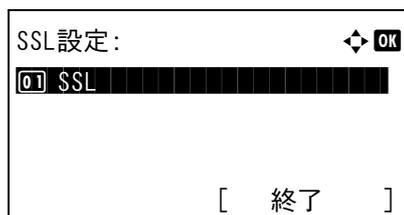
SSL（Secure Sockets Layer）はネットワーク上で情報を暗号化して送受信するプロトコルを示します。現在、インターネットで広く使われているWWWやFTPなどのデータを暗号化し、プライバシーに関わる情報やクレジットカード番号、企業秘密などを安全に送受信することができます。

SSLサーバーは、このプロトコルを使用し、サーバーおよびクライアントの認証を行います。

SSL設定には次の項目があります。

- 「SSL」（SSLサーバーの設定）...4-119
- 「IPP over SSL」（SSLサーバーのIPP over SSL設定）...4-120
- 「HTTPS」（SSLサーバーのHTTPS設定）...4-121

1 「ネットワークセキュリティー」メニューで、[△] または [▽] キーを押して、「SSL 設定」を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。「SSL 設定」メニューが表示されます。

「SSL」(SSL サーバーの設定)

SSLサーバーの設定を行います。

SSLの設定には次の項目があります。

- 「Off/On」(SSL動作設定) ...4-119
- 「暗号化」(暗号化設定) ...4-119

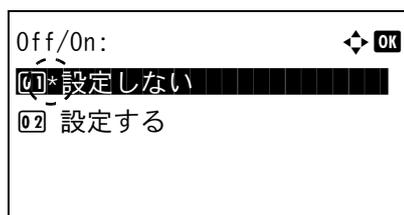
1 「SSL 設定」メニューで、[△] または [▽] キーを押して、「SSL」を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。「SSL」メニューが表示されます。

「Off/On」(SSL動作設定)

SSLサーバーを使用するかどうかを設定します。初期設定は**「設定しない」**です。

1 「SSL」メニューで、[△] または [▽] キーを押して、「Off/On」を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。「Off/On」が表示されます。

3 [△] または [▽] キーを押して、SSL サーバー使用の有無を選択してください。

4 [OK] キーを押してください。SSL サーバー使用の有無が設定され、「SSL」メニューに戻ります。

「暗号化」(暗号化設定)

SSLサーバーで使用する暗号化方式を設定します。

参考:この設定は、4-119ページの「SSL」(SSLサーバーの設定)を**「設定する」**に設定している場合に表示されます。

1 「SSL」メニューで、[△] または [▽] キーを押して、**「暗号化」**を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。**「暗号化」**が表示されます。

3 [△] または [▽] キーを押して、使用する暗号化方式を選択して、[OK] キーを押します。

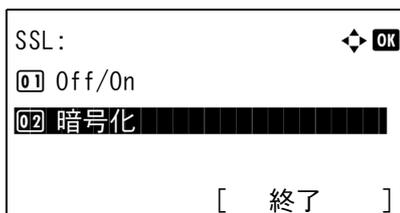
使用できる暗号化方式には次の項目があります。

- 「AES」
  AES（Advanced Encryption Standard）は、DES の安全性が低下してきたことを背景に、DES に代わる標準暗号として開発されました。AES は、SPN 構造（繰返し暗号の代表的な構成法）を採用したブロック長 128 ビットのブロック暗号で、鍵長は 128 ビット、192 ビット、256 ビットの 3 つを選択できます。
- 「DES」
  DES（Data Encryption Standard）は、代表的な共通鍵暗号アルゴリズムで、データを 64 ビット長のブロックに分割し、各ブロックを 56 ビット長の鍵で暗号化する共通鍵暗号方式を使用しています。

  重要：共通鍵暗号方式では、暗号鍵と復号鍵が共通なため、暗号情報をやり取りする双方で鍵を共有します。したがって鍵の漏えいを防ぐために、鍵の受け渡しや保管などにおいて厳重な管理が必要となります。

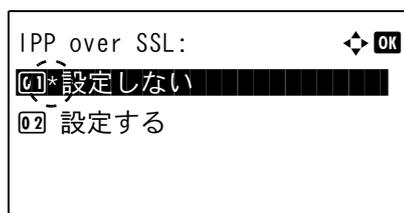
- 「3DES」
  3DES（Triple Data Encryption Standard）は、DES を 3 重に繰り返すことで、暗号強度を高めています。

選択した暗号化方式の右にはチェックマーク（✓）が付きます。

4 選択が終了したら [**確定**]（[**右セレクト**]）キーを押してください。使用する暗号化方式が設定され、「SSL」メニューに戻ります。

「IPP over SSL」（SSL サーバーの IPP over SSL 設定）

IPP over SSL は、ネットワークにおける印刷で、ユーザーとサーバー間の通信を、SSL を使って暗号化する機能のことです。IPP over SSL を利用するには、サーバーとクライアントが共に対応している必要があります。初期設定は**「設定しない」**です。

1 「SSL 設定」メニューで、[△] または [▽] キーを押して、「IPP over SSL」を選択してください。

IPP over SSL:
01 * 設定しない
02 設定する

2 [OK] キーを押してください。「IPP over SSL」が表示されます。

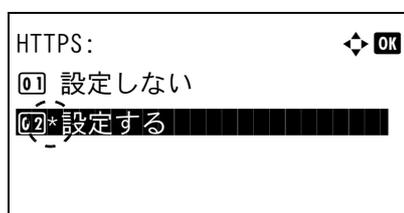
3 [△] または [▽] キーを押して、IPP over SSL 使用の有無を選択してください。

4 [OK] キーを押してください。IPP over SSL 使用の有無が設定され、「SSL 設定」メニューに戻ります。

「HTTPS」(SSL サーバーの HTTPS 設定)

HTTPS(HyperText Transfer Protocol Secure)は、WWWサーバーとクライアントの間でデータ転送を行うHTTPにSSLによるデータの暗号化、メッセージ認証、デジタル署名の機能を付加したプロトコルのことです。

同様のプロトコルにS-HTTPがありますが、HTTPSは、SSLを利用しているという点が異なります。初期設定は「**設定する**」です。

1 「SSL 設定」メニューで、[△] または [▽] キーを押して、「HTTPS」を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。「HTTPS」が表示されます。

3 [△] または [▽] キーを押して、HTTPS 使用の有無を選択してください。

4 [OK] キーを押してください。HTTPS 使用の有無が設定され、「SSL 設定」メニューに戻ります。

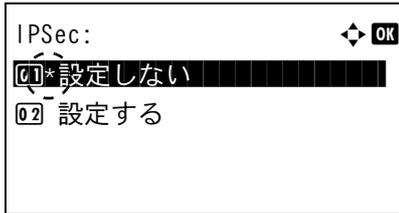
「IPSec」(IPSec の設定)

IPSec(IP Security Protocol)は、IETFで標準化された第3層のネットワーク層(IP層)での認証および暗号化を行うためのセキュリティープロトコルのことです。

IPv4とIPv6の双方に適用できます。

参考:IPv4ではIPアドレスに32ビットが使用され、IPv6では128ビットが使用されます。

初期設定は「**設定しない**」です。

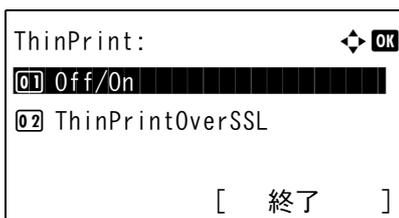
1 「ネットワークセキュリティー」メニューで、[△] または [▽] キーを押して、「IPSec」を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。「IPSec」が表示されます。

3 [△] または [▽] キーを押して、IPSec 使用の有無を選択してください。

4 [OK] キーを押してください。IPSec 使用の有無が設定され、「**ネットワークセキュリティー**」メニューに戻ります。

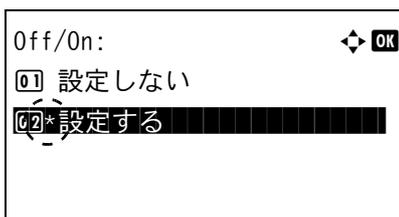
「ThinPrint」(ThinPrint の設定)

ThinPrint を使用するかどうか選択します。SSL を設定することもできます。初期設定は「**設定する**」です。

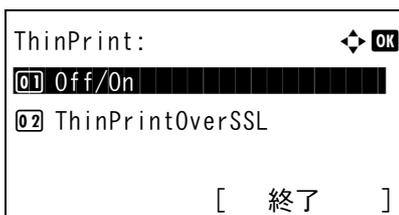
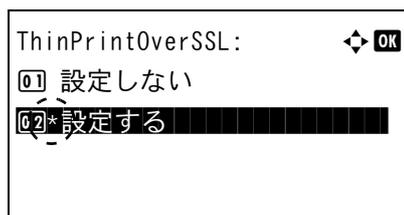
参考:「ThinPrint」は、オプションの UG-33 を使用している場合に表示されます。

1 「**ネットワークセキュリティー**」メニューで、[△] または [▽] キーを押して、「ThinPrint」を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。「ThinPrint」メニューが表示されます。

3 [△] または [▽] キーを押して、「Off/On」を選択してください。

4 [OK] キーを押してください。「Off/On」が表示されます。

5 [△] または [▽] キーを押して、ThinPrint 使用の有無を選択してください。

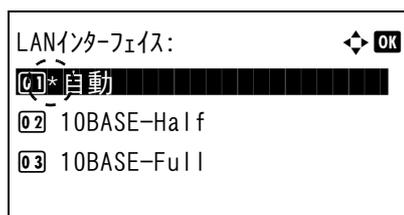
6 [OK] キーを押してください。ThinPrint 使用の有無が設定され、「ThinPrint」メニューに戻ります。

「**設定する**」を選択した場合は、「ThinPrintOverSSL」が表示されますので、続けて設定を行います。

7 [△] または [▽] キーを押して、「ThinPrintOverSSL」を選択してください。

8 ［OK］キーを押してください。「ThinPrintOverSSL」が表示されます。

9 ［△］または［▽］キーを押して、ThinPrint over SSL 使用の有無を選択してください。

10 ［OK］キーを押してください。ThinPrint が設定され、「ThinPrint」メニューに戻ります。

「LAN インターフェイス」（LAN インターフェイス設定）

ネットワーク接続で使用するインターフェイスを選択します。初期設定は**「自動」**です。

1 **「ネットワークセキュリティー」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「LAN インターフェイス」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「LAN インターフェイス」**が表示されます。

設定できる LAN インターフェイスは次のとおりです。

「自動」
「10BASE-Half」
「10BASE-Full」
「100BASE-Half」
「100BASE-Full」
「1000BASE-T」

3 ［△］または［▽］キーを押して、希望の LAN インターフェイスを選択してください。

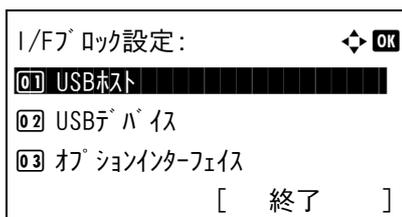
4 ［OK］キーを押してください。LAN インターフェイスが設定され、**「ネットワークセキュリティー」**メニューに戻ります。

「I/F ブロック設定」（外部機器ブロックの設定）

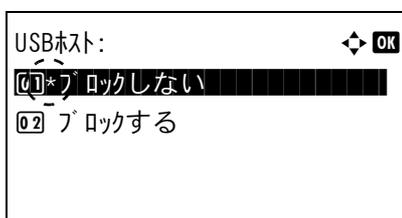
インターフェイスをブロックして、保護することができます。

I/Fブロック設定には次の項目があります。

- 「USBホスト」（USBポートの設定）...4-124
- 「USBデバイス」（USBインターフェイスの設定）...4-124
- 「オプションインターフェイス」（オプションネットワークインターフェイスの設定）...4-125
- 「パラレルインターフェイス」（パラレルインターフェイスの設定）...4-125
- 「USBストレージ」（USBメモリーの設定）...4-125

1 **「セキュリティー」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「I/F ブロック設定」**を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。**「I/F ブロック設定」** メニューが表示されます。

「USB ホスト」(USB ポートの設定)

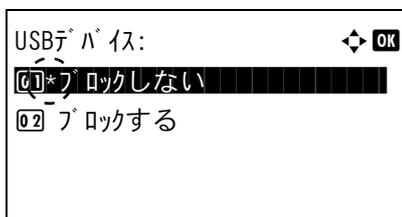
USBポート(USBホスト)をブロックして保護します。USBポートに接続する機器(USBメモリー、USBキーボード、ICカードリーダー)を使用できないようにします。初期設定は **「ブロックしない」** です。

1 **「I/F ブロック設定」** メニューで、[△] または [▽] キーを押して、**「USB ホスト」** を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。**「USB ホスト」** が表示されます。

3 [△] または [▽] キーを押して、USB ホストをブロックして保護するかを選択してください。

4 [OK] キーを押してください。USB ホストのブロックが設定され、**「I/F ブロック設定」** メニューに戻ります。

「USB デバイス」(USB インターフェイスの設定)

USBインターフェイスをブロックして保護します。USBインターフェイスコネクターにパソコンを接続しても印刷できないようにします。初期設定は **「ブロックしない」** です。

1 **「I/F ブロック設定」** メニューで、[△] または [▽] キーを押して、**「USB デバイス」** を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。**「USB デバイス」** が表示されます。

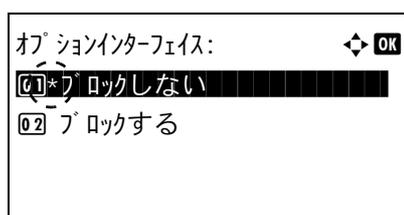
3 [△] または [▽] キーを押して、USB デバイスをブロックして保護するかを選択してください。

4 [OK] キーを押してください。USB デバイスのブロックが設定され、**「I/F ブロック設定」** メニューに戻ります。

「オプションインターフェイス」(オプションネットワークインターフェイスの設定)

オプションネットワークインターフェイスをブロックして保護します。オプションのネットワークインターフェイスキットやパラレルインターフェイスキットを使用できないようにします。初期設定は**「ブロックしない」**です。

1 「**I/F ブロック設定**」メニューで、[△] または [▽] キーを押して、**「オプションインターフェイス」**を選択してください。

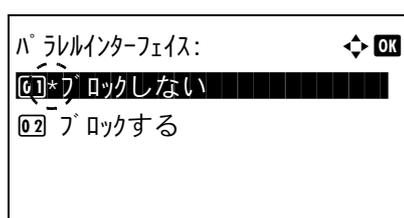
2 [OK] キーを押してください。**「オプションインターフェイス」**が表示されます。

3 [△] または [▽] キーを押して、オプションネットワークインターフェイスをブロックして保護するかを選択してください。

4 [OK] キーを押してください。オプションネットワークインターフェイスのブロックが設定され、**「I/F ブロック設定」**メニューに戻ります。

「パラレルインターフェイス」(パラレルインターフェイスの設定)

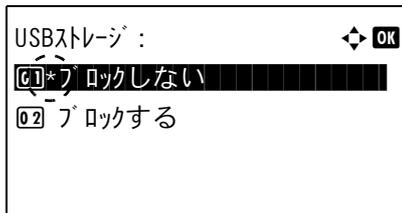
パラレルインターフェイスをブロックして保護します。オプションのパラレルインターフェイスから印刷できないようにします。初期設定は**「ブロックしない」**です。

1 「**I/F ブロック設定**」メニューで、[△] または [▽] キーを押して、**「パラレルインターフェイス」**を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。**「パラレルインターフェイス」**が表示されます。

3 [△] または [▽] キーを押して、パラレルインターフェイスをブロックして保護するかを選択してください。

4 [OK] キーを押してください。パラレルインターフェイスのブロックが設定され、**「I/F ブロック設定」**メニューに戻ります。

「USB ストレージ」(USB メモリーの設定)

USBストレージ(USB メモリー)をブロックして保護します。USB メモリーを本機に挿入しても認識しないようにします。初期設定は**「ブロックしない」**です。

1 「**I/F ブロック設定**」メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「**USB ストレージ**」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「**USB ストレージ**」が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、USB メモリーをブロックして保護するかを選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。USB メモリーのブロックが設定され、「**I/F ブロック設定**」メニューに戻ります。

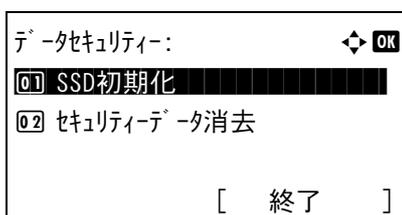
セキュリティーレベル

セキュリティーレベルの設定は、主にサービス担当者がメンテナンスするために操作するメニューです。お客様が操作をする必要はありません。

「データセキュリティー」（データセキュリティーの設定）

セキュリティーパスワードの変更、オプションのSSD（HD-6）の初期化とセキュリティーデータの消去を行います。

- 「SSD初期化」(SSDの初期化)...4-126
- 「セキュリティーデータ消去」（セキュリティーデータの消去）...4-128

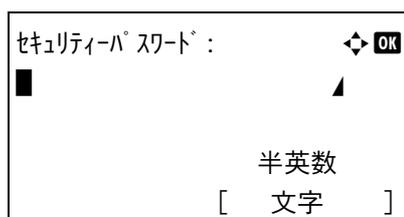
参考：「**SSD初期化**」はオプションのData Security Kit (E)をプリンターに装着している場合に表示されます。

1 「**セキュリティー**」メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「**データセキュリティー**」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「**データセキュリティー**」メニューが表示されます。

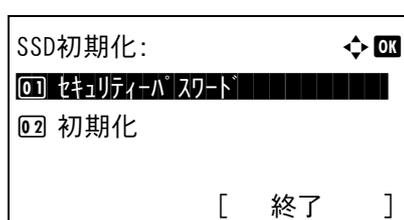
「SSD 初期化」(SSD の初期化)

セキュリティーパスワードの変更とオプションのSSD（HD-6）の初期化を行います。

- 「セキュリティーパスワード」（セキュリティーパスワードの変更）...4-127
- 「初期化」（オプションSSDの初期化）...4-128

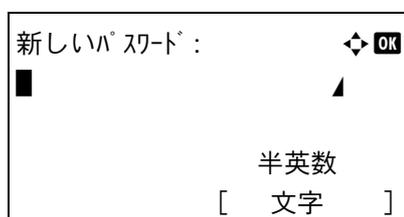
1 「**データセキュリティー**」メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「**SSD 初期化**」を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。**「セキュリティーパスワード」**入力画面が表示されます。

3 テンキーでセキュリティーパスワードを入力してください。

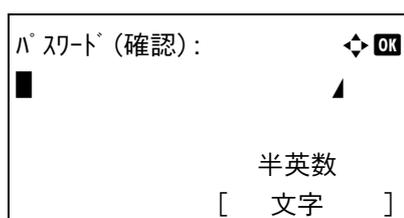
参考：セキュリティーパスワードの初期値は「000000」です。文字の入力方法については、付録 -2 ページの**文字の入力方法**を参照してください。

4 [OK] キーを押してください。セキュリティーパスワードが正しければ、**「SSD 初期化」**メニューが表示されます。入力したセキュリティーパスワードが間違っていると、再度**「セキュリティーパスワード」**入力画面が表示されます。正しいセキュリティーパスワードを入力してください。

「セキュリティーパスワード」（セキュリティーパスワードの変更）

セキュリティーパスワードを変更します。

1 **「SSD 初期化」**メニューで、[△] または [▽] キーを押して、**「セキュリティーパスワード」**を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。**「新しいパスワード」**が表示されます。

3 テンキーで新しいセキュリティーパスワードを入力してください。

参考：セキュリティーパスワードの文字数は 6 ～ 16 文字です。文字の入力方法については、付録 -2 ページの**文字の入力方法**を参照してください。

4 [OK] キーを押してください。**「パスワード (確認)」**入力画面が表示されます。

5 確認のため、もう一度同じパスワードを入力してください。テンキーで新しいパスワードを入力してください。

6 ［OK］キーを押してください。セキュリティーパスワードが一致していれば新しいセキュリティーパスワードに変更され、**「SSD 初期化」**メニューに戻ります。

一致しない場合は**「パスワードが違います。」**が表示され**「新しいパスワード」**に戻りますので、新しいセキュリティーパスワードから入力し直してください。

重要：パスワードを変更した場合は、メモに書き留めるなどして忘れないように注意してください。

「初期化」（オプション SSD の初期化）

SSD（HD-6）の内容を完全に消去することができます。本体の使用を中止するときなどに行ってください。

注意：初期化中に電源スイッチを切ると、HD-6 が破損し、初期化が完了しなくなるおそれがあります。

1 **「SSD 初期化」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「初期化」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。確認画面が表示されます。

```
ｼｽﾃﾑの初期化を
実行します。
よろしいですか？

[　はい　] [　いいえ　]
```

3 **［はい］（［左セレクト］）**キーを押してください。プリンターが自動的に再起動して初期化を開始します。

初期化をしない場合は、**［いいえ］（［右セレクト］）**キーを押してください。**「SSD 初期化」**メニューに戻ります。

4 初期化が完了すると、**「完了しました。」**が表示されます。電源を入れ直してください。

```
完了しました。
主電源ｽｲｯﾁを
入れ直してください。
```

「セキュリティーデータ消去」（セキュリティーデータの消去）

本機に登録されているアドレス情報や、保存されている画像データを完全に消去します。

重要：この処理を完了するには、オプションのSSD（HD-6）を装着している場合は約30分、SSD（HD-6）を装着していない場合は数分かかります。

この操作を行うときは、機器管理者の権限のあるユーザーでログインする必要があります。

途中で処理を取り消すことはできません。

この操作を行う前にUSBケーブルやネットワークケーブルなどを外してください。

消去中に電源を切らないでください。消去中に電源を切った場合、電源を入れると自動的に消去を再開しますが、完全な動作保証は出来ません。

消去されるデータは以下の通りです。

- ジョブ設定
- 機器設定（ネットワーク設定）
- 証明書
- ユーザー設定（ユーザーリスト/文書ボックス）
- 機器管理（ジョブ履歴/部門管理）

参考：セキュリティーデータの消去の実行状況はステータスページで確認することができます。詳しくは、4-12 ページの**「ステータスページ」（ステータスページの印刷）**を参照してください。

1 **「データセキュリティー」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「セキュリティーデータ消去」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。確認画面が表示されます。

ﾕｰｻﾞｰﾃﾞｰﾀを消去します
よろしいですか?
※この処理にはしば
らく時間がかかります
［　はい　］［　いいえ　］

3 **［はい］（［左セレクト］）**キーを押してください。**「ユーザーデータを消去します」**が表示され、セキュリティーデータの消去を開始します。

参考：オプションの SSD(HD-6) を装着しているときは、セキュリティーデータの消去の前にプリンターが自動的に再起動します。電源を切らないでください。

セキュリティーデータの消去をしない場合は、**［いいえ］（［右セレクト］）**キーを押してください。**「データセキュリティー」**メニューに戻ります。

ﾃﾞｰﾀを消去しています
ﾒｲﾝﾒﾓﾘｰ　:終了
SSD　　　:終了
［　OK　］

4 セキュリティーデータの消去が完了すると**「終了」**が表示されます。［OK］**（［右セレクト］）**キーを押して、電源を切ってください。

参考：セキュリティーデータの消去の結果をステータスページで確認することができます。詳しくは、4-12 ページの**「ステータスページ」（ステータスページの印刷）**を参照してください。

「ユーザー / 部門管理」（ユーザー管理 / 部門管理の設定）

本機はユーザー管理と部門管理が設定できます。

ユーザー /部門管理メニューには次の項目があります。

- 「ユーザー管理設定」（ユーザー管理設定）...4-130
- 「部門管理設定」（部門管理設定）...4-142

「ユーザー管理設定」（ユーザー管理設定）

ユーザー管理は、本機を使用できるユーザーを特定し、使用者を管理することができる機能です。入力されたログインユーザー名とパスワードがあらかじめ登録されたものと一致すれば、ユーザーが認証され、本機へのログインができます。

ユーザーは、その権限によって「ユーザー」と「管理者」および「機器管理者」に分けられます。セキュリティーレベルの設定は、機器管理者だけが変更できます。

本機の認証は、ネットワーク認証サーバーを使用します。ユーザーの登録はサーバーで行ってください。

本機のローカルユーザーリストには、管理者権限を持つユーザーと機器管理者権限を持つユーザーの各1人が登録されています。管理者情報を変更する場合は、4-137ページの**管理者について**を参照してください。

オプションのICカード認証キットを使用しているときは、ICカードでログインすることができます。

初めてユーザー管理を使用するとき

初めてユーザー管理を使用するときは、次の流れで作業を行ってください。

ユーザー管理を有効にする（4-132ページ）

ネットワークサーバーでユーザーを追加する

ログアウト（4-137ページ）

登録したユーザーがログインして操作（4-136ページ）

1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 ［△］または［▽］キーを押して、**「ユーザー / 部門管理」**を選択してください。

ﾛｸﾞｲﾝﾕｰｻﾞｰ名：

ﾛｸﾞｲﾝﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ：

［ ﾛｸﾞｲﾝ ］

3 ［OK］キーを押してください。ログイン画面が表示されます。

参考：ユーザー管理を設定している場合
管理者でログインしている場合は、ログイン画面は表示されずに**「ユーザー / 部門管理」**メニューが表示されます。
管理者以外でログインしている場合は、設定できません。
管理者でログインし直してください。

4 **「ログインユーザー名」**入力欄を選択して、[OK] キーを押してください。**「ログインユーザー名」**入力画面が表示されます。

5 テンキーでログインユーザー名を入力し、[OK] キーを押してください。ログイン画面に戻ります。

参考：管理者のログインユーザー名の初期値は「Admin」です。文字の入力方法については、付録 -2 ページの**文字の入力方法**を参照してください。

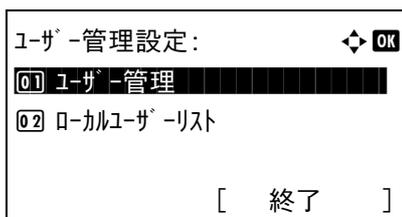
6 [△] または [▽] キーを押して、**「ログインパスワード」**を選択してください。

7 [OK] キーを押してください。**「ログインパスワード」**入力画面が表示されます。

8 テンキーでログインパスワードを入力し、[OK] キーを押してください。ログイン画面に戻ります。

参考：管理者のログインパスワードの初期値は「Admin」です。文字の入力方法については、付録 -2 ページの**文字の入力方法**を参照してください。

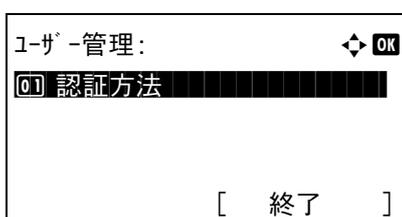
9 **[ログイン]**（**[右セレクト]**）キーを押してください。入力したログインユーザー名とログインパスワードが正しければ、**「ユーザー / 部門管理」**メニューが表示されます。

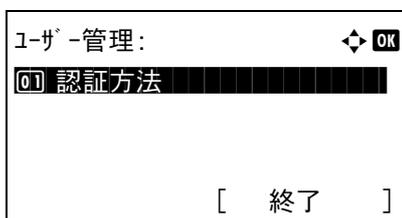
10 [△] または [▽] キーを押して、**「ユーザー管理設定」**を選択してください。

11 ［OK］キーを押してください。**「ユーザー管理設定」**メニューが表示されます。

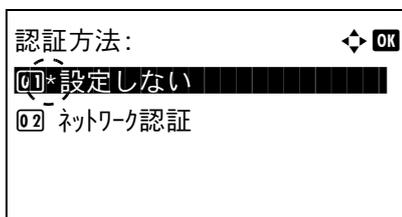
「ユーザー管理」（ユーザー管理の設定）

ユーザー管理を有効にします。ユーザー管理の有効/無効とネットワーク認証サーバーの設定を行います。

1 **「ユーザー管理設定」**メニューで［△］または［▽］キーを押して、**「ユーザー管理」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「ユーザー管理」**メニューが表示されます。

「認証方法」（ユーザー管理を有効にする）

ユーザー管理を有効にするとは、**「ネットワーク認証」**を選択してください。

1 **「ユーザー管理」**メニューで［△］または［▽］キーを押して、**「認証方法」**を選択してください。

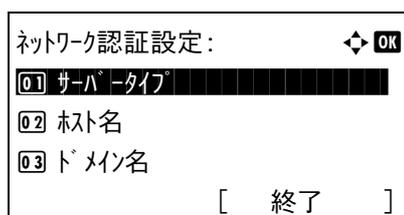
2 ［OK］キーを押してください。**「認証方法」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、**「ネットワーク認証」**または**「設定しない」**を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。**「ユーザー管理」**メニューに戻ります。

参考：「ネットワーク認証」を選択したときは、ネットワーク認証サーバーの設定を行ってください。

「ネットワーク認証設定」（ネットワーク認証サーバーの設定）

ネットワーク認証サーバーの設定を行ってください。

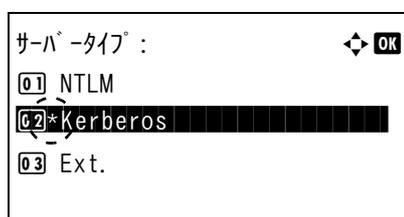
参考：この設定は、4-132 ページの**「認証方法」（ユーザー管理を有効にする）**で**「ネットワーク認証」**を設定した場合のみ表示します。

1 **「ユーザー管理設定」**メニューで［△］または［▽］キーを押して、**「ネットワーク認証設定」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「ネットワーク認証設定」**メニューが表示されます。

「ネットワーク認証設定」メニューには次の項目があります。

- **「サーバータイプ」（サーバータイプの選択）...4-133**
- **「ホスト名」（ホスト名の入力）...4-133**
- **「ポート」（ポート番号の設定）...4-134**
- **「ドメイン名」（ドメイン名の入力）...4-134**

「サーバータイプ」（サーバータイプの選択）

認証サーバーのサーバータイプを選択します。

1 **「ネットワーク認証設定」**メニューで［△］または［▽］キーを押して、**「サーバータイプ」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「サーバータイプ」**が表示されます。

サーバータイプは次のとおりです。

NTLM
Kerberos
Ext.

参考：IC カード認証を行うときは、**「Ext.」**を選択してください。

3 ［△］または［▽］キーを押して、希望のサーバータイプを選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。サーバータイプが設定され、**「ネットワーク認証設定」**メニューに戻ります。

「ホスト名」（ホスト名の入力）

認証サーバーのホストネームを入力します。

1 **「ネットワーク認証設定」**メニューで［△］または［▽］キーを押して、**「ホスト名」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「ホスト名」**が表示されます。

3 テンキーでホスト名を入力してください。

参考：半角英数字で最大64文字まで入力できます。文字の入力方法については、付録-2ページの**文字の入力方法**を参照してください。

IPv6アドレスを入力する場合は、IPv6アドレスを［ ］で囲んでください。
（例：[3ae3:9a0:cd05:b1d2:28a:1fc0:a1:10ae]：140）

4 ［OK］キーを押してください。ホスト名が登録され、**「ネットワーク認証設定」**メニューに戻ります。

「ポート」（ポート番号の設定）

認証サーバーのポート番号を設定します。

参考：この設定は、4-133ページの**「サーバータイプ」（サーバータイプの選択）**で「Ext.」を設定した場合に表示されます。

1 **「ネットワーク認証設定」**メニューで［△］または［▽］キーを押して、**「ポート」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「ポート」**が表示されます。

3 テンキーでポート番号を入力してください。

参考：ポートを空欄で登録すると、初期値のポート番号が有効になります。

4 ［OK］キーを押してください。ポート番号が登録され、**「ネットワーク認証設定」**メニューに戻ります。

「ドメイン名」（ドメイン名の入力）

認証サーバーのドメイン名を入力します。

参考：この設定は、4-133ページの**「サーバータイプ」（サーバータイプの選択）**で「NTLM」または「Kerberos」を設定した場合に表示されます。

1 **「ネットワーク認証設定」**メニューで［△］または［▽］キーを押して、**「ドメイン名」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「ドメイン名」**が表示されます。

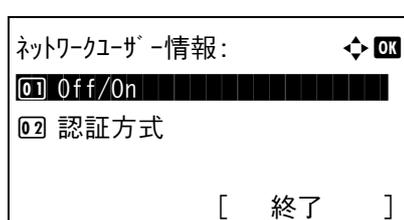
3 テンキーでドメイン名を入力してください。

参考：半角英数字で最大256文字まで入力できます。文字の入力方法については、付録-2ページの**文字の入力方法**を参照してください。

4 ［OK］キーを押してください。ドメイン名が登録され、「**ネットワーク認証設定**」メニューに戻ります。

「ネットワークユーザー情報」（ネットワークユーザー情報の取得）

LDAPサーバーからユーザー情報を取得するための設定をします。

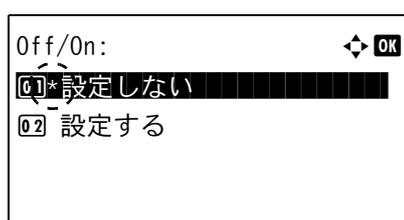
参考：この設定は、4-132ページの「**認証方法**」（**ユーザー管理を有効にする**）で「**ネットワーク認証**」を設定し、4-133ページの「**サーバータイプ**」（**サーバータイプの選択**）で「NTLM」または「Kerberos」を設定した場合のみ表示します。

1 「**ユーザー管理**」メニューで［△］または［▽］キーを押して、「**ネットワークユーザー情報**」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「**ネットワークユーザー情報**」メニューが表示されます。

「**ネットワークユーザー情報**」メニューには次の項目があります。

参考：「**認証方式**」は、4-133ページの「**サーバータイプ**」（**サーバータイプの選択**）で「Kerberos」を設定した場合のみ表示します。

「Off/On」（ネットワークユーザー情報取得の設定）

ネットワークユーザー情報取得の有無を設定します。

1 「**ネットワークユーザー情報**」メニューで［△］または［▽］キーを押して、「Off/On」を選択してください。

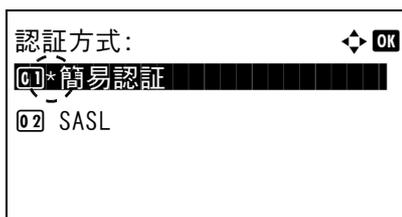
2 ［OK］キーを押してください。「Off/On」が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、「**設定する**」または「**設定しない**」を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。「**ネットワークユーザー情報**」メニューに戻ります。

「認証方式」（認証方式の設定）

認証方式を設定します。

1 「**ネットワークユーザー情報**」メニューで［△］または［▽］キーを押して、「**認証方式**」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「認証方式」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、**「簡易認証」**または**「SASL」**を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。**「ネットワークユーザー情報」**メニューに戻ります。

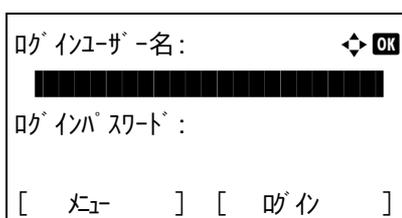
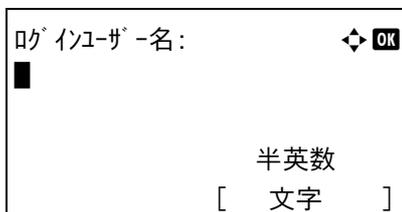
ログイン / ログアウト

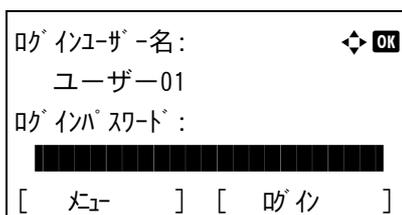
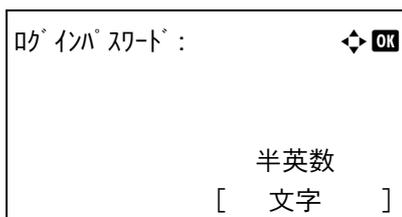
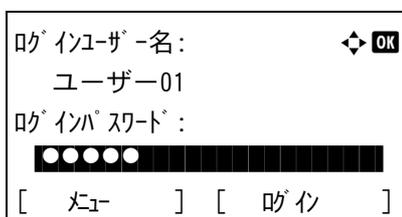
ユーザー管理を有効にすると、本機を使用するとき、ログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。ログインユーザー名とパスワードは、ネットワーク認証サーバーに登録しているユーザー情報を入力してください。

ユーザーの新規登録はKYOCERA Net Policy Managerから行ってください。詳しくは、KYOCERA Net Policy Manager**操作手順書**を参照してください。

参考：モード選択メニューの操作や操作パネルロックの設定で、制限されている操作を行う場合に管理者権限のあるユーザーでログインする必要があります。管理者の設定については、4-137ページの**管理者について**を参照してください。操作パネルロックについては、2-20ページの**操作パネルロック**を参照してください。

ログイン

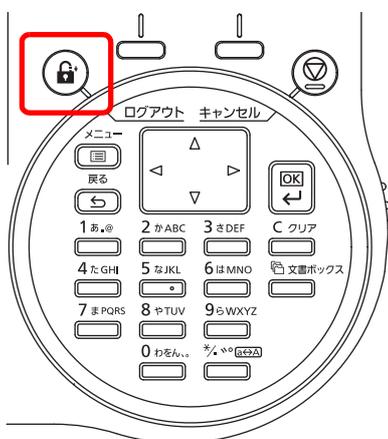
ログインの操作手順は、次のとおりです。

1 **「ログインユーザー名」**が選択されている状態で、［OK］キーを押してください。**「ログインユーザー名」**入力画面が表示されます。

2 テンキーでログインユーザー名を入力し、［OK］キーを押してください。ログイン画面に戻ります。

参考：文字の入力方法については、付録 -2 ページの**文字の入力方法**を参照してください。

3 ［△］または［▽］キーを押して、**「ログインパスワード」**を選択してください。

4 [OK] キーを押してください。「**ログインパスワード**」入力画面が表示されます。

5 テンキーでログインパスワードを入力し、[OK] キーを押してください。ログイン画面に戻ります。

参考：文字の入力方法については、付録 -2 ページの**文字の入力方法**を参照してください。

6 正しいログインユーザー名とパスワードが入力されていることを確認して、**[ログイン]**（**[右セレクト]**）キーを押してください。

参考：部門管理を設定している場合、**[メニュー]**（**[左セレクト]**）キーを押し、表示されるメニューで「**カウンター**」を選択して [OK] キーを押すと、印刷枚数を参照することができます。

ログアウト

操作が終了したら、**[ログアウト]** キーを押してください。ログイン画面に戻ります。

自動でログアウトするとき

次のときは自動でログアウトします。

- 電源を切ったとき
- オートスリープの設定時間が経過して、スリープモードになったとき
- 電源オフの設定時間が経過し、本体が電源オフしたとき
- オートパネルリセットの設定時間が経過し、初期状態に戻ったとき

管理者について

本機のローカルユーザーリストには、機器管理者の権限を持つユーザーと管理者の権限を持つユーザーが各1人登録されています。

各ユーザーの情報は次のとおりです。

機器管理者		**管理者**	
ユーザー名	DeviceAdmin	ユーザー名	Admin
ログインユーザー名	ECOSYS LS-2100DN：4000 ECOSYS LS-4200DN：5000 ECOSYS LS-4300DN：6000	ログインユーザー名	Admin
ログインパスワード	ECOSYS LS-2100DN：4000 ECOSYS LS-4200DN：5000 ECOSYS LS-4300DN：6000	ログインパスワード	Admin
アクセスレベル	機器管理者	アクセスレベル	管理者

参考：大文字・小文字は区別されます。

管理者情報の変更

管理者の情報を変更できます。登録内容を変更するときは、次の手順で行ってください。

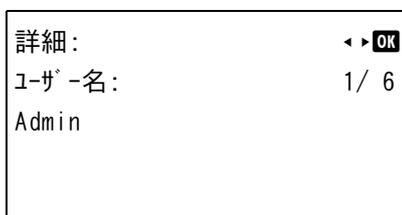
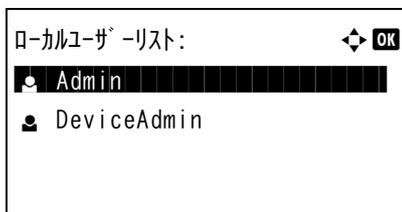
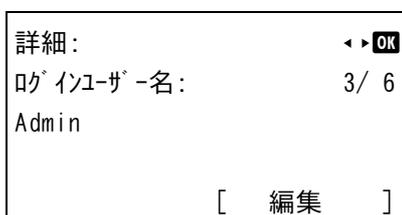
参考：管理者情報を変更する場合は、DeviceAdminでログインしてください。Adminでログインした場合は、管理者情報の確認のみ行うことができます。

1 **「ユーザー管理設定」**メニューで［△］または［▽］キーを押して、**「ローカルユーザーリスト」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「ローカルユーザーリスト」**が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、変更する管理者を選択してください。

詳細:
ﾕｰｻﾞｰ名: 1/ 6
Admin

4 ［OK］キーを押してください。ユーザーの詳細情報が表示されます。

ログインユーザー名を変更する場合

5 ［◁］または［▷］キーを押して、**「ログインユーザー名」**を選択してください。

6 ［**編集**］（［**右セレクト**］）キーを押してください。ログインユーザー名の編集画面が表示されます。

7 テンキーでログインユーザー名を変更して、［OK］キーを押してください。「**ログインユーザー名**」に戻ります。

参考：半角英数字で最大 32 文字まで入力できます。文字の入力方法については、付録 -2 ページの**文字の入力方法**を参照してください。

ログインパスワードを変更する場合

8 ［◁］または［▷］キーを押して、「**ログインパスワード**」を選択してください。

新しいﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:

半英数
[　文字　]

9 ［**編集**］（［**右セレクト**］）キーを押してください。「**新しいパスワード**」が表示されます。

10 テンキーで新しいパスワードを入力し、［OK］キーを押してください。「**パスワード（確認）**」が表示されます。

参考：半角英数字で最大 64 文字まで入力できます。文字の入力方法については、付録 -2 ページの**文字の入力方法**を参照してください。

11 確認のため、もう一度同じパスワードを入力してください。テンキーでパスワードを入力してください。

12 ［OK］キーを押してください。パスワードが一致していれば新しいパスワードに変更され、「**ログインパスワード**」に戻ります。

一致しない場合は「**パスワードが違います。**」が表示され「**新しいパスワード**」に戻りますので、新しいパスワードから入力し直してください。

メールアドレスを変更する場合

13 [◁] または [▷] キーを押して、**「メールアドレス」**を選択してください。

14 [**編集**]（[**右セレクト**]）キーを押してください。メールアドレスの編集画面が表示されます。

15 テンキーでメールアドレスを変更して、[OK] キーを押してください。**「メールアドレス」**に戻ります。

参考：半角英数字で最大 128 文字まで入力できます。文字の入力方法については、付録 -2 ページの**文字の入力方法**を参照してください。

部門コードを変更する場合

参考：この項目は、部門管理を設定している場合に表示されます。部門管理については、4-142 ページの**「部門管理設定」（部門管理設定）**を参照してください。

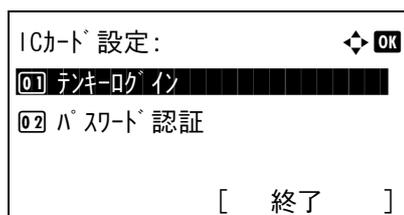
16 [◁] または [▷] キーを押して、**「部門コード」**を選択してください。

17 [**変更**]（[**右セレクト**]）キーを押してください。部門コード選択画面が表示されます。

18 [△] または [▽] キーを押して部門コードを選択し、[OK] キーを押してください。**「ユーザーの詳細情報」**に戻ります。部門に所属しない場合は、「OTHER」を選択してください。

「IC カード設定」（IC カード認証の設定）

オプションのICカード認証キットを使用し、ICカードでユーザー管理を行っている場合に、ログイン方法の設定を行います。

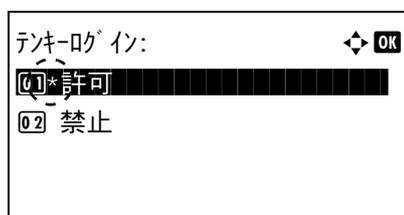
参考：この項目は、オプションのICカード認証キットをアクティベートしている場合に表示されます。ICカード認証キットについては、**ICカード認証キット(B)使用説明書**を参照してください。

1 「**ユーザー管理設定**」メニューで［△］または［▽］キーを押して、「**IC カード設定**」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「**IC カード設定**」メニューが表示されます。

IC カード設定には次の項目があります。

- 「**テンキーログイン**」（**テンキーログインの許可設定**）...4-141
- 「**パスワード認証**」（**パスワードログインの設定**）...4-141

「テンキーログイン」（テンキーログインの許可設定）

ICカードのログイン画面でテンキー入力でもログインできるように設定します。「**許可する**」を設定した場合は、ログイン画面に「**パスワード認証**」が表示されログインユーザー名とログインパスワードをテンキーで入力してログインできます。「**禁止**」を設定した場合は、テンキー入力でのログインはできません。

1 「**IC カード設定**」メニューで［△］または［▽］キーを押して、「**テンキーログイン**」を選択してください。

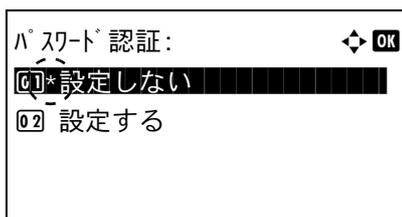
2 ［OK］キーを押してください。「**テンキーログイン**」が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、「**許可**」または「**禁止**」を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。「**IC カード設定**」メニューに戻ります。

「パスワード認証」（パスワードログインの設定）

ICカードで認証した後にログインパスワードの入力をさせるかどうか設定します。

1 「**IC カード設定**」メニューで［△］または［▽］キーを押して、「**パスワード認証**」を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。**「パスワード認証」**が表示されます。

3 [△] または [▽] キーを押して、**「設定する」**または**「設定しない」**を選択してください。

4 [OK] キーを押してください。**「IC カード設定」**メニューに戻ります。

「部門管理設定」（部門管理設定）

部門管理は、部門コードを入力することにより、部門別の使用枚数を管理できる機能です。部門管理機能を設定するには、管理者のログインユーザー名とログインパスワードでログインする必要があります。

ユーザー管理については、4-130 ページの**「ユーザー管理設定」（ユーザー管理設定）**を参照してください。

本機の部門管理には次の特長があります。

- 最大 100 部門までの管理ができます。
- 部門コードは、1 ～ 99999999 までの最大 8 桁を入力できます。
- 同じ部門コードで、印刷をまとめて管理できます。
- 使用枚数を部門ごとに集計することができます。
- 使用枚数を 1 ～ 9,999,999 枚の範囲で制限することができます。

部門管理設定メニューには次の項目があります。

1 [**メニュー**] キーを押してください。

2 [△] または [▽] キーを押して、**「ユーザー / 部門管理」**を選択してください。

ﾛｸﾞｲﾝﾕｰｻﾞｰ名:
ﾛｸﾞｲﾝﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:
[ﾛｸﾞｲﾝ]

3 [OK] キーを押してください。ログイン画面が表示されます。

参考：ユーザー管理を設定している場合
管理者でログインしている場合は、ログイン画面は表示されずに**「ユーザー / 部門管理」**メニューが表示されます。
管理者以外でログインしている場合は、設定できません。管理者でログインし直してください。

4 **「ログインユーザー名」**入力欄を選択して、[OK] キーを押してください。**「ログインユーザー名」**入力画面が表示されます。

5 テンキーでログインユーザー名を入力し、[OK] キーを押してください。ログイン画面に戻ります。

参考：管理者のログインユーザー名の初期値は「Admin」です。文字の入力方法については、付録 -2 ページの**文字の入力方法**を参照してください。

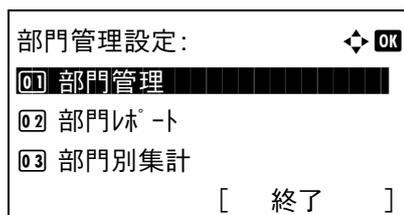
6 [△] または [▽] キーを押して、**「ログインパスワード」**を選択してください。

7 [OK] キーを押してください。**「ログインパスワード」**入力画面が表示されます。

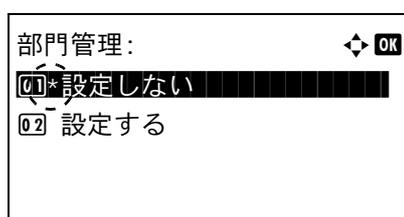
8 テンキーでログインパスワードを入力し、[OK] キーを押してください。ログイン画面に戻ります。

参考：管理者のログインパスワードの初期値は「Admin」です。文字の入力方法については、付録 -2 ページの**文字の入力方法**を参照してください。

9 **[ログイン]**（**[右セレクト]**）キーを押してください。入力したログインユーザー名とログインパスワードが正しければ、**「ユーザー / 部門管理」**メニューが表示されます。

10 [△] または [▽] キーを押して、**「部門管理設定」**を選択してください。

11 [OK] キーを押してください。**「部門管理設定」**メニューが表示されます。

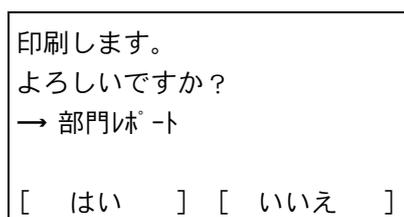
「部門管理」(部門管理の設定)

部門管理の機能をオン・オフ設定できます。

1 **「部門管理設定」**メニューで [△] または [▽] キーを押して、**「部門管理」**を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。**「部門管理」**メニューが表示されます。

3 [△] または [▽] キーを押して**「設定する」**または**「設定しない」**を選んで、[OK] キーを押してください。**「部門管理設定」**メニューに戻ります。

「部門レポート」(部門管理レポートの印刷)

全部門で集計された枚数を、部門管理リストとして印刷できます。

1 **「部門管理設定」**メニューで [△] または [▽] キーを押して、**「部門レポート」**を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。確認画面が表示されます。

[はい]([左セレクト])キーを押してください。**「受け付けました。」**が表示され、部門管理レポートを印刷します。

[いいえ]([右セレクト])キーを押すと、部門管理レポートの印刷は行わず**「部門管理設定」**メニューに戻ります。

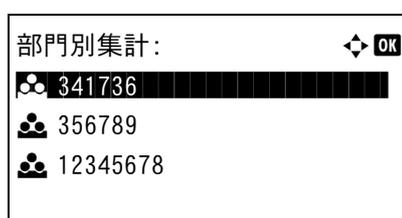
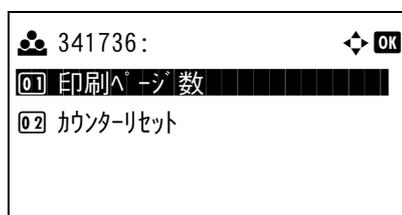
「部門別集計」（部門別集計の表示）

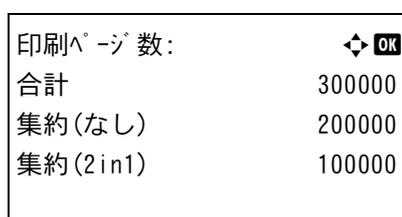
現在設定されている部門別の印刷枚数を表示します。

次の印刷枚数を確認できます。

- **合計**
- **集約（なし）**
- **集約（2in1）**
- **集約（4in1）**
- **両面（片面）**
- **両面（両面）**

参考：この操作を行う前に、4-146 ページの**「部門リスト」（部門リストの操作）**で部門を登録してください。

1 **「部門管理設定」**メニューで［△］または［▽］キーを押して、**「部門別集計」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「部門別集計」**メニューが表示され、部門別に部門コードの数字が大きくなる順に一覧表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、部門を選択して［OK］キーを押してください。各部門の選択項目の一覧が表示されます。

4 ［△］または［▽］キーを押して、**「印刷ページ数」**を選択してください。

5 ［OK］キーを押してください。印刷ページ数が一覧表示されます。

印刷ページ数:

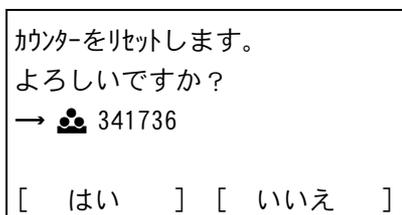
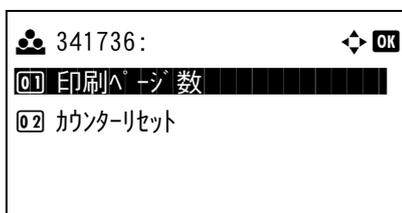
合計	300000
集約(なし)	200000
集約(2in1)	100000

6 ［△］または［▽］キーを押して、必要なカウンター表示を確認します。

7 ［OK］キーを押してください。各部門の選択項目の一覧に戻ります。

「カウンターリセット」 部門リストの操作

現在設定されている部門別の印刷枚数をリセットします。

参考：この操作を行う前に、4-146ページの**「部門リスト」（部門リストの操作）**で部門を登録してください。

1 **「部門管理設定」**メニューで［△］または［▽］キーを押して、**「部門別集計」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「部門別集計」**メニューが表示され、部門別に部門コードの数字が大きくなる順に一覧表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、部門を選択して［OK］キーを押してください。各部門の選択項目の一覧が表示されます。

4 ［△］または［▽］キーを押して、**「カウンターリセット」**を選択してください。

5 ［OK］キーを押してください。確認画面が表示されます。

カウンターをリセットして構わなければ**［はい］（［左セレクト］）**キーを押してください。**「完了しました。」**が表示され、カウンターリセットを行い、各部門の選択項目の一覧に戻ります。

［いいえ］（［右セレクト］）キーを押すと、カウンターのリセットを行わずに各部門の選択項目の一覧メニューに戻ります。

「部門リスト」（部門リストの操作）

部門管理の設定で使用する部門の設定を行います。

「新規登録」部門の登録

新しい部門を登録することができます。

参考：部門コードは、数字列で管理されますので、「1」と「001」は区別され、違う部門として管理されます。また、部門管理が**「設定する」**の場合、印刷データをどの部門で印刷するかの情報を付加しないと出力されません。

1 **「部門管理設定」**メニューで［△］または［▽］キーを押して、**「部門リスト」**を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。**「部門リスト」**メニューが表示され、登録済みの部門が数字が大きくなる順に一覧表示されます。

3 **[新規登録]**（**[右セレクト]**）キーを押してください。**「部門コード」**が表示されます。

4 テンキーで登録したい部門コードを入力してください。

5 [OK] キーを押してください。登録が完了すると選択項目の一覧が表示されます。

この部門ｺｰﾄﾞはすでに
登録されています。

既に部門コードが登録されている場合このメッセージが表示されます。

「詳細 / 編集」登録済部門の設定確認・編集

登録済みの部門を確認、または編集することができます。

1 **「部門管理設定」**メニューで [△] または [▽] キーを押して、**「部門リスト」**を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。

「部門リスト」メニューが表示され、登録済みの部門が昇順に一覧表示されます。

3 [△] または [▽] キーを押して、確認または編集したい部門を選択して、[OK] キーを押してください。選択項目の一覧が表示されます。

詳細/編集:
01 部門ｺｰﾄﾞ
02 印刷制限

4 [△] または [▽] キーを押して、**「詳細 / 編集」**を選択して [OK] キーを押してください。**「詳細 / 編集」**メニューが表示されます。

部門ｺｰﾄﾞ:
1228

5 部門コードを編集するときは [△] または [▽] キーを押して、**「部門コード」**を選択して [OK] キーを押してください。**「部門コード」**メニューが表示されます。

6 テンキーで登録したい部門コードを入力してください。

詳細/編集:
01 部門ｺｰﾄﾞ
02 印刷制限

7 [OK] キーを押してください。部門コードの編集を完了し、**「詳細 / 編集」**メニューに戻ります。

この部門ｺｰﾄﾞはすでに
登録されています。

既に部門コードが登録されている場合このメッセージが表示されます。

印刷制限(合計):
01*設定しない
02 ｶｳﾝﾀｰ制限
03 使用禁止

8 この部門に印刷制限をかけるときは、[△] または [▽] キーを押して、**「印刷制限」**を選択して [OK] キーを押してください。**「印刷制限」**メニューが表示されます。

設定しない

カウンター制限

使用禁止

詳細/編集:
01 部門ｺｰﾄﾞ
02 印刷制限
03 ｶｳﾝﾀｰ制限

9 [△] または [▽] キーを押して、設定を選択して [OK] キーを押してください。設定が完了して、**「詳細 / 編集」**メニューに戻ります。

10 手順 9 で、印刷制限に**「カウンター制限」**を設定したときは、この部門の全印刷制限枚数を設定します。［△］または［▽］キーを押して、**「カウンター制限」**を選択して［OK］キーを押してください。**「カウンター制限」**が表示されます。

重要：「カウンター制限」は、印刷制限に**「カウンター制限」**を設定したときに表示されます。

11 テンキー、［△］または［▽］キーを使って、この部門に設定したい制限枚数を入力します。制限枚数を入力したら［OK］キーを押してください。設定が登録され、**「詳細 / 編集」**メニューに戻ります。

「削除」登録済部門の削除

登録済みの部門コードを削除することができます。

1 **「部門管理設定」**メニューで［△］または［▽］キーを押して、**「部門リスト」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「部門リスト」**メニューが表示され、登録済みの部門が昇順に一覧表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、削除したい部門のコードを選択してください。

1228:
01 詳細/編集
02 削除
03 終了

4 ［OK］キーを押してください。選択項目の一覧が表示されます。

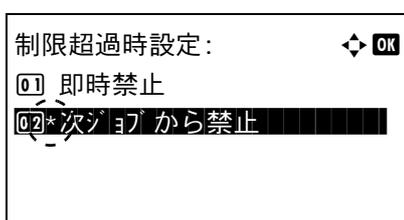
5 ［△］または［▽］キーを押して、**「削除」**を選択して［OK］キーを押してください。確認画面が表示されます。

6 削除して構わなければ［**はい**］（［**左セレクト**］）キーを押してください。「**完了しました。**」が表示され、部門削除が行われます。部門の削除が終了すると、「**部門リスト**」メニューに戻ります。

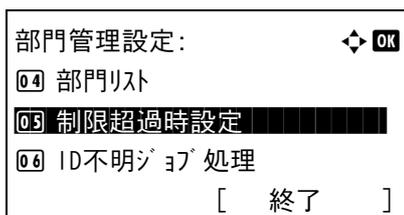
［**いいえ**］（［**右セレクト**］）キーを押すと、部門削除を行わずに、選択項目の一覧に戻ります。

「制限超過時設定」（制限超過時の動作設定）

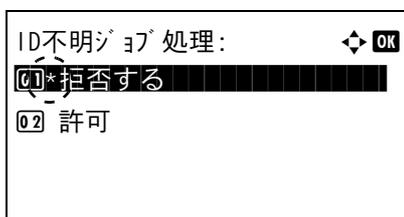
部門の印刷制限枚数が超過した場合の動作を設定できます。

1 「**部門管理設定**」メニューで［△］または［▽］キーを押して、「**制限超過時設定**」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「**制限超過時設定**」が表示されます。

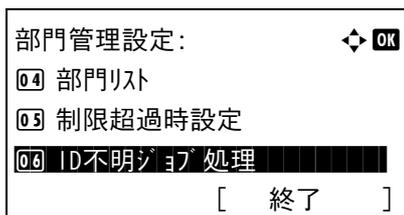
- 「**即時禁止**」（今回印刷から禁止）
- 「**次ジョブから禁止**」（次回印刷から禁止）

3 ［△］または［▽］キーを押して、設定を選択して［OK］キーを押してください。「**部門管理設定**」メニューに戻ります。

「ID 不明ジョブ処理」（ID 不明部門の動作設定）

ID未設定の部門からの印刷を許可するかを設定できます。

1 「**部門管理設定**」メニューで［△］または［▽］キーを押して、「**ID 不明ジョブ処理**」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「**ID 不明ジョブ処理**」が表示されます。

- **拒否する**（印刷しない）
- **許可**（印刷する）

3 ［△］または［▽］キーを押して、設定を選択して［OK］キーを押してください。「**部門管理設定**」メニューに戻ります。

「調整 / メンテナンス」（調整 / メンテナンスの選択・設定）

調整/メンテナンスの選択・設定では、印刷品質に関する調整や本機のメンテナンスを行います。

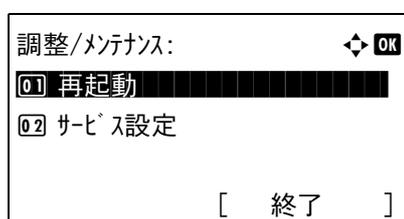
調整/メンテナンスの選択・設定には次の項目があります。

- **「再起動」（プリンターの再起動）**...4-151
- **「サービス設定」（保守・点検用）**...4-152

重要：「サービス設定」は、主にサービス担当者がメンテナンスのために操作するメニューです。お客様が操作をする必要はありません。

1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 ［△］または［▽］キーを押して、**「調整 / メンテナンス」**を選択してください。

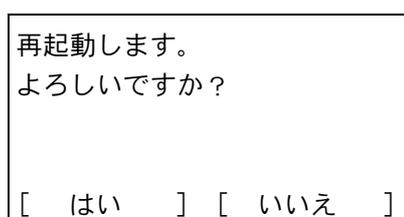
3 ［OK］キーを押してください。**「調整 / メンテナンス」**メニューが表示され、選択項目の一覧が表示されます。

「再起動」（プリンターの再起動）

ネットワークの設定や、インターフェイスの設定を行ったときに、プリンターを再起動します。

1 **「調整 / メンテナンス」**メニューで［△］または［▽］キーを押して、**「再起動」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。確認画面が表示されます。

[はい]（**[左セレクト]**）キーを押してください。再起動が実行されます。

[いいえ]（**[右セレクト]**）キーを押すと、再起動を行わずに、**「調整 / メンテナンス」**メニューに戻ります。

「サービス設定」（保守・点検用）

重要：**「サービス設定」**は、主にサービス担当者がメンテナンスのために操作するメニューです。お客様が操作をする必要はありません。

項目	説明	設定値
サービスステータスページ	サービスステータスページは、通常のステータスページよりも詳細なプリンター設定情報が印刷されます。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用しますが、必要に応じて印刷できます。	はい、いいえ
ネットワークステータス	ネットワーク用ステータスページは、詳細なネットワーク設定情報が印刷されます。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用しますが、必要に応じて印刷できます。	はい、いいえ
オプションネットワークステータス	オプションネットワーク用ステータスページは、詳細なネットワーク設定情報が印刷されます。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用しますが、必要に応じて印刷できます。 **参考**：**「オプションネットワークステータス」**は、オプションのネットワークインターフェイスキット（IB-50）またはワイヤレスインターフェイスキット（IB-51）を装着している場合に表示されます。	はい、いいえ
テストページ	テストページは、本機の調整結果を確認するために印刷します。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用しますが、必要に応じて印刷できます。	はい、いいえ
メンテナンス	新しいメンテナンスキットへの交換確認を設定します。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用します。 **参考**：**「MK を交換してください。」**が表示された場合のみ、メンテナンスメニューが表示されます。	はい、いいえ
トナーインストール	新しい現像ユニットへの交換確認を設定します。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用します。	はい、いいえ
自動ドラムリフレッシュ	電源を入れたとき、またはスリープモードから復帰したときに自動ドラムリフレッシュを実行することがあります。自動ドラムリフレッシュは、画質を維持するために、周辺の温度や湿度を感知して自動的に実行されます。ここでは、自動ドラムリフレッシュが実行される時間を設定します。	設定しない、短い、標準、長い
ドラム	ドラムのリフレッシュモードを設定します。印刷品質が低下したとき、ドラムのリフレッシュを行うと、印刷品質を回復することができます。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用します。	はい、いいえ
データの書き込み	USB メモリーへのデータの書き込みをします。 **参考**：このメニューは、USB メモリーが挿入されているときのみ表示されます。	はい、いいえ
高度調整†	高度調整モードを設定します。使用環境が海抜 1500 m 以上の高地で、印刷品質が低下したとき、高度調整モードの設定を行うと、印刷品質を回復することができます。	標準、高い 1、高い 2
MC†	メインチャージャー出力を設定します。印刷品質が低下したとき、メインチャージャー出力の変更を行うと、印刷品質を回復することができます。 **参考**：このメニューは、**「高度調整」**を**「標準」**に設定しているときのみ表示されます。	1～5

† このメニューを操作するときは、販売店または弊社サービス担当者にお問い合わせの上、指示に従ってください。

「オプション機能」（オプション機能）

本機にインストールされているオプションのアプリケーションを使用できます。

アプリケーションのご紹介

本機には、次のようなオプションのアプリケーションがあります。

以下のアプリケーションは一定の期間お試しとして使用することができます。

- DATA SECURITY（セキュリティーキット）
- ID Card（IC カード認証キット）
- UG-33（ThinPrint Option）

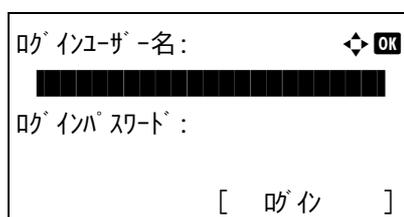
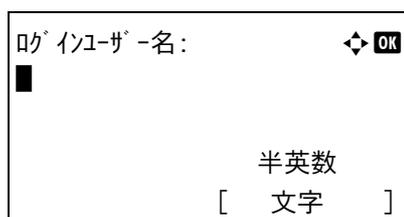
参考：お試しの期間や使用できる回数などの制限は、アプリケーションによって異なります。

アプリケーションの使用を開始する

アプリケーションの使用を開始する操作手順は、次のとおりです。

1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 ［△］または［▽］キーを押して、**「オプション機能」**を選択してください。

3 ［OK］キーを押してください。ログイン画面が表示されます。

参考：ユーザー管理を設定している場合
管理者でログインしている場合は、ログイン画面は表示されずに**「オプション機能」**メニューが表示されます。
管理者以外でログインしている場合は、設定できません。管理者でログインし直してください。

4 **「ログインユーザー名」**入力欄を選択して、［OK］キーを押してください。**「ログインユーザー名」**入力画面が表示されます。

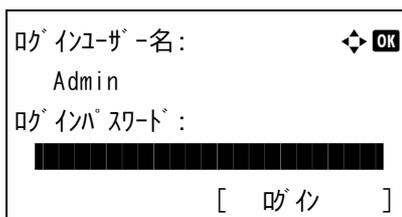
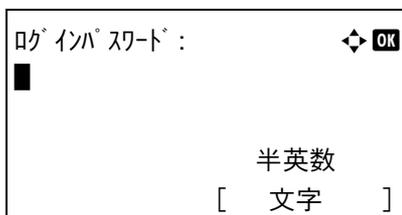
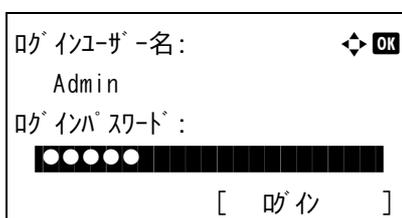
5 テンキーでログインユーザー名を入力し、［OK］キーを押してください。ログイン画面に戻ります。

参考：管理者のログインユーザー名の初期値は「Admin」です。文字の入力方法については、付録 -2 ページの**文字の入力方法**を参照してください。

6 [△] または [▽] キーを押して、**「ログインパスワード」**を選択してください。

ﾛｸﾞｲﾝﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:
半英数
[文字]

7 [OK] キーを押してください。**「ログインパスワード」**入力画面が表示されます。

ﾛｸﾞｲﾝﾕｰｻﾞｰ名:
Admin
ﾛｸﾞｲﾝﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:
●●●●●
[ﾛｸﾞｲﾝ]

8 テンキーでログインパスワードを入力し、[OK] キーを押してください。ログイン画面に戻ります。

参考：管理者のログインパスワードの初期値は「Admin」です。文字の入力方法については、付録 -2 ページの**文字の入力方法**を参照してください。

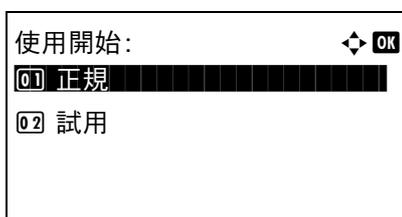
9 **[ログイン]**（**[右セレクト]**）を押してください。入力したログインユーザー名とログインパスワードが正しければ、**「オプション機能」**メニューが表示されます。

10 [△] または [▽] キーを押して、希望のアプリケーションを選択してください。

11 [OK] キーを押してください。

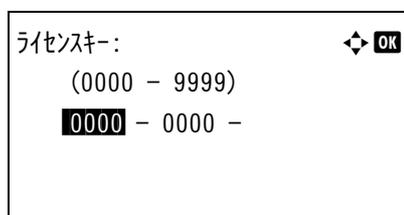
12 [△] または [▽] キーを押して、**「使用開始」**を選択してください。

参考：**「詳細」**を選択すると、選択したアプリケーションの詳しい情報が参照できます

使用開始:
01 正規
02 試用

13 [OK] キーを押してください。

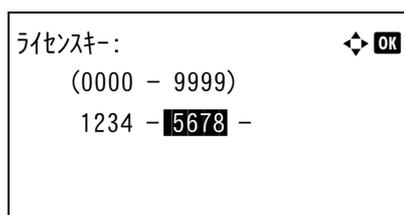
14 [△] または [▽] キーを押して、**「正規」**を選択してください。

参考：お試しで使用する場合は、**「試用」**を選択して、[OK] キーを押してください。確認画面が表示されたら、**[はい]**（**[左セレクト]**）キーを押してください。

ﾗｲｾﾝｽｷｰ:
(0000 - 9999)
0000 - 0000 -

15 [OK] キーを押してください。

16 テンキー、[△] または [▽] キーでライセンスキーを入力してください。

参考：アプリケーションによっては、ライセンスキーを入力する必要がないものがあります。

ﾗｲｾﾝｽｷｰ:
(0000 - 9999)
1234 - 5678 -

17 [OK] キーを押してください。

18 確認画面が表示されたら、**[はい]**（**[左セレクト]**）キーを押してください。

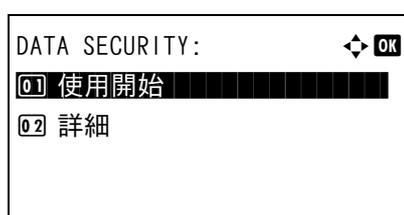
重要：アプリケーションを使用しているときに日付/時刻を変更すると、アプリケーションが使用できなくなります。

参考：設定後、再起動を促すメッセージが表示された場合は、メッセージに従い電源を入れ直してください。

アプリケーションの詳細を確認する

アプリケーションの詳細を確認する操作手順は、次のとおりです。

1 **「オプション機能」**メニューで、[△] または [▽] キーを押して、詳細を確認するアプリケーションを選択してください。

2 [OK] キーを押してください。

3 ［△］または［▽］キーを押して、**「詳細」**を選択してください。

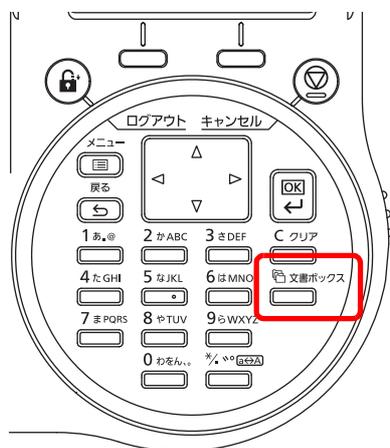
4 ［OK］キーを押してください。選択したアプリケーションの詳しい情報が表示されます。

5　文書ボックス

この章では次の内容について説明します。

文書ボックス

文書ボックスはパソコンの印刷データを本体のSSD（オプション）、SD/SDHC メモリーカード（オプション）またはRAMディスクに保存し、本体の操作パネルの操作で印刷する機能です。

［**文書ボックス**］キーを押すと文書ボックスのメニューを表示します。

文書ボックスには、次の機能があります。

- **ユーザーボックス...5-4**
- **ジョブボックス...5-27**

参考：SD/SDHC メモリーカード（オプション）を装着するとジョブボックスを使用することができます。またRAM ディスクを使用するとジョブボックスの一部の機能を使用することができます。

ユーザーボックスとジョブボックスの概要

ユーザーボックスとジョブボックスの概要と必要なオプションは次のとおりです。

		ユーザーボックス	ジョブボックス
機能		印刷データをユーザーボックスに保存し、必要なときに再利用できる汎用のボックスです。	ジョブリテンション機能は、プリンターのSSDに印刷データを保存し、必要なときに印刷できます。次の4種類のモードがあり、プリンタードライバーから選択できます。 **クイックコピーモード：** プリンターの操作パネルから、必要部数を追加印刷できます。 **試し刷り後、保留モード：** 複数部数の印刷の際、1部だけ印刷出力します。印刷の内容を確認してから、残りを印刷します。キャンセルすることもできるので、用紙を節約できます。 **プライベートプリントモード：** 他人に見られたくない文書などを、アクセスコードを入力してから印刷させることができます。 **ジョブ保留モード：** FAX送信用紙などのフォームをプリンターに保存し、必要なとき必要なものを必要な枚数だけ印刷できます。
データ保存操作		プリンタードライバー	プリンタードライバー
ボックスの追加		追加できる（最大1,000ボックス）	追加できない
パスワードの設定		設定できる	設定できる（プライベートプリントモードとジョブ保留モードで可能）
印刷後のデータ		保存	保存（プライベートプリントモードを除く）
ユーザー管理の対応		対応 （ボックスごとに使用ユーザーを設定できる）	未対応
装着オプション	SSD	使用可能	使用可能
	SD/SDHCメモリーカード	使用不可	使用可能
RAMディスク使用時		使用不可	使用可能（試し刷り後、保留モードとプライベートプリントモードのみ使用可能）

参考：オプションのSSDとSD/SDHCメモリーカードについては、付録-7ページの**オプションについて**を参照してください。
RAMディスクについては、4-98ページの「**RAMディスク設定**」（**RAMディスクの設定**）を参照してください。
SSDのフォーマットについては、4-100ページの「**SSDフォーマット**」（**SSDのフォーマット**）を参照してください。
SD/SDHCメモリーカードのフォーマットについては、4-101ページの「**SDカードフォーマット**」（**SD/SDHCメモリーカードのフォーマット**）を参照してください。

ユーザーボックス

重要：ユーザーボックスを使用するには、SSD（HD-6）をプリンターに装着する必要があります。
HD-6は、必ずプリンターでフォーマットしてください。詳しくは、4-100ページの「SSDフォーマット」（SSDのフォーマット）を参照してください。

ユーザーボックスは、ユーザーがプリンターのSSDに印刷データを保存し、必要なときに再利用することができる汎用のボックスです。

ボックスに保存するデータの送信は、プリンタードライバーより行います。詳しくは、**プリンタードライバー操作手順書**を参照してください。

ユーザーボックスに保存された印刷データは、プリンターの操作パネルより印刷します。

参考：ユーザーボックスの作成や設定は、Command Center RXからも操作できます。

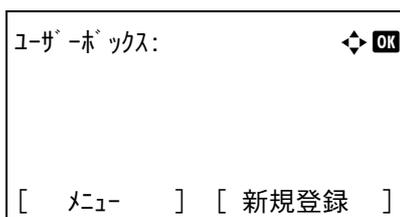
ユーザーボックスを使った印刷手順

ユーザーボックスを使用するときは、次の流れで作業を行ってください。

ユーザーボックスを登録する（5-5ページ）

パソコンからユーザーボックスを指定して印刷ジョブを送信する（5-39ページ）

操作パネルからボックス内のファイルを指定して印刷する（5-17ページ）

操作パネルの表示

1 ［**文書ボックス**］キーを押してください。「**ユーザーボックス**」リストまたは「**ジョブボックス**」メニューが表示されます。

参考：［**文書ボックス**］キーを押した後に「**ユーザーボックス**」リストか「**ジョブボックス**」メニューを表示させるか設定することができます。4-92ページの「**初期画面(ボックス)**」（**文書ボックスの初期画面設定**）を参照してください。

「**ジョブボックス**」メニューが表示された場合は、次の操作を行って「**ユーザーボックス**」リストを表示させてください。

1 ［**戻る**］キーを押してください。

2 ［△］または［▽］キーを押して、「**ユーザーボックス**」を選択してください。

3 ［OK］キーを押してください。「**ユーザーボックス**」リストが表示されます。

ユーザーボックスには次の項目があります。

ユーザーボックスの操作（ボックスの作成 / 編集 / 削除）

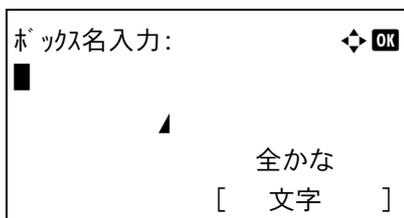
ユーザーボックスの作成やボックスの設定を変更することができます。

次の操作ができます。

参考：ユーザーボックスの作成や設定は、Command Center RXからも操作できます。詳しくは、2-18ページのCommand Center RXの設定を参照してください。

ユーザーボックスの作成

ユーザーボックスを作成します。ボックス名とボックス番号を入力後、ボックスの詳細設定を続けて行うこともできます。

参考：ユーザー管理を有効にしているときは、管理者権限のユーザーでログインしてください。

1 「**ユーザーボックス**」リストで、［**新規登録**］（［**右セレクト**］）キーを押してください。「**ボックス名入力**」が表示されます。

2 テンキーでボックス名を入力してください。

参考：文字数は最大32文字まで入力できます。文字の入力方法については、付録-2ページの**文字の入力方法**を参照してください。

ﾎﾞｯｸｽ番号入力:
(0001 - 1000)
0003

3 ［OK］キーを押してください。「**ボックス番号入力**」が表示されます。

4 テンキー、［△］または［▽］キーでボックス番号を入力してください。

参考：ボックス番号は、0001～1000の4桁の番号を入力してください。

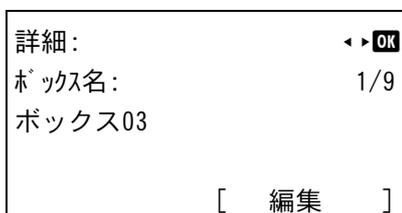
5 ［OK］キーを押してください。

6 ［△］または［▽］キーを押して**「詳細」**または**「終了」**を選択し、［OK］キーを押してください。

ボックスの詳細を設定するときは、**「詳細」**を選択して次の 5-6 ページの**ボックスの詳細設定**に進んでください。

ボックスの詳細を設定しないときは、**「終了」**を選択して作業を終了してください。

ボックスの詳細設定

必要に応じてボックスの詳細情報を設定します。設定項目は、ユーザー管理が無効のとき、ユーザー管理を有効にして管理者権限でログインしたとき、ユーザー管理を有効にしてユーザー権限でログインしたときで異なります。

ボックスの詳細設定は次のとおりです。

設定	**ユーザー管理が無効のとき**	**ユーザー管理が有効のとき**		**参照ページ**
		管理者	**ユーザー**	
ボックス名	○	○	○	**「ボックス名」（ボックス名の変更）...5-7**
所有者	－	○	×	**「所有者」（所有者の設定）...5-7**
共有設定	－	○	○	**「共有設定」（ボックスの共有設定）...5-8**
ボックスパスワード	○	○	○	**「ボックスパスワード」（ボックスパスワードの設定）...5-9**
ボックス番号	○	○	○	**「ボックス番号」（ボックス番号の変更）...5-10**
使用量制限	○	○	×	**「使用量制限」（使用容量制限の設定）...5-10**

設定	ユーザー管理が無効のとき	ユーザー管理が有効のとき		参照ページ
		管理者	ユーザー	
自動文書削除	○	○	○	**「自動文書削除」（自動ファイル削除設定）...5-11**
上書き保存許可	○	○	○	**「上書き保存許可」（上書き保存設定）...5-12**
印刷後削除	○	○	○	**「印刷後削除」（印刷後のファイル削除設定）...5-12**

○: 設定を変更できます

×: 設定を変更できません

－: 設定なし

「ボックス名」（ボックス名の変更）

ボックス名を変更します。

1 ボックスの詳細情報で、［◁］または［▷］キーを押して**「ボックス名」**を選択してください。

2 **［編集］（［右セレクト］）**キーを押してください。**「ボックス名入力」**が表示されます。

3 テンキーでボックス名を入力してください。

> **参考**：文字数は最大32文字まで入力できます。文字の入力方法については、付録-2ページの**文字の入力方法**を参照してください。

4 ［OK］キーを押してください。ボックスの詳細情報に戻ります。

「所有者」（所有者の設定）

ユーザー管理を有効にしている場合、ボックスの所有者を設定します。所有者を設定していないときは、所有者名に「-----」が表示されます。

詳細:
所有者: 2/9
ユーザー01
[変更]

1 ボックスの詳細情報で、[◁] または [▷] キーを押して**「所有者」**を選択してください。

2 [**変更**]（[**右セレクト**]）キーを押してください。**「ユーザー設定」**が表示されます。

3 [△] または [▽] キーを押して**「ネットワークユーザー」**を選択してください。

参考：所有者を設定しない場合は、**「なし」**を選択して [OK] キーを押してください。

4 [OK] キーを押してください。**「ログインユーザー名」**が表示されます。

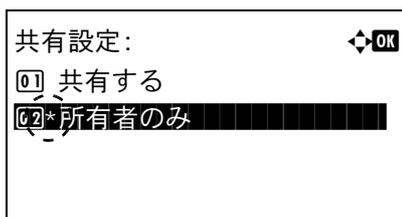
5 テンキーでログインユーザー名を入力してください。

参考：文字数は最大64文字まで入力できます。文字の入力方法については、付録-2ページの**文字の入力方法**を参照してください。

6 [OK] キーを押してください。ボックスの詳細情報に戻ります。

「共有設定」（ボックスの共有設定）

ユーザー管理を有効にしている場合、ボックスを他のユーザーと共有するかどうかを設定します。

1 ボックスの詳細情報で、[◁] または [▷] キーを押して**「共有設定」**を選択してください。

2 ［変更］（［**右セレクト**］）キーを押してください。「**共有設定**」が表示されます。

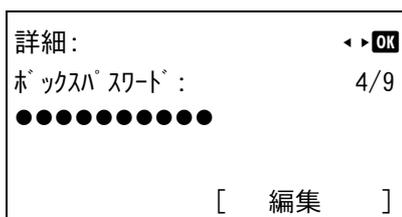
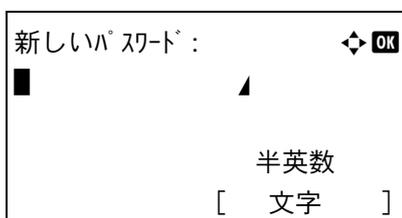
3 ［△］または［▽］キーを押して「**共有する**」または「**所有者のみ**」を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。ボックスの詳細情報に戻ります。

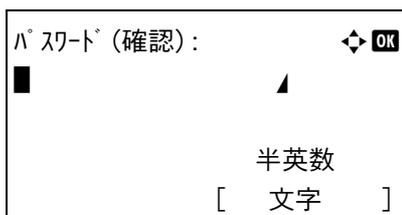
「ボックスパスワード」（ボックスパスワードの設定）

ボックスにパスワードをつけて、アクセスできるユーザーを制限することができます。必要に応じて入力してください。

参考：ユーザー管理が有効で、5-8ページの「**共有設定**」（**ボックスの共有設定**）を「**所有者のみ**」に設定している場合、この設定は表示されません。

---

1 ボックスの詳細情報で、［◁］または［▷］キーを押して「**ボックスパスワード**」を選択してください。

2 ［編集］（［**右セレクト**］）キーを押してください。「**新しいパスワード**」が表示されます。

3 テンキーで新しいパスワードを入力してください。

参考：文字数は最大16文字まで入力できます。文字の入力方法については、付録-2ページの**文字の入力方法**を参照してください。

4 ［OK］キーを押してください。「**パスワード（確認）**」が表示されます。

5 確認のため、もう一度同じパスワードを入力してください。テンキーで新しいパスワードを入力してください。

6 ［OK］キーを押してください。パスワードが一致していれば新しいパスワードに変更され、ボックスの詳細情報に戻ります。

一致しない場合は**「パスワードが違います。」**が表示され**「新しいパスワード」**に戻りますので、新しいパスワードから入力し直してください。

「ボックス番号」（ボックス番号の変更）

ボックス番号を変更します。

1 ボックスの詳細情報で、［◁］または［▷］キーを押して**「ボックス番号」**を選択してください。

2 **［編集］（［右セレクト］）**キーを押してください。**「ボックス番号入力」**が表示されます。

3 テンキー、［△］または［▽］キーでボックス番号を入力してください。

参考：ボックス番号は、0001～1000の4桁の番号を入力してください。
「このボックス番号はすでに登録されています。」が表示された場合は、すでに登録されている番号です。別の番号で登録してください。

4 ［OK］キーを押してください。ボックスの詳細情報に戻ります。

「使用量制限」（使用容量制限の設定）

SSDの容量を保つために、ボックスの容量を制限することができます。使用量を制限する場合はテンキーを押して制限値（MB）を入力してください。制限値は、作成されているユーザーボックスの数で変わりますが、最大値を1 ～ 30000（MB）の範囲で設定できます。

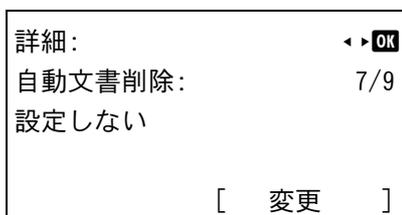
1 ボックスの詳細情報で、［◁］または［▷］キーを押して**「使用量制限」**を選択してください。

2 ［変更］（［**右セレクト**］）キーを押してください。「**使用量制限**」が表示されます。

3 テンキー、［△］または［▽］キーで制限値を入力してください。

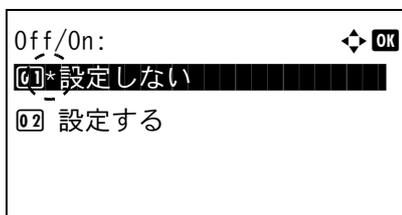
4 ［OK］キーを押してください。ボックスの詳細情報に戻ります。

「自動文書削除」（自動ファイル削除設定）

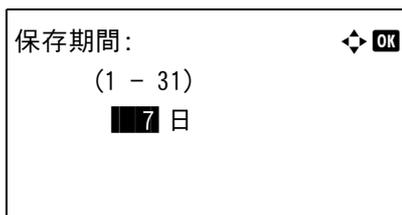
一定期間後に、保存した文書を自動消去します。自動消去する場合は、「**設定する**」を設定し、文書を保存する日数を入力してください。1 〜 31（日）の範囲で入力できます。自動消去しない場合は「**設定しない**」を設定します。

1 ボックスの詳細情報で、［◁］または［▷］キーを押して「**自動文書削除**」を選択してください。

2 ［変更］（［**右セレクト**］）キーを押してください。「**自動文書削除**」メニューが表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して「Off/On」を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。「Off/On」が表示されます。

5 ［△］または［▽］キーを押して「**設定する**」または「**設定しない**」を選択してください。

6 [OK] キーを押してください。「**自動文書削除**」メニューに戻ります。

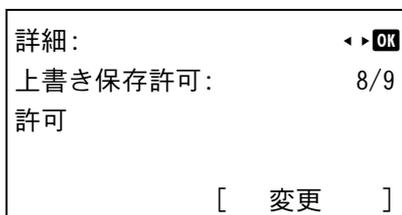
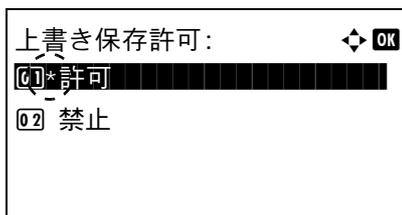
参考：「**設定する**」を選択した時は、「**保存期間**」で保存日数を設定してください。「**保存期間**」は「**設定する**」を設定した場合のみ表示されます。

7 [△] または [▽] キーを押して「**保存期間**」を選択してください。

8 [OK] キーを押してください。「**保存期間**」が表示されます。

9 テンキー、[△] または [▽] キーで保存期間を入力してください。

10 [OK] キーを押してください。ボックスの詳細情報に戻ります。

「上書き保存許可」（上書き保存設定）

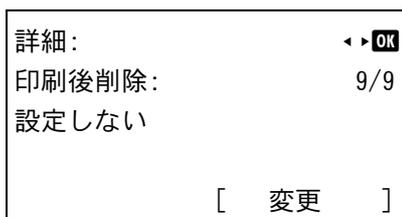
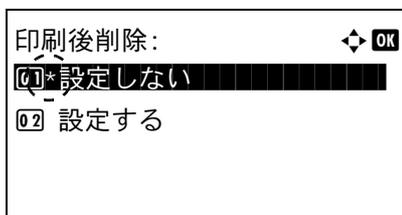
保存されている古い文書に上書きして新しい文書を保存することを許可するかどうかを設定します。

1 ボックスの詳細情報で、[◁] または [▷] キーを押して「**上書き保存許可**」を選択してください。

2 [**変更**]（[**右セレクト**]）キーを押してください。「**上書き保存許可**」が表示されます。

3 [△] または [▽] キーを押して「**許可**」または「**禁止**」を選択してください。

4 [OK] キーを押してください。ボックスの詳細情報に戻ります。

「印刷後削除」（印刷後のファイル削除設定）

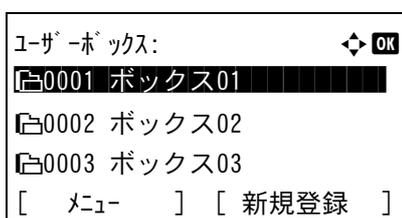
印刷が終了すると、文書をボックス内から自動的に削除します。

詳細:
印刷後削除: 9/9
設定しない
[変更]

1 ボックスの詳細情報で、[◁] または [▷] キーを押して**「印刷後削除」**を選択してください。

2 **[変更]（[右セレクト]）**キーを押してください。**「印刷後削除」**が表示されます。

3 [△] または [▽] キーを押して**「設定する」**または**「設定しない」**を選択してください。

4 [OK] キーを押してください。ボックスの詳細情報に戻ります。

ユーザーボックスの編集と削除

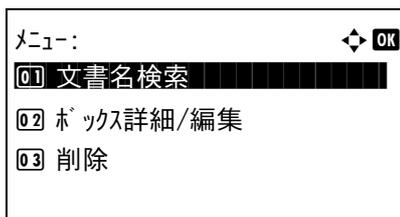
ユーザーボックスの詳細設定の変更とボックスの削除ができます。

1 **「ユーザーボックス」**リストで、[△] または [▽] キーを押して、編集または削除するボックスを選択してください。

2 [OK] キーを押してください。選択したボックスの文書一覧画面が表示されます。

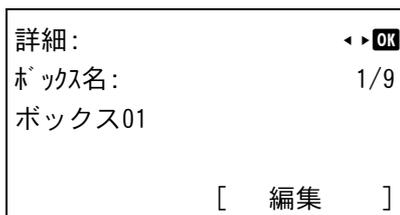
参考：パスワードの入力画面が表示された場合は、テンキーでパスワードを入力して [OK] キーを押してください。
文字の入力方法については、付録-2ページの**文字の入力方法**を参照してください。

次の操作ができます。

- **ユーザーボックスの編集**...5-14
- **ユーザーボックスの削除**...5-14

ユーザーボックスの編集

1 文書一覧画面で、[**メニュー**]（[**左セレクト**]）キーを押してください。「**メニュー**」が表示されます。

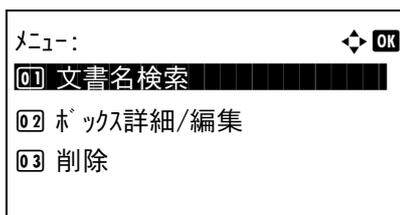
2 [△] または [▽] キーを押して、「**ボックス詳細／編集**」を選択してください。

3 [OK] キーを押してください。「**詳細**」が表示されます。

4 [◁] または [▷] キーを押して各設定を確認して変更してください。

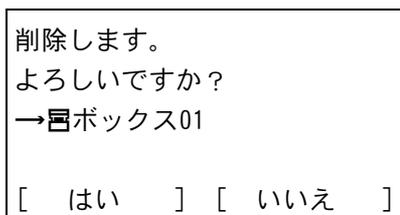
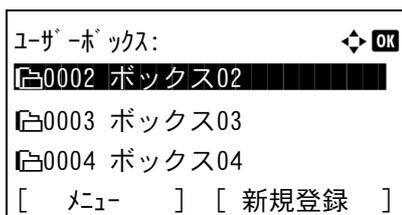
参考：変更方法は、5-6ページの**ボックスの詳細設定**を参考に行ってください。

5 編集が終わったら、[OK] キーを押してください。文書一覧画面に戻ります。

ユーザーボックスの削除

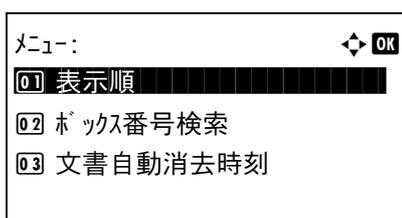
1 文書一覧画面で、[**メニュー**]（[**左セレクト**]）キーを押してください。「**メニュー**」が表示されます。

2 [△] または [▽] キーを押して、「**削除**」を選択してください。

削除します。
よろしいですか？
→ボックス01
[はい] [いいえ]

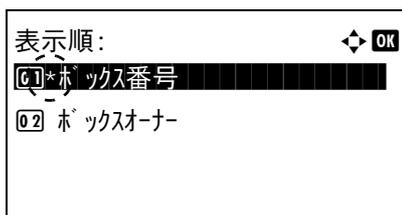
3 [OK] キーを押してください。確認画面が表示されます。

4 ユーザーボックスを削除して構わなければ［**はい**］（［**左セレクト**］）キーを押してください。「**完了しました。**」が表示され、ユーザーボックスを削除します。ユーザーボックスの削除が終了すると、「**ユーザーボックス**」リストに戻ります。

［**いいえ**］（［**右セレクト**］）キーを押すと、ユーザーボックスを削除せずに、文書一覧画面に戻ります。

ユーザーボックスリストの並び替え

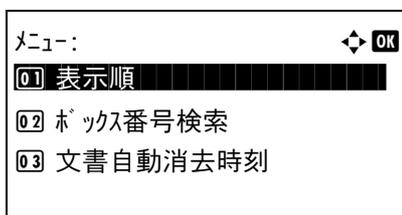
ユーザー管理を有効にしている場合、表示順をボックス番号順かボックスオーナー順に並べ替えます。

1 「**ユーザーボックス**」リストで、［**メニュー**］（［**左セレクト**］）キーを押してください。「**メニュー**」が表示されます。

2 ［△］または［▽］キーを押して、「**表示順**」を選択してください。

3 ［OK］キーを押してください。「**表示順**」が表示されます。

4 ［△］または［▽］キーを押して、「**ボックス番号**」または「**ボックスオーナー**」を選択してください。

5 ［OK］キーを押してください。「**メニュー**」に戻ります。

ユーザーボックスの検索

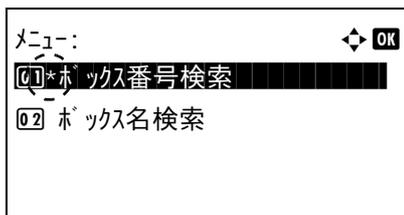
ボックス番号またはボックス名称からユーザーボックスを検索することができます。

1 「**ユーザーボックス**」リストで、［**メニュー**］（［**左セレクト**］）キーを押してください。「**メニュー**」が表示されます。

2 ［△］または［▽］キーを押して、「**ボックス番号検索**」または「**ボックス名検索**」を選択してください。

3 ［OK］キーを押してください。**「ボックス番号検索」**または**「ボックス名検索」**が表示されます。

次の方法で検索できます。

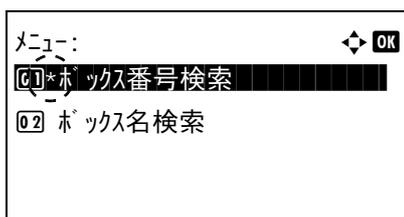
- **ボックス番号から検索する** ...5-16
- **ボックス名称から検索する** ...5-16

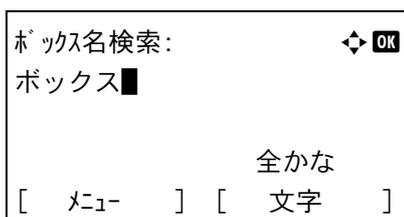
ボックス番号から検索する

1 ボックス番号検索画面で、**［メニュー］（［左セレクト］）**キーを押してください。**「メニュー」**が表示されます。

2 ［△］または［▽］キーを押して、**「ボックス番号検索」**を選択してください。

3 ［OK］キーを押してください。**「ボックス番号検索」**が表示されます。

4 テンキー、［△］または［▽］キーで検索するボックス番号を入力し、［OK］キーを押してください。入力したボックス番号を検索します。

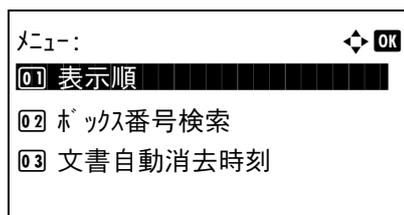
ボックス名称から検索する

1 ボックス番号検索画面で、**［メニュー］（［左セレクト］）**キーを押してください。**「メニュー」**が表示されます。

2 ［△］または［▽］キーを押して、**「ボックス名検索」**を選択してください。

3 ［OK］キーを押してください。**「ボックス名検索」**が表示されます。

4 テンキーで検索するボックス名称を入力し、[OK] キーを押してください。入力したボックス名称を検索します。

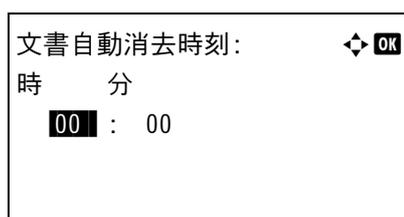
参考：文字の入力方法については、付録-2ページの**文字の入力方法**を参照してください。

ユーザーボックスの自動文書削除設定

ユーザーボックスに保存した文書を自動的に消去する時刻を設定します。

1 **「ユーザーボックス」**リストで、**[メニュー]**（**[左セレクト]**）キーを押してください。**「メニュー」**が表示されます。

2 [△] または [▽] キーを押して、**「文書自動消去時刻」**を選択してください。

文書自動消去時刻:
時　　分
00 :　00

3 [OK] キーを押してください。**「文書自動消去時刻」**が表示されます。

4 [△] または [▽] キーで時間と分を入力してください。

[△] または [▽] キーを押すと、数値が増減します。

[◁] または [▷] キーを押すと、反転表示されている入力位置を移動します。

5 [OK] キーを押してください。**「メニュー」**に戻ります。

ファイルの操作（ファイルの印刷 / 削除 / 移動）

ユーザーボックスに保存されているファイルの印刷、削除や別のユーザーボックスへの移動ができます。

次の操作ができます。

- 「ボックス番号　ボックス名」（文書の選択）...5-18
- 「すべての文書」（すべての文書の選択）...5-18
- 「印刷」（文書の印刷）...5-19
- 「印刷(設定変更)」（印刷設定の変更）...5-19
- 「削除」（文書の削除）...5-24
- 文書の移動...5-25
- 「ファイル詳細」（文書の情報確認）...5-25

1 **「ユーザーボックス」**リストで、[△] または [▽] キーを押して、ユーザーボックスを選択してください。

2 [OK] キーを押してください。選択したユーザーボックス内に保存されているデータの一覧が表示されます。

参考：パスワードの入力画面が表示された場合は、テンキーでパスワードを入力して [OK] キーを押してください。
文字の入力方法については、付録-2ページの**文字の入力方法**を参照してください。

「ボックス番号　ボックス名」（文書の選択）

ユーザーボックス内の文書を印刷・削除するには、まず対象となる文書を選択する必要があります。

1 [△] または [▽] キーを押して、印刷・削除したい文書を選択します。

2 **[選択]（[右セレクト]）**キーを押すと、文書が選択状態になります。

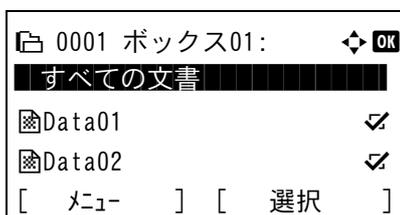
選択した文書の右にはチェックマークが付きます。

チェックマークの付いた文書を選択して、もう一度**[選択]（[右セレクト]）**キーを押すと、選択が解除されます。

参考：すべての文書を選択したいときは、5-18ページの**「すべての文書」（すべての文書の選択）**を参照してください。

「すべての文書」（すべての文書の選択）

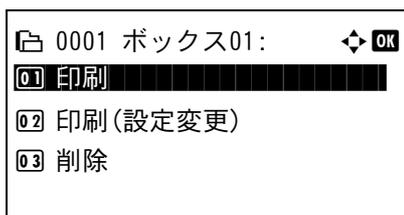
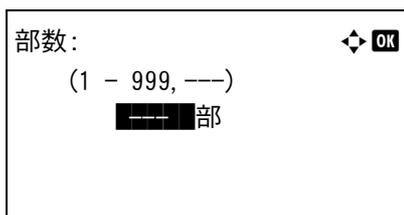
ユーザーボックス内のすべての文書を選択します。

1 文書一覧画面で、[△] または [▽] キーを押して、**「すべての文書」**を選択します。

2 **[選択]（[右セレクト]）**キーを押してください。

ユーザーボックス内にチェックされていない文書がある場合、すべての文書にチェックマークが付きます。

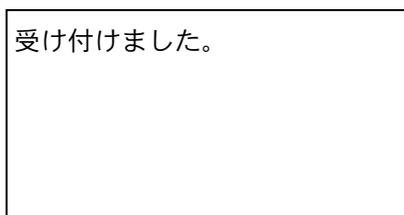
ユーザーボックス内の文書がすべてチェックされている場合、チェックマークがすべて外れます。

「印刷」（文書の印刷）

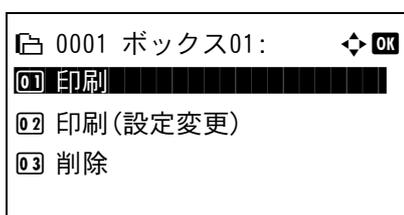
ユーザーボックス内で選択状態の文書を印刷します。

1 文書一覧画面で文書を選択して、［OK］キーを押してください。選択項目の一覧が表示されます。

2 ［△］または［▽］キーを押して、**「印刷」**を選択してください。

3 ［OK］キーを押してください。**「部数」**メニューが表示されます。

2 部以上印刷したい場合は、テンキー、［△］または［▽］キーを使って印刷したい部数を設定してください。

参考：部門管理されている場合は、部門コード入力画面が表示されるので、部門コードを入力してください。入力後に、**「部数」**メニューが表示されます。
各文書のデータ保存時の設定部数に従う「---」が最初に表示されます。このまま印刷すると、それぞれの設定部数が印刷されます。

4 ［OK］キーを押してください。**「受け付けました。」**が表示され、文書を設定したページ数で印刷します。また、5-12 ページの**「印刷後削除」（印刷後のファイル削除設定）**で**「設定する」**を選択した場合、印刷後に文書が削除されます。

「印刷 (設定変更)」（印刷設定の変更）

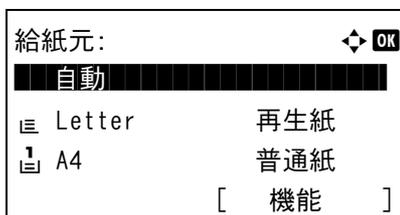
ユーザーボックスで選択したファイルを印刷設定を変更して印刷する。

1 文書一覧画面で文書を選択して、［OK］キーを押してください。選択項目の一覧が表示されます。

2 ［△］または［▽］キーを押して、**「印刷（設定変更）」**を選択してください。

3 ［OK］キーを押してください。**「部数」**メニューが表示されます。

2 部以上印刷したい場合は、テンキー、［△］または［▽］キーを使って印刷したい部数を設定してください。

参考：部門管理されている場合は、部門コード入力画面が表示されるので、部門コードを入力してください。入力後に、**「部数」**メニューが表示されます。
［機能］（**［右セレクト］**）キーを押して、印刷設定を変更することができます。詳しくは、5-20 ページの**印刷機能設定**を参照してください。

---

4 ［OK］キーを押してください。**「給紙元」**メニューに移ります。

5 ［△］または［▽］キーを押して、希望する給紙元を選択してください。

受け付けました。

6 ［OK］キーを押してください。**「受け付けました。」**が表示され、文書を設定したページ数で印刷します。また、5-12 ページの**「印刷後削除」（印刷後のファイル削除設定）**で**「設定する」**を選択した場合、印刷後に文書が削除されます。

印刷機能設定

印刷時に、印刷設定を変更することができます。

設定できる機能は次のとおりです。

「両面」（両面印刷の設定）

両面印刷を設定します。詳しくは、4-45 ページの**「両面」（両面印刷の設定）**を参照してください。

1 **「部数」**メニューまたは**「給紙元」**メニューで、［**機能**］（［**右セレクト**］）キーを押してください。**「機能」**メニューが表示されます。

2 ［△］または［▽］キーを押して、**「両面」**を選択してください。

3 ［OK］キーを押してください。**「両面」**が表示され、両面印刷モードが一覧表示されます。

4 ［△］または［▽］キーを押して両面印刷モードを選択してください。

「設定しない」（初期値）
「長辺とじ」
「短辺とじ」
「設定しない」を選択すると両面印刷は行いません。

5 ［OK］キーを押してください。選択した両面印刷モードが設定され、**「機能」**メニューに戻ります。

「エコプリント」（エコプリントの設定）

エコプリントモードを設定します。詳しくは、4-56ページの**「エコプリント」（エコプリントの設定）**を参照してください。

1 **「部数」**メニューまたは**「給紙元」**メニューで、［**機能**］（［**右セレクト**］）キーを押してください。**「機能」**メニューが表示されます。

2 ［△］または［▽］キーを押して、**「エコプリント」**を選択してください。

3 ［OK］キーを押してください。**「エコプリント」**が表示されます。

4 ［△］または［▽］キーを押して**「設定する」**または**「設定しない」**を選択してください。

5 ［OK］キーを押してください。エコプリントが設定され、**「機能」**メニューに戻ります。

「文書名入力」（文書名の入力）

文書名を入力します。入力した文書名は、ジョブ状況やジョブ履歴のジョブ名に表示されます。

1 **「部数」**メニューまたは**「給紙元」**メニューで、**［機能］**（**［右セレクト］**）キーを押してください。**「機能」**メニューが表示されます。

2 ［△］または［▽］キーを押して、**「文書名入力」**を選択してください。

3 ［OK］キーを押してください。**「文書名入力」**が表示されます。

4 テンキーで文書名を入力してください。

参考：文字数は最大32文字まで入力できます。文字の入力方法については、付録-2ページの**文字の入力方法**を参照してください。

5 ［OK］キーを押してください。**「付加情報」**が表示されます。

6 ［△］または［▽］キーを押して、文書名に付加する情報を選択できます。

選択できる設定は次のとおりです。

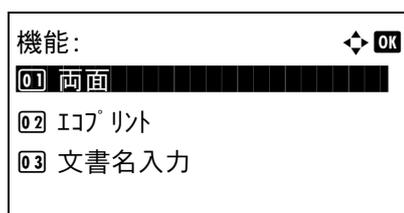
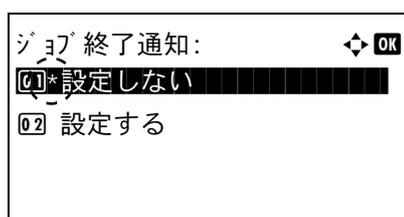
「なし」（追加情報を追加しません。）
「日付」（日付を追加します。）
「ジョブ番号」（ジョブ番号を追加します。）
「ジョブ番号＋日付」（ジョブ番号＋日付を追加します）
「日付＋ジョブ番号」（日付＋ジョブ番号を追加します）

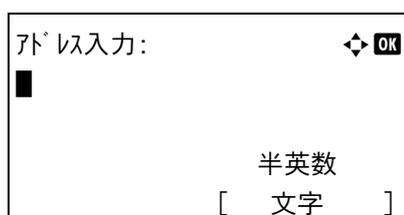
7 ［OK］キーを押してください。文書名が登録され、**「機能」**メニューに戻ります。

「ジョブ終了通知」（ジョブ終了通知の設定）

ジョブの終了をメールで通知します。

参考：本機でメールを送信するには、SMTPとPOP3の設定を**「設定する」**に設定してください。詳しくは、4-74ページの**「プロトコル詳細」（ネットワークプロトコルの詳細設定）**を参照してください。

メールサーバーを登録する必要があります。サーバーの設定方法は、Command Center RX**操作手順書**を参照してください。

1 **「部数」**メニューまたは**「給紙元」**メニューで、［**機能**］（［**右セレクト**］）キーを押してください。**「機能」**メニューが表示されます。

2 ［△］または［▽］キーを押して、**「ジョブ終了通知」**を選択してください。

3 ［OK］キーを押してください。**「ジョブ終了通知」**が表示されます。

4 ［△］または［▽］キーを押して［**設定する**］を選択してください。

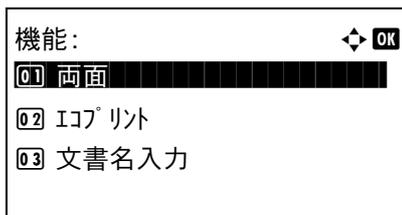
5 ［OK］キーを押してください。**「アドレス入力」**が表示されます。

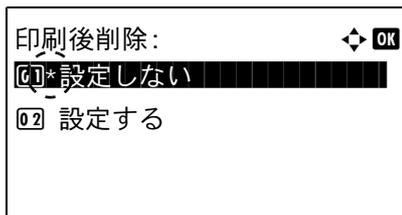
6 テンキーで通知するアドレスを入力してください。

参考：文字数は最大128文字まで入力できます。文字の入力方法については、付録-2ページの**文字の入力方法**を参照してください。
ユーザー管理を設定している場合、ログインユーザーのアドレスが入力されています。

7 ［OK］キーを押してください。アドレスが登録され、**「機能」**メニューに戻ります。

「印刷後削除」（印刷後のファイル削除設定）

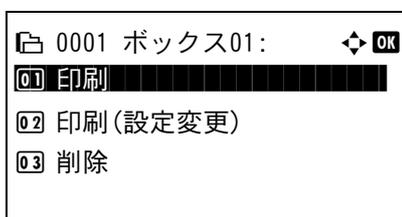
印刷が終了すると、文書をボックス内から自動的に削除します。

1 「**部数**」メニューまたは「**給紙元**」メニューで、[**機能**]（[**右セレクト**]）キーを押してください。「**機能**」メニューが表示されます。

2 [△] または [▽] キーを押して、「**印刷後削除**」を選択してください。

3 [OK] キーを押してください。「**印刷後削除**」が表示されます。

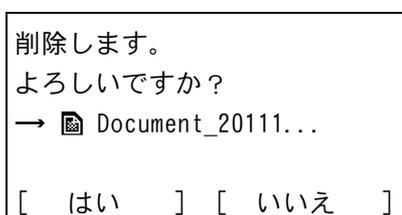
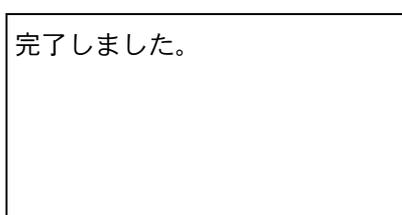
4 [△] または [▽] キーを押して、「**設定しない**」または「**設定する**」を選択してください。

5 [OK] キーを押してください。印刷後削除が設定され、「**機能**」メニューに戻ります。

「削除」（文書の削除）

ユーザーボックス内で選択状態の文書を削除します。

1 文書一覧画面で文書を選択して、[OK] キーを押してください。選択項目の一覧が表示されます。

2 [△] または [▽] キーを押して、「**削除**」を選択してください。

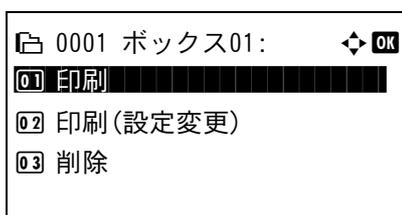
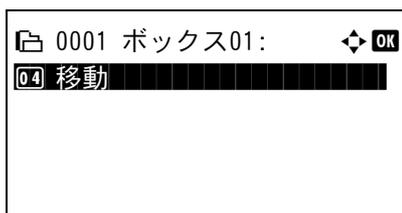
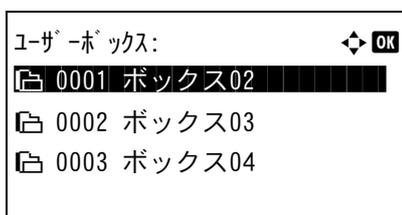
削除します。
よろしいですか？
→ Document_20111...
[はい] [いいえ]

3 [OK] キーを押してください。確認メッセージが表示されます。

完了しました。

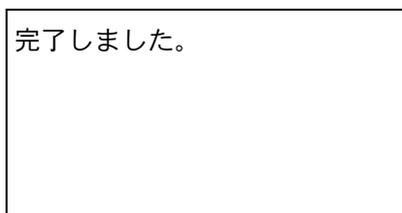
4 [**はい**]（[**左セレクト**]）キーを押してください。「**完了しました。**」が表示され、選択した文書が削除されます。

[**いいえ**]（[**右セレクト**]）キーを押すと、文書の削除は行わず、文書一覧画面に戻ります。

文書の移動

文書を別のユーザーボックスに移動します。

0001 ボックス01:
01 印刷
02 印刷(設定変更)
03 削除

1 文書一覧画面で文書を選択して、[OK] キーを押してください。選択項目の一覧が表示されます。

2 [△] または [▽] キーを押して、**「移動」**を選択してください。

3 [OK] キーを押してください。**「ユーザーボックス」**リストが表示されます。

4 [△] または [▽] キーを押して、移動先のボックスを選択してください。

完了しました。

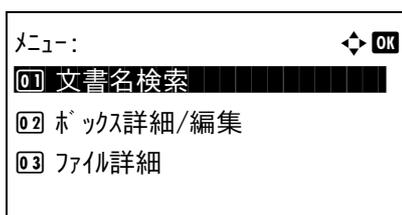
5 [OK] キーを押してください。**「完了しました。」**が表示され、選択した文書が移動します。

参考：パスワードの入力画面が表示された場合は、テンキーでパスワードを入力し、[OK] キーを押してください。

文字の入力方法については、付録-2ページの**文字の入力方法**を参照してください。

「ファイル詳細」（文書の情報確認）

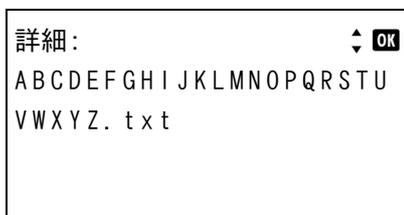
カーソルで選択されている文書の情報を表示します。

1 文書一覧画面で、**[メニュー]**（**[左セレクト]**）キーを押してください。

2 [△] または [▽] キーを押して、**「ファイル詳細」**を選択してください。

詳細:
文書名: 1/ 5
ABCDEFGHIJKLMNOPQRST…
[詳細]

3 [OK] キーを押してください。カーソルで選択されている文書の情報が表示されます。

文書情報の詳細は、全部で 5 ページあります。[▷] キーを押すと次のページが表示されます。[◁] を押すと前のページに戻ります。

詳細:
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTU
VWXYZ.txt

文書名表示のときに、名称が 1 行ですべて表示されていない場合、[詳細]([右セレクト])キーを押すと、名称が 3 行表示に切り替わります。

ジョブボックス

重要：ジョブボックスを使用するには、SSD（HD-6）またはSD/SDHCメモリーカードをプリンターに装着する必要があります。試し刷り後、保留モードとプライベートプリントモードは、RAMディスクでも使用できます。

ジョブボックスは、ジョブリテンション機能を実現する印刷機能です。設定はプリンタードライバーより行います。プリンタードライバーでの設定については、**5-39ページのパソコンの設定（プリンタードライバー）**または**プリンタードライバー操作手順書**を参照してください。

参考：RAMディスクでジョブボックスを使用する場合は、RAMディスクモードを**「使用する」**に設定してください。SSD（HD-6）またはSD/SDHCメモリーカードを使ってジョブボックスを使用する場合は、RAMディスクモードを**「使用しない」**に設定してください。詳しくは、4-98ページの**「RAMディスク設定」（RAMディスクの設定）**を参照してください。

ジョブリテンション機能

ジョブリテンション機能は、プリンターのSSDに印刷データを保存し、必要なときに印刷できます。次の4種類のモードがあり、プリンタードライバーから選択できます。

	クイックコピーモード	**試し刷り後、保留モード**	**プライベートプリントモード**	**ジョブ保留モード**
機能	プリンターの操作パネルから、必要部数を追加印刷できます。	複数部数の印刷の際、1部だけ印刷出力します。印刷の内容を確認してから、残りを印刷します。キャンセルすることもできるので、用紙を節約できます。	他人に見られたくない文書などを、アクセスコードを入力してから印刷させることができます。	FAX送信用紙などのフォームをプリンターに保存し、必要なとき必要なものを必要な枚数だけ印刷できます。
データ保存操作	プリンタードライバー	プリンタードライバー	プリンタードライバー	プリンタードライバー
アプリケーションソフトからの印刷終了時	同時に印刷する	同時に1部だけ印刷する	印刷しない	印刷しない
印刷出力操作	プリンターの操作パネルから行う	プリンターの操作パネルから行う	プリンターの操作パネルから行う	プリンターの操作パネルから行う
初期印刷部数	ドライバーから設定した部数（変更可能）	試し刷り後の残り部数（変更可能）	ドライバーから設定した部数（変更可能）	1（変更可能）
最大格納ジョブ数†	300	300	SSD容量に依存（印刷すると、そのジョブは自動的に消去）	SSD容量に依存
アクセスコード	不要	不要	必要	任意
印刷後のデータ	保存	保存	消去	保存
電源オフ時のデータ	消去	消去	消去	保存
SSD（HD-6）またはSD/SDHCメモリーカード	必要	不要（RAMディスクでも動作）	不要（RAMディスクでも動作）	必要

† 設定された数を超えると、古いジョブから順に削除されます。

参考：プリンタードライバーでの設定と印刷（保存）方法については、**プリンタードライバー操作手順書**を参照してください。

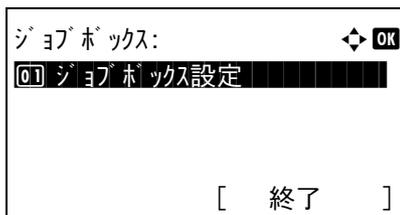
ジョブボックスを使った印刷手順

ジョブボックスを使用するときは、次の流れで作業を行ってください。

パソコンからジョブボックスを指定して印刷ジョブを送信する（5-39ページ）

操作パネルからボックス内のファイルを指定して印刷する

- クイックコピーモード（5-29ページ）
- 試し刷り後、保留モード（5-29ページ）
- プライベートプリントモード（5-32ページ）
- ジョブ保留モード（5-32ページ）

操作パネルの表示

1 ［**文書ボックス**］キーを押してください。**「ユーザーボックス」**リストまたは**「ジョブボックス」**メニューが表示されます。

参考：［**文書ボックス**］キーを押した後に**「ユーザーボックス」**リストか**「ジョブボックス」**メニューを表示させるか設定することができます。4-92ページの**「初期画面(ボックス)」（文書ボックスの初期画面設定）**を参照してください。

「ユーザーボックス」リストが表示された場合は、次の操作を行って**「ジョブボックス」**メニューを表示させてください。

1 ［**戻る**］キーを押してください。

2 ［△］または［▽］キーを押して、**「ジョブボックス」**を選択してください。

3 ［**OK**］キーを押してください。**「ジョブボックス」**メニューが表示されます。

ジョブボックスメニューでは、次の操作ができます。

- **「クイックコピー」（クイックコピー /試し刷り後、保留）**...5-29
- **「個人/ジョブ保留」（プライベートプリント/ジョブ保留）**...5-32
- **「ジョブボックス設定」（ジョブボックスの設定）**...5-36

「クイックコピー」は、SSDまたはSD/SDHCメモリーカード内にクイックコピーモードで保存したジョブがある場合に表示されます。また、SSD、SD/SDHCメモリーカードまたはRAMディスク内に試し刷り後、保留モードで保存したジョブがある場合にも表示されます。

「個人/ジョブ保留」は、SSD、SD/SDHCメモリーカードまたはRAMディスク内に保存したジョブがある場合に表示されます。

「クイックコピー」（クイックコピー / 試し刷り後、保留）

クイックコピーモードは、一度印刷した文書を追加印刷するモードです。

プリンタードライバーでクイックコピーを設定して文書を印刷すると、同時にSSDまたはSD/SDHCメモリーカードに保存します。印刷が必要になったときに操作パネルから必要な枚数を再印刷できます。

SSDまたはSD/SDHCメモリーカードに保存できる最大文書数は、初期設定で32個（**ジョブボックスの設定**で最大300個まで変更可能）です。詳細は、5-36ページの**「クイックコピー保持数」（クイックコピーの最大文書数）**を参照してください。設定された最大数を越えて書類を保存すると、古いジョブから順に新しいジョブに上書きされます。

試し刷り後、保留モードは、プリンタードライバーで必要な部数を設定すると、1部だけ印刷し、文書データをSSD、SD/SDHCメモリーカードまたはRAMディスクに保存します。残りの部数を印刷するときは操作パネルから印刷します。その際、印刷ページ数を変更することもできます。

プリンターの電源を切ると、このモードで保存した文書は消去されます。

参考：プリンタードライバーの設定方法は、**プリンタードライバー操作手順書**を参照してください。

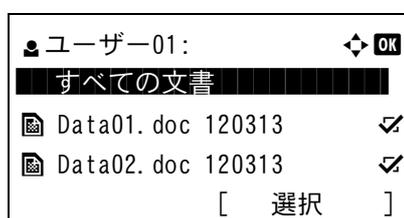
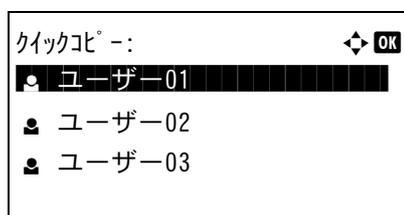
次の操作ができます。

クイックコピーおよび保留されている残りの部数の印刷のしかた

1 **「ジョブボックス」**メニューで、[△] または [▽] キーを押して、**「クイックコピー」**を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。**「クイックコピー」**が表示され、ユーザー名が一覧表示されます。

3 [△] または [▽] キーを押して、プリンタードライバーに入力したユーザー名を選択してください。

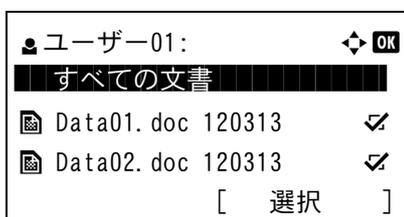
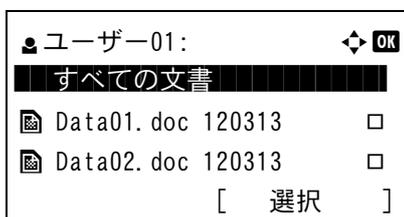
4 [OK] キーを押してください。選択したユーザー名で保存されている文書の一覧が表示されます。

5 [△] または [▽] キーを押して、印刷したい文書名を選択してください。

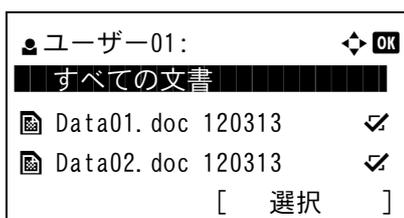
[選択]（**[右セレクト]**）キーを押すと、文書が選択状態になります。選択した文書の右にはチェックマークが付きます。

チェックマークの付いた文書を選択してもう一度 **[選択]**（**[右セレクト]**）キーを押すと、選択が解除されます。

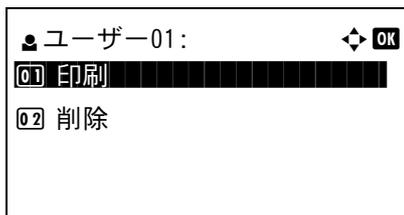
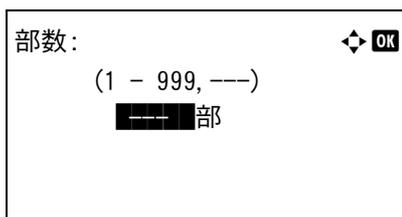
参考：すべての文書を選択したいときは、**5-30 ページの「すべての文書」（すべての文書の選択）**を参照してください。

「すべての文書」（すべての文書の選択）

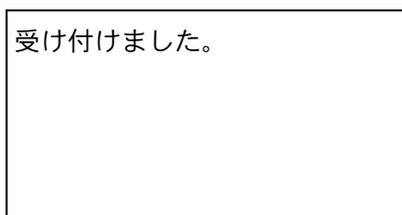
選択したジョブボックス内のすべての文書を選択します。

1 文書一覧画面で、[△] または [▽] キーを押して、**「すべての文書」**を選択します。

2 **[選択]**（**[右セレクト]**）キーを押してください。

ジョブボックス内の文書がすべてチェックされている場合、チェックマークがすべて外れます。

ジョブボックス内にチェックされていない文書がある場合、すべての文書にチェックマークが付きます。

「印刷」（文書の印刷）

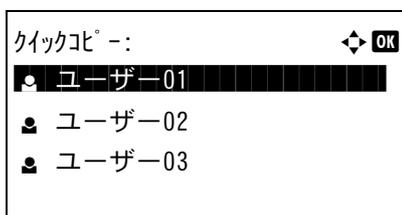
ジョブボックス内で選択状態の文書を印刷します。

1 文書一覧画面で文書を選択して、**[OK]** キーを押してください。選択項目の一覧が表示されます。

2 ［△］または［▽］キーを押して、**「印刷」**を選択して［OK］キーを押してください。**「部数」**メニューが表示されます。

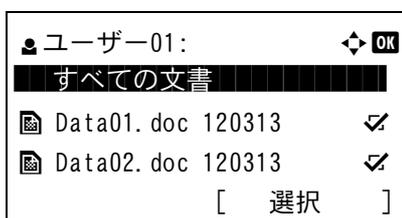
2 部以上印刷したい場合は、テンキー、［△］または［▽］キーを使って印刷したい部数を設定してください。

参考：各文書のデータ保存時の設定部数に従う**「---」**が最初に表示されます。このまま印刷すると、それぞれの設定部数が印刷されます。

3 ［OK］キーを押してください。**「受け付けました。」**が表示され、選択した文書を印刷します。

クイックコピー文書および保留されている文書の削除

保存されている文書は、電源を切ると自動的に消去されますが、次の手順で個別に消去できます。

1 **「ジョブボックス」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「クイックコピー」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「クイックコピー」**が表示され、ユーザー名が一覧表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、プリンタードライバーに入力したユーザー名を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。選択したユーザー名で保存されている文書の一覧が表示されます。

5 ［△］または［▽］キーを押して、削除したい文書名を選択してください。

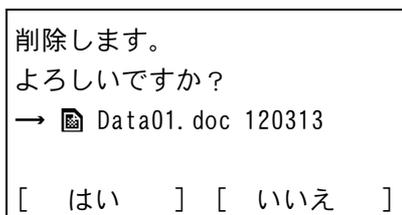
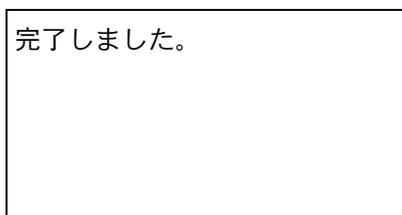
［選択］（**［右セレクト］**）キーを押すと、文書が選択状態になります。選択した文書の右にはチェックマークが付きます。

チェックマークの付いた文書を選択してもう一度［**選択**］（［**右セレクト**］）キーを押すと、選択が解除されます。

参考：すべての文書を選択したいときは、5-30ページの**「すべての文書」（すべての文書の選択）**を参照してください。

「削除」（文書の削除）

ジョブボックス内で選択状態の文書を削除します。

1 文書一覧画面で文書を選択して、［OK］キーを押してください。選択項目の一覧が表示されます。

2 ［△］または［▽］キーを押して、**「削除」**を選択して［OK］キーを押してください。確認メッセージが表示されます。

3 ［**はい**］（［**左セレクト**］）キーを押してください。**「完了しました。」**が表示され、選択した文書が削除されます。

［**いいえ**］（［**右セレクト**］）キーを押すと、文書の削除は行わず文書一覧画面に戻ります。

「個人 / ジョブ保留」（プライベートプリント / ジョブ保留）

プライベートプリントは、印刷の際にドライバーから設定したアクセスコードと同じ4桁の数字を、操作パネルから入力して印刷出力を可能にする機能です。データは印刷後に消去されます。

ジョブ保留モードはアクセスコードは使用せず、印刷出力後は印刷データをSSD、SD/SDHCメモリーカードまたはRAMディスクに保持します。

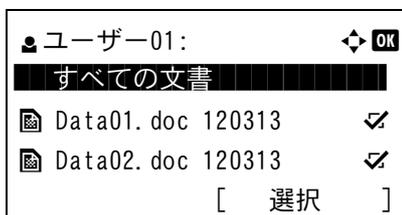
参考：プリンタードライバーの設定方法は、**プリンタードライバー操作手順書**を参照してください。

次の操作ができます。

プライベートプリントおよびジョブ保留の印刷のしかた

1 **「ジョブボックス」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「個人 / ジョブ保留」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。**「個人 / ジョブ保留」**が表示され、ユーザー名が一覧表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、プリンタードライバーに入力したユーザー名を選択してください。

4 ［OK］キーを押してください。選択したユーザー名で保存されている文書の一覧が表示されます。

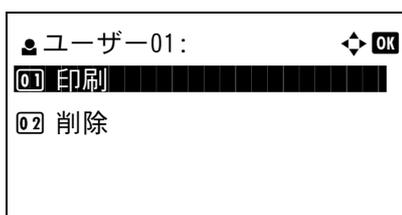
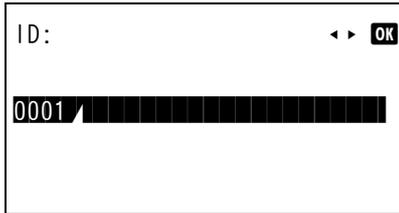
5 ［△］または［▽］キーを押して、印刷したい文書を選択してください。

［選択］（**［右セレクト］**）キーを押すと、文書が選択状態になります。選択した文書の右にはチェックマークが付きます。

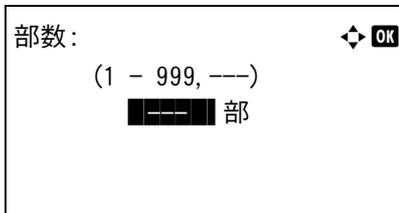
チェックマークの付いた文書を選択してもう一度**［選択］**（**［右セレクト］**）キーを押すと、選択が解除されます。

参考：すべての文書を選択したいときは、**5-30 ページの「すべての文書」（すべての文書の選択）**を参照してください。

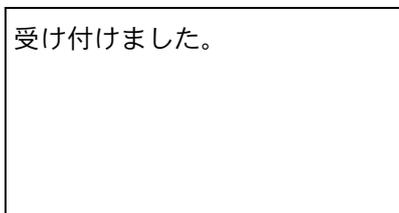
「印刷」（文書の印刷）

ジョブボックス内で選択状態の文書を印刷します。

1 文書一覧画面で文書を選択して、［OK］キーを押してください。選択項目の一覧が表示されます。

2 [△] または [▽] キーを押して、**「印刷」**を選択して、[OK] キーを押してください。選択した文書がプライベートプリントで保存した文書の場合、**「ID」**が表示されます。ジョブ保存モードで保存した文書の場合、直接**「部数」**メニューが表示されます。

3 プリンタードライバーで入力したアクセスコードを入力し、[OK] キーを押してください。**「部数」**メニューが表示されます。入力したアクセスコードが間違っていると、再度**「ID」**が表示されます。

参考：チェックボックスで選択された文書にアクセスコードが設定されていると、不一致の場合、**「IDが違います。」**と表示されます。

4 2 部以上印刷したい場合は、テンキー、[△] または [▽] キーを使って印刷したい部数を設定してください。

プリンタードライバーで複数部数に設定している場合、同じ方法で 1 部に戻すことができます。

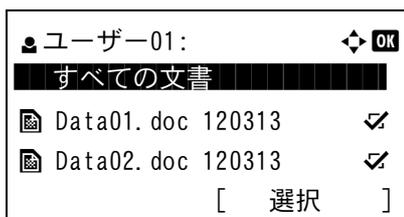
参考：各文書のデータ保存時の設定部数に従う**「---」**が最初に表示されます。このまま印刷すると、それぞれの設定部数が印刷されます。

5 [OK] キーを押してください。**「受け付けました。」**が表示され、選択した文書を印刷します。

保存されている文書の削除

保存されている文書は、次の手順で個別に消去できます。また、プライベートプリントモードで保存されている文書は、印刷後や電源を切ると自動的に消去されますが、ジョブ保留モードで保存した文書は消去されません。

1 **「ジョブボックス」**メニューで、[△] または [▽] キーを押して、**「個人 / ジョブ保留」**を選択してください。

2 [OK] キーを押してください。**「個人 / ジョブ保留」**が表示され、ユーザー名が一覧表示されます。

3 [△] または [▽] キーを押して、プリンタードライバーに入力したユーザー名を選択してください。

4 [OK] キーを押してください。選択したユーザー名で保存されている文書の一覧が表示されます。

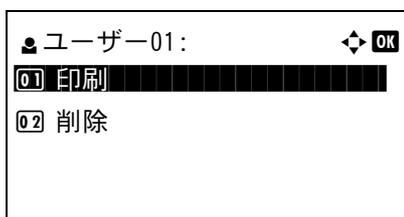
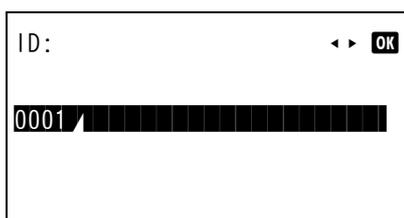
5 [△] または [▽] キーを押して、削除したい文書を選択してください。

[選択]（**[右セレクト]**）キーを押すと、文書が選択状態になります。選択した文書の右にはチェックマークが付きます。

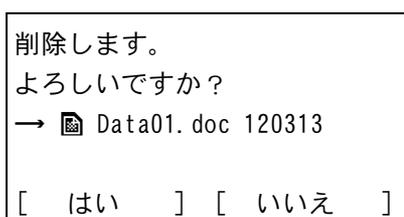
チェックマークの付いた文書を選択してもう一度 **[選択]**（**[右セレクト]**）キーを押すと、選択が解除されます。

参考：すべての文書を選択したいときは、**5-30 ページの「すべての文書」（すべての文書の選択）**を参照してください。

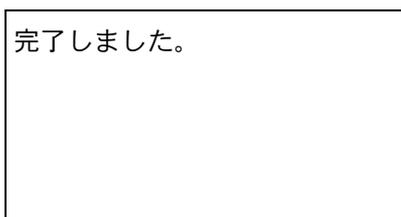
「削除」（文書の削除）

ジョブボックス内で選択状態の文書を削除します。

1 文書一覧画面で文書を選択して、[OK] キーを押してください。選択項目の一覧が表示されます。

2 [△] または [▽] キーを押して、**「削除」**を選択して、[OK] キーを押してください。アクセスコードを設定している場合は、「ID」が表示されます。

3 プリンタードライバーで入力したアクセスコードを、テンキーで入力します。

削除します。
よろしいですか？
→ Data01.doc 120313
[はい] [いいえ]

4 [OK] キーを押してください。

入力したアクセスコードが正しければ、確認メッセージが表示されます。入力したアクセスコードが間違っていると、再度「ID」が表示されます。

参考：チェックボックスで選択された文書にアクセスコードが設定されていると、不一致の場合、**「IDが違います。」**と表示されます。

完了しました。

5 ［**はい**］（［**左セレクト**］）キーを押してください。「**完了しました。**」が表示され、選択した文書を削除します。

［**いいえ**］（［**右セレクト**］）キーを押すと、文書の削除は行わずに 1 つ前の画面に戻ります。

「ジョブボックス設定」（ジョブボックスの設定）

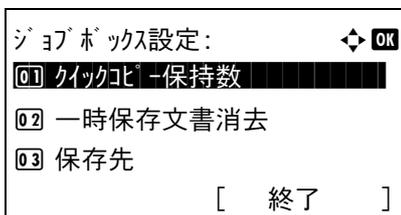
SSD または SD/SDHC メモリーカードに保存する最大文書数、一時保存文書の自動消去設定や保存メディアの選択を行います。

ジョブボックス設定には次の項目があります。

「クイックコピー保持数」（クイックコピーの最大文書数）

保存できるクイックコピー文書の最大文書の数を 0 〜 300 の間で変更します。初期設定は 32 です。

1 「**ジョブボックス**」メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「**ジョブボックス設定**」を選択してください。

ｼﾞｮﾌﾞﾎﾞｯｸｽ設定：
01 ｸｲｯｸｺﾋﾟｰ保持数
02 一時保存文書消去
03 保存先
［ 終了 ］

2 ［OK］キーを押してください。「**ジョブボックス設定**」が表示されます。

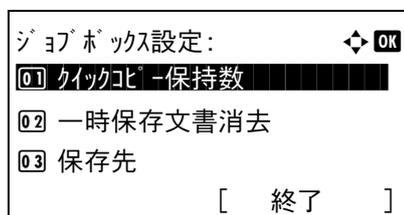
3 ［△］または［▽］キーを押して、「**クイックコピー保持数**」を選択し、［OK］キーを押してください。「**クイックコピー保持数**」が表示されます。

ｸｲｯｸｺﾋﾟｰ保持数：
(0 - 300)
32 個

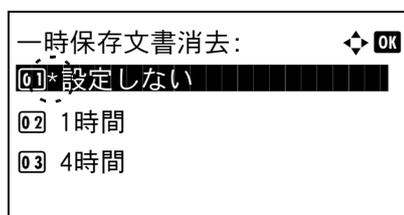
4 テンキー、［△］または［▽］キーを使って最大文書の数を入力してください。

5 ［OK］キーを押してください。最大文書数が設定され、「**ジョブボックス**」メニューに戻ります。

「一時保存文書消去」（一時保存文書の自動消去）

設定した期間が過ぎると、一時保存文書を自動的に消去します。

1 「**ジョブボックス**」メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「**ジョブボックス設定**」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「**ジョブボックス設定**」が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、「**一時保存文書消去**」を選択し、［OK］キーを押してください。「**一時保存文書消去**」が表示されます。

4 ［△］または［▽］キーを押して、希望する自動消去の時間を選択してください。

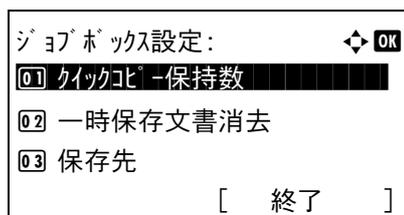
表示される時間は次のとおりです。

「**設定しない**」（自動消去しない）
「**1 時間**」（1時間後に自動消去する）
「**4 時間**」（4時間後に自動消去する）
「**1 日**」（翌日に自動消去する）
「**1 週間**」（1週間後に自動消去する）

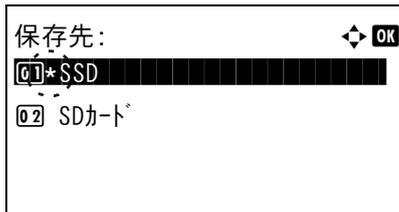
5 ［OK］キーを押してください。自動消去の時間が設定され、「**ジョブボックス**」メニューに戻ります。

「保存先」（文書の保存メディアの選択）

オプションのSSDとSD/SDHCメモリーカードを両方装着している場合、保存するメディアを選択することができます。

参考：設定終了後、電源を切って入れなおしてください。設定を有効にするために必ず行ってください。

1 「**ジョブボックス**」メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「**ジョブボックス設定**」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「**ジョブボックス設定**」が表示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、「**保存先**」を選択し、［OK］キーを押してください。「**保存先**」が表示されます。

4 ［△］または［▽］キーを押して、希望する保存先を選択してください。表示される保存先は次のとおりです。

「SSD」
「SD カード」

5 ［OK］キーを押してください。保存先が設定され、**「ジョブボックス」**メニューに戻ります。

参考：設定終了後、電源を切って入れなおしてください。設定を有効にするために必ず行ってください。

パソコンの設定（プリンタードライバー）

ユーザーボックスまたはジョブボックスにデータを保存する場合は、次の手順で行います。

1 アプリケーションソフトの**ファイル**をクリックし、**印刷**を選んでください。印刷ダイアログボックスが表示されます。

2 名前の▼ボタンをクリックしてください。Windows にインストールされているすべてのプリンターが一覧表示されます。リストから本機を選んでください。

3 **プロパティ**ボタンをクリックしてください。**プロパティ**ダイアログボックスが表示されます。

4 **ジョブ保存**タブをクリックし、**ジョブ拡張機能**のチェックボックスにチェックを入れて機能を設定してください。

文書ボックス	プリンタードライバーの設定方法
ユーザーボックス	1 **ユーザーボックス**を選択してください。 2 **設定**をクリックしてください。 3 ユーザーボックス設定オプションを選択します。 • **特定のボックス番号を使用**を選択した場合、そのボックス番号とパスワードを入力します。 • **印刷時にボックス番号を入力**を選択し、OK をクリックします。**ユーザーボックス**ダイアログボックスが表示されたら、**定義されたユーザーボックス**リストからボックス番号を入力します。パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。 • **印刷時にボックスリストから選択**を選択し、OK をクリックします。**ユーザーボックス**ダイアログボックスが表示されたら、リストからボックスを選択します。パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。これは、SSD **設定**ダイアログボックスで**共有ボックス**が設定されている場合に、選択することができます。 • **ログインユーザー毎にボックス番号を確認**を選択し、OK をクリックします。**ユーザーボックス**ダイアログボックスが表示されたら、ボックス番号を入力します。パスワード保護を行うには、**パスワードの確認**を選択し、パスワードを入力します。これは、SSD **設定**ダイアログボックスで**共有ボックス**が選択されている場合に可能です。 4 OK をクリックして**印刷**ダイアログボックスに戻ります。

文書ボックス		プリンタードライバーの設定方法
ジョブボックス	クイックコピーモード	**クイックコピー**を選択してください。
	試し刷り後、保留モード	**試し刷り後、保留**を選択してください。
	プライベートプリントモード	**プライベートプリント**を選択してください。
	ジョブ保留モード	**ジョブ保留**を選択してください。

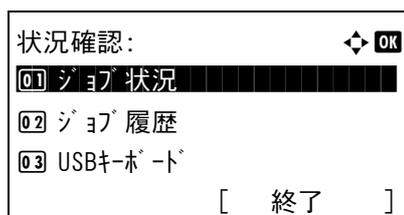
参考：プリンタードライバーの操作方法は、**プリンタードライバー操作手順書**を参照してください。

6　状況確認

この章では次の内容について説明します。

状況確認メニューの表示

本機の印刷待機中または印刷中に、メッセージディスプレイの最下段の左側に「**状況確認**」が表示されている場合は、状況を表示することができます。

状況確認:
01 ｼﾞｮﾌﾞ状況
02 ｼﾞｮﾌﾞ履歴
03 USBｷｰﾎﾞｰﾄﾞ
[終了]

[**状況確認**]（[**左セレクト**]）キーを押してください。「**状況確認**」メニューが表示されます。

状況確認メニューで次の操作ができます。

- **ジョブ状況**...6-3
- **ジョブ履歴**...6-4
- **USBキーボード**...6-6
- **ワイヤレスネットワーク**...6-6

参考：「**USBキーボード**」は、USBキーボードを接続している場合のみ表示されます。

「**ワイヤレスネットワーク**」は、オプションのワイヤレスインターフェイスキット（IB-51）を装着している場合のみ表示されます。

ジョブ状況

印刷中および印刷待機中のジョブの状況を確認できます。

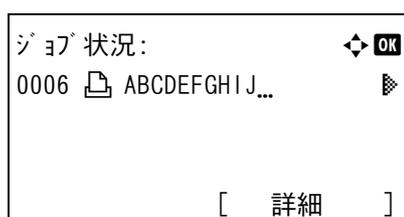
パソコンから印刷したジョブに加えて、ステータスページなどのレポートやUSB メモリーから直接印刷するジョブも確認できます。

ジョブ状況で確認できる情報を下表に示します。

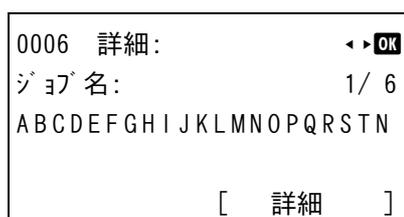
項目名	内容	結果の表示		
		表示	アイコン	解説
ジョブ名	ジョブ名	ジョブ名		ジョブの名称
状態	ジョブの状態	処理中		印刷処理中
		一時停止		印刷停止中
		中止		ジョブキャンセル
ジョブ種類	ジョブの種類	プリンター		パソコンからの印刷
		レポート		レポート
		USB		USB メモリーからの印刷
		ボックス		ジョブボックスからの印刷
受付時刻	ジョブ受付時間	日/月/年　時:分† 月/日/年　時:分† 年/月/日　時:分†		ジョブの受付時間
ユーザー名	印刷したユーザー名	ユーザー名		ユーザーの名称
印刷ページ数	印刷ページ数	*** ページ		ページ数
		/		印刷終了部数／印刷設定部数

† 日付形式は変更できます。詳細は、4-94 ページの**「日付形式」（日付形式の選択）**を参照してください。

1 **「状況確認」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「ジョブ状況」**を選択してください。

ｼﾞｮﾌﾞ状況:
0006 ABCDEFGHIJ…
［ 詳細 ］

2 ［OK］キーを押してください。**「ジョブ状況」**が表示され、印刷中または印刷待機中のジョブのジョブ番号、ジョブ名が一覧表示されます。また、各ジョブのジョブ種類、結果がアイコンで示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、詳細な情報を確認したいジョブ名を選択してください。

0006 詳細:
ｼﾞｮﾌﾞ名: 1/ 6
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTN
［ 詳細 ］

4 **［詳細］（［右セレクト］）**キーを押してください。ジョブ状況の詳細が表示されます。

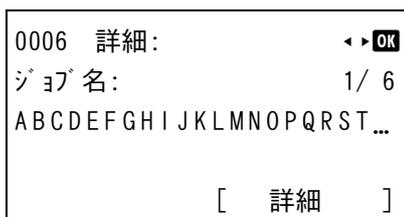
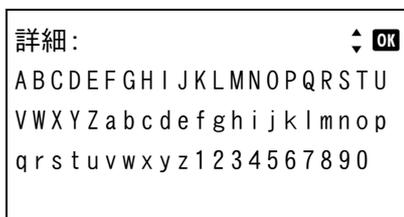
ジョブ状況の詳細画面は、全部で 6 ページあります。［▷］キーを押すと次のページが表示されます。［◁］を押すと前のページに戻ります。

ジョブ状況の詳細画面で［OK］キーを押すと、**「ジョブ状況」**のメニュー画面に戻ります。

```
0006  詳細:                 ◂▸OK
ｼﾞｮﾌﾞ名:                    1/ 6
ABCDEFGHIJKLMNOPQRST…

                 [   詳細    ]
```

ジョブ名表示のときに、名称が 1 行ですべて表示されていない場合、[**詳細**]（[**右セレクト**]）キーを押すと、名称が 3 行表示に切り替わります。

```
詳細:                      ⬍OK
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTU
VWXYZabcdefghijklmnop
qrstuvwxyz1234567890
```

名称が 3 行表示のときに［OK］キーを押すと、名称が 1 行表示に戻ります。

ジョブ履歴

既に印刷が終了したジョブの履歴を確認します。

パソコンから印刷した結果に加えて、ステータスページなどのレポートやUSB メモリーから直接印刷した結果も確認できます。

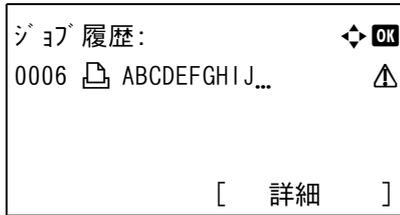
最新のジョブ 100 件の履歴を確認できます。

ジョブ履歴で確認できる情報を下表に示します。

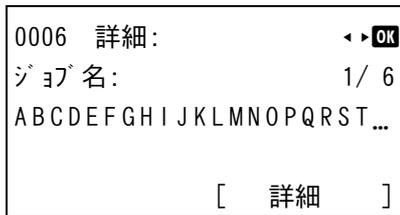
項目名	内容	結果の表示		
		表示	アイコン	解説
ジョブ名	ジョブ名	ジョブ名		ジョブの名称
結果	ジョブの状態	OK	OK	正常終了
		エラー	⚠	エラー発生
		中止		ジョブキャンセル
ジョブ種類	ジョブの種類	プリンター		パソコンからの印刷
		レポート		レポート
		USB		USB メモリーからの印刷
		ボックス		ジョブボックスからの印刷
受付時刻	ジョブ受付時間	日/月/年　時:分† 月/日/年　時:分† 年/月/日　時:分†		ジョブの受付時間
ユーザー名	印刷したユーザー名	ユーザー名		ユーザーの名称
印刷ページ数	印刷ページ数	*** ページ		ページ数
		/		印刷終了部数／印刷設定部数

† 日付形式は変更できます。詳細は、4-94 ページの「**日付形式**」（**日付形式の選択**）を参照してください。

ｼﾞｮﾌﾞ履歴:
0006 ABCDEFGHIJ…
[詳細]

1 「**状況確認**」メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「**ジョブ履歴**」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。「**ジョブ履歴**」が表示され、終了したジョブのジョブ番号、ジョブ名が一覧表示されます。また、各ジョブのジョブ種類、結果がアイコンで示されます。

3 ［△］または［▽］キーを押して、詳細な情報を確認したいジョブ名を選択してください。

0006 詳細:
ｼﾞｮﾌﾞ名: 1/ 6
ABCDEFGHIJKLMNOPQRST…
[詳細]

4 ［**詳細**］（［**右セレクト**］）キーを押してください。ジョブ履歴の詳細が表示されます。

ジョブ履歴の詳細は、全部で 6 ページあります。［▷］キーを押すと次のページが表示されます。［◁］を押すと前のページに戻ります。

［OK］キーを押すと、「**ジョブ履歴**」メニューに戻ります。

詳細:
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTU
VWXYZabcdefghijklmnop
qrstuvwxyz1234567890

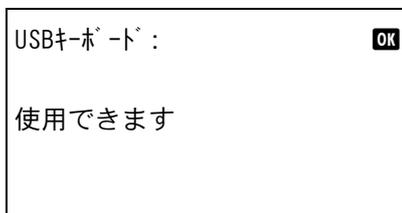
ジョブ名表示のときに、名称が 1 行ですべて表示されていない場合、［**詳細**］（［**右セレクト**］）キーを押すと、名称が 3 行表示に切り替わります。

USB キーボード

USBキーボードを取り付けている場合、USBキーボードが使用できるか確認できます。

USBｷｰﾎﾞｰﾄﾞ：
使用できます

1 **「状況確認」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「USB キーボード」**を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。USB キーボードが使用可能状態であれば、**「使用できます」**が表示され、使用不可の場合は、**「使用できません」**が表示されます。

ワイヤレスネットワーク

オプションのワイヤレスインターフェイスキットを装着している場合、ワイヤレスネットワークのステータスを確認できます。

参考：**「ワイヤレスネットワーク」**は、オプションのワイヤレスインターフェイスキットを装着している場合のみ表示されます。

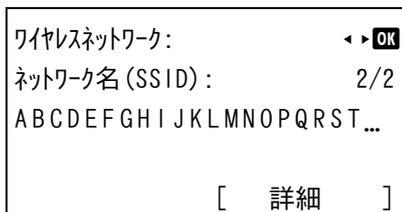
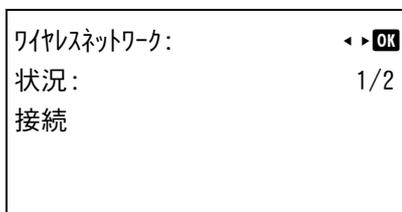
1 **「状況確認」**メニューで、［△］または［▽］キーを押して、**「ワイヤレスネットワーク」**を選択してください。

ﾜｲﾔﾚｽﾈｯﾄﾜｰｸ：
状況： 1/2
接続

2 ［OK］キーを押してください。ワイヤレスネットワークのステータスが表示されます。

ﾜｲﾔﾚｽﾈｯﾄﾜｰｸ：
ﾈｯﾄﾜｰｸ名(SSID)： 2/2
ABCDEFGHIJKLMNOPQRST…
［ 詳細 ］

3 ［◁］または［▷］キーを押してください。**「ネットワーク名（SSID）」**が表示されます。

詳細：
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTU
VWXYZabcdefghijklmnop
qrstuvwxyz1234567890

「ネットワーク名（SSID）」表示のときに、名称が 1 行ですべて表示されていない場合、**［詳細］**（**［右セレクト］**）キーを押すと、名称が 3 行表示に切り替わります。

7　日常のメンテナンス

この章では次の内容について説明します。

トナーコンテナの交換

プリンターは、トナーの残量に応じて2つのメッセージを表示します。

- トナーが残り少なくなると、最初の警告メッセージとして**「トナーが少なくなりました」**が表示されます。この段階では、トナー交換は必要ではありませんが、早めにトナーキットを準備してください。
- 上記メッセージの表示後もそのまま印刷を続けた場合、トナーがなくなる直前に**「トナー交換してください」**が表示されます。その後、プリンターは印刷を停止します。トナーコンテナをすぐに交換する必要があります。詳しくは7-3ページの**トナーコンテナの交換方法**を参照してください。

トナーコンテナの交換時期

1本のトナーコンテナで印刷可能な枚数は、印刷データ（どれだけのトナーを使うか）によって変わります。ISO/IEC 19798に準拠し、エコプリントモードをオフで使用した場合、トナーコンテナの平均的な印刷可能枚数は以下のとおりです。（A4で印刷の場合。）

機種	トナーコンテナの寿命（印刷枚数）
ECOSYS LS-2100DN	12,500枚
ECOSYS LS-4200DN	25,000枚
ECOSYS LS-4300DN	25,000枚

参考：プリンターに付属しているトナーコンテナは、上記と同じ条件でECOSYS LS-2100DNが6,000枚、ECOSYS LS-4200DNとECOSYS LS-4300DNが10,000枚です。

トナーキットの内容

- トナーコンテナ
- 廃棄トナーボックス
- 廃棄用ポリ袋：2枚（古いトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスを入れてください。）
- インストールガイド

重要：トナーコンテナの交換の際には、磁気ディスク、およびUSBメモリーなどを近くに置かないでください。

トナーコンテナの交換後は、プリンター内部の清掃を行ってください。詳しくは7-8ページの**清掃**を参照してください。

プリンターのトラブル防止や、末永くプリンターをご使用いただくため、純正トナーキットをご使用ください。純正トナーキット以外を使用した場合は、プリンターの品質を損なうなどのトラブルの原因となります。

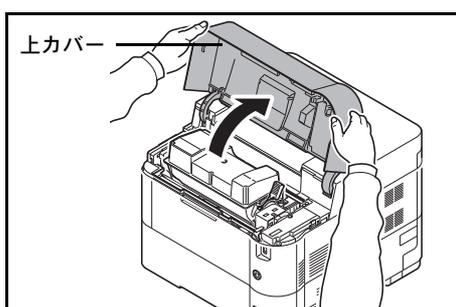
参考：本製品のトナーコンテナに装着されているメモリーチップは、お客様の利便性の向上、使用済みトナーコンテナ・リサイクルシステムの運用、および新製品の企画・開発のために必要な情報を収集・蓄積します。この収集・蓄積される情報には、特定の個人を識別することができる情報は含まれず、匿名情報のまま上記の目的に利用されます。

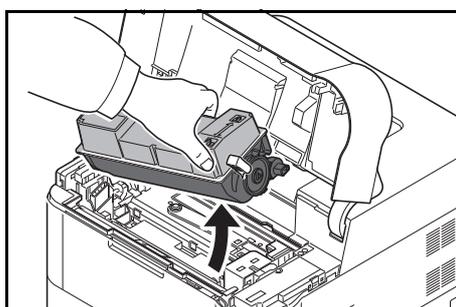
トナーコンテナの交換方法

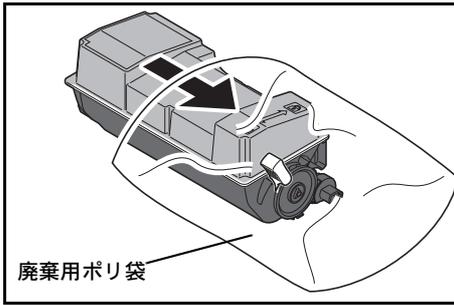
トナーコンテナを交換するときは、廃棄トナーボックスも交換してください。廃棄トナーボックスがいっぱいになると、廃棄トナーがあふれて故障の原因となることがあります。

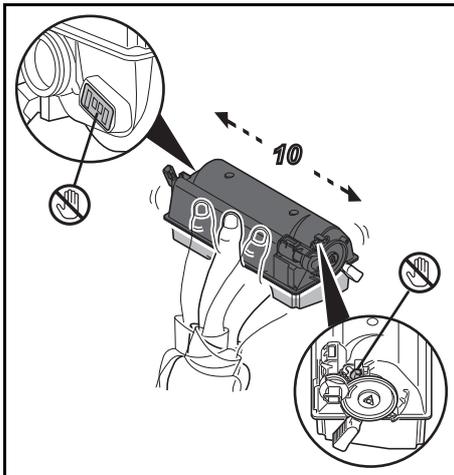
注意：トナーの入った容器およびユニットは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。また、無理に開けたり壊したりしないでください。

重要：トナーコンテナを交換するときは、手差しトレイの用紙を取り除いてください。

参考：トナーコンテナは、プリンターの電源を入れたまま交換できます。

1 プリンターの上カバーを開けてください。

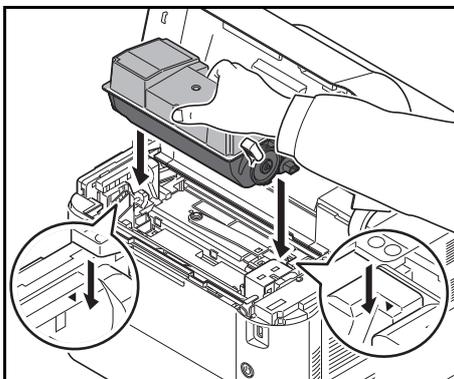
2 ロックレバーを解除してください。

3 古いトナーコンテナを上方にゆっくりと取り外してください。

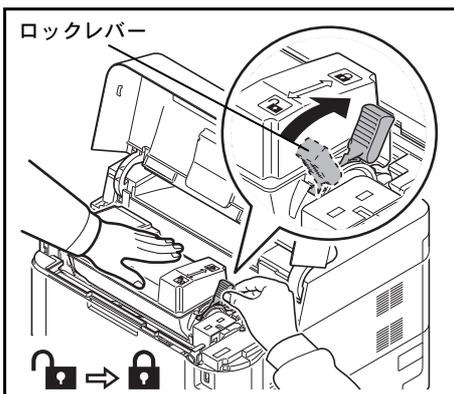
トナーコンテナを本体から抜くときは、右側を最初に持ち上げてください。

4 使用済みのトナーコンテナは、トナーが飛散しないように、新しいトナーキットに付属の廃棄用ポリ袋に密封して処理してください。

5 新しいトナーコンテナをトナーキットから取り出してください。

6 内部のトナーが均一になるように、図のように 10 回以上振ってください。その際、トナーコンテナ中央部を強く押したり、トナー補給口に手を触れないでください。

重要：トナーコンテナの図の部分には触れないでください。

タグの部分は、静電気による破損のおそれがありますので、触れないでください。

---

7 図のように、新しいトナーコンテナをプリンターに装着します。

8 トナーコンテナを押して、カチッと音がするまで確実に装着してください。

9 トナーコンテナロックレバーを矢印の方向へ動かして、トナーコンテナを固定します。

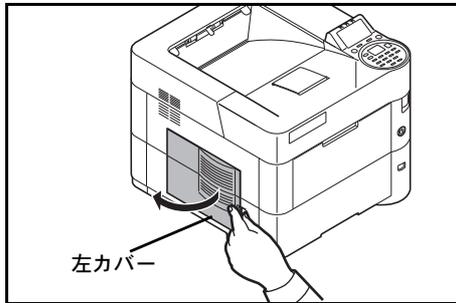
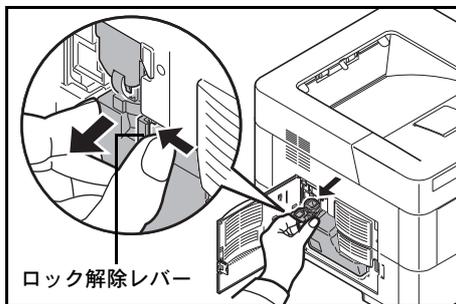
10 上カバーを閉めてください。

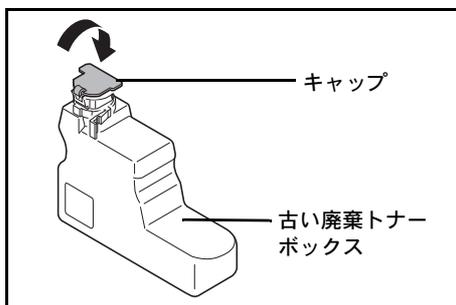
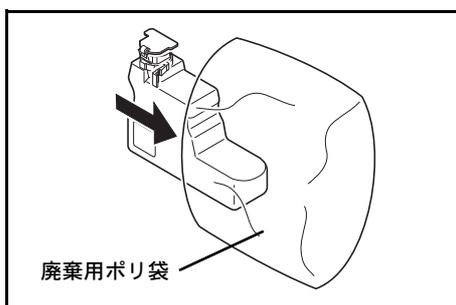
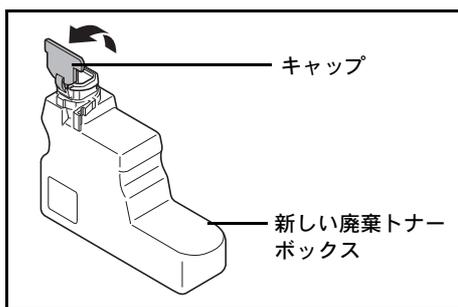
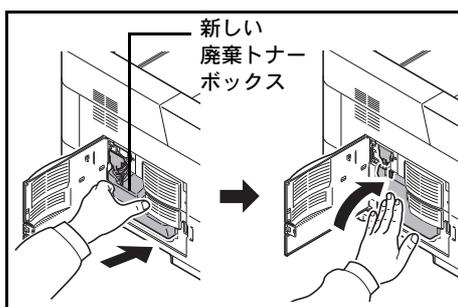
参考：上カバーが閉まらない場合は、トナーコンテナが正しい位置にあるか（手順7）もう一度確認してください。

京セラドキュメントソリューションズでは環境問題を考慮し、使用済みトナーコンテナの無償回収を実施しております。詳しくは、トナーキットに同梱されている**「トナーコンテナ引き取り回収依頼書」**または京セラドキュメントソリューションズのホームページを参照してください。
http://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp/support/

次の**廃棄トナーボックスの交換**へ進んでください。

廃棄トナーボックスの交換

メッセージディスプレイに **「廃棄トナーボックスを確認してください。」** と表示された場合は、次の手順で廃棄トナーボックスを交換してください。交換用の廃棄トナーボックスは、新しいトナーキットに付属しています。

1 プリンターの左カバーを開いてください。

2 廃棄トナーボックスを押さえながらロック解除レバーを押し、ゆっくりと廃棄トナーボックスを取り外してください。

参考：廃棄トナーボックスを取り外すときは、トナーがこぼれないように注意してください。キャップが開いている状態で廃棄トナーボックスを下に向けたりしないでください。

3 取り出した古い廃棄トナーボックスに、図のようにキャップをしてください。

4 古い廃棄トナーボックスは、トナーが飛散しないよう、新しいトナーキットに付属の廃棄用ポリ袋に密封して処理してください。

5 新しい廃棄トナーボックスのキャップを開けてください。

6 図のように新しい廃棄トナーボックスの下側を装着部に合わせ、ロックされるまで押し込んで、プリンターに装着してください。

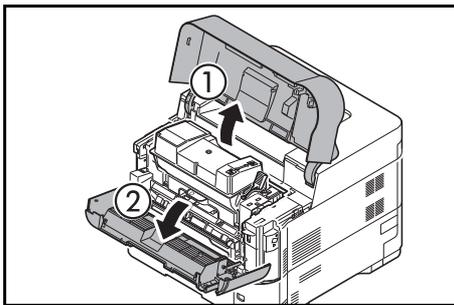
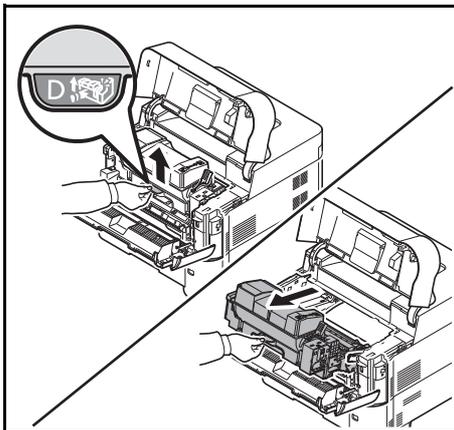
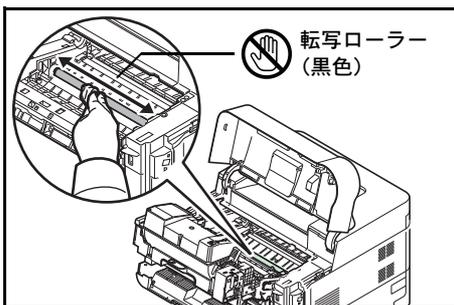
7 廃棄トナーボックスが正しく装着されていることを確認し、左カバーを閉めてください。

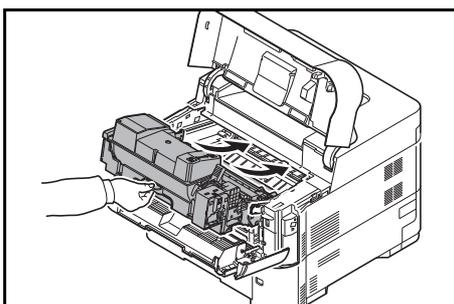
トナーコンテナと廃棄トナーボックスの交換後は、プリンター内部の清掃を行ってください。7-8 ページの**清掃**を参照してください。

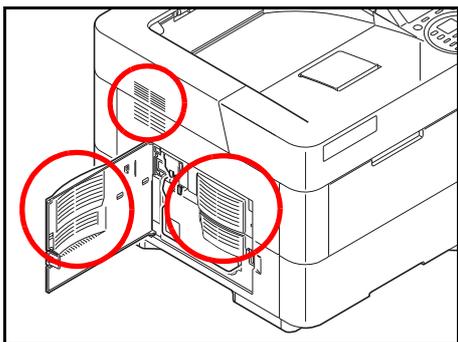
清掃

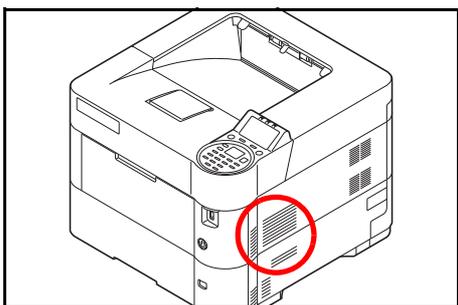
印刷品質を保つために、定期的にプリンター内部を清掃してください。また、トナーコンテナと廃棄トナーボックスの交換時にも清掃してください。

重要：プリンターの清掃を行う前に、手差しトレイの用紙を取り除いてください。

参考：本機の清掃を行うときは、安全上必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

1 プリンターの上カバーと前カバーを開けてください。

2 トナーコンテナと一緒に、現像ユニットを引き出してください。

3 乾いた柔らかい布で、レジストローラー（金属）に付着している紙粉や汚れを拭き取ってください。

重要：清掃中は転写ローラー（黒色）に触れないようにご注意ください。印刷品質が低下する原因になります。

4 トナーコンテナと一緒に、現像ユニットをゆっくり奥まで押し込んでください。

5 前カバーと上カバーを閉めてください。

6 左カバーを開けてください。乾いた柔らかい布で、通風孔に付着しているほこりや汚れを拭き取ってください。

7 左カバーを閉めてください。

8 乾いた柔らかい布で、本体右側の通風孔に付着しているほこりや汚れを拭き取ってください。

8　困ったときは

この章では次の内容について説明します。

一般的な問題について

問題と見られる症状の中には、お客様ご自身で解決できるものが少なくありません。ここでは、このような問題に対する処置方法について説明します。プリンターに何らかの問題が発生した場合は、故障とお考えになる前に次のチェックを行ってみてください。

現象	確認事項	処置
印刷品質が悪い。	8-3ページの**印刷品質の問題**を参照してください。	
用紙がつまった。	8-17ページの**紙づまりの処置**を参照してください。	
電源を入れても、操作パネルに何も表示されず、ファンの回る音もしない。	電源コードがプリンターとコンセントに差し込まれているか、確認してください。	電源を切ってから電源コードを抜き、1分以上経過してから電源コードを確実に差し込み、もう一度電源を入れ直してください。
	—	電源スイッチを押してください。
ステータスページは正常に印刷するが、パソコンからのデータが正常に印刷されない。	接続しているケーブルを確認してください。	接続しているケーブルを両端とも確実に接続してください。ケーブルを別のものと交換してみてください。
	プログラムファイルや、アプリケーションソフトを調べてみてください。	別のファイルを印刷してみてください。または、別のアプリケーションソフトで印刷してみてください。ある一定のファイルやアプリケーションソフトのみに問題が発生するようであれば、そのアプリケーションソフトのプリンター設定等を確認してください。
上トレイの排紙口付近から湯気が出る	プリンターを使用している場所の温度が低くないか、かつ湿気を帯びた用紙が使用されていないか確認してください。	プリンターを使用する環境や用紙の状態によっては、用紙に含まれる水分が、印刷時の熱によって蒸発し、その水蒸気が煙のように見える場合があります。そのまま印刷を続けても問題はありません。 水蒸気が気になる場合は、室内温度を上げるか、湿気の少ない新しい用紙に交換してください。

その他の注意

さらに、次の点を確認してください。

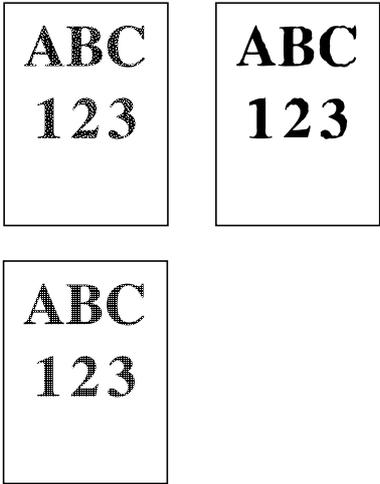
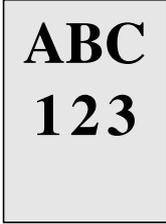
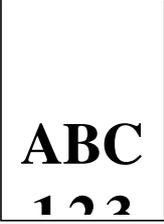
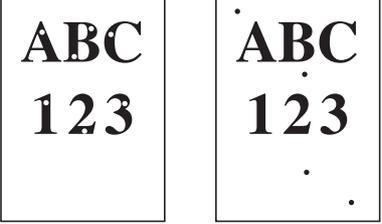
- プリンターに接続しているパソコンを再起動してください。
- 最新バージョンのプリンタードライバーを使用してください。京セラドキュメントソリューションズ株式会社のホームページからダウンロードできます。

  http://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp/download/

以上のチェックを行ってみても、問題が解決されない場合は、お買い求めの京セラドキュメントソリューションズジャパン正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。

印刷品質の問題

印刷品質の問題には、印刷ムラなどさまざまな症状があります。ここではそれぞれの症状に応じた処置の方法を説明します。ここで説明する処置を行っても問題が解決されない場合は、お買い求めの京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。

印刷例	処置
縦線が入る。 ABC 123 ABC 123	ドラムユニットまたは現像ユニットが破損しているおそれがあります。数ページ印刷しても問題が解決されない場合は、お買い求めの京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。
画像が薄い、またはぼやける。 ABC 123 ABC 123 ABC 123	エコプリントの設定を確認してください。 設定が **「設定する」** の場合、操作パネルから **「設定しない」** に切り替えてください。
	用紙種類の設定が正しいか確認してください。
	印刷品質を回復させるため、ドラムリフレッシュを実行してください。詳しくは、4-152 ページの **「サービス設定」（保守・点検用）** を参照してください。 また、印刷濃度を調節してください。詳しくは、4-57 ページの **「印刷濃度」（印刷濃度の設定）** を参照してください。 カセットまたは手差しトレイにセットしている用紙が湿っている場合は、新しい乾いた用紙と入れ替えてください。 上記の処置を行っても問題が解決されない場合は、お買い求めの京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。
背景が一様にうすい色になる。 ABC 123	印刷品質を回復させるため、ドラムリフレッシュを実行してください。詳しくは、4-152 ページの **「サービス設定」（保守・点検用）** を参照してください。 また、印刷濃度を調節してください。詳しくは、4-57 ページの **「印刷濃度」（印刷濃度の設定）** を参照してください。 上記の処置を行っても問題が解決されない場合は、お買い求めの京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。

印刷例	処置
用紙の先端や裏側が汚れる。 ABC 123　ABC 123	数ページ印刷しても問題が解決されない場合は、レジストローラーを清掃してください。詳しくは7-8ページの**清掃**を参照してください。 清掃しても問題が解決されない場合は、お買い求めの京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。
印刷位置がずれる。 ABC 123	アプリケーションソフトが正しく動いているかを確認してください。8-2ページの**その他の注意**を参照してください。 アプリケーションソフトまたはプリンタードライバーの余白（とじしろ）設定が正しく設定されているかを確認してください。
使用環境が海抜1500 m以上の高地であり、白抜けや点が印刷される。 ABC 123　ABC 123	**「サービス設定」**メニューの**「高度調整」**の設定を**「高い 1」**に設定してください。効果が現れない場合は、**「高い 2」**に設定してください。詳しくは、4-152ページの**「サービス設定」（保守・点検用）**を参照してください。

エラーメッセージ

次の表では、お客様で対処可能なメンテナンスメッセージを挙げています。

「故障が発生しました。サービス担当者に連絡してください。」や**「エラーが発生しました。主電源スイッチを入れ直してください。」**が表示された場合、電源を入れ直して復帰するかご確認ください。改善されない場合、プリンターの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い求めの京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。

メッセージとともにブザーが鳴る場合もあります。ブザーを止めるには、**[キャンセル]**キーを押してください。

メッセージ	処置
######で 紙づまり です。 [ヘルプ]	紙づまりが起こりました。紙づまりの場所は、「#. . . #」に表示されます。詳しくは8-17ページの**紙づまりの処置**を参照してください。
IDが違います。	プライベートプリント/ジョブ保留モードで印刷する時に、入力したアクセスコードと設定したアクセスコードが違います。正しいアクセスコードを確認してください。
IPv6ｱﾄﾞﾚｽを[ ]で 囲んでください。	ホスト名に入力されたIPv6アドレスが［］で囲まれていません。例のようにIPv6アドレスを囲んで入力してください。（例：[ae3:9a0:cd05:b1d2:28a:1fc0:a1:10ae]:140）
KPDLｴﾗｰです。 [OK]を押して ください。	KPDL（PostScript Level 3互換のページ記述言語）のエラーです。モード選択メニューから**「KPDLエラーレポート」**を選択し、**「設定する」**にするとエラーレポートが出力されます。印刷を再開するために**[OK]**キーを押します。印刷を中止する場合は、**[キャンセル]**キーを押します。 エラー後自動継続が**「設定する」**のときは、一定時間が経つと、自動的に印刷を開始します。詳しくは、4-110ページの**「エラー後自動継続」（エラー後自動継続の設定）**を参照してください。
MKを交換してください	メンテナンスキットの交換が必要です。お買い求めの京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。

メッセージ	処置
RAMﾃﾞｨｽｸｴﾗｰです。 [OK]を押して ください。 ##	RAMディスクエラーが起こりました。「##」にエラーコードが表示されます。 「##」に表示されるエラーコード（数字）を確認して、次を参照してください。 02：RAMディスクモードがオフになっています。RAMディスクモードをオンにしてください。4-99ページの**「RAMディスクモード」（RAMディスクモードの設定）**を参照してください。 03：RAMディスクがライトプロテクトされています。コマンドを使用してライトプロテクトを解除してください。 04：RAMディスクの容量が不足しています。RAMディスク内のデータを整理してから、再度作業を行ってください。または、RAMディスクの領域を拡大してください。4-99ページの**「RAMディスクサイズ」（RAMディスクサイズの設定）**を参照してください。 05：指定したファイルが、RAMディスク内にありません。 10：RAMディスク内のファイルがライトプロテクトされています。コマンドを使用してライトプロテクトを解除してください。
SDｶｰﾄﾞｴﾗｰです。 [OK]を押して ください。 ##	SD/SDHCカードエラーが起こりました。「##」にそのエラーコードが表示されます。 「##」に表示されるエラーコード（数字）を確認して、次を参照してください。 02：SD/SDHCカードがこのプリンターの仕様に適していません。または壊れています。適応するSD/SDHCカードを挿入してください。詳しくは付録-10ページの**SD/SDHCメモリーカード**を参照してください。 03：SD/SDHCカードがライトプロテクトされています。コマンドを使用してライトプロテクトを解除してください。 04：SD/SDHCカードの容量が不足しています。不要なファイルを削除する、または新しいSD/SDHCカードを使用してください。 05：指定したファイルが、SD/SDHCカード内にありません。SD/SDHCカードにファイルを保存してください。 10：SD/SDHCカード内のファイルがライトプロテクトされています。コマンドを使用してライトプロテクトを解除してください。
SDｶｰﾄﾞのﾌｫｰﾏｯﾄが必要	SD/SDHCメモリーカードがフォーマットされてないため、データの読み取りまたは書き込みができません。SD/SDHCメモリーカードをフォーマットしてください。詳しくは、4-101ページの**「SDカードフォーマット」（SD/SDHCメモリーカードのフォーマット）**を参照してください。
SSDｴﾗｰです。 [OK]を押して ください。 ##	SSDエラーが起こりました。「##」にそのエラーコードが表示されます。 「##」に表示されるエラーコード（数字）を確認して、次を参照してください。 03：SD/SDHCカードがライトプロテクトされています。コマンドを使用してライトプロテクトを解除してください。 04：SSDに必要な容量が不足しています。SSD内のデータを整理し、領域を拡大してください。 05：指定したファイルが、SSD内にありません。SSDにファイルを保存してください。 10：SSD内のファイルがライトプロテクトされています。コマンドを使用してライトプロテクトを解除してください。

メッセージ	処置
SSDのﾌｫｰﾏｯﾄが必要	SSD（HD-6）がフォーマットされてないため、データの読み取りまたは書き込みができません。SSDをフォーマットしてください。詳しくは、4-100ページの「**SSDフォーマット**」（**SSDのフォーマット**）を参照してください。
USBﾒﾓﾘｰｴﾗｰです。 [OK]を押して ください。 ##	USBメモリーにエラーが起こりました。「##」にそのエラーコードが表示されます。 「##」に表示されるエラーコード（数字）を確認して、次を参照してください。 01：1回に保存できるデータの容量を超えました。ファイルを分けてデータを小さくしてください。 USBメモリーがライトプロテクトされています。ライトプロテクトを解除してください。 USBメモリーが壊れています。 上記の処置を行っても問題が解決されない場合は、USBメモリーを本機でフォーマットするか、プリンターに適した別のUSBメモリーを使用してください。 04：USBメモリーの容量が不足しています。USBメモリー内のデータを整理し、領域を拡大してください。
ｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄが検出 できませんでした。	オプションのワイヤレスインターフェイスでネットワークと接続できませんでした。 ワイヤレスネットワークの設定を確認してください。 詳しくは、4-76ページの「**オプションネットワーク**」（**オプションネットワークの設定**）を参照してください。
上ｶﾊﾞｰを 閉じてください。	プリンターの上カバーが開いています。上カバーを閉じてください。
上ﾄﾚｲの用紙が いっぱいです。 用紙を取り除いて ください。	上トレイに用紙がたまっています。上トレイにある用紙をすべて取り除いてください。上トレイには約250枚（ECOSYS LS-2100DN）または約500枚（ECOSYS LS-4200DNとECOSYS LS-4300DN）まで収納できます。用紙をすべて取り除くと、印刷が再開されます。
後ろｶﾊﾞｰを 閉じてください。	プリンターの後ろカバーが開いています。後ろカバーを閉じてください。

メッセージ	処置
ｴﾗｰが発生しました。 主電源ｽｲｯﾁを 入れ直してください。 ####	電源スイッチをいったんオフにし、再度オンにしてください。このメッセージが再度表示される場合はプリンターの電源を切り、お買い求めの京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。
同じ名前の文書が あります。 ｺﾋﾟｰできません。	移動先に同じ文書名のデータがあるため、コピーできません。移動先の同じ文書名のデータを削除してからコピーしてください。
ｶｾｯﾄ#が抜けています。	表示された番号のカセットが入っていません。カセットを正しく入れてください。
ｶｾｯﾄ#に用紙を 補給してください。 A4 ↓↑ 用紙ｻｲｽﾞ設定と使用 している用紙のｻｲｽﾞ を合わせてください。	印刷された用紙のサイズと用紙サイズダイヤルの用紙サイズが違います。用紙サイズを確認してください。
ｶｾｯﾄ#に用紙を 補給してください。 A4 普通紙	カセットに、印刷データと一致した用紙がありません。操作パネルに表示されたカセットに用紙をセットしてください。[OK］キーを押すと印刷を再開します。 他の給紙元から印刷する場合は、**「代用給紙」**（**[左セレクト]**）キーを押すと**「給紙元の選択」**が表示され、給紙元を変更できます。 印刷を中止する場合は、**［キャンセル］**キーを押します。

メッセージ	処置
ｶｾｯﾄ#の用紙なし。 手差しﾄﾚｲの用紙なし。	給紙元の用紙がなくなりました。給紙元（カセット、手差しトレイまたはオプションのペーパーフィーダー）に、要求された用紙を補給してください。
ｶｾｯﾄ#を確認して ください。	給紙元のカセットにリフト異常が発生しています。表示された給紙元（カセットまたはオプションのペーパーフィーダー）のカセットを引き出し、用紙のセット状態を確認してください。 このエラーが繰り返し発生した場合、**「サービス担当者に連絡してください。」**のエラー表示になります。
ｶｾｯﾄ準備中です。	選択しているカセットが準備中です。
機器管理者権限が 必要です。	設定を変更するには、機器管理者の権限でログインする必要があります。
給紙できません。 ｶｾｯﾄを ｾｯﾄしてください。	ペーパーフィーダーにカセットが装着されていないか、正しく装着されていません。カセットを正しく装着してください。オプションのペーパーフィーダーを装着し、下段のペーパーフィーダーを給紙元として選択している際に、上段のペーパーフィーダーまたはプリンターのカセットが正しく装着されていない場合に表示されます。
給紙元の選択: 1 A5 ﾎﾞﾝﾄﾞ紙 2 A5 普通紙 3 A4 ﾌﾟﾚﾌﾟﾘﾝﾄ	印刷データと一致したカセット内（用紙サイズ、用紙種類）に用紙が無いとき、この代用給紙のメッセージで代わりに使用するカセットを指定できます。オプションのペーパーフィーダーが装着されている場合のみ給紙元の数字が表示されます。違う給紙元から印刷をしたい場合は、4-44 ページの**「給紙指定動作」（給紙動作の設定）**を参照してください。

メッセージ	処置
権限がありません。	設定を変更するには、管理者の権限でログインする必要があります。
現像ﾕﾆｯﾄが 抜けています。	現像ユニットが装着されていない、または正しく装着されていません。 お買い求めの京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。
故障が発生しました。 ｻｰﾋﾞｽ担当者に 連絡してください。 ####:0123456	機械的なエラーが発生してプリンターは停止しました。「#」に4桁の数字やアルファベットが表示され、プリンターの総印刷ページ数も同時に表示されます。「#」の表示をメモに控え、その後プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの京セラドキュメントソリューションズ株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。
このｼﾞｮﾌﾞは 実行できません。 認可設定で使用が 禁止されています。	部門管理が有効で、認可設定で制限されている場合に表示されます。 部門の設定変更については、4-147ページの**「詳細/編集」登録済部門の設定確認・編集**を参照してください。
このﾕｰｻﾞｰ名は 登録されていません。	入力されたログインユーザー名が登録されていないか、または間違っています。ログインユーザー名を確認してください。
このﾕｰｻﾞｰ名はすでに 登録されています。	入力されたログインユーザー名はすでに登録されています。別のログインユーザー名を登録してください。
この部門ｺｰﾄﾞはすでに 登録されています。	入力された部門コードはすでに登録されています。別の部門コードを登録してください。

メッセージ	処置
この用紙は両面印刷 できません。	両面印刷できない用紙サイズまたは用紙種類が選択されているため、両面印刷ができません。[OK] キーを押すと片面で印刷を行います。
最大登録数を 超えました。これ以上 追加できません。	ボックスの数がいっぱいになりました。 不必要なボックスがあれば削除してください。 詳しくは、5-5ページの**ユーザーボックスの操作（ボックスの作成/編集/削除）**を参照してください。
最大登録数を 超えました。 追加できません。	部門管理の登録件数が100件を超えたので登録できません。
実行できません。	ジョブの処理中などのため、データの消去ができません。
指定外のﾄﾅｰが 装着されています。 PC	装着されたトナーコンテナの仕向け地が、本体の仕向け地と一致しない場合に表示されます。 本体の仕向け地と一致したトナーコンテナを使用してください。
指定外のﾄﾅｰです。 [ﾍﾙﾌﾟ]を押して ください。	装着されたトナーコンテナが純正品でない場合に表示されます。 純正品以外のトナーコンテナに起因する不具合は責任を負いかねます。 純正品トナーコンテナへの交換をお勧めいたします。 装着中のトナーコンテナを使い続ける場合は、[OK] キーと [**キャンセル**] キーを同時に3秒以上押すことで印刷を継続します。
使用中のため取り外す ことができません。	USBメモリー使用中に、取り外しメニューを実行した場合に表示されます。1～2秒表示された後、直前の表示に戻ります。

メッセージ	処置
使用を禁止しました。 ﾛｸﾞｲﾝできません。	連続して規定回数以上ログインに失敗したため、ログインできません。システム管理者に連絡してください。
ｼﾞｮﾌﾞが保存できません [OK]を押して ください。	ユーザーボックスやジョブボックス機能を使った印刷時に、SSDやRAMディスク、SD/SDHCメモリーカードの容量が不足している、またはSSD未装着時にRAMディスクが無効となっているため、ジョブを保存できませんでした。［OK］キーを押すと、エラーレポートを出力し、印刷可能な状態に戻ります。
ｾｷｭﾘﾃｨｰﾚﾍﾞﾙが低いです	セキュリティーレベルを低い設定にしているとき表示されます。
接続できません。	オプションのワイヤレスインターフェイスでネットワークと接続できませんでした。 ワイヤレスネットワークの設定を確認してください。 詳しくは、4-76ページの**「オプションネットワーク」（オプションネットワークの設定）**を参照してください。
中止中です。	データのキャンセル中に表示されます。
定着ﾕﾆｯﾄが 抜けています。	定着ユニットが装着されていない、または正しく装着されていません。 お買い求めの京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。
手差しﾄﾚｲに用紙を 補給してください。 A4 普通紙	印刷データと一致した用紙がセットされているカセットがありません。手差しトレイに用紙をセットしてください。［OK］キーを押すと印刷を再開します。（印刷データと用紙サイズが一致しない場合は、紙づまりが発生するおそれがあります。） 他の給紙元から印刷する場合は、**［代用給紙］（［左セレクト］）**キーを押すと**「給紙元の選択」**が表示され、給紙元を変更できます。 印刷を中止する場合は、**［キャンセル］**キーを押します。

メッセージ	処置
ﾄﾅｰが少なくなりました	トナーが少なくなりました。早めに新しいトナーコンテナを準備してください。詳しくは、7-2 ページの**トナーコンテナの交換**を参照してください。
ﾄﾅｰ交換してください	新しいトナーキットを使用してトナーコンテナを交換してください。このメッセージが表示されているときは、プリンターは動作しません。詳しくは、7-2 ページの**トナーコンテナの交換**を参照してください。
ﾄﾞﾗﾑﾕﾆｯﾄが 抜けています。	ドラムユニットが装着されていない、または正しく装着されていません。 お買い求めの京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。
認証ｻｰﾊﾞｰに 接続できません。 ｻｰﾊﾞｰとの接続状況を 確認してください。	［OK］キーを押し、以下を確認してください。 • 認証サーバーへの登録は正しく行われていますか？ • 認証サーバーのパスワードとコンピューター名は正しいですか？ • ネットワークは正しく接続されていますか？ 詳しくは、4-133 ページの**「ネットワーク認証設定」（ネットワーク認証サーバーの設定）**を参照してください。
ﾈｯﾄﾜｰｸﾕｰｻﾞｰ情報を取得 できませんでした。	ネットワーク認証中、ユーザー情報を取得するときにエラーが発生しました。再度ログインしてください。
廃棄ﾄﾅｰﾎﾞｯｸｽを 確認してください。	廃棄トナーボックスが装着されていない、または廃棄トナーボックスがほぼ満杯です。 廃棄トナーボックスを装着または交換してください。詳しくは、7-6 ページの**廃棄トナーボックスの交換**を参照してください。
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞが 違います。	正しいパスワードを入力してください。

メッセージ	処置
左ｶﾊﾞｰを 閉じてください。	プリンターの左カバーが開いています。左カバーを閉じてください。
封筒ｽｲｯﾁと用紙種類を 合わせてください。	封筒スイッチと用紙種類が一致していません。使用する用紙に合わせて、封筒スイッチを切り替えてください。
封筒ﾓｰﾄﾞ	封筒スイッチが封筒モードになっている場合に表示されます。
複数印刷できません。 [OK]を押して ください。	SSDが装着されていない、あるいはRAMディスクが無効になっているため、複数部印刷できません。SSDを装着するか、拡張メモリーを増設して、RAMディスクの設定を行ってください。
複数のｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄが 有効になっているため 接続できません。	オプションのワイヤレスインターフェイスで、複数のアクセスポイントを検出しました。 ワイヤレスネットワークの設定を確認してください。 詳しくは、4-76ページの**「オプションネットワーク」（オプションネットワークの設定）**を参照してください。
部門ｺｰﾄﾞが 違います。	部門コードが一致しないため、登録している部門コードを確認してください。 詳しくは、4-142ページの**「部門管理設定」（部門管理設定）**を参照してください。
部門ｺｰﾄﾞが違います。 [OK]を押して ください。	部門管理が有効で、送信された印刷ジョブに部門指定がされていなかった場合や、指定された部門が登録されていなかった（誤った部門が指定されていた）場合に表示されます。 ［OK］キーを押すと印刷可能な状態に戻ります。 詳しくは、4-142ページの**「部門管理設定」（部門管理設定）**を参照してください。

メッセージ	処置
部門管理設定ｴﾗｰです。 [OK]を押して ください。	部門管理が有効で、部門管理の設定や部門の登録、削除が失敗した場合に表示されます。[OK] キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。
部門管理で禁止されて います。[OK]を 押してください。	部門管理が有効で、部門ごとに設定された印刷の制限方法が印刷禁止の時、印刷しようとした場合に表示されます。 [OK] キーを押すと印刷可能な状態に戻ります。 詳しくは、4-142 ページの**「部門管理設定」（部門管理設定）**を参照してください。
部門管理の制限を 超えました。[OK]を 押してください。	部門管理が有効で、部門ごとに設定された印刷の制限枚数を超えて印刷しようとした場合に表示されます。[OK] キーを押すと印刷可能な状態に戻ります。 詳しくは、4-142 ページの**「部門管理設定」（部門管理設定）**を参照してください。
ﾌﾟﾘﾝﾄｵｰﾊﾞｰﾗﾝです。	プリンターのメモリーが不足しているためエラーが発生しています。 メモリーを増設したり、印刷解像度を下げたり、複数ページを印刷する場合は一度に印刷するページ数を減らしてください。 [OK] キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。
文書が削除 されました。 確認してください。	選択したファイルまたはボックスがありません。ボックスが削除されていたり、ファイルが削除または移動されていないか確認してください。
ﾎﾞｯｸｽの容量制限を 超えました。	ユーザーボックスの容量がいっぱいになりました。 ファイルを削除するか、ユーザーボックスの容量を変更してください。 詳しくは、5-5 ページの**ユーザーボックスの操作（ボックスの作成/編集/削除）**を参照してください。

メッセージ	処置
ﾒﾓﾘｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰです。 一部印刷されないﾍﾟｰｼﾞ があります。	プリンターのメモリーが不足しています。 メモリーを増設してください。印刷を再開するには［OK］キーを押します。印刷を中止する場合は、**［キャンセル］**キーを押します。 エラー後自動継続が**「設定する」**のときは、一定時間が経つと、自動的に印刷を開始します。詳しくは、4-110ページの**「エラー後自動継続」（エラー後自動継続の設定）**を参照してください。
ﾛｸﾞｲﾝﾕｰｻﾞｰ名または ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞが違います。	NTLMサーバーへの認証に失敗しました。正しいユーザー名 またはパスワードを入力してください。
ﾛｸﾞｲﾝﾕｰｻﾞｰ名または ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞが違います。 ｼﾞｮﾌﾞを中止します。	正しいユーザー名またはパスワードを入力してください。

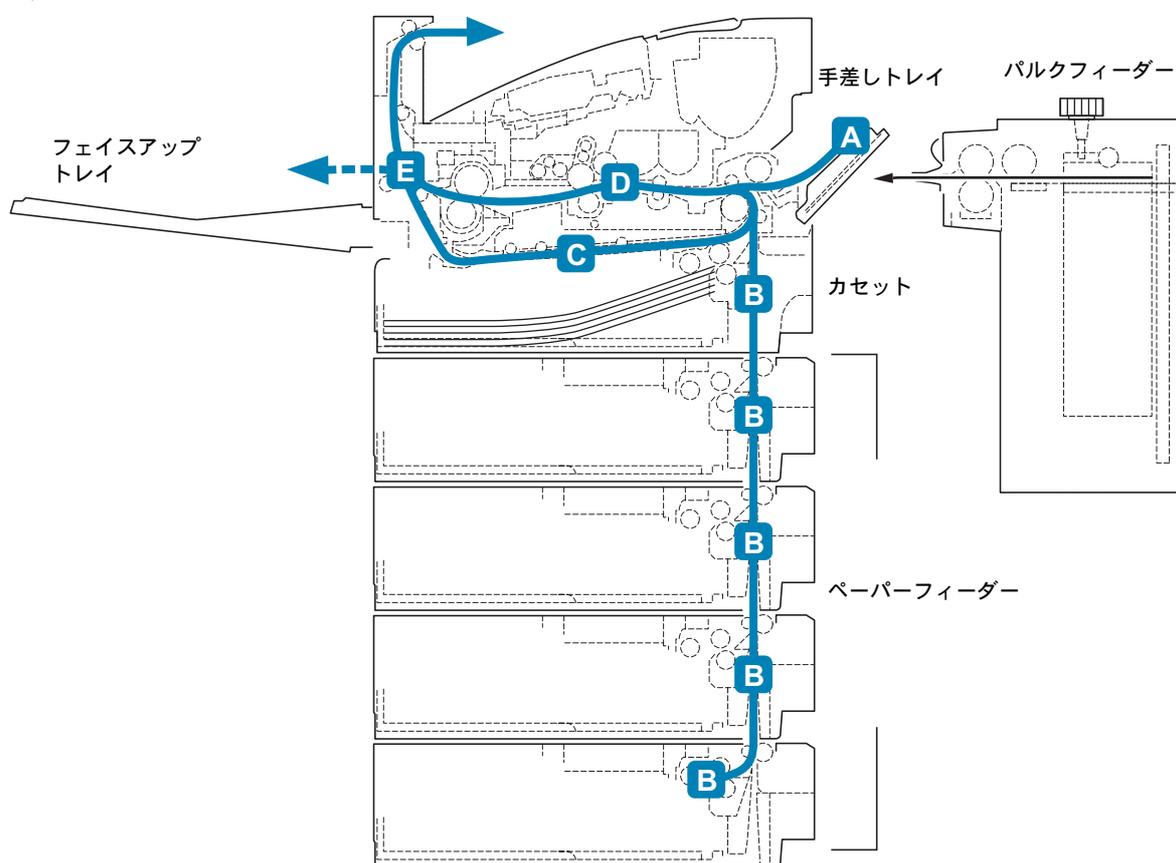
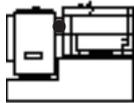
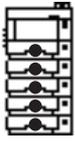
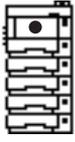
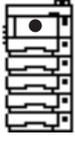
紙づまりの処置

用紙がプリンター内でつまったときや、用紙が給紙カセットより給紙されなかったときなどにはプリンターは停止し、紙づまりのメッセージと紙づまり発生位置を表示します。ステータスモニターとCommand Center RXも紙づまり発生位置を表示します。つまった用紙を取り除くと通常の状態に戻り、印刷が再開します。

重要：用紙の種類によっては、プリンターが正しく給紙しない場合があります。プリンターが給紙できるか数ページ印刷して確認してください。プリンタードライバーで半速モードを選択すると、厚紙をスムーズに給紙することができます。詳しくは、3-7ページの**半速モードを使用した印刷（プリンタードライバー設定）**を参照してください。

紙づまり発生位置

紙づまりのメッセージが表示された場合、プリンターはオフラインになります。

メッセージと紙づまり位置の詳細は次のとおりです。参照ページを参照して、つまった用紙を取り除いてください。

紙づまりメッセージ	紙づまり位置	内容	参照ページ
手差しﾄﾚｲで 紙づまり です。 [ﾍﾙﾌﾟ] ﾊﾞﾙｸﾌｨｰﾀﾞｰで 紙づまり です。 [ﾍﾙﾌﾟ]	A	手差しトレイまたはオプションのバルクフィーダーで紙づまりを起こしています。	8-19 ページ 8-22 ページ
ｶｾｯﾄ#で 紙づまり です。 [ﾍﾙﾌﾟ]	B	カセット（1）、またはオプションのペーパーフィーダーのカセット（2～5）で紙づまりを起こしています。	8-19 ページ
両面ﾕﾆｯﾄで 紙づまり です。 [ﾍﾙﾌﾟ]	C	両面ユニットで紙づまりを起こしています。	8-20 ページ
ﾌﾟﾘﾝﾀｰで 紙づまり です。 [ﾍﾙﾌﾟ]	D	プリンター内部で紙づまりを起こしています。	8-21 ページ
後ろｶﾊﾞｰで 紙づまり です。 [ﾍﾙﾌﾟ]	E	上トレイ、または後ろユニットで紙づまりを起こしています。	8-22 ページ

紙づまりについて

紙づまりがしばしば起こる場合は、用紙の仕様が本機に合っていない可能性が考えられますので、用紙の種類を変えてみてください。用紙の仕様については**付録-23ページの用紙について**を参照してください。用紙を変えて試してみても、紙づまりがしばしば起こる場合は、プリンターに何らかの問題がある場合が考えられますので、お買い求めの京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。

重要：つまった用紙を取り除く際は、プリンター内に破れた紙片を残さないようご注意ください。

紙づまりを起こしたページは、紙づまりが発生した場所によって再印刷されない場合があります。

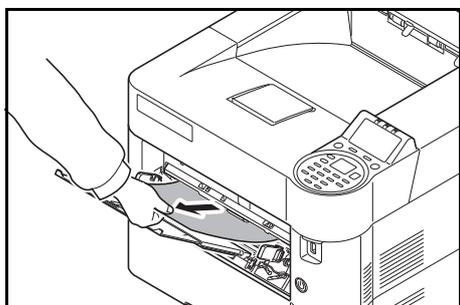
オンラインヘルプメッセージ

本機はオンラインヘルプメッセージ機能により、紙づまりの処理方法がメッセージディスプレイに表示されます。紙づまりのメッセージが表示された場合は、**[ヘルプ]**（**[左セレクト]**）キーを 押してください。

オンラインヘルプメッセージは［▽］キーで次の手順のメッセージが表示され、［△］キーで前の手順に戻ります。［OK］キーを押すと、ヘルプメッセージは終了します。

紙づまりの際はオンラインヘルプメッセージを利用して、用紙を取り除くことができます。

手差しトレイでの紙づまり

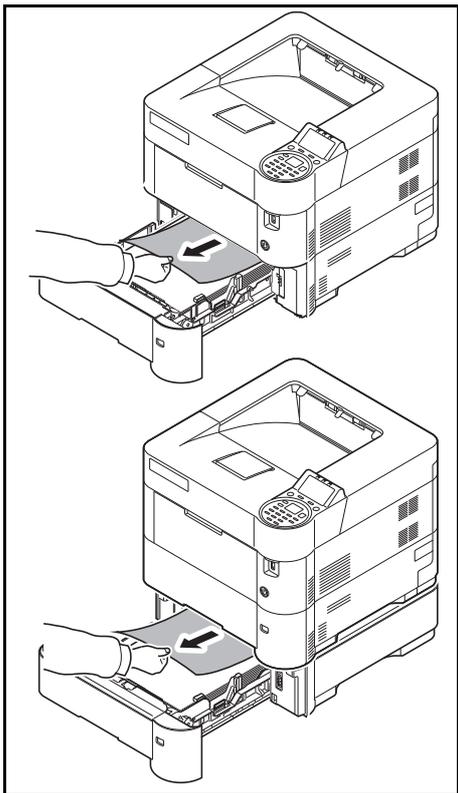
手差しトレイで紙づまりが起きた場合は、次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

1 手差しトレイにつまった用紙を取り除いてください。

重要：紙づまりを処置する前に、手差しトレイの用紙を取り除いてください。

2 上カバーを開閉するとエラーがクリアされ、ウォーミングアップ後に印刷を再開します。

カセット / ペーパーフィーダーでの紙づまり

カセットで紙づまりが起きた場合は、次の手順でつまった用紙を取り除いてください。オプションのペーパーフィーダーのカセットで起きた紙づまりも同様に処置できます。

1 カセットを引き出してください。

2 つまった用紙を取り除いてください。

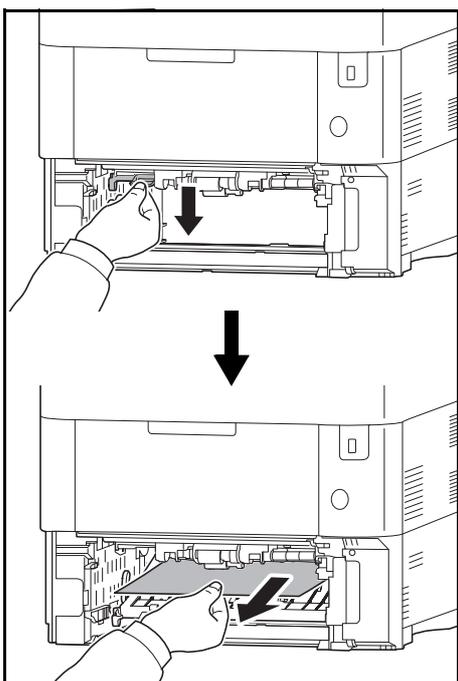
参考：用紙が正しくセットされていない場合は、セットしなおしてください。

3 カセットを奥まで押し込んで戻してください。ウォーミングアップ後に印刷を再開します。

両面ユニットでの紙づまり

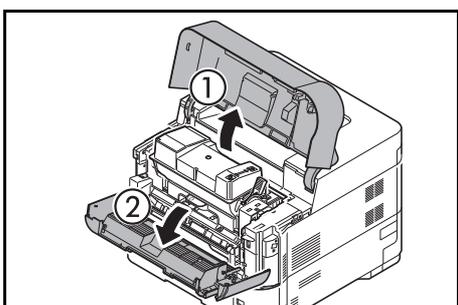
両面ユニットで紙づまりが起きた場合は、次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

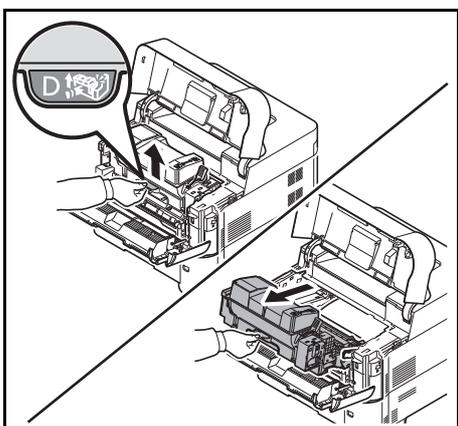
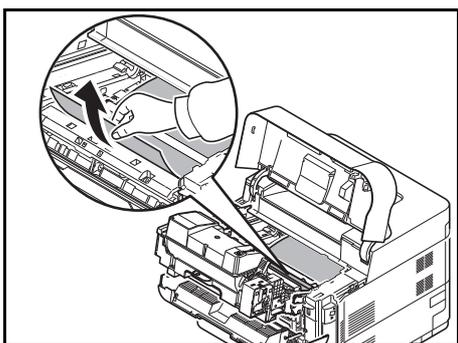
1 カセットを本体から抜き出してください。

2 両面前カバーを開け、つまっている用紙を取り除いてください。

3 両面前カバーを閉めてください。

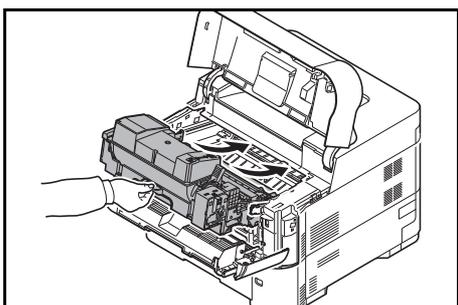
4 カセットを本体に戻してください。ウォーミングアップ後に印刷を再開します。

プリンター内部の紙づまり

プリンター内部で紙づまりが起きた場合は、次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

1 上カバーと前カバーを開けてください。

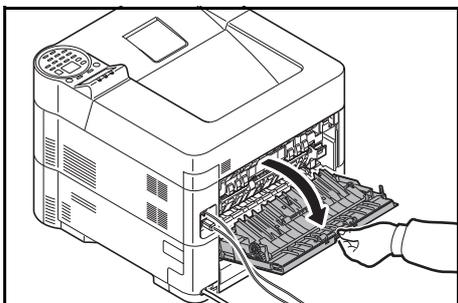
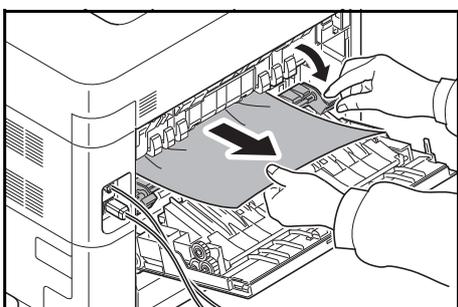
重要：紙づまりを処置する前に、手差しトレイの用紙を取り除いてください。

2 トナーコンテナと一緒に現像ユニットを引き出してください。

3 つまっている用紙を取り除いてください。

つまった用紙がローラにはさまっている場合は、用紙が給紙される方向に沿ってゆっくりと引き抜いてください。

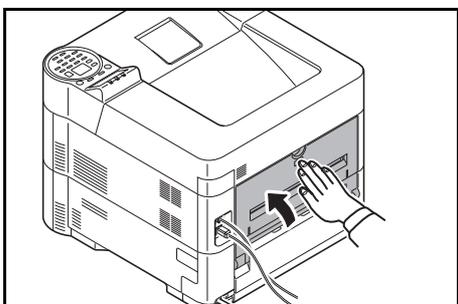
参考：つまった用紙が見つからない場合は、後ユニットの奥側（本体後側内部）も確認してください。8-22ページの**後ろユニットでの紙づまり**を参照してください。

4 トナーコンテナと一緒に、現像ユニットをゆっくり奥まで押し込んでください。

5 前カバーと上カバーを閉めてください。ウォーミングアップ後に印刷を再開します。

後ろユニットでの紙づまり

後ろユニットで紙づまりが起きた場合は、次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

1 用紙が完全に排紙されずに途中で止まってしまったときは、後ろカバーを開けてください。

2 定着カバーを開けて、つまった用紙を引き出して取り除きます。

参考：つまった用紙が見つからない場合は、後ろユニットの奥側（本体後側内部）も確認してください。

注意：定着カバーの内部は高温になっています。やけどのおそれがありますのでご注意ください。

3 後ろカバーを閉めてください。ウォーミングアップ後に印刷を再開します。

バルクフィーダーでの紙づまり

オプションのバルクフィーダーで紙づまりが起きた場合は、バルクフィーダーを両手で持ってプリンターから取り外し、バルクフィーダーとプリンターの接続口からつまった用紙を取り除きます。

詳しくは、**PF-315+設置手順書**を参照してください。

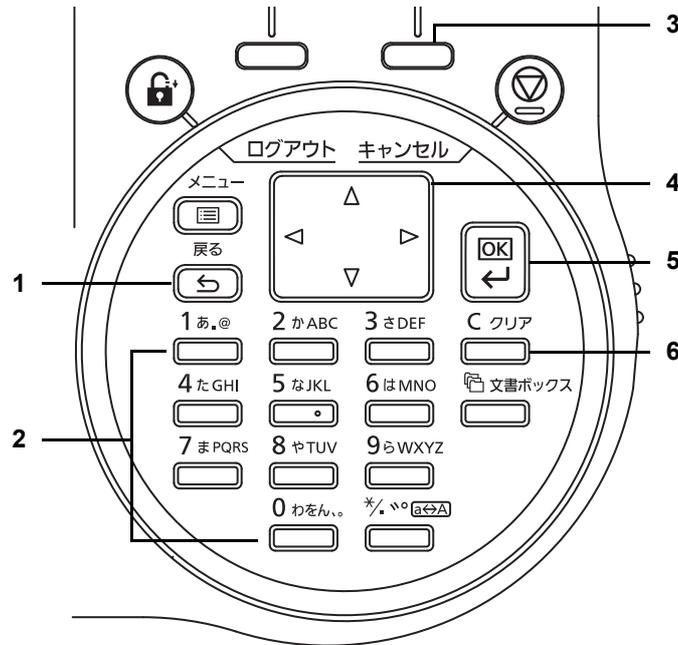
付録

ここでは次の内容について説明します。

文字の入力方法

名前などを入力する文字入力画面について説明します。

使用するキー

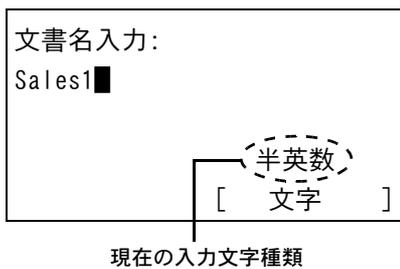
以下のキーを使用して、文字を入力します。

番号	キー	説明
1	［戻る］キー	文字入力の前の画面に戻るときに押してください。
2	テンキー	文字や数字、記号を入力する際に押してください。
3	［右セレクト］キー	入力する文字のタイプを選択する場合に押してください。メッセージディスプレイに、キーのタブが表示されたときのみ有効になります。
4	矢印キー	文字表示部のカーソルを移動させるときや、文字リストから文字を選択する際に押してください。
5	［OK］キー	入力した文字を確定します。
6	［クリア］キー	カーソル位置の文字を削除します。または、カーゾルがラインの終わりにある場合は、左の文字を削除します。

入力文字の選択

参考：操作パネルからは漢字を入力できません。

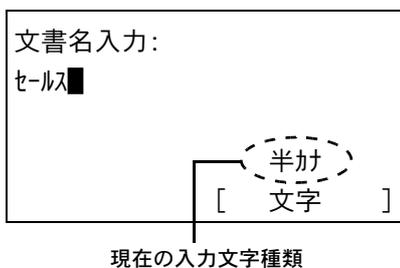
通常入力画面の場合

入力文字には、次の9種類を選択できます。

全かな（全角ひらがな）	全角ひらがなを入力します。
全カナ（全角カタカナ）	全角カタカナを入力します。
半ｶﾅ（半角カタカナ）	半角カタカナを入力します。
全英数（全角英数）	全角英数を入力します。
半英数（半角英数）	半角英数を入力します。
全 数（全角数字）	全角数字を入力します。
半 数（半角数字）	半角数字を入力します。
全角記号	全角記号全角記号を入力します。
半角記号	半角記号を入力します。

文字入力画面で［**文字**］（［**右セレクト**］）キーを押して、表示されるメニューの中から、［△］または［▽］キーを使って入力したい文字の種類を選択し、［OK］キーを押してください。

ふりがな入力画面の場合

入力文字には、次の4種類を選択できます。

半ｶﾅ（半角カタカナ）	半角カタカナを入力します。
半英数（半角英数）	半角英数を入力します。
半 数（半角数字）	半角数字を入力します。
半角記号	半角記号を入力します。

文字入力画面で［**文字**］（［**右セレクト**］）キーを押して、表示されるメニューの中から、［△］または［▽］キーを使って入力したい文字の種類を選択し、［OK］キーを押してください。

文字の入力

入力文字を選択したら、以下の手順で文字を入力してください。

ひらがな・カタカナを入力する場合

下記の表を参照して、入力したい文字に対応しているキーを、その文字が表示されるまで押してください。

入力キー	文字入力モード	表示される文字
1 あ.@	全角ひらがな	あ い う え お ぁ ぃ ぅ ぇ ぉ
	全角カタカナ/半角カタカナ	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ
2 かABC	全角ひらがな	か き く け こ
	全角カタカナ/半角カタカナ	カ キ ク ケ コ
3 さDEF	全角ひらがな	さ し す せ そ
	全角カタカナ/半角カタカナ	サ シ ス セ ソ
4 たGHI	全角ひらがな	た ち つ て と っ
	全角カタカナ/半角カタカナ	タ チ ツ テ ト ッ
5 なJKL	全角ひらがな	な に ぬ ね の
	全角カタカナ/半角カタカナ	ナ ニ ヌ ネ ノ
6 はMNO	全角ひらがな	は ひ ふ へ ほ
	全角カタカナ/半角カタカナ	ハ ヒ フ ヘ ホ
7 まPQRS	全角ひらがな	ま み む め も
	全角カタカナ/半角カタカナ	マ ミ ム メ モ
8 やTUV	全角ひらがな	や ゆ よ ゃ ゅ ょ
	全角カタカナ/半角カタカナ	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ
9 らWXYZ	全角ひらがな	ら り る れ ろ
	全角カタカナ/半角カタカナ	ラ リ ル レ ロ
0 わをん、。	全角ひらがな	わ を ん ゎ 、。ー ・〜 ！ ？ （スペース）
	全角カタカナ/半角カタカナ	ワ ヲ ン ヮ 、。ー ・〜 ！ ？ （スペース）
*/. ﾞﾟ a⇔A	全角ひらがな	濁点・半濁点→大文字/小文字変換 例）つ→づ→っ→つ・・・ は→ば→ぱ→は・・・
	全角カタカナ	濁点・半濁点→大文字/小文字変換 例）ツ→ヅ→ッ→ツ・・・ ハ→バ→パ→ハ・・・
	半角カタカナ	カーソルが文字にあるときは大文字/小文字変換 例）ﾂ→ｯ カーソルが文字に無いときは濁点・半濁点入力 例）ﾞ →ﾟ →ﾞ ・・・

異なるキーで入力する文字は、続けて入力できます。同じキーで入力する文字を続けて入力するときは、カーソルキーで入力位置を次に移動してから入力を行ってください。

行末からカーソルキーで入力位置を後ろにずらした位置に文字を入力すると、その間にはスペースが自動で入力されます。

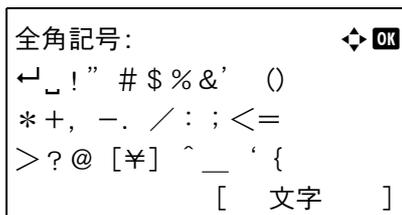
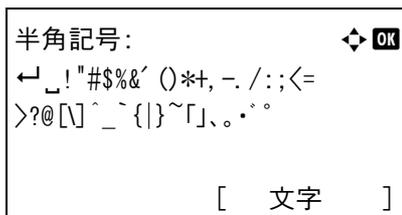
アルファベットと数字を入力する場合

下記の表を参照して、入力したい文字に対応しているキーを、その文字が表示されるまで押してください。

入力キー	文字入力モード	表示される文字
1 あ.@	全角英数/半角英数	. @ - _ / : ~ 1
	全角数字/半角数字	1
2 かABC	全角英数/半角英数	a b c A B C 2
	全角数字/半角数字	2
3 さDEF	全角英数/半角英数	d e f D E F 3
	全角数字/半角数字	3
4 たGHI	全角英数/半角英数	g h i G H I 4
	全角数字/半角数字	4
5 なJKL	全角英数/半角英数	j k l J K L 5
	全角数字/半角数字	5
6 はMNO	全角英数/半角英数	m n o M N O 6
	全角数字/半角数字	6
7 まPQRS	全角英数/半角英数	p q r s P Q R S 7
	全角数字/半角数字	7
8 やTUV	全角英数/半角英数	t u v T U V 8
	全角数字/半角数字	8
9 らWXYZ	全角英数/半角英数	w x y z W X Y Z 9
	全角数字/半角数字	9
0 わをん、。	全角英数/半角英数	. , - _ ´ ! ?（スペース）0
	全角数字/半角数字	0
*/. ゛゜ a↔A	全角英数/半角英数	大文字/小文字の変換を行います
	全角数字/半角数字	.（ピリオド）

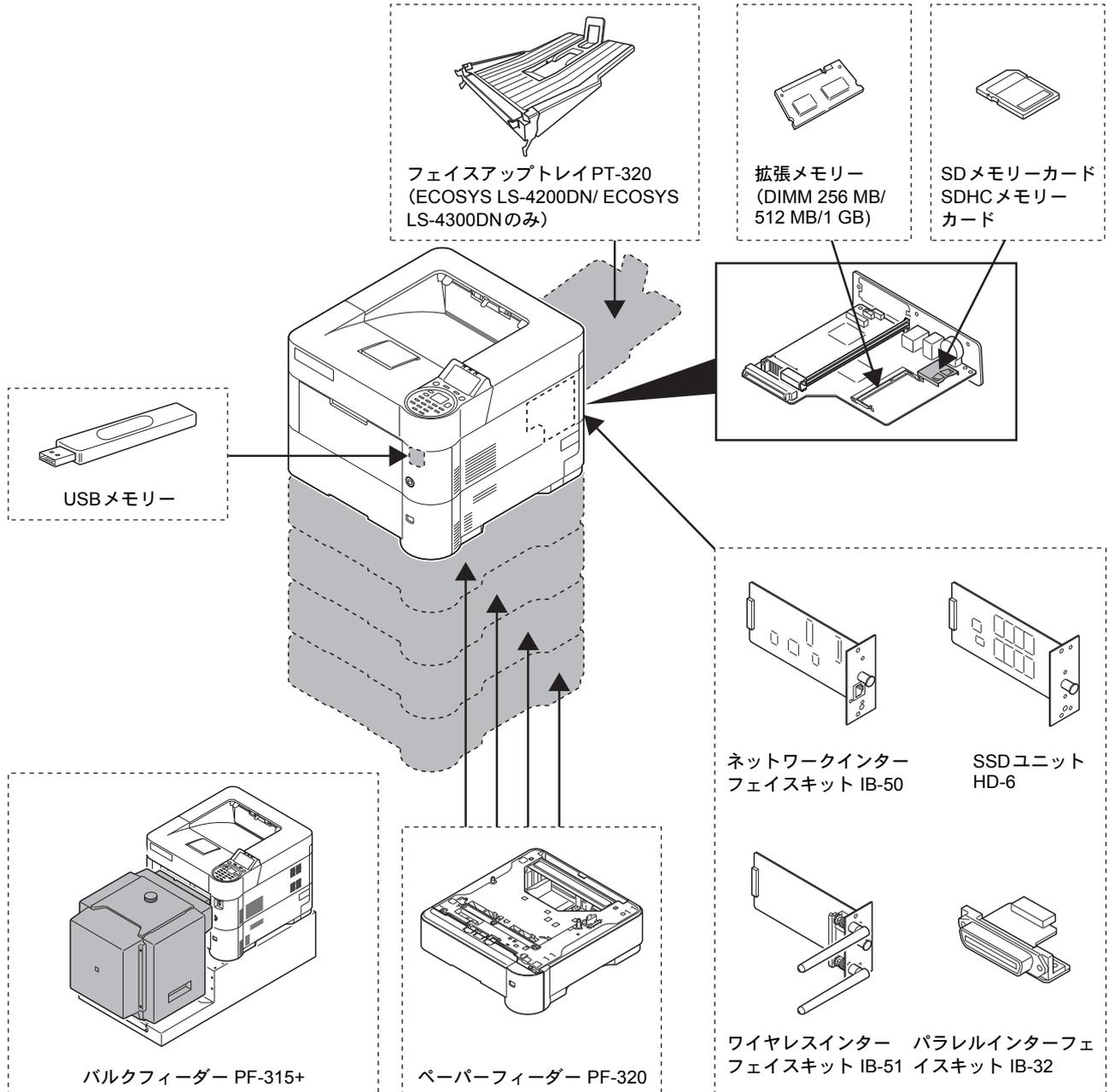
異なるキーで入力する文字は、続けて入力できます。同じキーで入力する文字を続けて入力するときは、カーソルキーで入力位置を次に移動してから入力を行ってください。

行末からカーソルキーで入力位置を後ろにずらした位置に文字を入力すると、その間にはスペースが自動で入力されます。

記号を入力する場合

［**文字**］（［**右セレクト**］）キーを押して、［**全角記号**］または［**半角記号**］を選択して、全角記号画面または半角記号画面を表示します。カーソルキーを使って入力したい記号を選択して、［OK］キーを押してください。

オプションについて

本機は次のオプションが取り付け可能です。お客様の印刷上の用途に適したオプションをお選びください。オプションの入手方法などについては、京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店または弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。電話番号は最終ページを参照してください。

参考：プリンターの本体内に装着する拡張メモリーなどは、外部に装着するオプション機器よりも先に装着してください。

オプションの取り付け手順について、詳しくは各オプション付属の説明書を参照してください。

拡張メモリー

メモリーを増設することでより複雑な印刷が可能になり、印刷処理も高速化します。オプションの拡張メモリーを装着することで、最大1280 MBまでメモリーを拡張できます。

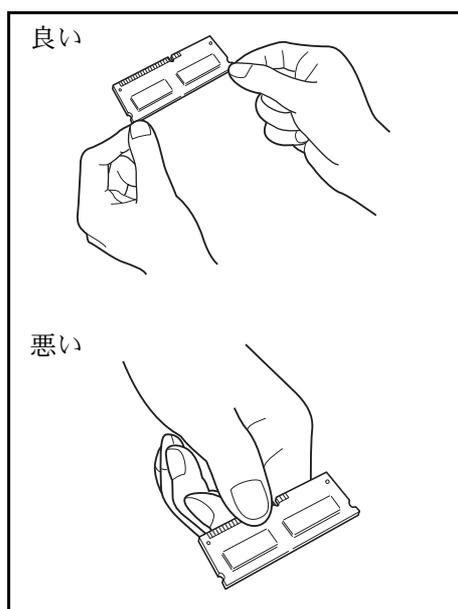
重要：拡張メモリーの取り付けおよび取り外しは、弊社のサービス担当者が行います。お客様自身が装着を行って起きた破損、障害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

参考：メモリーを1280 MBに増設するときは、1024 MBのメモリーを追加装着します。（工場出荷時は、256 MBのメモリーが装着されています。）

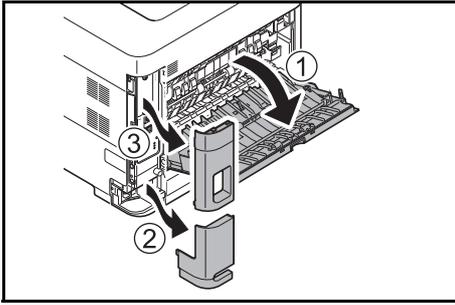
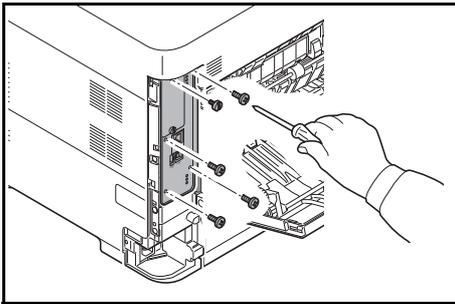
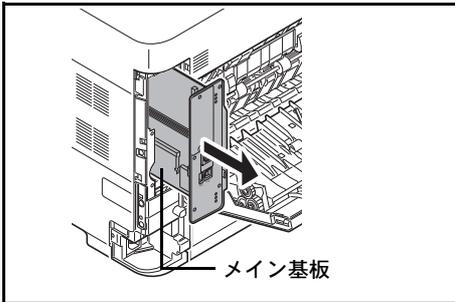
対応拡張メモリー

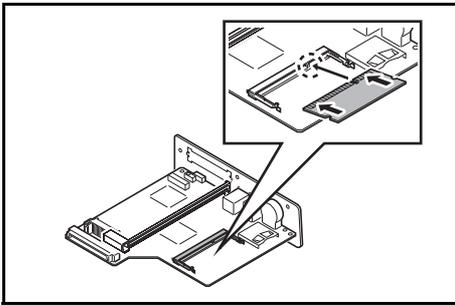
拡張メモリーには、256 MB、512 MB、1024MBがあります。詳しくは京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へお問い合わせください。電話番号は最終ページを参照してください。

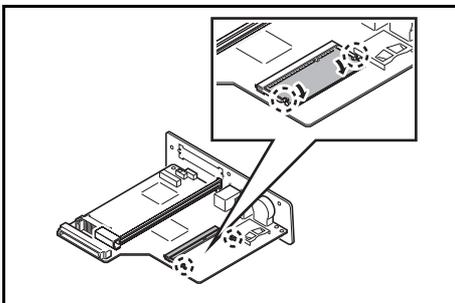
メイン基板およびメモリー取り扱い上の注意

衣類やカーペットなどを通して人体に蓄積される静電気は、半導体チップを数多く搭載したメモリーには大敵です。静電気による破壊からメモリーを保護するために、装着前に次の事柄にご注意ください。

- メモリーは、プリンターに装着する直前まで静電気防止袋より取り出さないでください。
- メモリーに触れる前に、水道の蛇口や金属製のものに触って人体の静電気を除去してください。できれば、静電気対策用のリストバンドを手首にお付けください。
- メモリーを取り扱う際は、図のようにプリント配線部分には触れずに必ず基板の端を持ってください。メイン基板も電子部品を傷めないように端を持ってください。

メモリーの取り付け

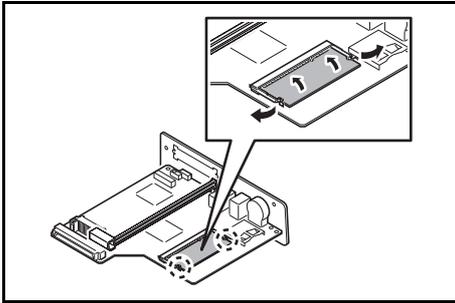
1 プリンターの電源を切り、電源コードとプリンターに接続しているケーブルをすべて取り外してください。

2 後ろカバーを開けて、インターフェイスカバーと電源コードコネクターカバーを取り外してください。

3 メイン基板の背面から取り付けネジ5本を外してください。

4 メイン基板をゆっくり引き出してください。

重要：メイン基板をプリンターより引き出す際には、プリンター後面に十分なスペースを確保してから行ってください。万一異物がメイン基板に接触した場合には、プリンターが破損するおそれがあります。

5 オプションの拡張メモリーをパッケージから取り出してください。メモリーの端子部をソケット側にし、切り欠き部分をソケットの突起部分に合わせて、まっすぐ差し込んでください。

注意：メモリーソケットに対して、逆向きに取り付けないでください。

6 差し込んだメモリーを、慎重に押し下げてください。

7 拡張メモリーの装着後、メイン基板を取り外したときと逆の手順でプリンターに装着し、ネジで固定してください。

メモリーの取り外し

取り付けたメモリーを取り外す場合は、メイン基板を取り外し、ソケットにある2つのストッパーを外側に開いてください。拡張メモリーをソケットから取り外すことができます。

拡張メモリーの確認

拡張メモリーを装着してから、正しく装着されたかどうか、次の方法で確認してください。

1 レポート印刷メニューで、［△］または［▽］キーを押して、「**ステータスページ**」を選択してください。

2 ［OK］キーを押してください。確認メッセージが表示されます。

3 ［**はい**］（［**左セレクト**］）キーを押してください。「**受け付けました。**」が表示され、ステータスページを印刷します。

印刷されたステータスページで、メモリーの量を確認してください。メモリーの増設が正しく行われていれば、トータルメモリーの数値が増加しています。（工場出荷時、メモリーの量は 256 MB です。）

SD/SDHC メモリーカード

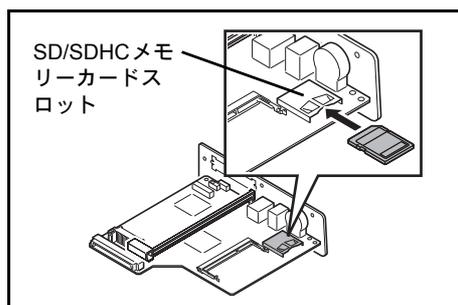
SDHC メモリーカード（最大32 GB）およびSD メモリーカード（最大2 GB）は、メイン基板にあるメモリーカードスロットに差し込みます。SD/SDHC メモリーカードはオプションフォント、マクロ、フォームなどを書き込めるマイクロチップカードです。

SD/SDHC メモリーカードの読み込み

プリンターの電源を入れるとSD/SDHC メモリーカードの内容が、プリンターに読み込まれます。

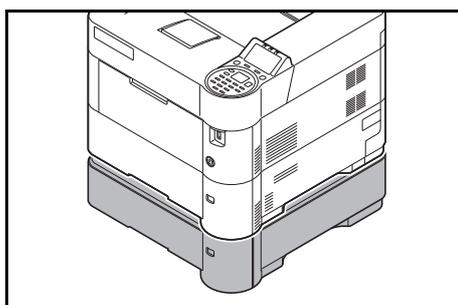
SD/SDHC メモリーカードのフォーマット

未使用のSD/SDHC メモリーカードを使用するためには、最初に本機でSD/SDHC メモリーカードをフォーマットする必要があります。

1 プリンターの電源を切ってから電源コードを抜き、メイン基板を取り外します。メイン基板の取り外しは、付録 -8 ページの**メモリーの取り付け**を参考にしてください。

2 SD/SDHC メモリーカードをメモリーカードスロットに差し込みます。

3 メイン基板を取り外したときと逆の手順でプリンターに装着します。

4 本体操作部から SD/SDHC メモリーカードをフォーマットします。操作手順については、4-101 ページの**「SD カードフォーマット」（SD/SDHC メモリーカードのフォーマット）**を参照してください。

ペーパーフィーダー（PF-320）

オプションのペーパーフィーダー PF-320 のカセットには約 500 枚の用紙が収納できます。プリンターの下に 4 台まで重ねて装着できるので、プリンターのカセットと合わせると最大 2500 枚を連続給紙できます。

重要：ペーパーフィーダーに用紙を補給するときは、印刷面を下に収納してください。

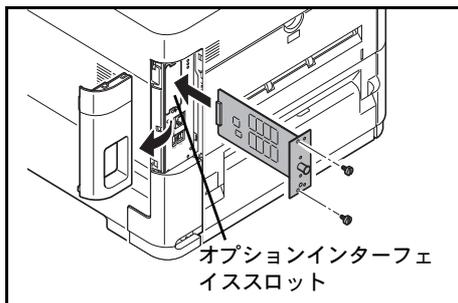
ペーパーフィーダー付属のカセットで、使用できる用紙は以下の通りです。

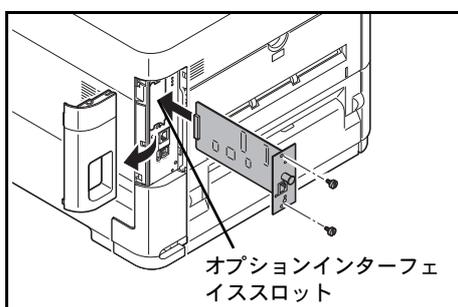
用紙サイズ：Envelope Monarch、Envelope #10（Commercial #10）、Envelope #9（Commercial #9）、Envelope #6（Commercial #6 3/4）、Envelope DL、Envelope C5、A5、B5、B6、ISO B5、A4、Executive、Letter、Legal、往復はがき、Oficio II、Statement、Folio、洋形2号、洋形4号、216 mm × 340 mm、16K、Other（92 mm × 216 mm 〜 162 mm × 356 mm）

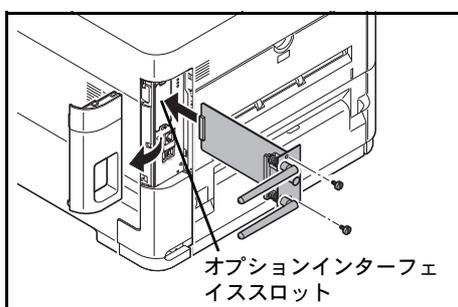
用紙種類：普通紙、プレ印刷紙、ボンド紙、再生紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み用紙、封筒、上質紙、カスタム１（〜８）

ペーパーフィーダーの取り付け手順については、ペーパーフィーダー付属の**インストールガイド**を参照してください。

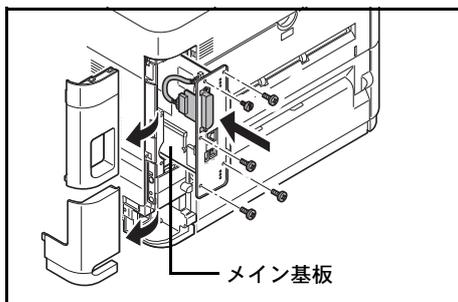
重要：ペーパーフィーダーは、据わりのよい机、置き台の上に設置し、安定を図ってお使いください。

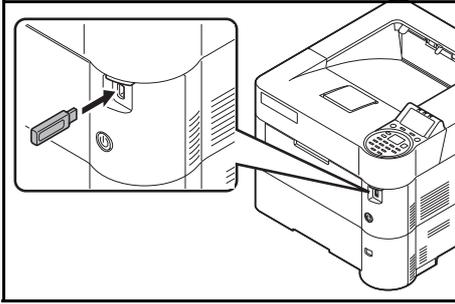
SSD（HD-6）

SSDは印刷データの保存に使います。複数部印刷する時は、電子ソート機能で高速な印刷が可能になるなどのメリットがあります。また、文書ボックス機能を使用することもできます。詳しくは、5-1ページの**文書ボックス**を参照してください。

ネットワークインターフェイスキット（IB-50）

ネットワークインターフェイスキットは、通信速度が1ギガビット/秒に対応する高速のインターフェイスです。本体標準のネットワークインターフェイスで対応している、TCP/IP、NetBEUIの他にIPX/SPX、Apple Talkもサポートしていますので、Windows、Macintosh、UNIX、NetWareなどのさまざまな環境下で、ネットワーク印刷が可能になります。

ワイヤレスインターフェイスキット（IB-51）

ワイヤレスネットワーク（無線LAN）規格IEEE802.11n（MAX 300Mbps）および11g/bに対応したワイヤレスネットワークインターフェイスカードです。

付属のユーティリティーによって多彩なOSやネットワーク・プロトコルに対して設定が可能です。

パラレルインターフェイスキット（IB-32）

パラレルインターフェイスキットは、2Mbpsまでの通信速度に対応しています。本オプションを使用するときは、パラレルプリンターケーブルをお使いください。

USB メモリー

USB メモリーは、USB メモリースロットに接続して使用する、持ち運びが簡単なフラッシュメモリです。USB メモリーを本体に装着し、印刷したいファイル名を操作パネルから指定することで、ファイルを印刷できます。

メッセージディスプレイに表示されるファイル名は、PDF、TIFF、JPEG、XPS です。

USB メモリーが印刷できるファイル数は、最大 1000 件です。

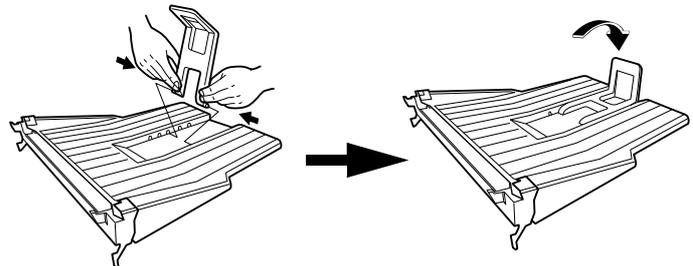
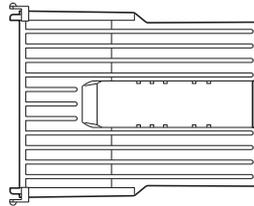
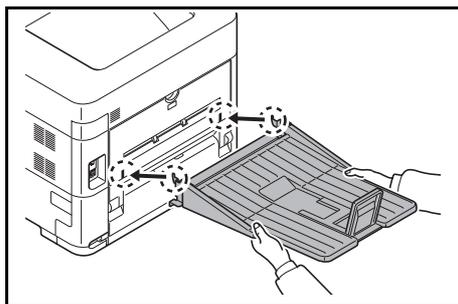
USB メモリー内の PDF ファイルを印刷する操作については、4-18 ページの **USB メモリーファイルの印刷**を参照してください。

使用できる USB メモリーについては、京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社正規特約店、または当社お客様相談窓口へお問い合わせください。電話番号は最終ページを参照してください。

フェイスアップトレイ（PT-320）（ECOSYS LS-4200DN と ECOSYS LS-4300DN のみ）

用紙を印刷面が上（逆順）になるように重ねたい場合に使用します。

フェイスアップトレイは、次のように取り付けてください。

1 ペーパーストッパーを使用する用紙サイズに合わせて取り付けます。

2 フェイスアップトレイをプリンター背面に取り付けます。

その他のオプション

バルクフィーダー（PF-315+）

バルクフィーダーは76 ～ 216 × 148 ～ 305 mmサイズの用紙を約2,000枚収納することができます。バルクフィーダーは手差しトレイを取り外した後、プリンターの正面に装着します。

セキュリティーキット

上書き消去機能

読み込んだ原稿やプリントジョブを一時的にSSDにデータとして保存し、そのデータから出力します。また、さまざまなデータをユーザーが登録しておくこともできます。それらのデータにおける実際のデータ領域は、出力後やユーザーが削除した後も、他のデータにより上書きされるまでSSDに残存するため、特殊なツールなどで復元すると機密漏えいの原因となる可能性があります。セキュリティーキットは、出力後のデータや削除したデータの、不要なデータ保存領域を上書きして消去し、復元できないようにします。

暗号化機能

ユーザーが登録したデータをSSDに保存します。このため、万一SSDが盗難に遭うと、データの流出や改ざんのおそれがあります。セキュリティーキットは、データをSSDに保存するとき、暗号化して書き込みます。通常の出力や操作以外では復号（解読）できないため、万一の場合のセキュリティーが強化されます。

IC カード認証キット

ICカードでユーザー認証を行うことができます。ICカードで認証を行うには、事前に登録したユーザーリストにICカード情報を登録する必要があります。登録方法は、ICカード認証キットの**使用説明書**を参照してください。

ThinPrint Option

プリンタードライバーがなくても印刷データを直接印刷することができるようになります。

環境設定コマンド

本機は、印刷設定に関する各種の情報を内部メモリーに記憶しています。これらの情報はプリスクライブFRPOコマンドによって登録・変更でき、電源投入時のプリンターの初期状態として設定されます。

ここでは、FRPOコマンドとそのパラメーターの使用例を説明します。

プリスクライブコマンドの詳細については、付属のProduct Libraryディスクに収録されている、**プリスクライブコマンド・リファレンスマニュアル**を参照してください。プリスクライブコマンドごとの書式や機能について、実行例を含めて説明しています。

環境設定コマンドの設定

現在のFRPOパラメーターの設定値は、ステータスページで確認できます。

参考：FRPOパラメーターを変更する前に、サービスステータスページを印刷しておくことをおすすめします。なお、FRPO INIT コマンドですべてのFRPO パラメーターを、プリンターの初期状態にもどすこともできます。（!R! FRPO INIT; EXIT;）

FRPOコマンドは次の書式で実行します。

!R! FRPOパラメーター , 設定値; EXIT;

例ーエミュレーションをPC-PR201/65Aに設定

!R! FRPO P1, 11; EXIT;

FRPO パラメーター

項目	FRPO	設定値	工場設定
上マージン	A1	インチ単位の整数部分	0
	A2	1/100インチ単位の小数部分	0
左マージン	A3	インチ単位の整数部分	0
	A4	1/100インチ単位の小数部分	0
ページの長さ	A5	インチ単位の整数部分	16
	A6	1/100インチ単位の小数部分	61
ページの幅	A7	インチ単位の整数部分	16
	A8	1/100インチ単位の小数部分	61
起動時のパターン解像度	B8	0: 300 dpi 1: 出力解像度	0
ページ方向	C1	0: 縦置き（ポートレート） 1: 横置き（ランドスケープ）	0
起動フォント†	C2	起動フォント番号の中2桁	0
	C3	起動フォント番号の最後2桁	0
	C5	起動フォント番号の最初の2桁	0

項目	FRPO	設定値	工場設定
PCLフォント選択範囲	C8	0: シンボルセット00D、00I、00S、00U、01E、01F、01G、02Sおよび04Nの第2バイト（0x80以降のコード）を印字しない（HP互換モード）。 32: シンボルセット00D、00I、00S、00U、01E、01F、01G、02Sおよび04Nの第2バイト（0x80以降のコード）を印字する（過去互換モード）。	0
印刷濃度制御	D4	1: 薄い 2: やや薄い 3: 標準 4: やや濃い 5: 濃い	3
受信データバッファ容量	H8	0 ～ 99 FRPO S5 の値で積算（0: 5 K バイト）	5
タイムアウトの時間	H9	1 ～ 99 5 秒単位	1（5 秒）
縮小率	J0	0: 100 % 5: 70 % 6: 81 % 7: 86 % 8: 94 % 9: 98 %	0
自動改行モード （日本語エミュレーション時のみ）	J7	0: 自動改行する 1: 自動改行しない	0
横方向オフセット†	K0	-7 ～ +7（正数部）、単位はセンチ	0
	K1	-99 ～ +99（小数部）、単位は1/100 センチ	0
縦方向オフセット†	K2	-7 ～ +7（正数部）、単位はセンチ	0
	K3	-99 ～ +99（小数部）、単位は1/100 センチ	0
漢字フォント番号設定	K4	0: V7 と同じ 1: 明朝体40 ドット 2: ゴシック体40 ドット 5: 明朝体48 ドット 6: ゴシック体48 ドット	0
新旧JIS コードの切り換え	K6	0:JIS X 0208:1990 1:JIS X 0208:1978 8:JIS X 0213:2004	0
KIR	N0	0: オフ 2: オン	2
両面印刷モードの選択	N4	0: オフ（片面印刷） 1: 長辺とじ 2: 短辺とじ	0
スリープ時間	N5	1 ～ 240 分	1
エコプリントモード	N6	0: オフ 2: オン	0

項目	FRPO	設定値	工場設定
解像度	N8	0: 300dpi 1: 600dpi 3: 1200dpi	1
パラレルインターフェイス・モード††	O0	0: 標準モード 1: 高速モード 5: ニブル（高速）モード 70: 自動モード	70
パラレルライン制御††	O2	0: ライン制御オフ 2: PCL 互換	0
エミュレーションモード	P1	6: PCL 9: KPDL 11: PC-PR201/65A 12: IBM 5577 13: VP-1000	6
キャリッジリターンの処理†	P2	0: 無視 1: CR 2: CR+LF	1
改行の処理†	P3	0: 無視 1: LF 2: CR+LF	1
KPDL 自動切替え	P4	0: なし 1: 自動切替え	0
KPDL 自動切替え先エミュレーション	P5	P1 と同じ（9 を除く）	6
AES オプション - 自動エミュレーション切り換え（AES）が起動するページ排出コマンドおよび処理動作	P7	AES 起動後、KPDL または自動切替先（代替）エミュレーションのどちらにも該当しないデータはKPDL で処理。 0: すべてのページ排出コマンドでAES 起動。 1: なし 2: すべてのページ排出コマンドおよびプリスクライブEXIT コマンドでAES 起動。 3: プリスクライブEXIT コマンドのみでAES 起動。 8: すべてのページ排出コマンドでAES 起動。AES起動後、KPDL または自動切替先（代替）エミュレーションのどちらにも該当しないデータは、代替エミュレーションで処理。 10: すべてのページ排出コマンドおよびプリスクライブEXIT コマンドでAES起動後、KPDL または自動切替先（代替）エミュレーションのどちらにも該当しないデータは、代替エミュレーションで処理。 11: プリスクライブEXIT コマンドのみでAES起動後、KPDL または自動切替先（代替）エミュレーションのどちらにも該当しないデータは、代替エミュレーションで処理。	10

項目	FRPO	設定値	工場設定
コマンド認識文字	P9	33 〜 126 の ASCII コード	82（R）
排紙先	R0	1: 上トレイ 2: フェイスアップトレイ（ECOSYS LS-4200DN、ECOSYS LS-4300DN）	1
用紙サイズ	R2	0: 給紙カセットのサイズ（R4 参照） 1: Envelope Monarch 2: Envelope #10 3: Envelope DL 4: Envelope C5 5: Executive 6: Letter 7: Legal 8: A4 9: B5 13: A5 14: A6 15: B6 16: Envelope #9 17: Envelope #6 18: ISO B5 19: カスタム 20: B4 → A4 縮小 21: A3 → A4 縮小 22: A4 → A4 98% 縮小 23: ストックフォーム→ A4 縮小 31: はがき 32: 往復はがき 33: Oficio II 40: 16K 42: 216 × 340 mm 50: Statement 51: Folio 52: 洋形2 号（封筒） 53: 洋形4 号（封筒）	0
初期給紙元	R4	0: 手差しトレイ 1: カセット1 2: カセット2 3: カセット3 4: カセット4 5: カセット5	1
手差しトレイの用紙サイズ	R7	0 がない以外は、R2 と同じ	8 (A4)
A4/Letter の共通給紙	S4	0: オフ 1: オン	0

項目	FRPO	設定値	工場設定
ホストバッファサイズ積算値 （H8 の値と積算）	S5	0: 10 KB 1: 100 KB 2: 1 MB	1
RAM ディスクサイズ	S6	1 ～ 1024 MB 単位	400
RAM ディスクモード	S7	0: オフ 1: オン	1
ワイド A4 機能	T6	0: オフ 1: オン	0
行間隔†	U0	インチあたりの行数 / 整数部分	6
行間隔†	U1	インチあたりの行数 / 小数部分	0
文字間隔†	U2	インチあたりの文字数 / 整数部分	10
文字間隔†	U3	インチあたりの文字数 / 小数部分	0
内蔵フォントの国別コード	U6	0: US 1: フランス 2: ドイツ 3: イギリス 4: デンマーク 5: スウェーデン 6: イタリア 7: スペイン 8: 日本 9: US リーガル 10: IBM PC-850（マルチ言語） 11: IBM PC-860（ポルトガル語） 12: IBM PC-863（カナダフランス語） 13: IBM PC-865（ノルウェー語） 14: ノルウェー語 15: デンマーク語 2 16: スペイン語 2 17: ラテンアメリカ 21: US ASCII（U7=50 に設定） 77: HP Roman-8（U7=52 に設定）	0
シンボルセット	U7	0: エミュレーションと同じ 1: IBM 6: IBM PC-8 50: US ASCII（U6=21 に設定） 52: HP Roman-8（U6=77 に設定）	0
デフォルトフォントピッチ	U8	0 ～ 99	10
	U9	0 ～ 99	0

項目	FRPO	設定値	工場設定
初期ANK アウトラインフォント・サイズ†	V0	起動時のANK アウトラインフォント・サイズの整数 上位2 桁/ 設定有効範囲値：00 〜 09	0
	V1	起動時のANK アウトラインフォント・サイズの整数 下位2 桁/ 設定有効範囲値：00 〜 99	12
	V2	起動時のANK アウトラインフォント・サイズの小数2桁 設定有効値：00, 25, 50, 75	0
初期ANK アウトラインフォント名†	V3	起動時のANK アウトラインフォント名	Courier
初期漢字アウトライン・フォントサイズ†	V4	起動時の漢字アウトライン・フォントサイズの整数上位2 桁 設定有効範囲:00 〜 09	0
	V5	起動時の漢字アウトライン・フォントサイズの整数下位2 桁 設定有効範囲:00 〜 99	10
	V6	起動時の漢字アウトライン・フォントサイズの小数2桁 設定有効値:00, 25, 50, 75	0
初期漢字アウトライン・フォント名†	V7	起動時の漢字アウトライン・フォント名	MTHS MINCHO -W3
クーリエおよびレターゴシックのフォントタイプ選択	V9	0: クーリエ＝ダーク レターゴシック＝ダーク 1: クーリエ＝レギュラー レターゴシック＝ダーク 4: クーリエ＝ダーク レターゴシック＝レギュラー 5: クーリエ＝レギュラー レターゴシック＝レギュラー	5
用紙種類（手差しトレイ）	X0	1: 普通紙 2:OHP フィルム 3: プレプリント 4: ラベル紙 5: ボンド紙 6: 再生紙 7: 薄紙 9: レターヘッド 10: カラー紙 11: パンチ済み紙 12: 封筒 13: はがき 16: 厚紙 17: 上質紙 21 〜 28: カスタム1 〜カスタム8	1

項目	FRPO	設定値	工場設定
用紙種類（本体カセット1）	X1	1: 普通紙 3: プレプリント 5: ボンド紙 6: 再生紙 9: レターヘッド 10: カラー紙 11: パンチ済み紙 17: 上質紙 21 ～ 28: カスタム1 ～カスタム8	1
用紙種類（カセット2、3、4、5）	X2 X3 X4 X5	1: 普通紙 3: プレプリント 5: ボンド紙 6: 再生紙 9: レターヘッド 10: カラー紙 11: パンチ済み紙 12: 封筒 17: 上質紙 21 ～ 28: カスタム1 ～カスタム8	1
給紙カセット選択モード（PCL）	X9	0: 用紙種類の設定によって給紙カセットを切り替え 2: カセットの用紙サイズによって自動的に給紙カセットを切り替え	0
エラー時のオートエラークリア（[OK] キーを押して解除するエラーのみ）	Y0	0: オフ 1: オン	0
オートエラークリアのエラー解除時間	Y1	1 ～ 99　5 秒単位	6 （30 秒）
EcoFuser 機能のON/OFF 設定	Y2	0: レディ時のオンデマンド定着器のヒーターオフ 1: レディ時のオンデマンド定着器のヒーターオン	0
デバイスエラーの表示スイッチ	Y3	0: エラーが発生しても、一時停止およびエラーメッセージの表示をしない 1: 両面印刷できない用紙種類を指定した場合に、一時停止してエラーメッセージを表示する 32: 給紙元を固定して印刷するときに、用紙サイズまたは種類が異なる場合、一時停止して給紙エラーメッセージを表示する 33: Y3=1 とY3=32 の両方を設定	0

項目	FRPO	設定値	工場設定
強制両面印刷設定（用紙種類がプレプリント、パンチ済み紙およびレターヘッドのみ）	Y4	0: オフ 1: オン	0
PDF ダイレクト動作	Y5	0: 用紙に合わせて拡大縮小 1: PDF内の紙サイズ指定で用紙選択 2: PDF内の紙サイズ指定によって、Letter、A4から選択し、用紙に合わせて拡大縮小 3: PDF内の紙サイズ指定によって、Letter、A4から印刷 8: 等倍で印刷 9: PDF内の紙サイズ指定によって、Letter、Legal、A4から選択 10: PDF内の紙サイズ指定によって、Letter、Legal、A4から選択し、用紙に合わせて拡大縮小	0
e-MPS エラー制御	Y6	0: エラー制御をしない 1: エラーレポートを出力する 2: エラーを表示する 3: エラーを表示、およびエラーレポートを出力する	3

† エミュレーションによっては無視されます。

†† 設定後はプリンターの電源を一度切るか、再起動後に有効です。

用紙について

用紙の基本仕様

本機は、乾式複写機およびページプリンター用の用紙（普通紙）に出力できるよう設計されていますが、本章の制限の範囲内で、他のさまざまな用紙に印刷することができます。

本機に適さない用紙を使用すると、紙づまりが発生したり出力された用紙にシワができたりするため、用紙の選択は慎重に行ってください。

重要：再生紙の中には、保水度やパルプ含有率などの基本的な項目が本機に使用するために必要な仕様を満たさないものがあります。再生紙を使用するときは、あらかじめ少量を購入してサンプル出力を行ってください。出力の結果が良好で、紙粉が極端に多くないものを選んでご使用ください。

規格に合わない用紙を使用して生じた問題については、弊社は責任を負いかねます。

使用できる用紙

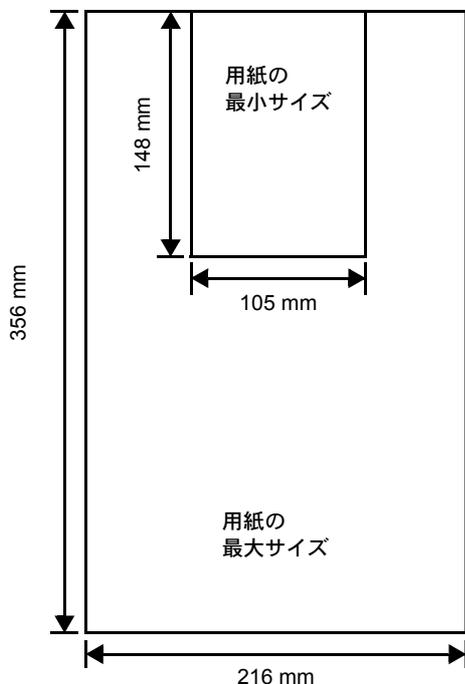
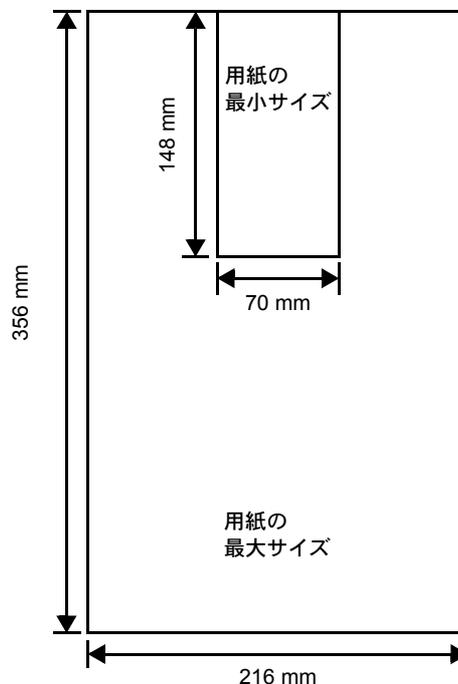
通常の乾式複写機またはページプリンター用のコピー用紙（普通紙）を使用してください。用紙の品質は、出力の品質に影響を与えます。低品質の用紙を使うと、満足のできる出力結果を得ることができません。

用紙の基本仕様

本機で使用できる用紙の基本仕様です。詳細は次ページ以降で説明します。

項目	仕様
重さ	カセット、PF-320（オプション）：60 〜 120 g/m² 手差しトレイ、PF-315+（オプション）：60 〜 220 g/m²、230 g/m²（はがき）
厚さ	0.086 〜 0.110 mm
寸法	付録-25 ページの**用紙サイズ**を参照してください。
寸法誤差	±0.7 mm
四隅の角度	90 ±0.2 °
保水度	4 〜 6 %
繊維の方向	縦目（給紙方向）
パルプ含有率	80 % 以上

用紙の最大サイズと最小サイズ

用紙の最大サイズと最小サイズは次のとおりです。また、OHP フィルム、ラベル用紙、薄い用紙、はがき、封筒、厚紙に印刷する場合、手差しトレイから給紙してください。用紙サイズの設定方法については、4-30 ページの**「カセット 1（～5）設定」（給紙カセットの設定）**を参照してください。

参考：ECOSYS LS-2100DN のカセットの最小サイズは、140 × 210 mm です。

オプションのペーパーフィーダー（PF-320）の最小サイズは、92 × 162 mm、最大サイズは、216 × 356 mm です。

適正な用紙の選択

ここでは、用紙を選ぶ際のガイドラインについて説明します。

紙の状態

角の折れている用紙、全体が丸まっている用紙、汚れている用紙、破れている用紙は使用しないでください。繊維が毛羽立っていたり、表面が粗かったり、ちぎれやすい用紙も使用しないでください。このような用紙は、印刷品質低下の原因になります。また、用紙の給送がうまくいかないために紙づまりを起こし、製品の寿命を縮める可能性があります。用紙は、表面が滑らかで均一なものを使用してください。ただし、コーティング加工などの表面処理をしてある用紙は、ドラムや定着ユニットを傷めるため使用しないでください。

用紙の成分

アート紙のようなコーティング加工された用紙や表面処理された用紙、プラスチックやカーボンを含む用紙は使用しないでください。このような用紙は、熱により有害なガスを発生することがあり、ドラムを傷めることがあります。

普通紙は、少なくとも80％以上のパルプを含むものを使用してください。コットンやその他の繊維が用紙成分の20％以下ものを使用してください。

用紙サイズ

本機に使用できる用紙サイズは次のとおりです。

寸法誤差の許容範囲は、縦横ともに±0.7 mmです。用紙四隅の角度は、90°±0.2°のものを使用してください。

○：セットできます　×：セットできません

用紙サイズ	サイズ	カセット（ECOSYS LS-2100DN）	カセット（ECOSYS LS-4200DN/ ECOSYS LS-4300DN）	カセット（PF-320）	バルクフィーダー（PF-315+）	手差しトレイ
Envelope Monarch	3.88 × 7.5インチ	×	×	○	○	○
Envelope #10	4.13 × 9.5インチ	×	×	○	○	○
Envelope DL	110 × 220 mm	×	○	○	○	○
Envelope C5	162 × 229 mm	○	○	○	○	○
Executive	7.25 × 10.5インチ	○	○	○	○	○
Letter	8.5 × 11インチ	○	○	○	○	○
Legal	8.5 × 14インチ	○	○	○	×	○
A4	210 × 297 mm	○	○	○	○	○
JIS B5	182 × 257 mm	○	○	○	○	○
A5	148 × 210 mm	○	○	○	○	○
A6	105 × 148 mm	×	○	×	○†	○
B6	128 × 182 mm	×	○	○	○	○
Envelope #9	3.88 × 8.88インチ	×	×	○	○	○
Envelope #6	3.63 × 6.5インチ	×	×	○	○†	○
ISO B5	176 × 250 mm	○	○	○	○	○
はがき	100 × 148 mm	×	×	×	○†	○
往復はがき	148 × 200 mm	×	○	○	○	○
Oficio II	8.5 × 13インチ	○	○	○	×	○
216 × 340 mm	216 × 340 mm	○	○	○	×	○
16K	197 × 273 mm	○	○	○	○	○
Statement	5.5 × 8.5インチ	○	○	○	○	○
Folio	210 × 330 mm	○	○	○	×	○

用紙サイズ	サイズ	カセット（ECOSYS LS-2100DN）	カセット（ECOSYS LS-4200DN/ ECOSYS LS-4300DN）	カセット（PF-320）	バルクフィーダー（PF-315+）	手差しトレイ
洋形4号	105 × 235 mm	×	×	○	○	○
洋形2号	114 × 162 mm	×	×	○	○†	○
カスタム		カセット（ECOSYS LS-2100DN）：140～216 mm × 210～356 mm カセット（ECOSYS LS-4200DN/ECOSYS LS-4300DN）：105～216 mm × 148～356 mm カセット（PF-320）：92～216 mm × 162～356 mm 手差しトレイ：70～216 mm × 148～356 mm バルクフィーダー（PF-315+）：76～216 mm × 148～305 mm				

† 用紙サイズはプリンタードライバーで設定できます。ただし、給紙は用紙種類に依存します。

用紙の特性

滑らかさ

用紙の表面は、滑らかで均一であることが重要です。ただし、コーティングされているものは使用しないでください。滑らか過ぎる用紙を使うと、同時に複数枚の用紙が給紙され、紙づまりの原因になります。

基本重量

基本重量とは、用紙を1m² の大きさに換算した時の重量です。重すぎたり軽すぎたりする用紙は、用紙の給紙の失敗や紙づまりの原因となるばかりでなく、製品の消耗の原因にもなります。用紙の重さ、つまり紙の厚さが一定でないと、同時に複数枚を給紙したり、トナーの定着不良によって出力が不鮮明になるなど、出力品質の問題を引き起こすことがあります。

厚さ

本機で使用する用紙は、極端に厚いものや薄いものは避けてください。同時に複数枚の用紙が給紙されたり、紙づまりが頻繁に起きたりする場合は、紙が薄すぎることが考えられます。反対に用紙が厚すぎる場合も、紙づまりが起きることがあります。適正な用紙の厚さは、0.086 ～ 0.110 mm の範囲です。

保水度

用紙の保水度は、乾燥度に対する湿り気のパーセントで表されます。湿り気は、紙送りや静電気の発生状況、トナーの定着性などに影響を与えます。

用紙の保水度は、室内の湿度によって変わります。湿度が高すぎて紙が湿り気を帯びると、紙の端が伸びて波打つことがあります。逆に湿度が低すぎて紙に極端に湿り気がなくなると、用紙の端が縮んでかさかさになり、コントラストの弱い印刷になります。

用紙が波打ったり乾燥したりしていると、紙送りにずれが起きることがあります。用紙の保水度は4 ～ 6％の範囲に収まるようにしてください。

保水度を正しいレベルで維持するために、次の点に留意してください。

- 風通しのよい低湿の場所に保管してください。
- 未開封のまま水平な状態で保管してください。開封後すぐ使用しない紙は、もう一度密封してください。
- 購入時の梱包紙や箱に、封をして保管してください。箱の下には台などを置いて、床から離してください。特に、梅雨時の板張りやコンクリート張りの床からは十分離してください。
- 長時間放置した用紙は、少なくとも48時間は正しいレベルの保水度を満たしてからご使用ください。
- 熱、日光、湿気にさらされる場所に紙を放置しないでください。

その他の仕様

多孔性

紙の繊維の密度を表します。

硬さ

柔らかすぎる紙は、本体内部で折れ曲がりやすく紙づまりの原因になります。

カール

ほとんどの用紙は、開封したまま放置すると自然にカールして丸まる性質を持っています。用紙は定着ユニットを通過する際に、若干上向きに丸くなります。このため、カールを打ち消し合うように用紙をセットすると、仕上がりがより平らになります。

静電気

トナーを付着させるために、出力の過程で用紙は静電気を帯びます。この静電気がすみやかに放電される用紙を選んでください。

用紙の白さ

印刷されたページのコントラストは、用紙の白さによって変わります。より白い用紙を使用するほうが、シャープで鮮明に印刷できます。

品質について

サイズの不揃い、角がきちんととれていない、粗雑な裁断面、切りそこなってつながっている用紙、角や端のつぶれなどが原因で、本機が正しく機能しないことがあります。ご自分で裁断された用紙を使用する場合は、特にご注意ください。

梱包について

きちんと梱包され、さらに箱に詰められている用紙をお選びください。梱包紙は、内面が防湿用にコーティングされているものが最良です。

参考：湿気を帯びた用紙を使用すると、上トレイ付近から湯気が出る場合がありますが、そのまま印刷を続けても問題はありません。

特殊処理

次のような処理をほどこした用紙は、基本仕様を満たしていても使用しないことをお勧めします。使用する場合は、あらかじめ少量を購入して、サンプル印刷を行ってください。

- つやのある用紙
- 透かしの入った用紙
- 表面に凹凸のある用紙
- ミシン目の入った用紙

特殊な用紙

普通紙以外の特殊な用紙に印刷する場合について説明します。

本機には、次のような特殊な用紙を使用することができます。

用紙	用紙種類設定
OHP フィルム	OHP フィルム
薄い用紙（60 ～ 64 g/m²）	薄紙
ラベル用紙	ラベル紙
再生紙	再生紙
プレ印刷用紙	プレプリント
ボンド紙	ボンド紙
はがき	はがき
カラー紙	カラー紙
パンチ済み用紙	パンチ済紙
レターヘッド	レターヘッド
封筒	封筒
厚紙（120～220 g/m²）	厚紙
上質紙	上質紙
カスタム	カスタム1 ～ 8

以上の用紙を使用するときは、コピー用またはページプリンター用として指定されているものをお使いください。また、OHP フィルム、ラベル紙、薄紙、はがき、厚紙は手差しトレイから給紙してください。詳細については、4-30 ページの**給紙カセットの用紙サイズ設定**を参照してください。

特殊な用紙の選択

特殊な用紙は、次ページ以降で示す条件を満たすものであれば本機で使用することができます。ただしこれらの用紙は、構造および品質に大きくなばらつきがあるために、普通紙よりも印刷中に問題が発生する可能性が高くなります。特殊用紙は、サンプルを本機で印刷してみて、満足のいく仕上がりであることを確認してからご購入ください。主な特殊紙について、印刷時の注意を次項より説明します。湿気などが特殊紙に与える影響が原因で、印刷中に本機またはユーザーに被害が生じても、当社は一切の責任を負いかねます。特殊用紙を使用する際は、カセットまたは手差しに使用する用紙種類を選択してください。

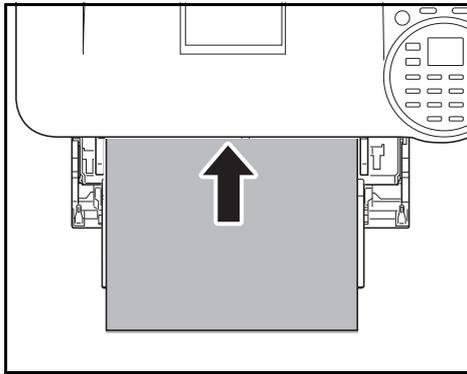
OHP フィルム

OHP フィルムは、印刷中の定着熱に耐えられることが条件です。次の製品をお勧めします。

3M CG3700（Letter, A4）

次の表は、本機で使用できるOHPフィルムの条件です。

項目	仕様
耐熱性	最低190℃までの熱に耐えること。
厚さ	0.100 ～ 0.110 mm
材質	ポリエステル
サイズ誤差許容範囲	±0.7 mm
四隅の角度	90° ±0.2°

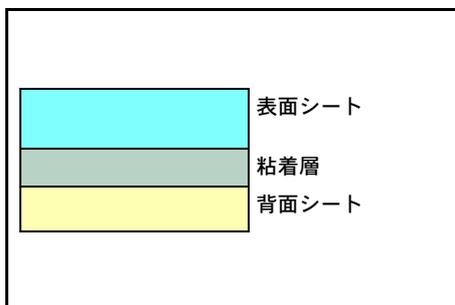
重要：OHPフィルムの種類により、正常に給紙できない場合があります。

トラブルを避けるために、OHPフィルムは手差しトレイから1枚ずつ給紙してください。その際、必ず縦に（用紙の長手方向をプリンターに向けて）セットしてください。また、OHPフィルムの裁断面にバリがある場合、給紙不良の原因になります。バリを取り除くか、表裏を逆にする、前後を入れ替える、あるいは裏返しにセットしてください。

OHPフィルムが排紙部分で頻繁につまる場合は、排紙される際にOHPフィルムの先を少しだけ慎重に手で引いてみてください。

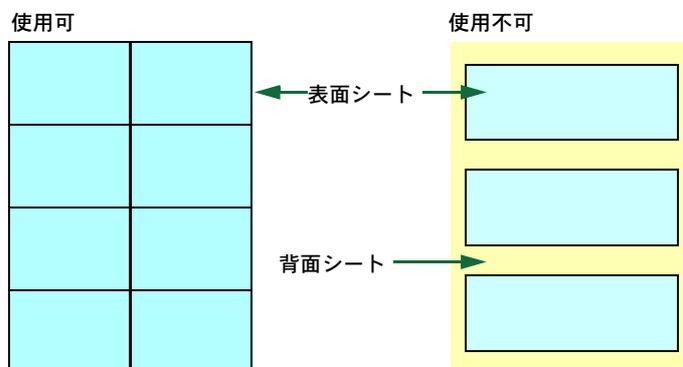
ラベル紙

ラベル紙は、必ず手差しトレイから給紙してください。

ラベル紙を選択する際は、糊が本機のどこにも触れないことや、ラベルが台紙から容易にはがれないことなどに注意してください。ローラー類に糊が付着したり、はがれたラベルが本機内部に残ると故障の原因になります。

ラベル用紙での印刷の場合は、その印刷品質やトラブル発生の可能性などについては、お客様ご自身の責任で行ってください。

ラベル紙は、図のような3層からなる構造をしています。粘着層は本機内部で加わる力による影響を受けやすい素材でできています。背面シートはラベルが使用されるまで表面シートを保持しています。このように構造が複雑なため、ラベル紙はトラブルが発生しがちです。

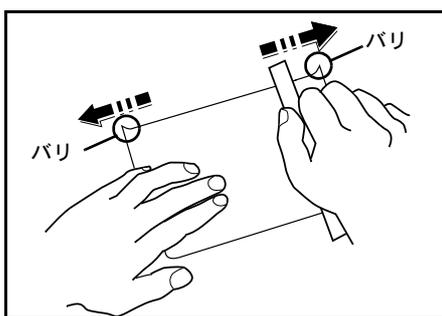
ラベル紙の表面は、表面シートで隙間なく完全に覆われていなくてはなりません。ラベルの間に隙間のあるものはラベルがはがれやすく、大きな故障の原因となります。

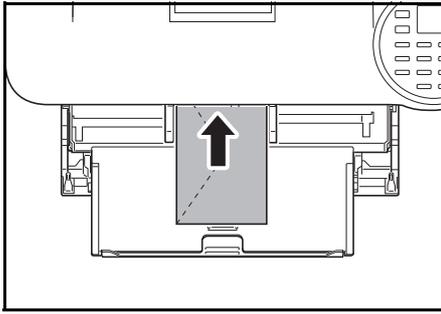
ラベル紙には、用紙の端を完全に覆うため、表面シートに広いマージンを設けているものがあります。このような用紙をお使いの場合、出力が終了するまで、このマージン部分を背面シートからはがさないでください。

次の仕様に合ったラベル紙を選んでください。

項目	仕様
表面シートの重さ	44 ～ 74 g/m²
基本重量（用紙全体の重さ）	104 ～ 151 g/m²
表面シートの厚さ	0.086 ～ 0.107 mm
用紙全体の厚さ	0.115 ～ 0.145 mm
保水度	4 ～ 6 %（混合）

はがき

はがきは、さばいて端を揃えてから、手差しトレイにセットしてください。はがきに反りがある場合は、まっすぐに直してからセットしてください。反りがあるまま印刷すると、紙づまりの原因になります。

往復はがきは、折られていないものを使用してください（郵便局などで入手できます）。

また、裏面にバリ（紙を裁断した際にできる返り）がある場合は、はがきを平らなところに置き、定規のようなもので軽く1～2回こするようにして、バリを取り除いてください。

封筒

封筒を手差しトレイから給紙する場合は印刷面を上に、オプションのペーパーフィーダー（PF-320）から給紙する場合は印刷面を下にしてください。

重要：オプションのペーパーフィーダーの用紙幅ガイドにある用紙上限表示以上に封筒を入れないでください。

ECOSYS LS-2100DNは封筒モードを設定します。2-30ページの**封筒モードの切替（ECOSYS LS-2100DN）**を参照してください。

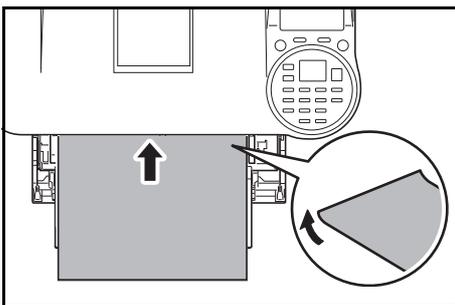
封筒は構造上、表面全体に均一な印刷ができない場合があります。特に薄手の封筒の場合は、本機を通り抜ける間にシワになることがあります。封筒を購入する前に、その封筒で満足のいく印刷が得られるか、サンプル印刷で確認してください。

封筒は、開封したまま長時間放置するとシワが発生することがあります。使用する直前に開封してください。

さらに、以下の点に留意してください。

- 糊が露出している封筒は、どのような封筒でも使用できません。紙をはがすと糊が現れるワンタッチ式もご使用になれません。糊をカバーしている紙が本機内部ではがれ落ちると、大きな故障の原因になります。
- 特殊加工されている封筒も使用できません。紐を巻きつける鳩目の打ってあるものや窓付きのもの、窓にフィルム加工がされているものなどは使用できません。
- 紙づまりが起きる場合は、一度に補給する封筒の枚数を減らしてみてください。
- 封筒を2枚以上出力する際は、紙づまりを避けるため上トレイに5枚 以上貯まらないよう注意してください。

厚紙

厚紙は、さばいて端を揃えてから手差しトレイにセットしてください。裏面にバリ（紙を裁断した際にできる返り）がある場合は、用紙を平らなところに置き、はがきと同様に定規のようなもので軽く1 ～ 2回こするようにして、バリを取り除いてください。バリのあるまま印刷すると、紙づまりの原因になります。

参考：バリを取り除いても給紙されない場合は、図のように用紙の先端を数ミリ上にそらせてから手差しトレイにセットしてください。

カラー紙

カラー紙は付録-23ページの**用紙の基本仕様**の表を満たしている必要があります。さらに、用紙に含まれている色素は、出力中の熱（最高200℃）に耐えられる必要があります。

プレ印刷用紙（プレプリント）

プレ印刷用紙は付録-23ページの**用紙の基本仕様**の表を満たしている必要があります。着色に使われているインクは、印刷中の熱に耐えられるもので、シリコンオイルの影響を受けないものであることが必要です。カレンダーなどに使われる、表面加工を施してある用紙は使用しないでください。

再生紙

再生紙は、用紙の白さ以外の項目が付録-23ページの**用紙の基本仕様**の表を満たしている必要があります。

参考：再生紙を購入する前に、仕上がりが満足いくことをサンプル印刷で確認してください。

用紙の種類

本機は、使用できる用紙の種類を設定して印刷できます。

給紙元に用紙種類を設定すると、印刷時にアプリケーションソフトから指定した用紙種類に合わせて、自動的に給紙元が選択されます。

あらかじめ選択されている用紙だけでなく、カスタム用紙を選択し、重さを定義できます。4-38ページの**「用紙種類の設定」（用紙属性の設定）**を参照してください。使用できる用紙の種類は次のとおりです。

用紙の種類	給紙元				
	手差しトレイ/ バルクフィーダー PF-315+（オプション）	カセット	ペーパーフィーダー PF-320（オプション）	用紙の重さ	両面印刷
普通紙	○	○	○	普通1	○
OHPシート	○	×	×	超重い	×
プレプリント	○	○	○	普通1	○
ラベル紙	○	×	×	重い1	×
ボンド紙	○	○	○	普通3	○
再生紙	○	○	○	普通1	○
薄紙	○	×	×	軽い	×
レターヘッド	○	○	○	普通3	○
カラー紙	○	○	○	普通3	○
パンチ済み紙	○	○	○	普通1	○
封筒	○	×	○	重い3	×
はがき	○	×	×	重い3	×
厚紙	○	×	×	重い3	×
上質紙	○	○	○	普通1	○
カスタム1（～8）†	○	○	○	普通1	○

† カスタムタイプは8種類まで登録できます。詳細は4-38ページの**「用紙種類の設定」（用紙属性の設定）**を参照してください。

仕様

重要：本機の仕様は改良などのために予告なしに変更することがあります。

本体

項目		仕様		
		ECOSYS LS-2100DN	ECOSYS LS-4200DN	ECOSYS LS-4300DN
形式		デスクトップ型		
印刷方式		乾式静電転写方式（レーザー方式）		
用紙の重さ	カセット	60 ～ 120 g/m²		
	手差しトレイ	60 ～ 220 g/m²、230 g/m²（はがき）		
用紙種類	カセット	普通紙、プレプリント、ボンド紙、再生紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み紙、上質紙、カスタム1（～8）		
	手差しトレイ	普通紙、OHPフィルム、プレプリント、ラベル紙、ボンド紙、再生紙、薄紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み紙、封筒、はがき、厚紙、上質紙、カスタム1（～8）		
用紙サイズ	カセット	Envelope C5、Executive、Letter、Legal、A4、B5、A5、ISO B5、Oficio II、216 × 340 mm、16K、Statement、Folio、カスタム	Envelope DL、Envelope C5、Executive、Letter、Legal、A4、B5、A5、A6、B6、ISO B5、往復はがき、Oficio II、216 × 340 mm、16K、Statement、Folio、カスタム	
	手差しトレイ	Envelope Monarch、Envelope #10（Commercial #10）、Envelope DL、Envelope C5、Executive、Letter、Legal、A4、B5、A5、A6、B6、Envelope #9（Commercial #9）、Envelope #6（Commercial #6 3/4）、ISO B5、往復はがき、はがき、Oficio II、216 × 340 mm、16K、Statement、Folio、洋形2号、洋形4号、カスタム		
印刷速度	片面	A4：40ページ/分 B5：33ページ/分 A5：22ページ/分 Letter：42ページ/分 Legal：33ページ/分	A4：50ページ/分 B5：40ページ/分 A5：27ページ/分 A6：27ページ/分 Letter：52ページ/分 Legal：42ページ/分	A4：60ページ/分 B5：48ページ/分 A5：32ページ/分 A6：32ページ/分 Letter：62ページ/分 Legal：50ページ/分
	両面	A4：20ページ/分 B5：16.5ページ/分 A5：11ページ/分 Letter：21ページ/分 Legal：16.5ページ/分	A4：36ページ/分 B5：28ページ/分 A5：19ページ/分 Letter：37ページ/分 Legal：21ページ/分	A4：43ページ/分 B5：34ページ/分 A5：23ページ/分 Letter：44ページ/分 Legal：25ページ/分
ファーストプリント（本体カセットでA4）		9秒以下		
ウォームアップ時間（22 ℃、60%RH）	電源ONから	15秒以下	20秒以下	25秒以下
	スリープから†	15秒以下	20秒以下	25秒以下
用紙容量	カセット	500枚（80 g/m²）		
	手差しトレイ	100枚（80 g/m²）		

項目		仕様		
		ECOSYS LS-2100DN	ECOSYS LS-4200DN	ECOSYS LS-4300DN
排紙トレイ容量	上トレイ	250枚（67 g/m^2）	500枚（67 g/m^2）	
	フェイスアップトレイ	―	250枚（67 g/m^2）	
連続印刷		1～999枚		
解像度		Fine 1200、Fast 1200、600 dpi、300 dpi		
設置環境	温度	10～32.5 ℃		
	湿度	15～80 %RH		
	海抜	2,500 m以下		
	照度	1,500 lux以下		
CPU		PowerPC465	PowerPC465、ARM9	
OS		Windows XP、Windows Server 2003/R2、Windows Vista、Windows Server 2008/R2、Windows 7、Apple Macintosh OS 10.4以降		
インターフェイス	標準	USBインターフェイス：1 USBホスト：2 ネットワークインターフェイス：1（10 BASE-T/100 BASE-TX/1000 BASE-T） eKUIOスロット：1		
	オプション	HD-6、IB-50、IB-51、IB-32		
ページ記述言語		PRESCRIBE		
エミュレーション		PCL6（PCL5e、PCL-XL、PCL5c）、KPDL3（PostScript3互換）、PC-PR201/65A、IBM5577、EPSON VP-1000		
メインメモリー		標準：256 MB、最大：1280 MB		
本体寸法（幅×奥行き×高さ）		380 × 416 × 285 mm	380 × 416 × 320 mm	
質量		約13.5 kg	約14.6 kg	
電源		100 V（50/60 Hz、9.8 A）	100 V（50/60 Hz、11.2 A）	
消費電力（標準時）	最大消費電力	928 W	1054 W	1070 W
	通常使用時	566 W	633 W	740 W
	待機時	11.6 W	12.7 W	12.4 W
	スリープモード時[†]	1.8 W	1.9 W	
	電源オフ時	0.5 W以下		
消費電力（オプション装着時）	最大消費電力	959 W	1091 W	1113 W
	通常使用時	618 W	684 W	777 W
	待機時	17.4 W	18.7 W	19.6 W
	スリープモード時[†]	4.2 W	4.8 W	4.7 W
	電源オフ時	0.5 W以下		

項目	仕様		
	ECOSYS LS-2100DN	ECOSYS LS-4200DN	ECOSYS LS-4300DN
オプション	拡張メモリー、ペーパーフィーダー（PF-320）（500枚×4）、SSD（HD-6）、SD/SDHCメモリーカード、ネットワークインターフェイスキット（IB-50）、ワイヤレスインターフェイスキット（IB-51）、パラレルインターフェイスキット（IB-32）、バルクフィーダー（PF-315+）	拡張メモリー、ペーパーフィーダー（PF-320）（500枚×4）、SSD（HD-6）、SD/SDHCメモリーカード、ネットワークインターフェイスキット（IB-50）、ワイヤレスインターフェイスキット（IB-51）、パラレルインターフェイスキット（IB-32）、バルクフィーダー（PF-315+）、フェイスアップトレイ（PT-320）	

† 節電優先モード（初期設定）設定時

ペーパーフィーダー（PF-320）（オプション）

項目	仕様
最大カセット数	4
用紙サイズ	Envelope Monarch、Envelope #10（Commercial #10）、Envelope DL、Envelope C5、Executive、Letter、Legal、A4、B5、A5、B6、Envelope #9（Commercial #9）、Envelope #6（Commercial #6 3/4）、ISO B5、往復はがき、Oficio II、216 × 340 mm、16K、Statement、Folio、洋形2号、洋形4号、カスタム
用紙種類	普通紙、プレプリント、ボンド紙、再生紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み紙、封筒、上質紙、カスタム1（～8）
用紙容量	500枚（80 g/m²）
寸法（幅×奥行き×高さ）	380 × 410 × 121 mm
質量	4.0 kg以下

バルクフィーダー（PF-315+）（オプション）

項目	仕様
用紙サイズ	Envelope Monarch、Envelope #10（Commercial #10）、Envelope DL、Envelope C5、Executive、Letter、A4、B5、A5、A6、B6、Envelope #9（Commercial #9）、Envelope #6（Commercial #6 3/4）、ISO B5、カスタム、はがき、往復はがき、16K、Statement、洋形2号、洋形4号
用紙種類	普通紙、OHPフィルム、プレプリント、ラベル紙、ボンド紙、再生紙、薄紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み紙、封筒、はがき、厚紙、上質紙、カスタム1（～8）
用紙容量	2,000枚（80 g/m²）

項目		仕様
稼動音（Lwad）		ECOSYS LS-2100DN：70 dB(A) ECOSYS LS-4200DN：72 dB(A) ECOSYS LS-4300DN：74 dB(A) （定形サイズ給紙時）
寸法（幅×奥行き×高さ）	PF-315+	352 × 345 × 376 mm
	PB-325	380 × 705.6 × 183.7 mm
質量	PF-315+	7.7 kg以下
	PB-325	6.5 kg以下

SSD（HD-6）（オプション）

項目	仕様
容量	32 GB
電源	本体より供給

ネットワークインターフェイスキット（IB-50）（オプション）

項目		仕様
CPU		SoC 88F6180
RAM		64 MB
Flash ROM		16 MB
コネクター		10BASE-T / 100BASE-TX / 1000BASE-T
プリンター装着方式		eKUIO（5.0V）
動作オペレーティングシステム		Windows 2000 (32bit) / XP (32bit/64bit) / Vista (32bit/64bit) / 7 (32bit/64bit) / Server 2003 (32bit/64bit) / Server 2008 (32bit/64bit) NetWare 3.x. / 4.x. / 5.x. / 6.x MacOS 9.x/Mac OS X (PowerPC: Ver 10.3.x～Ver 10.5.5 / Intel: Ver 10.4.4～Ver 10.6.x) UNIX
ネットワーク・プロトコル	IPv6	Apple Bonjour Compatible、DHCPv6、DNSv6、FTP、FTPS、HTTP、HTTPS、ICMPv6、IKEv1、IPP、IPPS、Kerberos、LDAP、LPD、POP3、RawPort、SLP、SMTP、SNMP、SNMPv1/v2c/v3、SNTP、ThinPrint
	IPv4	Apple Bonjour Compatible、BOOTP、DHCP、DNS、FTP、FTPS、HTTP、HTTPS、ICMP、IPP、IPPS、KCP、Kerberos、LDAP、LPD、NetBIOS over TCP/IP、POP3、POP3 over SSL、RawPort、SLP、SMTP、SNMP、SNMPv1/v2c/v3、SNTP、ThinPrint、WINS
	その他	AppleTalk、IPX/SPX、LLTD、NetBEUI、NetWare (NDS/Bindery)
セキュリティー・プロトコル		EAP-TLS、EAP-TTLS、EAP-FAST、IKE、PEAP、SNMPv3、SSL/TLS (HTTPS)

項目	仕様
動作環境	0〜70°C、20〜80 % RH、結露なきこと
保存環境	−20〜50°C、20〜90 % RH、結露なきこと
電磁波障害対策	VCCIクラスB、FCC Class B（アメリカ）、CE（EU）

ワイヤレスインターフェイスキット（IB-51）（オプション）

項目			仕様
CPU			SoC 88F6180
RAM			64 MB
ROM			16 MB
ワイヤレスネットワークインターフェイス	IEEE802.11b	使用周波数	2.4GHz帯
		伝送方式	DS-SS
		伝送速度	1 / 2 / 5.5 / 11 （Mbps）
		チャネル	1-11ch
	IEEE802.11g	使用周波数	2.4GHz帯
		伝送方式	OFDM
		伝送速度	6 / 9 / 12 / 18 / 24 / 36 / 48 / 54（Mbps）
		チャネル	1-11ch
	IEEE802.11n	使用周波数	2.4GHz帯
		伝送方式	OFDM
		伝送速度	Max 300Mbps
		チャネル	1-11ch
	認証方式		Open System / Shard Key / WPA / WPA2
	暗号方式		None / WEP (64bit / 128bit) / TKIP / AES IEEE 802.11nの場合は、AESだけにサポートになります。
アンテナ			無指向性アンテナ × 2
プリンター装着方式			eKUIO（5.0V）
動作オペレーティングシステム			Windows 2000 (32bit) / XP (32bit/64bit) / Vista (32bit/64bit) / 7 (32bit/64bit) / Server 2003 (32bit/64bit) / Server 2008 (32bit/64bit) NetWare 3.x. / 4.x. / 5.x. / 6.x MacOS 9.x / Mac OS X (PowerPC:Ver 10.3.x - Ver 10.5.5 / Intel:Ver 10.4.4 - Ver 10.6.x) UNIX

項目		仕様
ネットワーク・プロトコル	IPv6	Apple Bonjour Compatible、DHCPv6、DNSv6、FTP、FTPS、HTTP、HTTPS (IPPS)、ICMPv6、IKEv1、IPP、IPPS、Kerberos、LDAP、LPD、POP3、RawPort、SLP、SMTP、SNMP、SNMPv1/v2c/v3、SNTP、ThinPrint
	IPv4	Apple Bonjour Compatible、BOOTP、DHCP、DNS、FTP、FTPS、HTTP、HTTPS、ICMP、IPP、IPPS、KCP、Kerberos、LDAP、LPD、NetBIOS over TCP/IP、POP3、POP3 over SSL、RawPort、SLP、SMTP、SNMP、SNMPv1/v2c/v3、SNTP、ThinPrint、WINS
	その他	AppleTalk、IPX/SPX、LLTD、NetBEUI、NetWare (NDS/Bindery)
セキュリティー・プロトコル		EAP-TLS、IKE、PEAP、SNMPv3、SSL/TLS (HTTPS)
動作環境		0 ～ 60°C、20 ～ 80% RH、結露なきこと
保存環境		-20 ～ 50°C、20 ～ 90% RH、結露なきこと
電磁波障害対策		VCCIクラスB、FCC Class B（アメリカ）、CE（EU）

パラレルインターフェイスキット（IB-32）（オプション）

項目	仕様
設置環境	本体の設置環境に準ずる
インターフェイス	パラレルインターフェイス：1（IEEE1284規格に準拠）
電源	本体より供給

環境仕様

項目		仕様
スリープモード移行時間（出荷時設定）		1分
スリープモードからの復帰時間	ECOSYS LS-2100DN	15秒以下
	ECOSYS LS-4200DN	20秒以下
	ECOSYS LS-4300DN	25秒以下
両面機能		標準
給紙搬送性古紙		100％配合紙使用可能

参考：推奨紙などは販売担当者またはサービス担当者にご相談ください。

廃棄について

使用済み製品の廃棄

使用済み製品を廃棄される場合は、お買い上げの販売店または弊社のサービス担当者にご連絡ください。回収された使用済み製品（トナーコンテナー含む）は、素材ごとに分解し、再利用可能な部品は、再利用（リユース）し、不可能なものは、マテリアルリサイクル等、環境に配慮した適性処理を行っています。

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスの廃棄

使用後、不要になったトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、お買い上げの販売店または弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、再使用または再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

用語集

AppleTalk

Apple社のMac OSに標準搭載されているネットワーク機能。AppleTalkのネットワーク機能を実現するプロトコル群の総称でもあります。AppleTalkでは、ファイル共有やプリンター共有などのサービスが提供されます。AppleTalkネットワーク上の、別のコンピューターのアプリケーションソフトを起動することもできます。

Auto-IP

TCP/IPネットワーク上で自動的にIPアドレスを割り当てるプロトコルのことです。DHCPサーバーがないネットワークで、他の機器と重複しないようにIPアドレスを割り当てることができます。割り振られるIPアドレスは、Auto-IP用にあらかじめ予約されている169.254.0.0～169.254.255.255の範囲です。

Bonjour

Bonjourは、ゼロコンフィギュレーション・ネットワークとも呼ばれています。IPネットワーク上のパソコン、デバイス、およびサービスを自動的に検出するサービスです。

Bonjourは、業界標準のIPプロトコルが使用されているので、IPアドレスを入力したりDNSサーバーを設定しなくても、デバイスが相互に自動的に検出されます。

また、Bonjourは、UDPポート5353上でネットワークパケットを送受信します。ファイアウォールを有効にしている場合は、Bonjourが正しく動作するようにUDPポート5353が開いていることを確認する必要があります。一部のファイアウォールは、Bonjourパケットの一部だけを拒否するように設定されていることがあります。Bonjourの動作が不安定な場合には、ファイアウォールの設定を確認して、Bonjourが例外リストに登録されていて受信パケットを受け入れるように設定されていることを確認してください。BonjourをWindows XP Service Pack 2以降にインストールする場合、WindowsファイアウォールはBonjourによって適切に設定されます。

DDSN（Dynamic Domain Name System）

Dynamic Domain Name System（DDSN）は、動的に変化するIPアドレスに対して、一定のホスト名を提供するシステムです。

登録しているホスト名とIPアドレスの対応をIPアドレスの変化に合わせて更新することによって、IPアドレスが変わっても、同じホスト名で接続することができます。

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）

TCP/IPネットワーク上で、IPアドレスやサブネットマスク、ゲードウェイアドレスを自動的に解決するプロトコルです。DHCPを利用すると、クライアント数の多いネットワーク環境で、プリンターを含めて個々のクライアントにIPアドレスを個別に割り当てる必要がなくなるため、ネットワーク管理の負担を軽減できます。

dpi（dots per inch）

解像度を表す単位です。1インチ（25.4 mm）当たりのドット数を表します。

IP アドレス

ネットワークに接続されたコンピューターや周辺機器1台ずつに割り振られる識別番号です。
「192.168.110.171」などのように、0から255までの数字を4つ並べて表現します。

IPP

IPP（Internet Printing Protocol、インターネットプリンティングプロトコル）は、インターネット網に代表されるTCP/IPネットワークを利用して、遠隔地にあるプリンターとPCの間で印刷データなどのやりとりを行うための規格です。

Webページの閲覧に使われるHTTPを拡張した規格であり、ルーターによって隔てられた遠隔地のプリンターに対しても印刷操作を行うことが可能になります。また、HTTPの認証機構や、SSLによるサーバー認証、クライアント認証、および暗号化にも対応しています。

KPDL

Adobe PostScript Level 3互換の京セラのページ記述言語です。

NetBEUI（NetBIOS Extended User Interface）設定

1985年にIBM社が開発したネットワークプロトコルです。NetBIOSをベースに拡張したもので、小規模なネットワークではTCP/IPなどの他のプロトコルよりも高い性能を発揮できます。ただし、複数の経路の中から最適な経路を選択するルーティング機能は持っていないため、大規模なネットワーク構築には向いていません。IBM社のOS/2やMicrosoft社のWindowsシリーズの標準プロトコルになっており、NetBEUIを利用したファイル共有サービスやプリントサービスなどが提供されています。

NetWare

Novell社のネットワークOS（ネットワーク管理ソフトウェア）です。NetWareはさまざまなOS上で動作することができます。

POP3（Post Office Protocol 3）

インターネットやイントラネット上で、電子メールを保存しているサーバーからメールを受信するための標準的なプロトコルです。

PostScript

Adobe Systems社が開発したページ記述言語です。柔軟なフォント機能および高性能のグラフィックスを提供し、高品質な印刷ができます。現在Level 1と呼ばれている最初のバージョンは1985年に登場しました。1990年にはカラー印刷や日本語などの2バイト言語に対応したLevel 2が、1996年にはインターネットへの対応や実装水準の段階化、PDF形式への対応などを追加したLevel 3が発表されています。

PPM（prints per minute）

A4用紙を1分間に印刷できる枚数を示します。

RA（Stateless）

IPv6ルーターは、グローバルアドレスのプレフィックスなどの情報をICMPv6で知らせます。この情報がRouter Advertisement（RA）です。

また、ICMPv6はインターネット制御メッセージプロトコルのことで、RFC 2463「Internet Control Message Protocol（ICMPv6）for the Internet Protocol Version 6 (IPv6)Specification」で定義されているIPv6標準です。

SD/SDHC メモリーカード

SDメモリーカードとは、着脱可能な記憶媒体のことで、電源を切ってもデータ内容が消えない不揮発性の半導体メモリーです。記憶容量は最大2 GBです。

SDHCメモリーカードは、SDメモリーカードの上位規格で、SDメモリーカードよりも大容量で、転送速度に最低保証速度を備えているメモリーカードです。ファイルシステムをFAT32へ変更したことで、最大32 GBまで対応しています。

SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）

インターネットやイントラネットで電子メールを送信するためのプロトコルです。サーバー間でメールをやり取りしたり、クライアントがサーバーにメールを送信する際に用いられます。

SSD（Solid State Drive）

SSDは、フラッシュメモリーによる、データの記憶媒体のことです。

記憶媒体として一般的なHDDが磁気ディスクによるものであるのに対し、SSDは半導体を利用した記憶媒体です。

SSDは、ヘッドが磁気ディスクを読み込む方式であるHDDに比べ、データを読み込むスピードが高速になるほか、振動に強く、モーターが必要ないために消費電力が少なく、駆動音がしないなどのメリットがあります。

TCP/IP（Transmission Control Protocol/Internet Protocol）

コンピューター同士やその他のデバイスとの間で、データ通信の規約を定めたネットワークプロトコルのひとつです。

TCP/IP（IPv6）

TCP/IP（IPv6）は、アドレスの不足が心配される現行のインターネットプロトコルTCP/IP（IPv4）をベースに、管理できるアドレス空間の増大、セキュリティー機能の追加、優先度に応じたデータの送信などの改良を施した次世代インターネットプロトコルを示します。

USB（Universal Serial Bus）2.0

Hi-Speed USB 2.0に準拠したUSBインターフェイスです。最大通信速度は480 Mbpsで、高速なデータ転送ができます。本機はこのUSB 2.0インターフェイスを装備しています。

アウトラインフォント

フォントの輪郭を数式によって記録しており、拡大しても輪郭のなめらかな美しい印刷が行えます。フォントサイズは0.25ポイント単位で最大999.75ポイントまで設定できます。

エコプリント

トナーを節約するための印刷方法です。通常での印刷よりも薄くなります。

エミュレーション

他のプリンターのページ言語を解釈し、実行する機能です。

オートスリープ

本体の操作やデータの送/受信が一定の時間行われないと、自動でスリープに移行する機能です。スリープ時は、電力消費が最小限に抑えられます。

拡張メモリー

本機は1つの拡張スロットを装備しており増設できます。使用できる拡張メモリー（DIMM）については弊社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。電話番号は最終ページを参照してください。

サブネットマスク

サブネットマスクは、IPアドレスのネットワーク・アドレス部を増やす方法です。サブネット・マスクは、ネットワーク・アドレス部をすべて1として表現し、ホスト・アドレス部をすべて0として表現します。プレフィックス長は、ネットワーク・アドレス部の長さをビット数で表します。プレフィックス（Prefix）とは、「接頭辞」つまり、「前に付けるもの」という意味があり、IPアドレスの「先頭部分」を指します。IPアドレスを表記するときに、ネットワーク・アドレス部の長さまで表現したい場合は、“133.201.2.0/24”のように“/”（スラッシュ）の後にプレフィックス長（この場合は「24」）を書くことになっています。したがって、「133.201.2.0/24」は、プレフィックス長（つまりネットワーク部）が24ビットの「133.201.2.0」というIPアドレスということになります。サブネット・マスクによって新しく増えたネットワーク・アドレス部（本来のホスト・アドレス部の一部分）をサブネット・アドレスと呼びます。サブネットマスクを入力するときは、DHCPの設定をオフにしてください。

自動改ページ待ち時間

本機へのデータ送信中に、待ち時間が発生することがあります。このとき本機は、次のデータが届くまで一定時間待機します。自動改ページ待ち時間とは、この待機時間のことです。待機時間が、登録された待ち時間に達すると、本機は自動で排紙します。ただし、最終ページに印刷データがない場合は排紙しません。

ジョブボックス

印刷データを本機に保存し、後から操作パネルで印刷したり、複数部印刷したりできる機能です。

ステータスページ

搭載メモリー容量、印刷の総枚数、給紙元の選択など本機に関するさまざまな情報を確認するために印刷するページです。

手差しトレイ

ハガキ、OHPフィルム、ラベル紙などを使用するときは、カセットでなく手差しトレイに補給してください。

デフォルトゲートウェイ

所属するネットワークの外にあるパソコンにアクセスする際に使用する、パソコンやルーターなどの出入り口の代表となるアドレスです。アクセス先のIPアドレスについて特定のゲートウェイを指定していない場合は、デフォルトゲートウェイに指定されているホストにデータが送信されます。

プリンタードライバー

アプリケーションソフトで作成したデータを印刷するために使用するソフトウェアです。プリンタードライバーは、付属のProduct Libraryディスクに収録されています。本機に接続したコンピューターにインストールしてください。

ユーザーボックス

各ユーザーごとの印刷データを本機に保存し、後から操作パネルで印刷したり、複数部印刷したりできる機能です。

索引

よ

ら

り

わ

お客様相談窓口のご案内

弊社製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラドキュメントソリューションズ株式会社
京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社

〒158-8610　東京都世田谷区玉川台2丁目14番9号
http://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp

受付時間
● 9:00～17:00
（但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く）

市内通話料金でご利用いただけます。

Printed in China
初版 2012.10
2LVKMJP000